
第1期山都町こども計画等策定にかかるニーズ調査 報告書

令和6年2月

山都町

目 次

第1章 調査の概要-----	1
1. 調査目的	2
2. 調査時期	2
3. 調査対象	2
4. 調査方法	2
5. 回収状況	2
6. 集計上の留意点	2
第2章 調査結果総括-----	3
第3章 調査結果-----	41
I 調査結果（未就学児）-----	42
1. 住まいの地区について	42
2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	42
3. 子育ての環境について	45
4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	49
5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	55
6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	61
7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	65
8. 宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	68
9. 宛名のお子さんの「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	75
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	80
11. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について	87
12. 山都町の子育ての環境や支援について	98

Ⅱ 調査結果（就学児）	99
1. 住まいの地域について	99
2. お子さんご家族の状況について	99
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	102
4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	105
5. 宛名のお子さんの放課後（平日の小学校終了後）や休日の過ごし方について	111
6. 宛名のお子さんの病気の際の対応について	118
7. 山都町の子育ての環境や支援について	122
Ⅲ 調査結果（小学4年生保護者）	124
Ⅳ 調査結果（中学1年生保護者）	142
Ⅴ 調査結果（小学4年生）	160
Ⅵ 調査結果（中学1年生）	170
Ⅶ 調査結果（町民16～39歳）	180

第1章 調査の概要

1. 調査目的

山都町こども計画等を策定するにあたり、子どもや子育て家庭、若者など町民の意識と生活環境、子育てサービスの利用状況等を把握するとともに、これらの調査結果を分析し、計画策定の基礎資料とするため、実施しました。

2. 調査時期

令和6年1月～2月に実施

3. 調査対象

- ・山都町在住の「就学前児童」がいる世帯の保護者
- ・山都町在住の「小学生」がいる世帯の保護者
- ・山都町内の小学4年生の保護者
- ・山都町内の中学1年生の保護者
- ・山都町内の小学4年生
- ・山都町内の中学1年生
- ・山都町内に居住する16～39歳の町民

4. 調査方法

- ・幼稚園、保育園（所）、小学校、中学校を通じての配付、回収
及びインターネットによる回収
- ・未就園児のいる世帯及び若者世帯は郵送による配布・回収
及びインターネットによる回収

5. 回収状況

対象者	配付数	回収件数	回収率
就学前児童保護者	245件	169件	69.0%
小学生児童保護者	220件	169件	76.8%
小学4年生保護者	77件	55件	71.4%
中学1年生保護者	84件	60件	71.4%
小学4年生	87件	79件	91.0%
中学1年生	103件	86件	83.5%
町民（16～39歳）	1,232件	187件	15.2%

6. 集計上の留意点

- （1）グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- （2）集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- （3）複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- （4）回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。

第2章 調査結果総括

1 就学前児童保護者・小学生児童保護者

(1) 子どもの育ちをめぐる環境

- ・主に子育てを行っている人について、就学前児童保護者では、「父母ともに」が71.6%で「主に母親」が26.6%であり、前回調査と比較すると「父母ともに」は大きく増加しています。小学校児童保護者では、「父母ともに」が60.9%で「主に母親」が36.7%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。
- ・子どもをみてもらえる親族・知人等の有無について、就学前児童保護者では、54.4%の人が「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」、50.9%の人が「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」環境にあります。前回調査と比較すると大きな変化はみられません。小学校児童保護者では、57.4%の人が「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、41.4%の人が「緊急時若しくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」環境にあります。

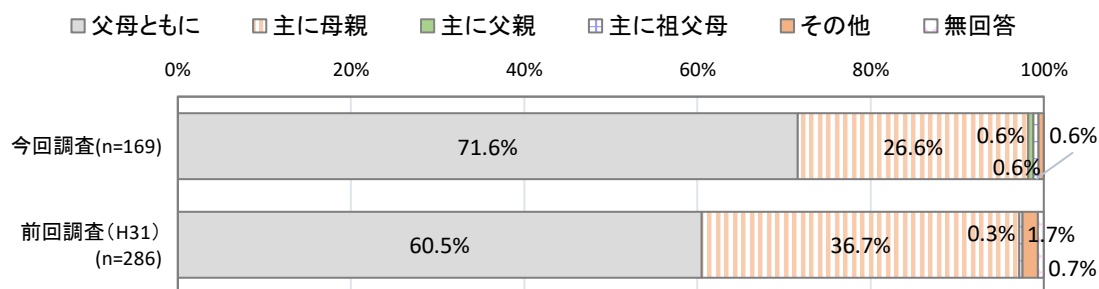
①主に子育て（教育を含む）を行っている人

【就学前児童保護者：問6（P44）、小学校児童保護者：問6（P101）】

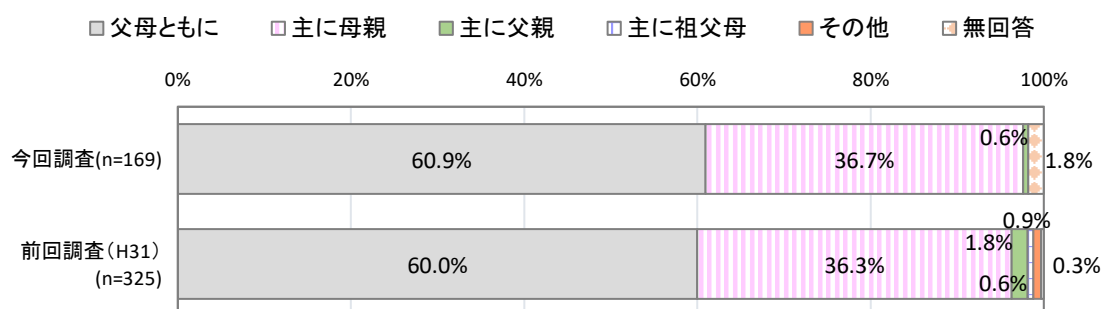
就学前児童保護者では、「父母ともに」の割合が71.6%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が26.6%と続く。前回調査と比較すると、「父母ともに」は大きく増加しています。

小学校児童保護者では、「父母ともに」の割合が60.9%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が36.7%と続く。前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童保護者】



【小学校児童保護者】



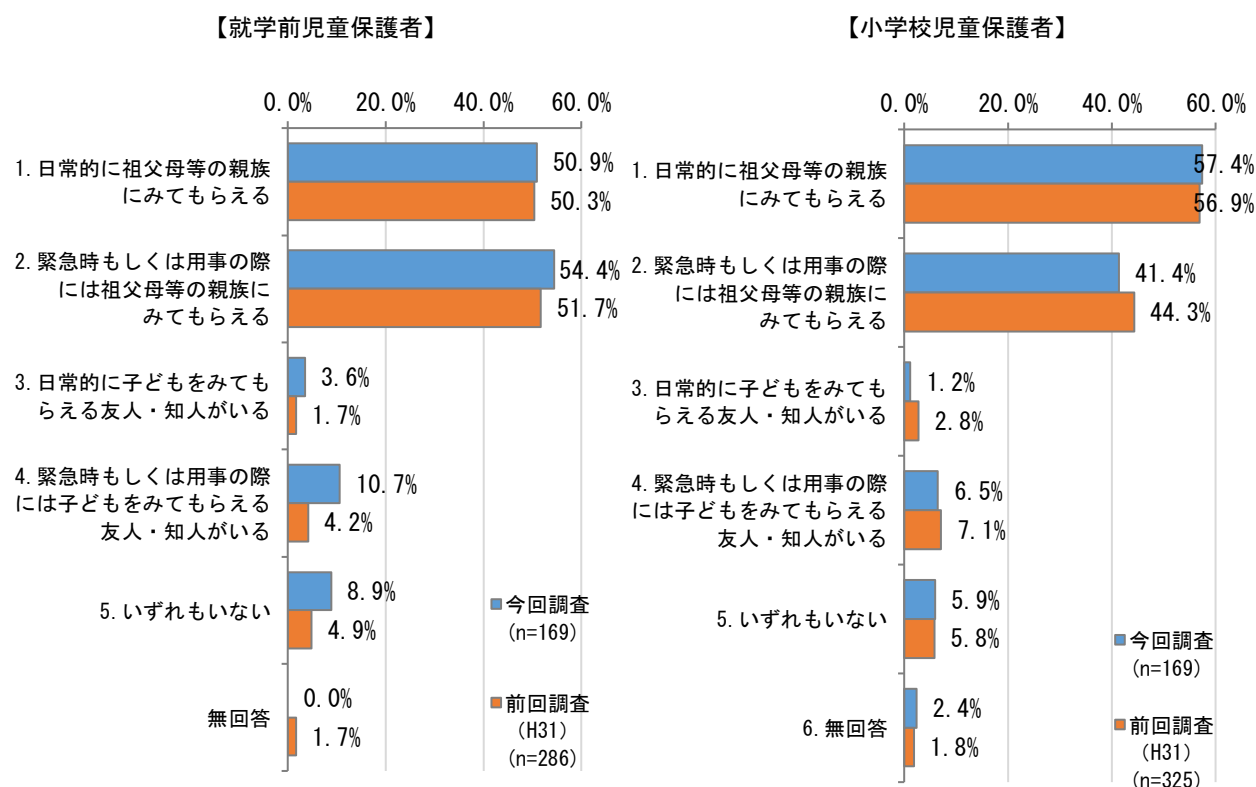
②子どもをみてもらえる親族・知人等の有無

【就学前児童保護者：問9（P46）、小学校児童保護者：問7（P102）】※複数回答

就学前児童保護者では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が54.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が50.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が10.7%と続く。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学校児童保護者では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が57.4%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が41.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が6.5%と続く。



③子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（または場所）の有無

【就学前児童保護者：問10（P47）、小学校児童保護者：問8（P103）】

就学前児童保護者では、気軽に相談できる人や場所の有無について「はい」の割合が95.9%、「いいえ」の割合が3.6%。

小学校児童保護者では、気軽に相談できる人や場所の有無について「いる／ある」の割合が89.3%、「いない／ない」の割合が4.7%。

④子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先

【就学前児童保護者：問10-1（P48）、小学校児童保護者：問8-1（P104）】※複数回答

※就学前児童保護者の問10、小学校児童保護者の問8で相談できる人（場所）がある人に限定した設問。

就学前児童保護者では、「祖父母等の親族」の割合が81.5%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が73.5%、「保育士」の割合が61.7%と続く。

小学校児童保護者では、「祖父母等の親族」の割合が77.5%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が72.2%、「かかりつけ医師」の割合が11.3%と続く。

（課題）

子どもをみてもらえる親族・知人について、多くの保護者は、日常的に、あるいは緊急時・用事の際に親族にみてもらえる状況にあります。子どもをみてもらえる親族・知人がいない保護者も約1割見られます。こうした家庭が、子育てに対して孤立感や負担感が深まらないよう、相談体制や一時的な預かりなどの支援体制を整備していくことが求められています。

（２）保護者の就労状況

- ・母親の就労形態の現状をみると、就学前児童保護者では、「フルタイム」が64.5%、「未就労」が8.2%、「パート・アルバイト等」が26.1%となっている。前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。小学校児童保護者では、「パート・アルバイト等」が18.9%、「フルタイム」が71.6%、「未就労」が5.9%となっている。
- ・就学前児童保護者では、「パート・アルバイト等」で就労している母親のうちの6.8%は「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」に回答している。また、未就労の母親の50.0%が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」としている。小学校児童保護者では、6.3%は「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」に回答している。また、未就労の母親の30.0%が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」としており、潜在的な保育需要がみられ、保育・教育サービスニーズの増加が予測される。

※「フルタイム」：「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」

「パート・アルバイト等」：「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」

「未就労」：「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」

①保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）

【就学前児童保護者：問12（P49）、小学校児童保護者：問10（P105）】

《母親》

就学前児童保護者では、「フルタイム」が64.5%、次いで「未就労」が8.2%、「パート・アルバイト等」が26.1%と続く。

前回調査と比較すると、大きな変化がみられません。

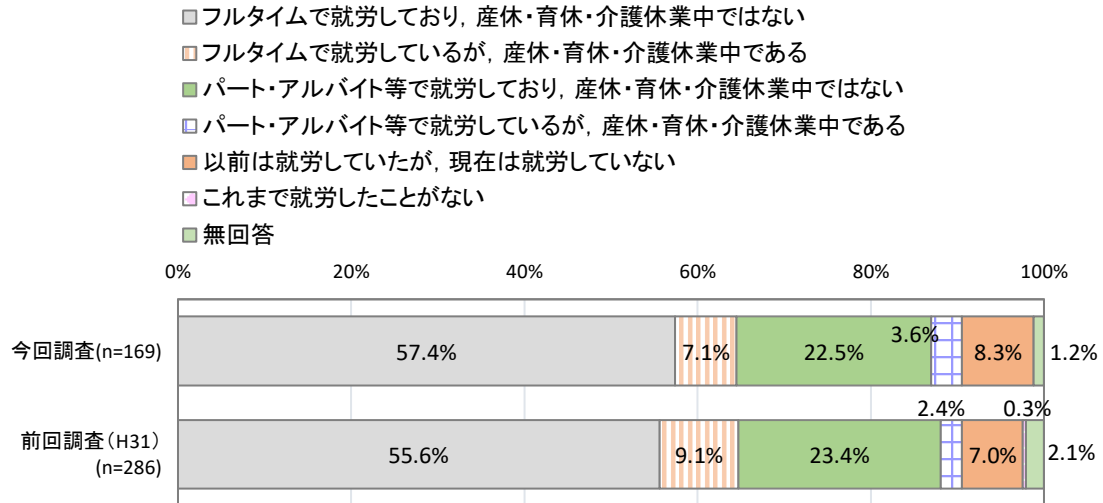
小学校児童保護者では、「フルタイム」が71.6%、次いで「パート・アルバイト等」が18.9%、「未就労」が5.9%と続く。

《父親》

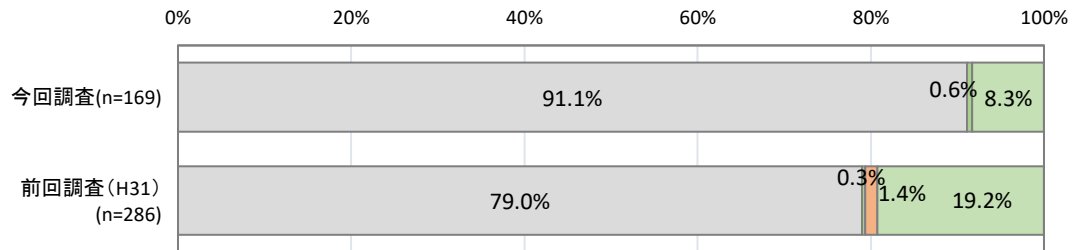
就学前児童保護者では、「フルタイム」が最も多く、回答者全体の91.1%を占める。

小学校児童保護者では、「フルタイム」が最も多く、回答者全体の74.6%を占める。

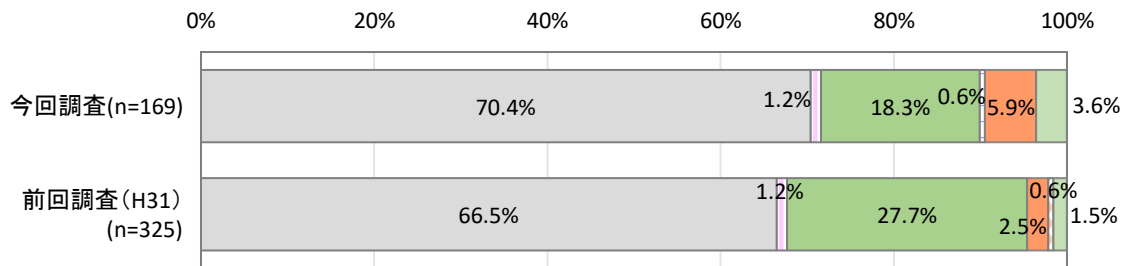
【母親（就学前児童保護者）】



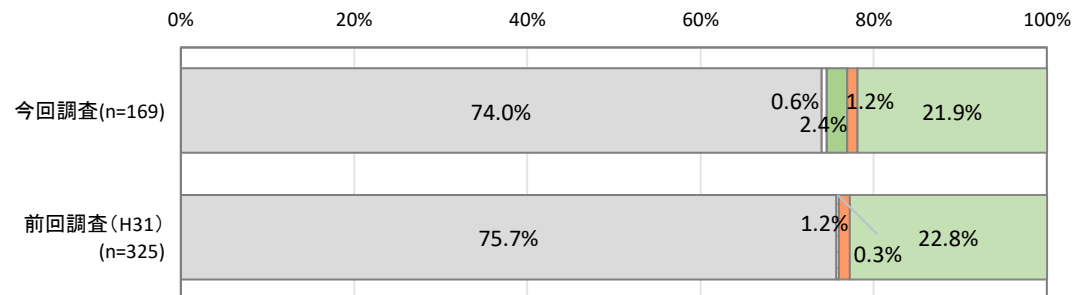
【父親（就学前児童保護者）】



【母親（小学校児童保護者）】



【父親（小学校児童保護者）】



②フルタイムへの転換希望【就学前児童保護者：問13-1（P52）、小学校児童保護者：問11（P108）】

※就学前児童保護者の問12、小学校児童保護者の問10で「パート・アルバイト等」で就労している人に限定した設問。

《母親のフルタイムへの転換希望》

就学前児童保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が59.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が25.0%と続く。

小学校児童保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が65.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が21.9%と続く。

《父親のフルタイムへの転換希望》

就学前児童保護者では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件。

③就労していない人の就労希望【就学前児童保護者：問14（P53）、小学校児童保護者：問12（P109）】

※就学前児童保護者の問12、小学校児童保護者の問10で未就労（「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」）と回答した人に限定した設問。

《未就労の母親の就労希望等》

就学前児童保護者では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が50.0%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」の割合が28.6%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が14.3%と続く。

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか」の年齢の内訳は、「3歳以下」の割合が50.0%と最も高く、「4～6歳」が25.0%。

小学校児童保護者では、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が60.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が30.0%と続く。

（課題）

「フルタイム」「パート・アルバイト等」で就労する保護者は増加しており、就学前児童保護者では、母親の今後の就労を希望する人が多くなっているなど、母親における就労移行は高まっています。今後も共働きや保育ニーズの多様化等により一時預かり事業等の需要が見込まれますが、少子化に伴い利用児童数が減少することも予想されることから、地域ごとや動向も見据えて、保育・教育ニーズの変化に柔軟に対応していくことが必要です。

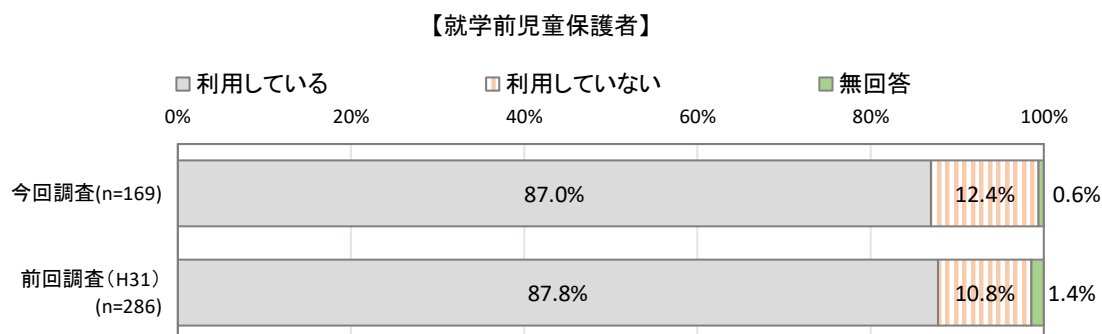
(3) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

- ・ 定期的な教育・保育事業について、「利用している」人が87.0%で、「利用していない」人は12.4%。前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。
- ・ 定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が89.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が74.1%と高い。
- ・ 定期的に利用したい教育・保育事業は、「認可保育所（保育園）」が78.1%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が20.1%、「幼稚園」の割合が12.4%となっている。

①「定期的な教育・保育事業」の利用の有無【就学前児童保護者：問15（P55）】

「利用している」の割合が87.0%、「利用していない」の割合が12.4%。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

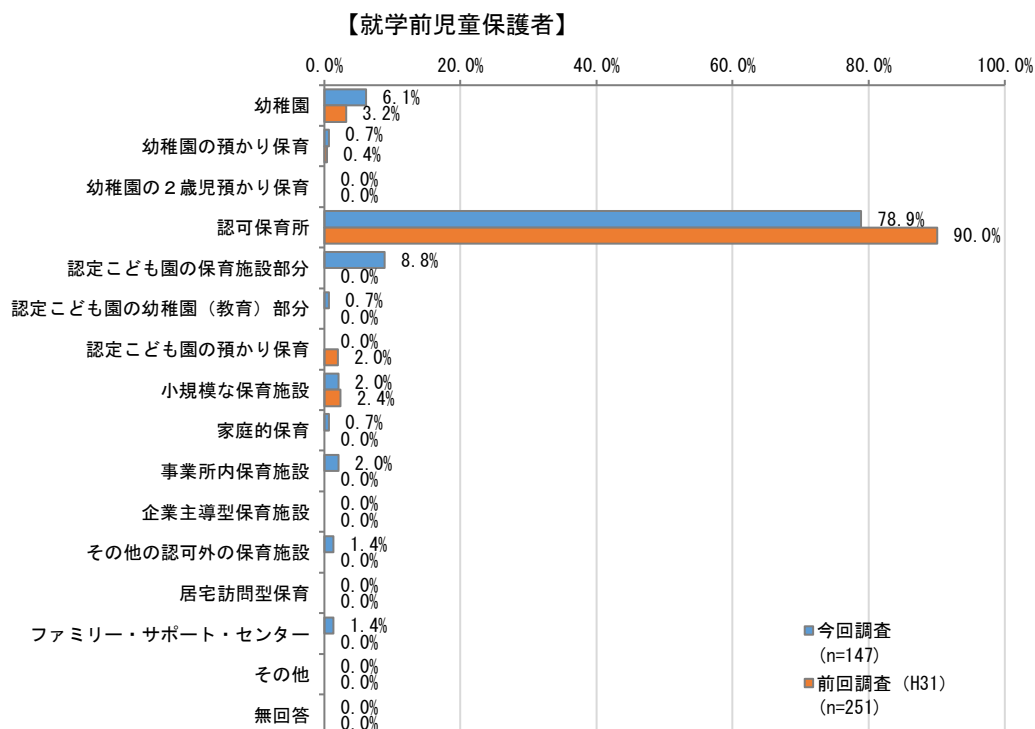


②年間を通じて「定期的に」利用している事業【就学前児童保護者：問15-1（P55）】※複数回答

※問15で「定期的な教育・保育事業を利用している」と回答した人に限定した設問。

「認可保育所」の割合が78.9%と最も高く、次いで「認定こども園の保育施設部分」の割合が8.8%、「幼稚園」の割合が6.1%と続く。

前回調査と比較すると、「認可保育所」の割合が11.1ポイント減少している。



③平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由

【就学前児童保護者：問15-4（P58）】※複数回答

※問15で「定期的な教育・保育事業を利用している」と回答した人に限定した設問。

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が89.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が74.1%と続く。

④平日の教育・保育事業の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業

【就学前児童保護者：問16（P59）】※複数回答

「認可保育所（保育園）」の割合が78.1%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が20.1%、「幼稚園」の割合が12.4%と続く。

（課題）

保育施設の整備が進み、約8割が認可保育所などの教育・保育事業を利用していますが、そうした事業を利用していない方における子育てに対する育児疲れや孤独感などの不安解消に向けた支援やアプローチが重要です。子どもの発育・発達には、身近な大人の応答的かつ積極的な関わりが重要であるため、引き続き、すべての子育て家庭が利用でき、育児不安を相談できる利用者支援事業をはじめとした本町が実施する各種事業など、さまざまなサービスの充実を図っていくことが重要です。

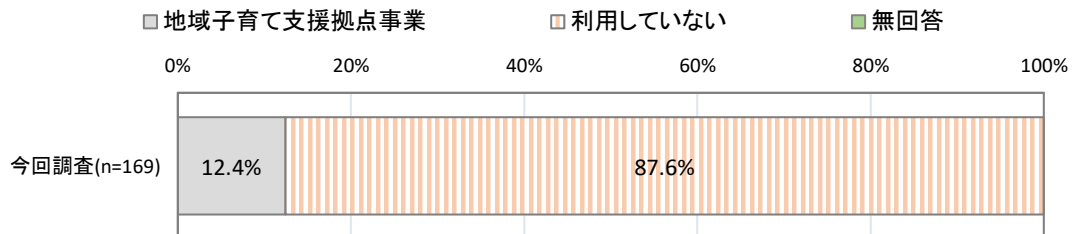
(4) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況

- ・「子育て支援センター」「つどいの広場」など地域子育て支援拠点事業を利用している人は回答者全体の12.4%だが、「利用していないが、今後利用したい」が22.5%となっており、潜在的なニーズがみられる。
- ・今後の事業の利用意向については、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」59.2%が最も高く、次いで「子育て支援センター」が56.2%、「親子教室等」が50.3%と、今後利用したい人の割合が高くなっている。

①利用している地域子育て支援拠点事業（「つどいの広場」）【就学前児童保護者：問17（P61）】

「利用していない」の割合が87.6%、「地域子育て支援拠点事業」の割合が12.4%。

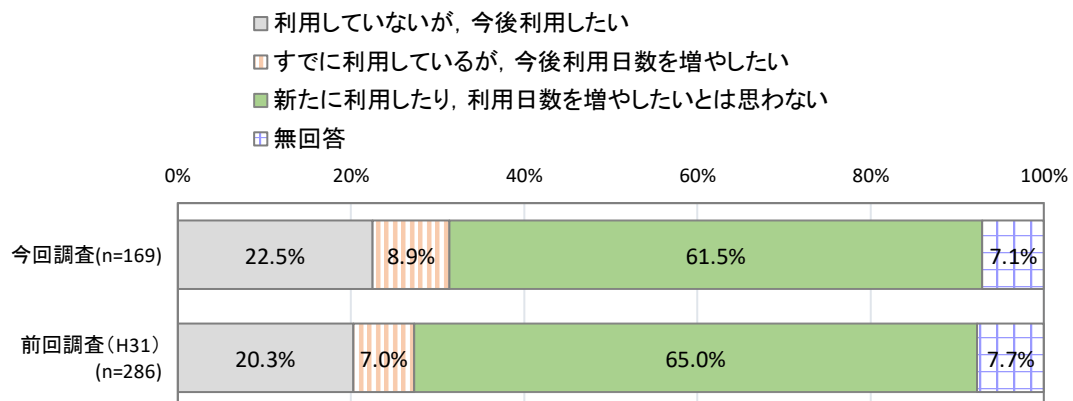
【就学前児童保護者】



②地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向【就学前児童保護者：問18（P62）】

「新たに利用したいとは思わない、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が61.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が22.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が8.9%と続く。

【就学前児童保護者】



③子育て支援事業の今後の利用意向【就学前児童保護者：問19（P64）】

《事業の認知度》

「子育て支援センター」が89.3%、「子育ての総合相談窓口」が62.7%、「保健センターで行われる相談事業」が53.3%と認知度が高くなっている。

一方、「家庭教育に関する学級・講座」で知らない人の割合が高くなっている。

《事業の利用経験》

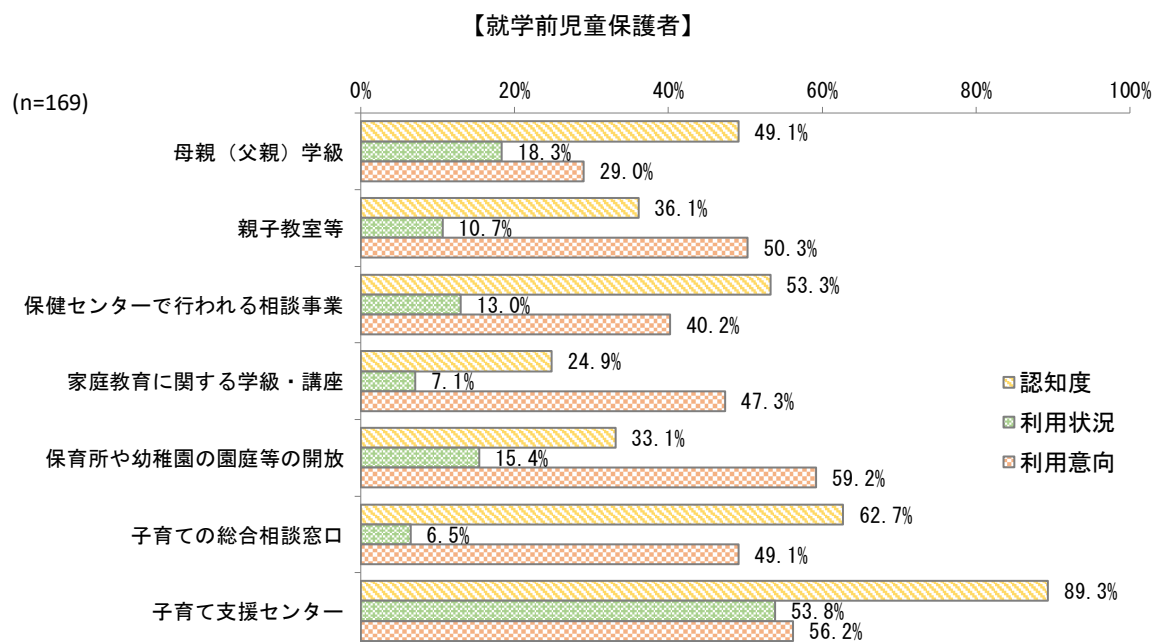
「子育て支援センター」が53.8%、「母親（父親）学級」が18.3%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が15.4%と利用したことがある人の割合が高くなっている。

一方、「子育ての総合相談窓口」を利用したことがない人の割合が6.5%となっている。

《事業の利用意向》

「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が59.2%、「子育て支援センター」が56.2%、「親子教室等」が50.3%と今後利用したい人の割合が高くなっている。

一方、「母親（父親）学級」で利用意向がない人の割合が約3割と高くなっている。



（課題）

本町では、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助に努め、地域の子育て支援機能の充実、子育ての不安感の緩和等を図り、子どもの健やかな育ちを支援しています。地域子育て支援拠点事業の利用者は約1割に留まっていることや、本町の現状として、利用者の固定化による新規の用者の減少や子育てニーズが多様化していることなどを踏まえ、一人一人のニーズや相談内容に柔軟に対応していくことが求められます。

(5) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

- ・「定期的」な教育・保育事業の利用希望は、土曜日に「ほぼ毎週利用したい」が25.4%、日曜・祝日の「月に1回～2回は利用したい」が26.6%と前回調査と比較していずれも増加しています。幼稚園等の長期休暇中に「休みの期間中、週に数日利用したい」が43.1%など、土日・休日等の「定期的な」教育・保育事業に対して、潜在的なニーズがあることがうかがえる。

①土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

【就学前児童保護者：問20（P65）】

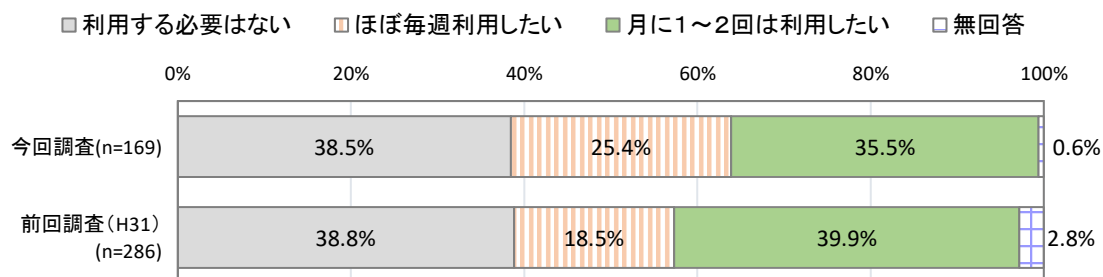
《土曜日の利用希望》

「利用する必要はない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が35.5%「ほぼ毎週利用したい」の割合が25.4%と続く。

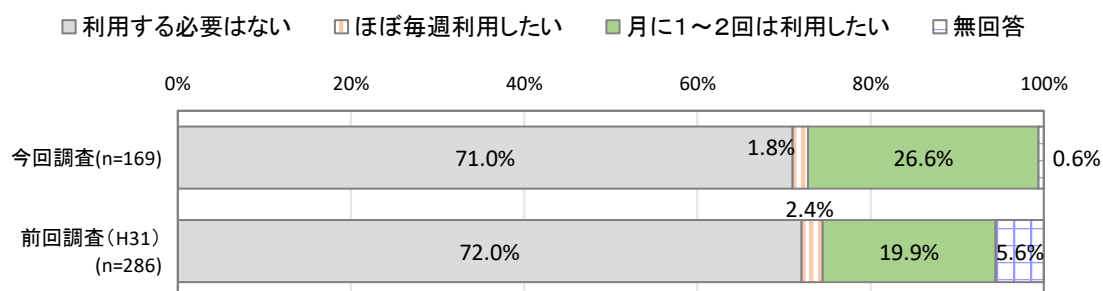
《日曜・祝日の利用希望》

「利用する必要はない」の割合が71.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が26.6%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が1.8%と続く。

【土曜・休日（就学前児童保護者）】



【日曜・祝日（就学前児童保護者）】



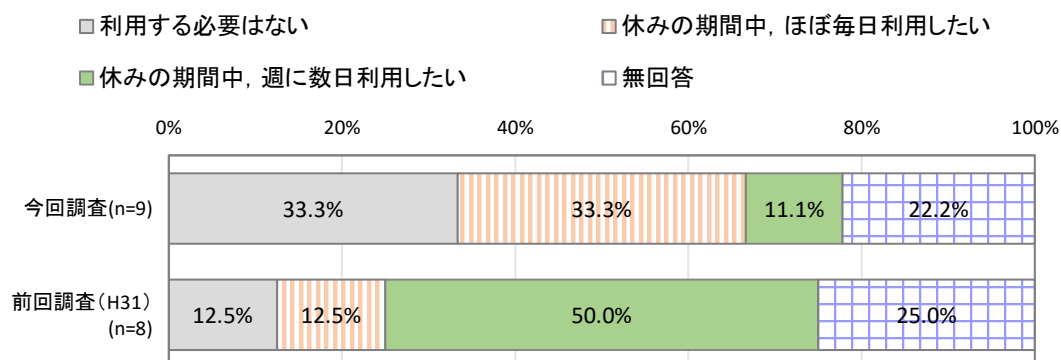
②幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

【就学前児童保護者：問21（P67）】※複数回答

※幼稚園を利用している人に限定した設問。

長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「利用する必要はない」、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合がいずれも33.3%と最も高くなっている。

【長期休暇中（就学前児童保護者）】



（課題）

土曜日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望については、約4割の人が「利用したい」と回答しており、潜在的なニーズがあることがうかがえます。引き続き、休日に保育を提供することで、様々な就労形態の中にあっても就労と育児の両立ができる環境の整備に努めるとともに、事業の周知・啓発を行うことが必要です。

(6) お子さんの病気の際の対応

- ・お子さんの病気やケガで教育・保育等の事業が利用できなかった経験がある人について、就学前児童保護者は66.3%、小学校児童保護者は79.3%。
- ・その際の対処法として、就学前児童保護者では95.5%が「母親が休んだ」、44.6%が「親族・知人に子どもをみてもらった」としており、小学校児童保護者では76.1%が「母親が休んだ」、37.3%が「親族・知人に子どもをみてもらった」となっている。
- ・就学前児童保護者の29.4%が「できれば病児・病後児保育を利用したい」と回答している。

①お子さんが病気やケガで教育・保育等の事業が利用できなかった経験

【就学前児童保護者：問22（P68）、小学校児童保護者：問17（P118）】

就学前児童保護者では、「あった」が66.3%、「なかった」が19.5%。

小学校児童保護者では、「あった」が79.3%、「なかった」が18.9%。

②お子さんが病気やケガで教育・保育等の事業が利用できなかった場合の対処法

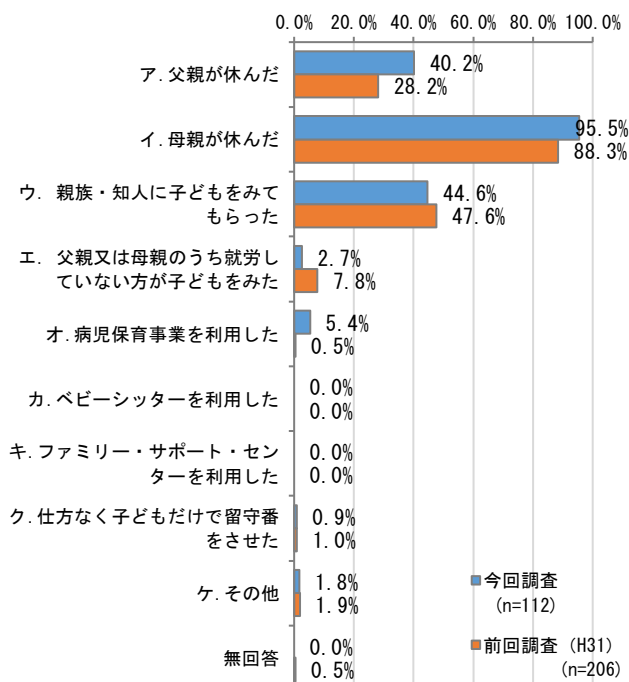
【就学前児童保護者：問22-1（P69）、小学校児童保護者：問18（P118）】※複数回答

※就学前児童保護者の問22、小学校児童保護者の問17で「あった」と回答した人に限定した設問。

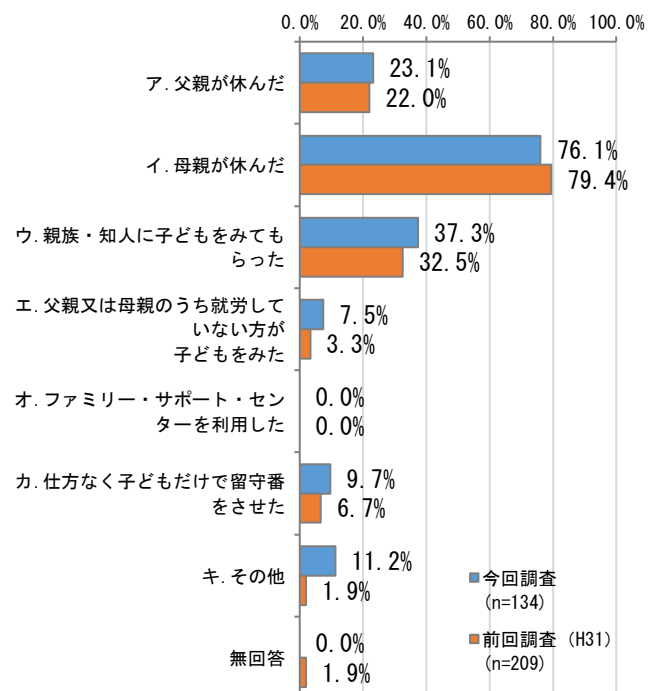
就学前児童保護者では、「母親が休んだ」の割合が95.5%と最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が44.6%、「父親が休んだ」の割合が40.2%と続く。前回調査と比較すると、「母親が休んだ」「父親が休んだ」の割合がいずれも増加している。

小学校児童保護者では、「母親が休んだ」の割合が76.1%と最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が37.3%、「父親が休んだ」の割合が23.1%と続く。

【就学前児童保護者】



【小学校児童保護者】



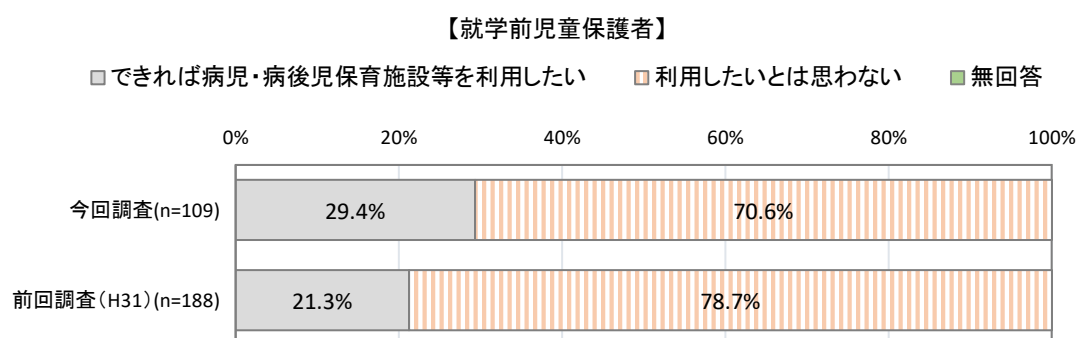
③病児・病後児保育施設等の利用意向

【就学前児童保護者：問22-2（P71）】

※就学前児童保護者の問22-1で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」と回答した人に限定した設問。

就学前児童保護者では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が29.4%、「利用したいとは思わない」の割合が70.6%。

前回調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が8.1ポイント増加している。



（課題）

就学前児童保護者調査では、子どもが病気・けがをした際の対応において、母親・父親が休んで対応することが前回調査と比較して多くなっていますが、約3割の病児・病後児保育施設等の利用意向があることがうかがえます。就労形態やワークライフバランスの多様化している中、急な体調不良にも対応できるよう、病児・病後児保育をより利用しやすい環境の整備を行う必要があります。

(7) 「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

- ・一時預かりについて、就学前児童保護者の30.8%が今後、「利用したい」と回答している。利用したい目的としては、「私用、リフレッシュ目的」が53.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が50.0%、「不定期の就労」が36.5%となっている。

①私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業

【就学前児童保護者：問23（P75）】※複数回答

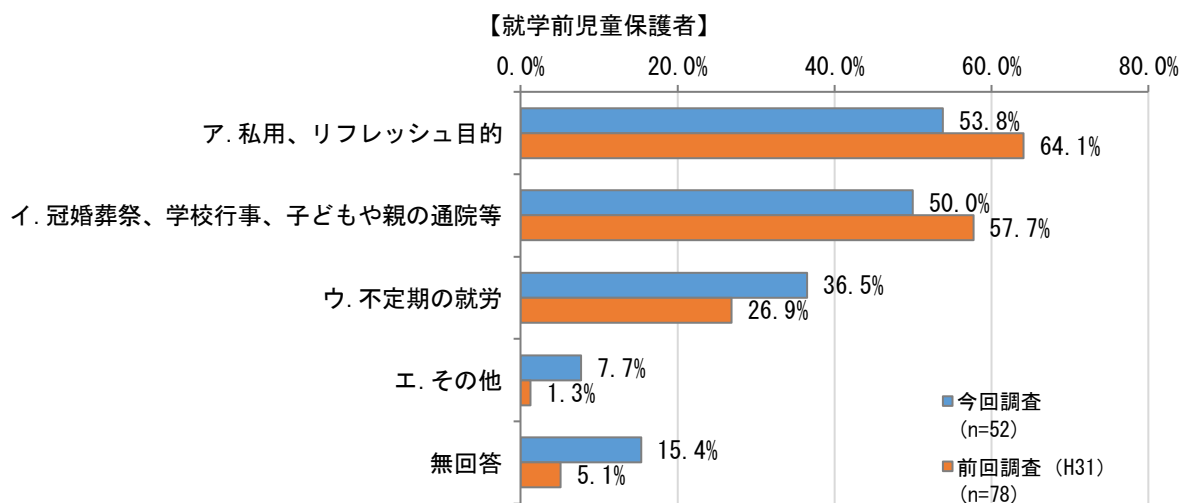
就学前児童保護者では、「利用していない」の割合が88.8%と最も高く、次いで「一時預かり」の割合が1.2%と続く。

②不定期の教育・保育事業の利用意向【就学前児童保護者：問24（P76）】※複数回答

就学前児童保護者では、「利用したい」が30.8%、「利用する必要はない」が63.3%。

「利用したい」理由（複数回答）としては、「私用、リフレッシュ目的」の割合が53.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」の割合が50.0%、「不定期の就労」の割合が36.5%と続く。

前回調査と比較すると、「不定期の就労」の割合が増加している。



(課題)

不定期の教育・保育事業を利用していない人は約9割を占めていますが、今後の利用希望については約3割の人が「利用したい」としています。子育ての負担感を軽減し、子育てに喜びや生きがいを感じることができるよう、親のレスパイトケア（一時的な休息）の観点からも子育て支援環境を充実させ、既存の子育て支援事業について周知していくことが重要です。

(8) 小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・就学前児童保護者では、小学校低学年（１～３年生）のうちに放課後を過ごさせたい場所として「自宅」が52.7%、「放課後児童クラブ」が45.5%としており、前回調査と比較すると、「自宅」、「放課後児童クラブ」の割合がいずれも増加している。また、小学校高学年（４～６年生）になった時は「習い事」が38.2%と低学年と比較して高くなっている。前回調査と比較すると「放課後児童クラブ」の割合が5.2ポイント増加しており、利用ニーズが高くなっていることがうかがえる。
- ・「放課後児童クラブ（学童保育）」に対する利用意向を持った保護者の土曜・休日や長期休暇中の利用意向をみると、「利用する必要はない」が高くなっている。
- ・小学校児童保護者では、59.2%の保護者の子どもが放課後に「自宅」で過ごさせたいとしている。

※就学前児童保護者では、5歳以上の子どもに限定した設問。

①小学校低学年（１～３年生）のうちの放課後子どもを過ごさせたい場所等

【就学前児童保護者：問26（P80）、小学校児童保護者：問13（P111）】※複数回答

就学前児童保護者では、「自宅」の割合が52.7%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ」の割合が45.5%、「習い事」の割合が27.3%と続く。

前回調査と比較すると、「自宅」「放課後児童クラブ」の割合が増加している。

小学校児童保護者では、「自宅」の割合が59.2%と最も高く、次いで「習い事」の割合が34.3%、「放課後児童クラブ」の割合が30.2%と続く。

②小学校高学年（４～６年生）になった時に放課後子どもを過ごさせたい場所等

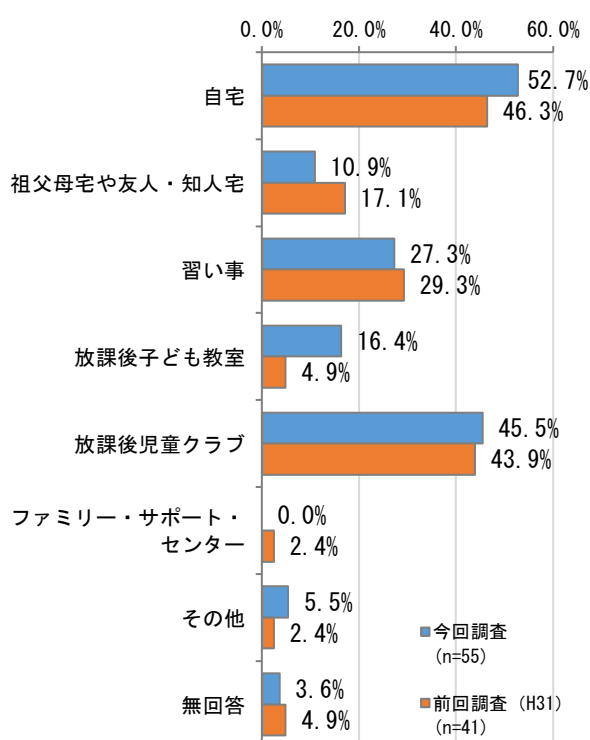
【就学前児童保護者：問27（P82）、小学校児童保護者：問14（P113）】※複数回答

就学前児童保護者では、「自宅」の割合が65.5%と最も高く、次いで「習い事」の割合が38.2%、「放課後児童クラブ」の割合が34.5%と続く。

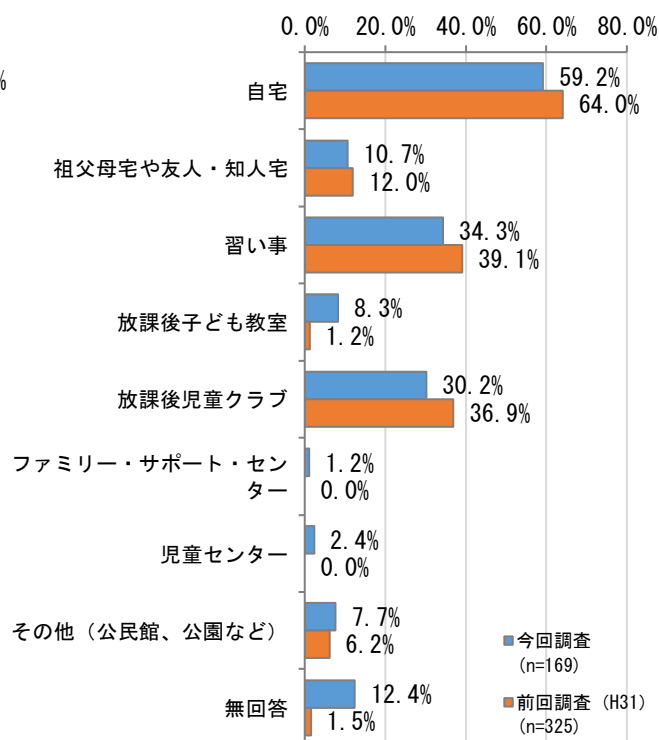
前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ」の割合が5.2ポイント増加している。

小学校児童保護者では、「自宅」の割合が66.9%と最も高く、次いで「習い事」の割合が40.8%、「放課後児童クラブ」の割合が21.3%と続く。

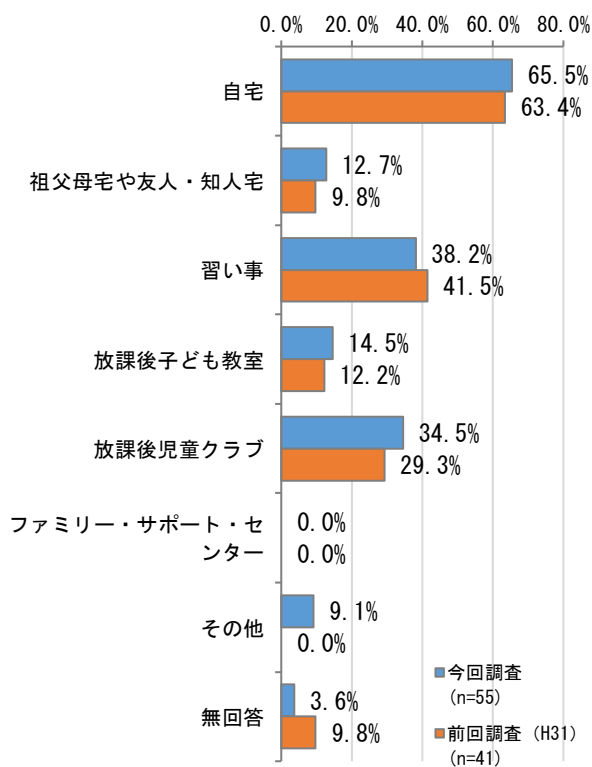
【小学校低学年（就学前児童保護者）】



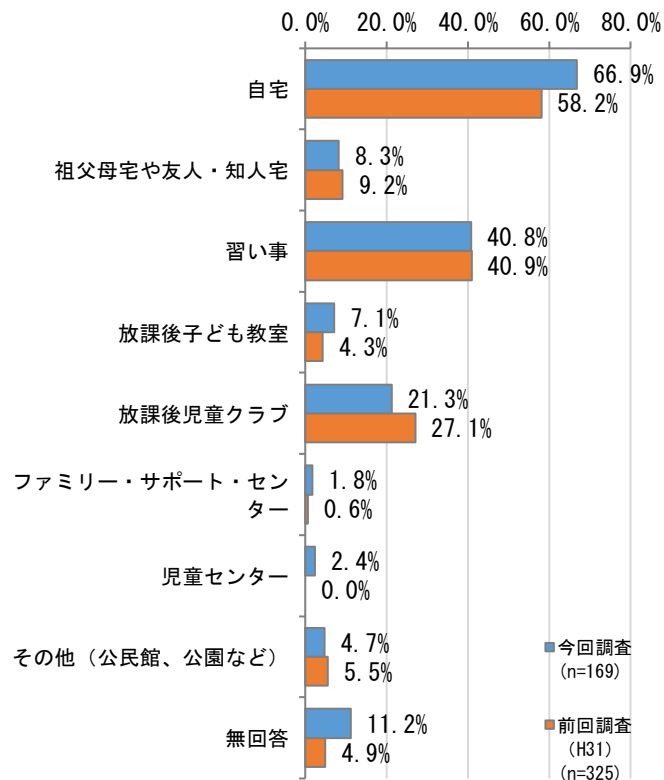
【小学校低学年（小学校児童保護者）】



【小学校高学年（就学前児童保護者）】



【小学校高学年（小学校児童保護者）】



④土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向

【就学前児童保護者：問28（P84）、小学校児童保護者：問15（P115）】

※就学前児童保護者：問26または問27、小学校児童保護者：問13または問14で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した人に限定した設問。

《土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向》

就学前児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が34.6%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が26.9%と続く。

小学校児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が44.6%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合がいずれも26.8%と続く。

《日曜・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向》

就学前児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が88.5%と最も高くなっている。

小学校児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が64.3%と最も高くなっている。

（課題）

子どもの放課後等の居場所において、放課後児童クラブ等の運営の在り方の検討も含め、子どもの安全かつ安心な居場所を確保していくことが必要です。また、国の「新・放課後子ども総合プラン」、「放課後児童対策パッケージ」に基づき、放課後子ども教室と放課後児童クラブの関係者が情報共有を図るなど、連携した放課後子ども対策に取り組むことが必要です。

(9) 子育て支援対策の全般について

- ・ 山都町の子育ての環境や支援への満足度について、就学前児童保護者では「満足度が普通」が37.9%と最も高く、次いで「満足度がやや高い」が25.4%、「満足度がやや低い」が8.3%と続く。『満足度が高い』（「満足度がやや高い」＋「満足度が高い」）は、32.5%となっている。小学校児童保護者では「満足度が普通」が42.6%と最も高く、次いで「満足度が低い」が19.5%、「満足度がやや低い」が18.3%と続く。『満足度が高い』（「満足度がやや高い」＋「満足度が高い」）は、13.6%となっている。

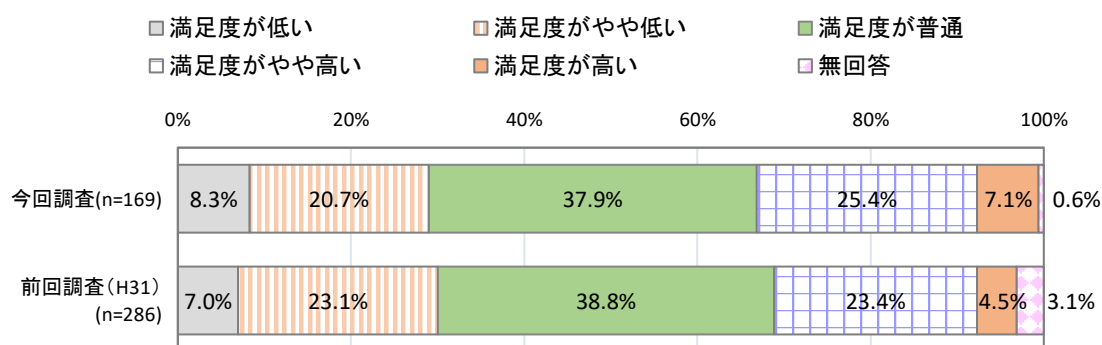
①山都町の子育ての環境や支援への満足度

【就学前児童保護者：問31（P98）、小学校児童保護者：問19（P122）】

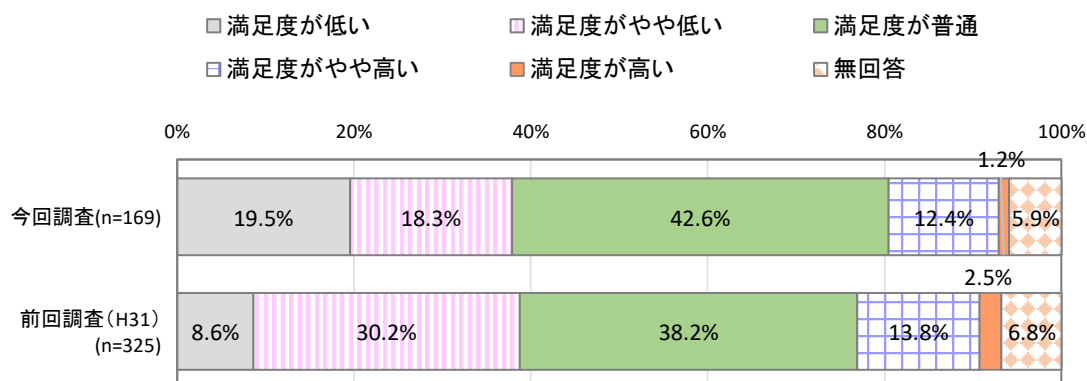
就学前児童保護者では、「満足度が普通」が37.9%と最も高く、次いで「満足度がやや高い」が25.4%、「満足度がやや低い」が8.3%と続く。

小学校児童保護者では、「満足度が普通」が42.6%と最も高く、次いで「満足度が低い」が19.5%、「満足度がやや低い」が18.3%と続く。

【就学前児童保護者】



【小学校児童保護者】



(課題)

本町では利用者支援事業等において、育児に不安や悩みを抱える保護者が気軽に相談できる窓口の充実に向けて取り組んでいます。引き続き、包括的な子育て家庭支援体制構築のため、こども家庭センターの機能強化を図り、親の育児不安や負担を軽減・解消し、すべての子育て家庭が地域で安心して子育てをすることができるようにする必要があります。

2 小学4年生保護者・中学1年生保護者

(1) 保護者の状況

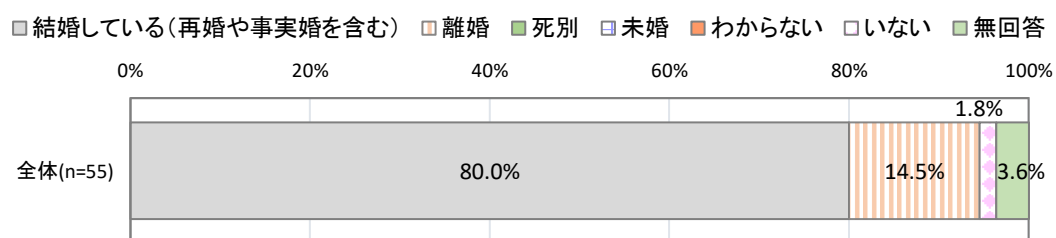
①お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況

【小学4年生保護者：問6（P128）、中学1年生保護者：問6（P146）】

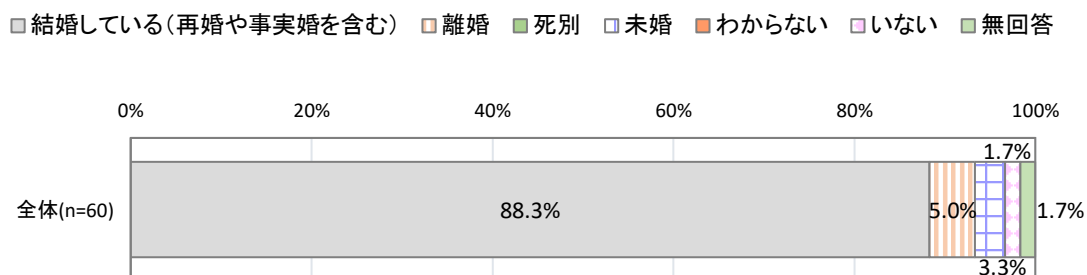
小学4年生保護者では「結婚している（再婚や事実婚を含む）」の割合が80.0%と最も高く、次いで「離婚」の割合が14.5%と続く。

中学1年生保護者では「結婚している（再婚や事実婚を含む）」の割合が88.3%と最も高く、次いで「離婚」の割合が5.0%と続く。

【小学4年生保護者】



【中学1年生保護者】



②お子さんの親の就労状況【小学4年生保護者：問10（P131）、中学1年生保護者：問10（P149）】

《母親》

小学4年生保護者では「正社員・正規職員・会社役員」の割合が50.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が23.6%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」の割合が14.5%と続く。

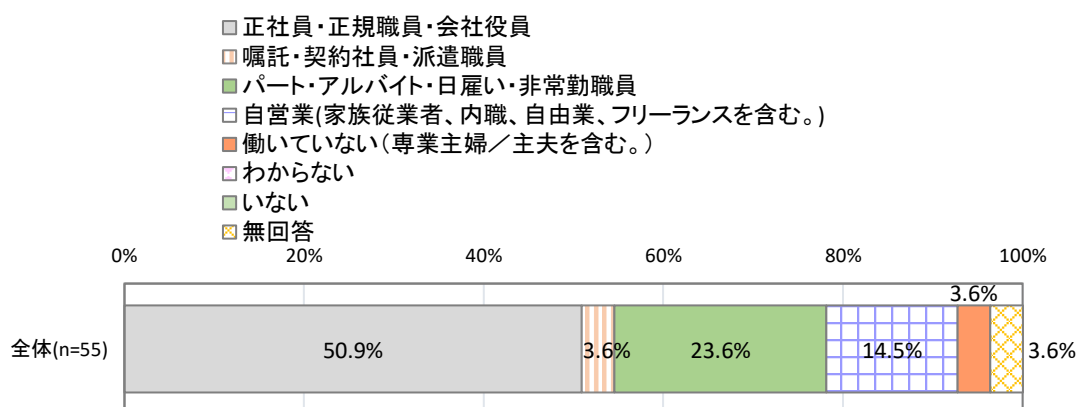
中学1年生保護者では「正社員・正規職員・会社役員」の割合が43.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が26.7%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」の割合が16.7%と続く。

《父親》

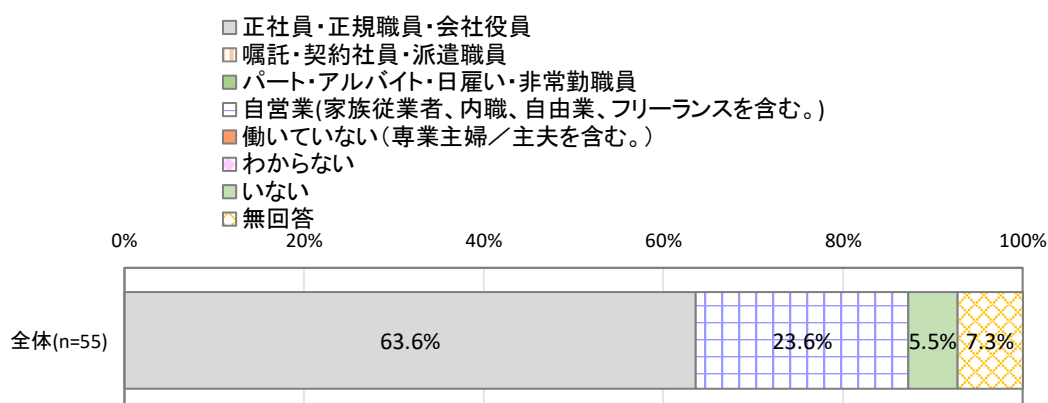
小学4年生保護者では「正社員・正規職員・会社役員」の割合が63.6%と最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」の割合が23.6%、「いない」の割合が5.5%と続く。

中学1年生保護者では「正社員・正規職員・会社役員」の割合が55.0%と最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」の割合が30.0%、「いない」の割合が5.0%と続く。

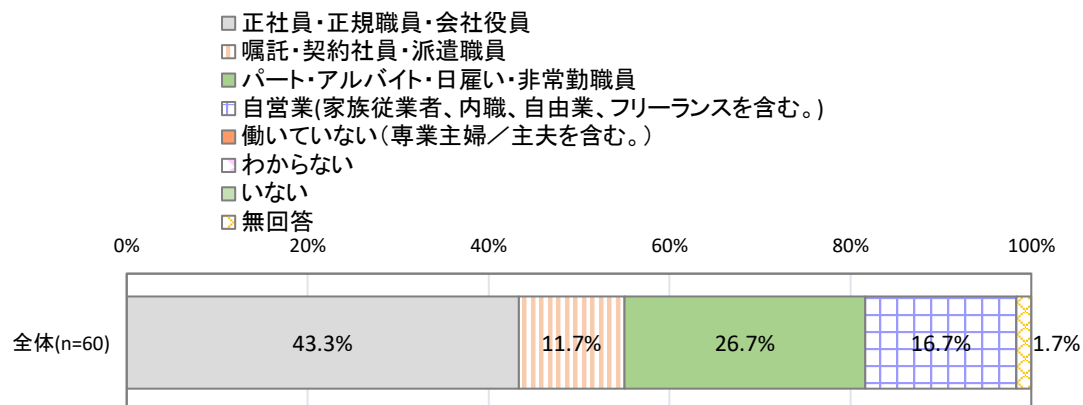
【小学4年生保護者 母親】



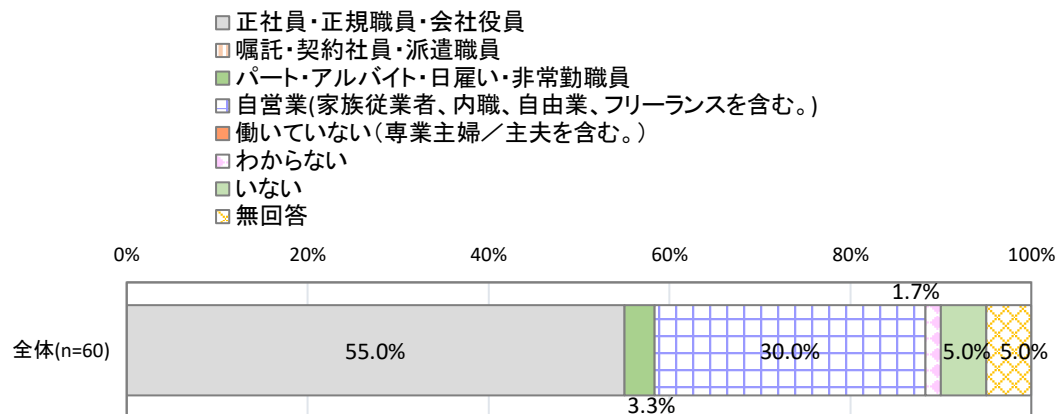
【小学4年生保護者 父親】



【中学1年生保護者 母親】



【中学1年生保護者 父親】



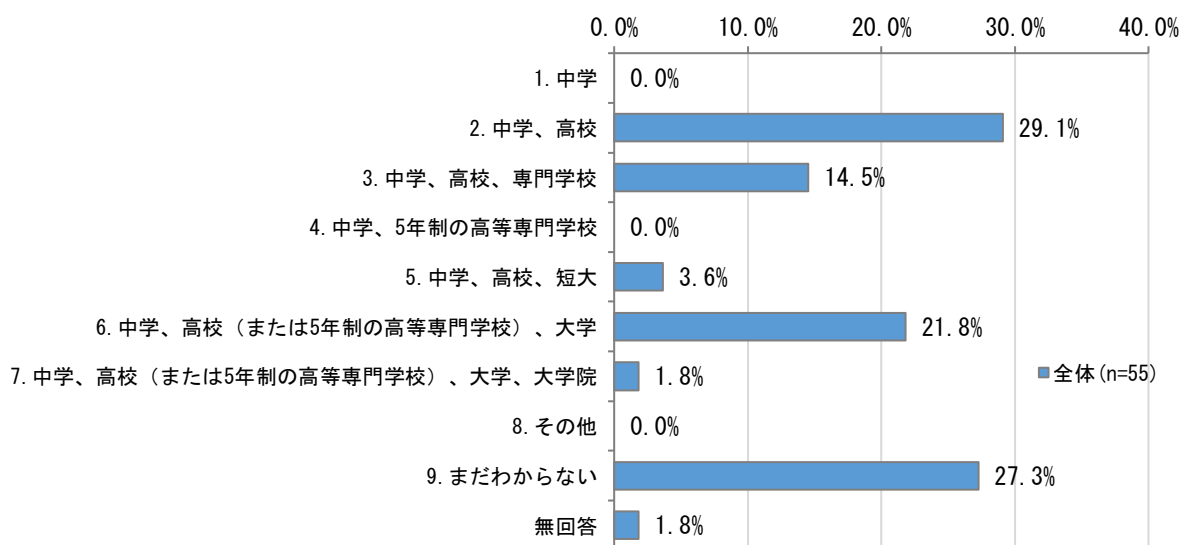
(2) 現実的にみたお子さんの進学先

【小学4年生保護者：問16（P135）. 中学1年生保護者：問16（P152）】

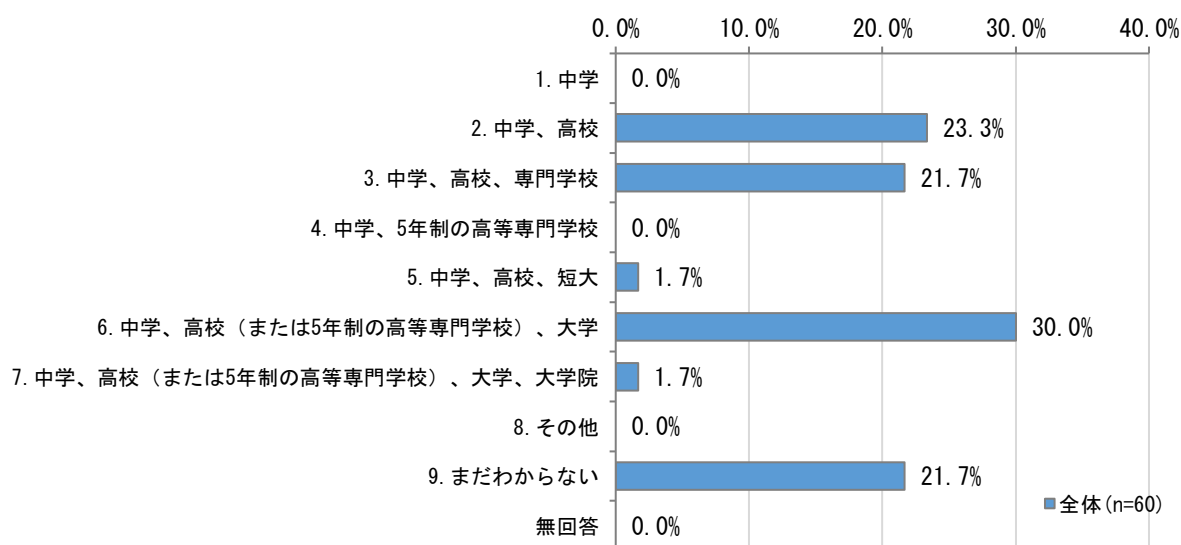
小学4年生保護者では、「中学、高校」の割合が29.1%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が27.3%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」の割合が21.8%と続く。

中学1年生保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」の割合が30.0%と最も高く、次いで「中学、高校」の割合が23.3%、「中学、高校、専門学校」の割合が21.7%と続く。

【小学4年生保護者】



【中学1年生保護者】



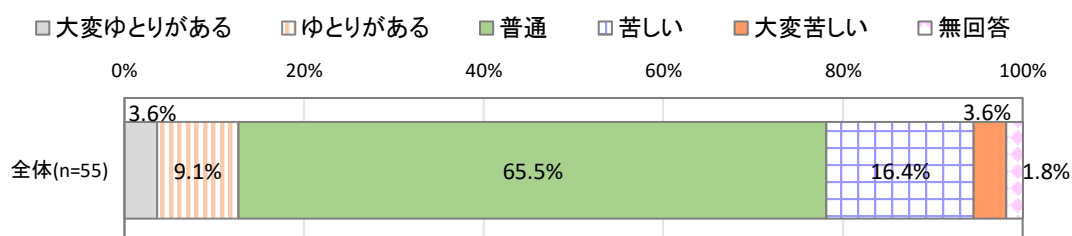
(3) 現在の暮らしの状況

【小学4年生保護者：問19（P137）、中学1年生保護者：問19（P154）】

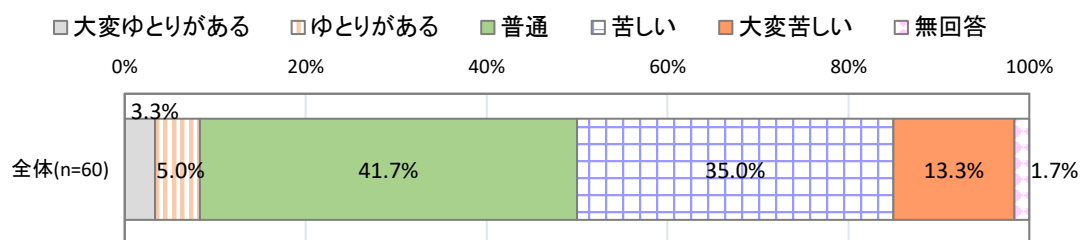
小学4年生保護者では、「普通」の割合が65.5%と最も高くなっている。『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」）と回答した人の割合は全体で12.7%である一方、『苦しい』（「苦しい」＋「大変苦しい」）と回答した人の割合は全体で20.0%を占めている。

中学1年生保護者では、「普通」の割合が41.7%と最も高くなっている。『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」）と回答した人の割合は全体で8.3%である一方、『苦しい』（「苦しい」＋「大変苦しい」）と回答した人の割合は全体で48.3%となっている。

【小学4年生保護者】



【中学1年生保護者】

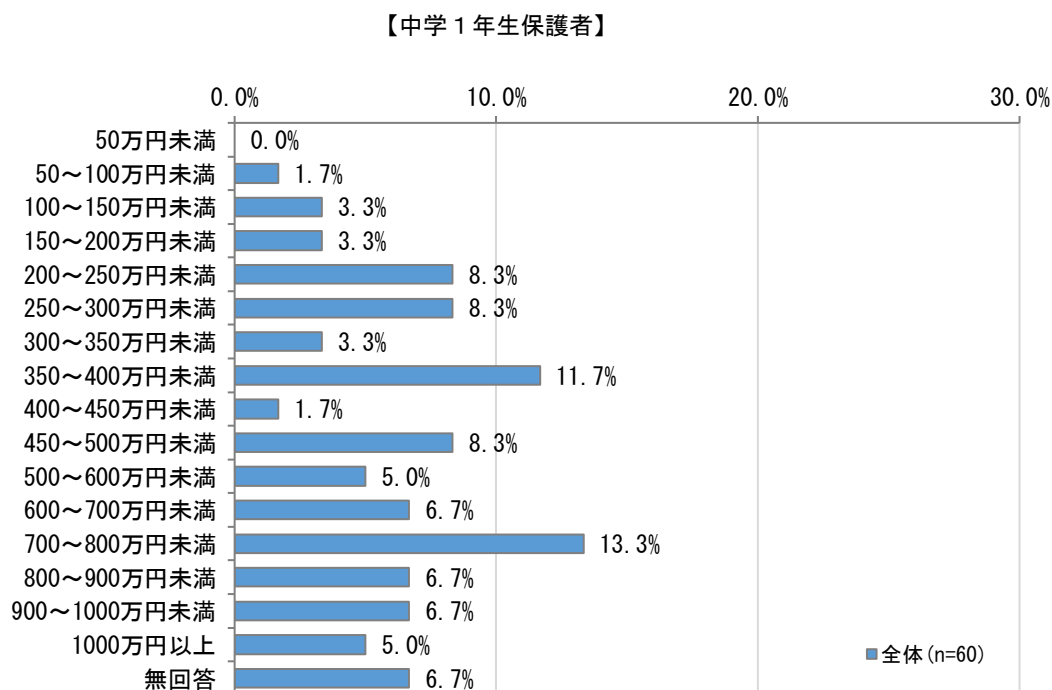
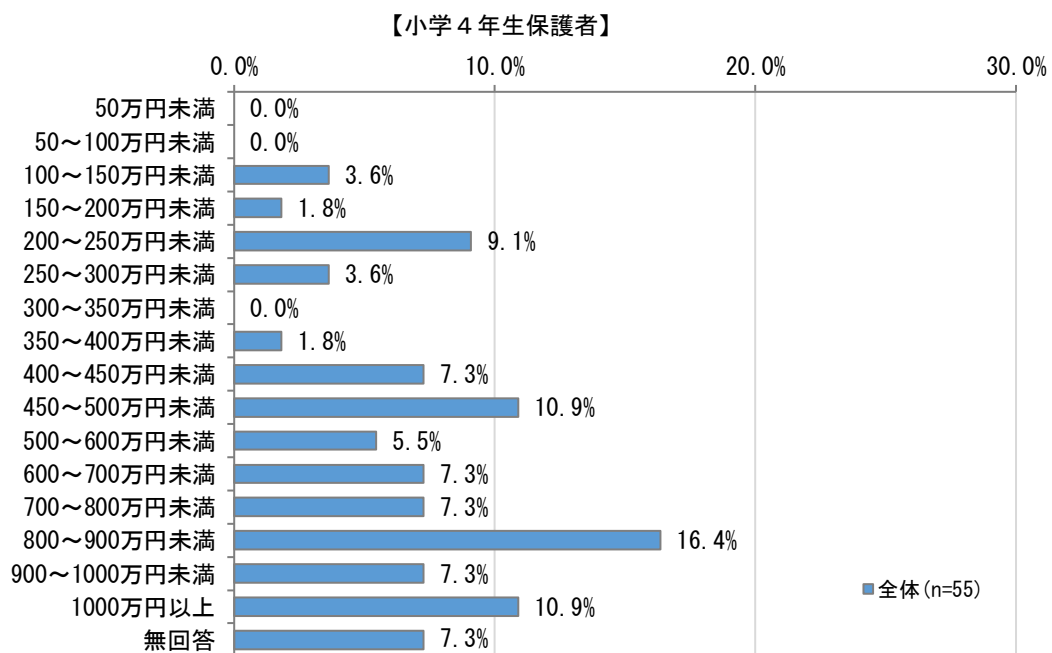


（４）世帯全体のおおよその年間収入

【小学４年生保護者：問20（P137）、中学１年生保護者：問20（P154）】

小学４年生保護者では、「800～900万円未満」の割合が16.4%と最も高く、次いで「450～500万円未満」、「1000万円以上」の割合がいずれも10.9%、「200～250万円未満」の割合が9.1%と続く。

中学１年生保護者では、「700～800万円未満」の割合が13.3%と最も高く、次いで「350～400万円未満」の割合が11.7%、「200～250万円未満」、「250～300万円未満」、「450～500万円未満」がいずれも8.3%と続く。



(5) 過去1年間の経験

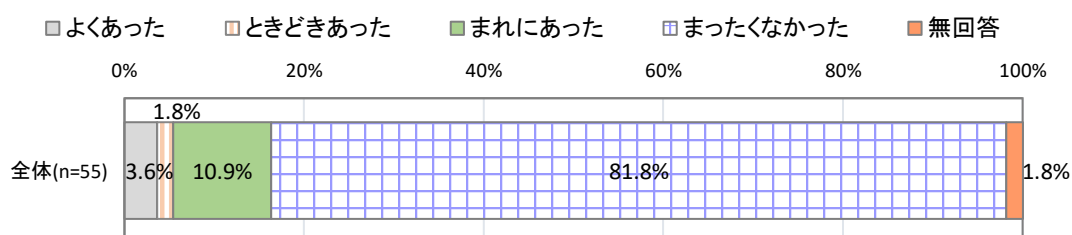
①家族が必要とする食料が買えなかった経験

【小学4年生保護者：問21（P138）、中学1年生保護者：問21（P155）】

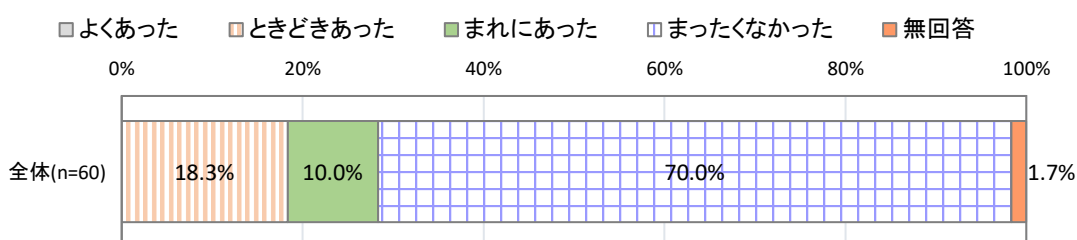
小学4年生保護者では、「まったくなかった」の割合が81.8%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が10.9%と続く。

中学1年生保護者では、「まったくなかった」の割合が70.0%と最も高く、次いで「よくあった」の割合が18.3%と続く。

【小学4年生保護者】



【中学1年生保護者】



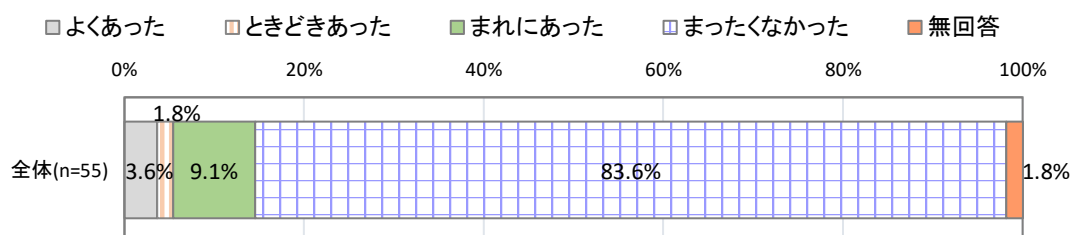
②家族が必要とする衣服が買えなかった経験

【小学4年生保護者：問22（P138）、中学1年生保護者：問22（P155）】

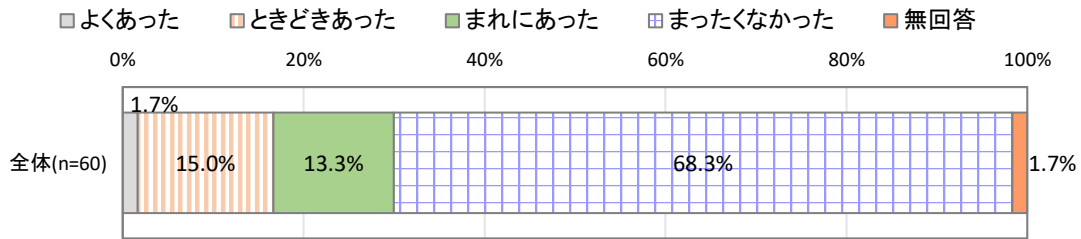
小学4年生保護者では、「まったくなかった」の割合が83.6%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が9.1%、「よくあった」の割合が3.6%と続く。

中学1年生保護者では、「まったくなかった」の割合が68.3%と最も高く、次いで「よくあった」の割合が15.0%、「まれにあった」の割合が13.3%と続く。

【小学4年生保護者】



【中学 1 年生保護者】



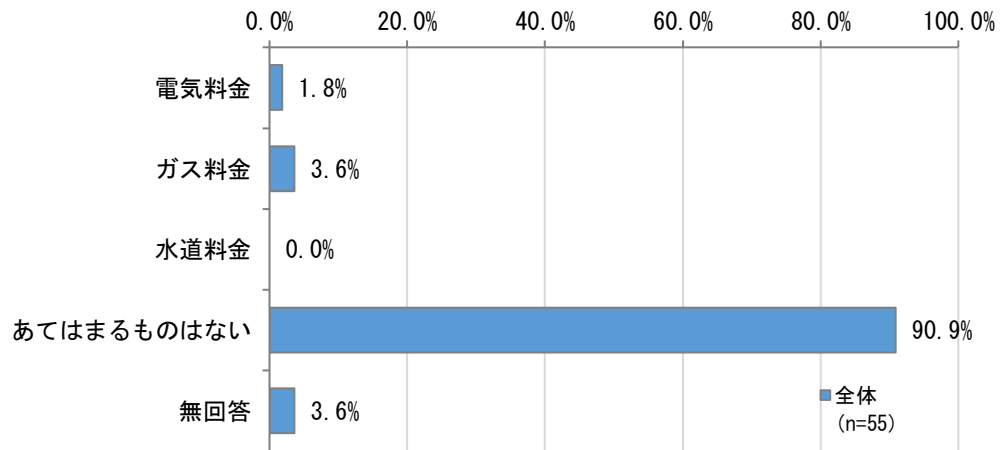
③公共料金について、経済的な理由で未払いになった経験

【小学 4 年生保護者：問23（P139）、中学 1 年生保護者：問23（P156）】

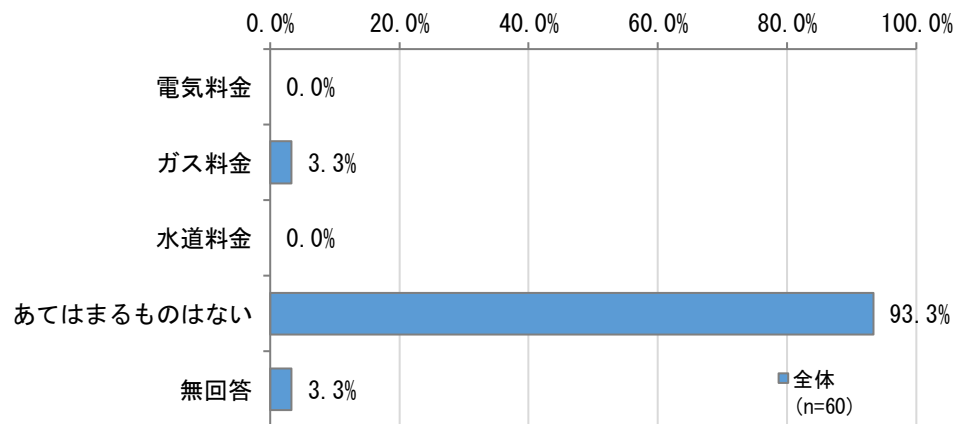
小学 4 年生保護者では、「あてはまるものはない」を除き、「電気料金」が1.8%、「ガス料金」が3.6%。

中学 1 年生保護者では、「あてはまるものはない」を除き、「ガス料金」が3.3%。

【小学 4 年生保護者】



【中学 1 年生保護者】



(課題)

- ・婚姻状況については、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」の割合が、小学4年生保護者では80.0%、中学1年生保護者では88.3%、「ひとり親」（「離婚」「死別」「未婚」）の割合が、小学4年生保護者では14.5%、中学1年生保護者では8.3%となっている。
- ・現在の暮らしの状況について、小学4年生保護者では約2割、中学1年生保護者では約5割の保護者が「苦しい」（「苦しい」と「大変苦しい」の合計）としている。
- ・必要な食料や衣料が買えなかった経験や公共料金が未払いになった経験がある保護者が一定数いる。

⇒生活上の経済的困窮については、生活の選択肢を狭め、ゆとりを失わせるなど、保護者の精神的にも大きな影響を与えることにつながります。全ての家庭が安心して子育てができる環境を整えるため、生活の安定のための経済的支援や自立に向けた就労支援、多様な保育・教育ニーズへの対応、育児の不安や負担感を軽減するための養育支援等が重要となります。

3 小学4年生・中学1年生

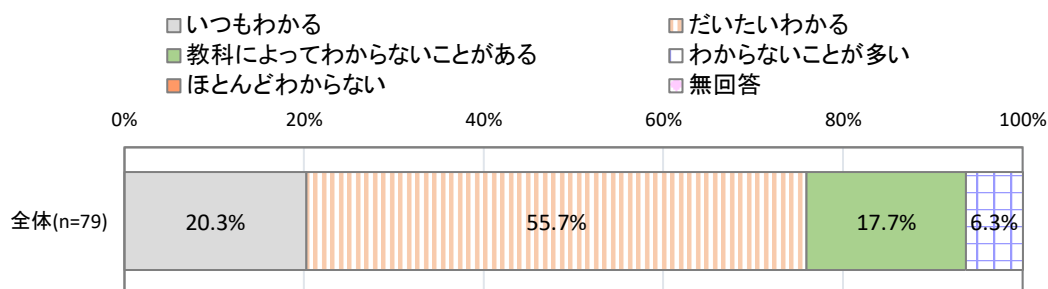
(1) 学校の授業の理解度

①学校の授業でわからないことの有無【小学4年生：問6（P162）、中学1年生：問6（P172）】

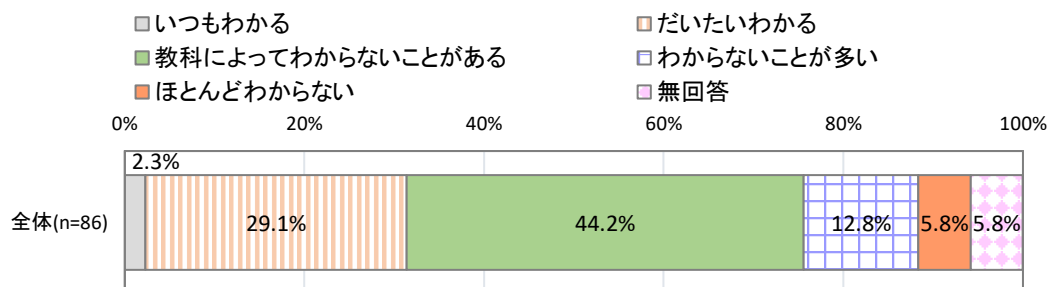
小学4年生では「だいたいわかる」の割合が55.7%と最も高く、次いで「いつもわかる」の割合が20.3%、「教科によってはわからないことがある」の割合が17.7%と続く。

中学1年生では「教科によってはわからないことがある」の割合が44.2%と最も高く、次いで「だいたいわかる」の割合が29.1%、「わからないことが多い」の割合が12.8%と続く。

【小学4年生】



【中学1年生】



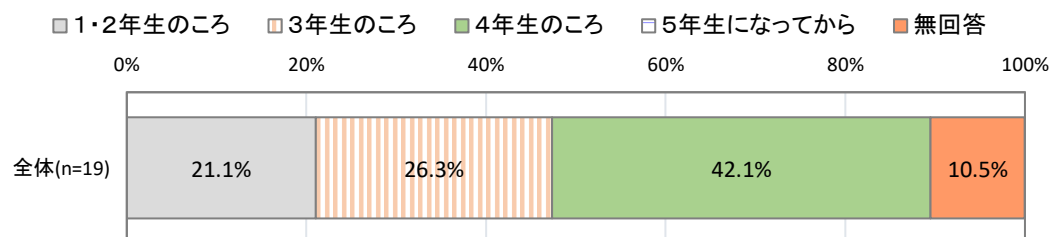
②授業がわからなくなった時期【小学4年生：問7（P162）、中学1年生：問7（P172）】

※小学4年生の問6、中学1年生の問6 で「教科によってわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した方に限定した設問

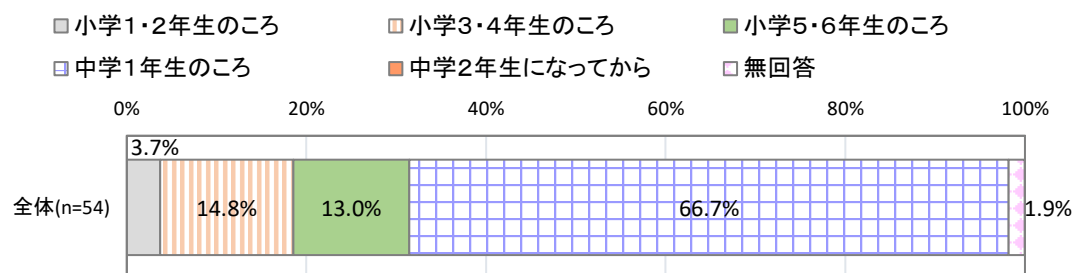
小学4年生では「4年生のころ」の割合が42.1%と最も高く、次いで「3年生のころ」の割合が26.3%、「1・2年生のころ」の割合が21.1%と続く。

中学1年生では「中学1年生のころ」の割合が66.7%と最も高く、次いで「小学3・4年生のころ」の割合が14.8%、「小学5・6年生のころ」の割合が13.0%と続く。

【小学4年生】



【中学1年生】



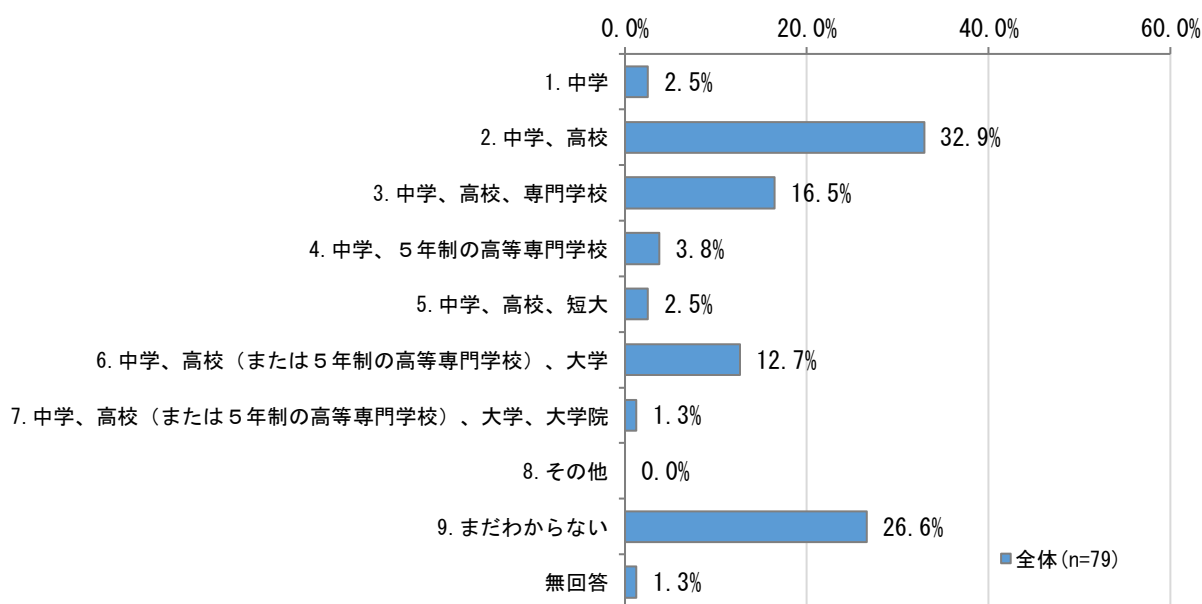
(2) 将来について

①将来の進学先の希望【小学4年生：問8（P163）、中学1年生：問8（P173）】

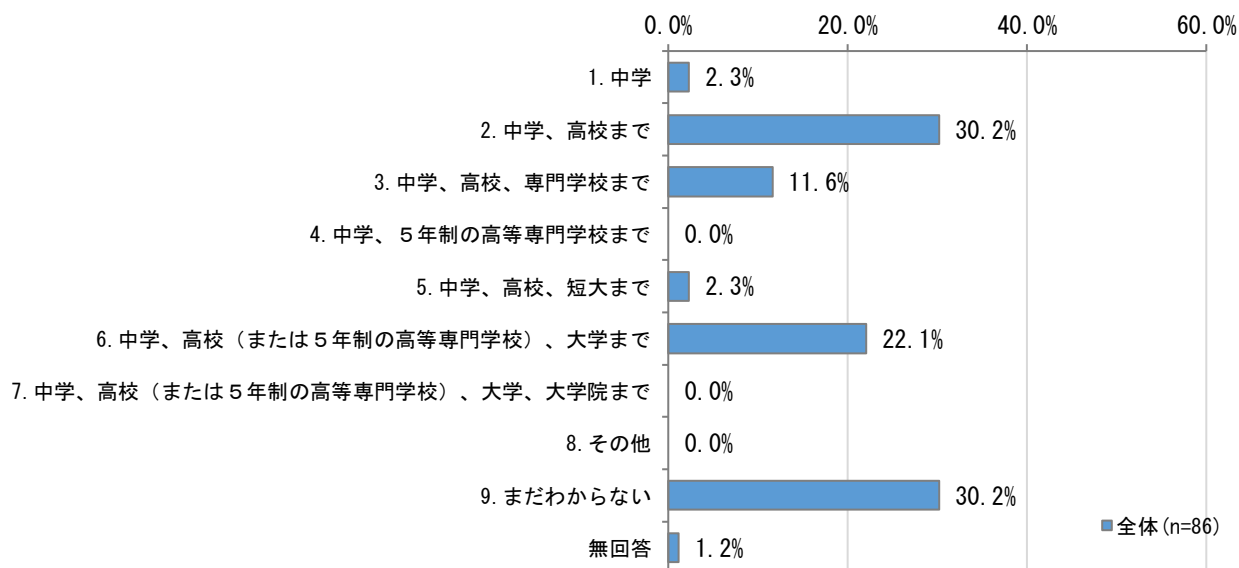
小学4年生では「中学、高校」の割合が32.9%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が26.6%、「中学、高校、専門学校」の割合が16.5%と続く。

中学1年生では「中学、高校まで」、「まだわからない」の割合がいずれも30.2%と最も高く、次いで「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで」の割合が22.1%と続く。

【小学4年生】



【中学1年生】

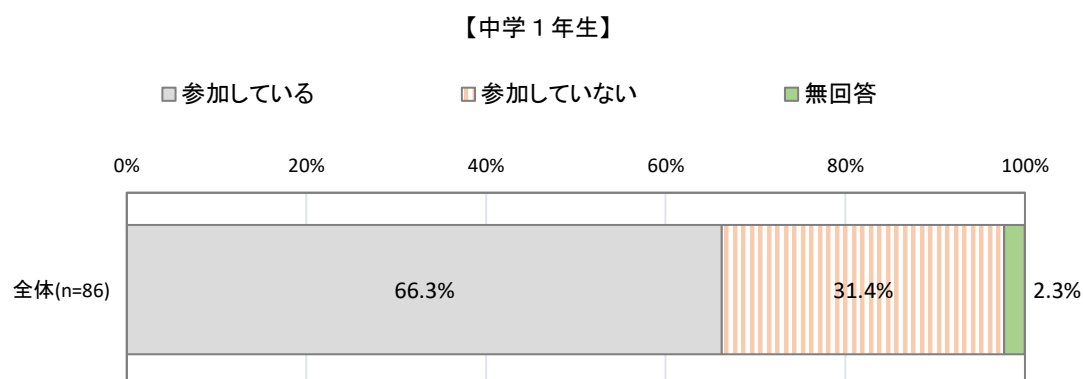
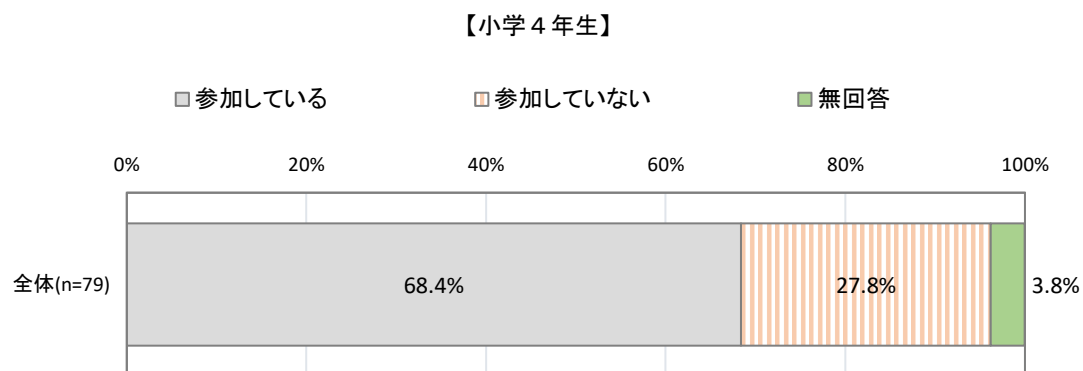


(3) 地域のスポーツクラブなどへの参加

①参加状況【小学4年生：問10（P164）、中学1年生：問10（P174）】

小学4年生では「参加している」の割合が68.4%、「参加していない」の割合が27.8%となっている。

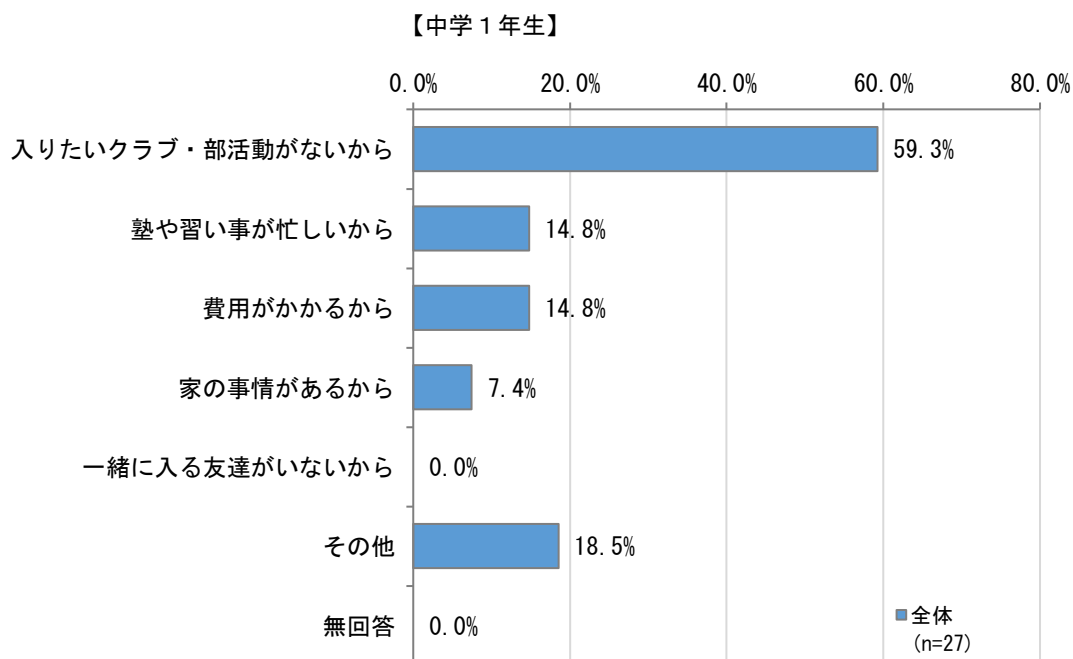
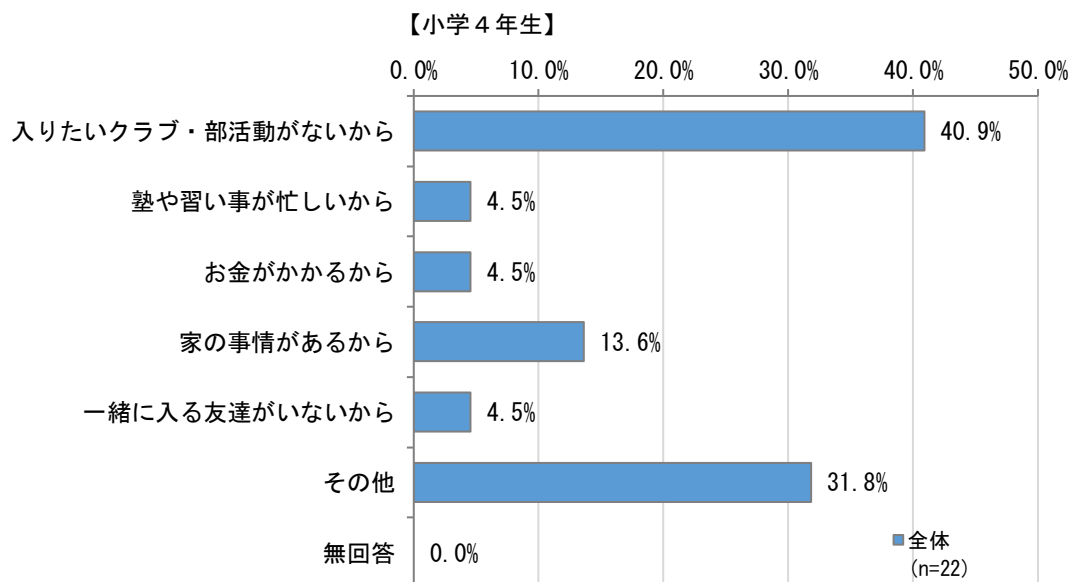
中学1年生では「参加している」の割合が66.3%、「参加していない」の割合が31.4%となっている。



②参加していない理由【小学4年生：問11（P164）、中学1年生：問11（P174）】

小学4年生では「入りたいクラブ・少年団がないから」の割合が40.9%と最も高く、次いで「その他」の割合が31.8%、「家の事情があるから」の割合が13.6%と続く。

中学1年生では「入りたいクラブ・部活動がないから」の割合が59.3%と最も高く、次いで「その他」の割合が18.5%、「塾や習い事が忙しいから」、「費用がかかるから」の割合がいずれも14.8%と続く。



（４）困っていることや悩みごとの相談相手

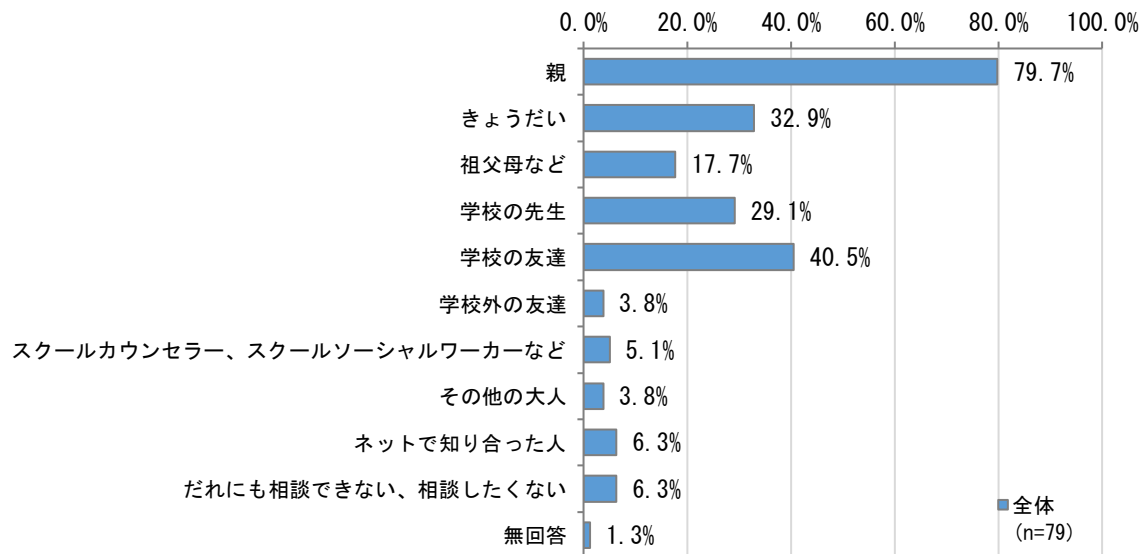
①困っていることや悩みごとがあるとき相談できる人

【小学４年生：問14（P166）、中学１年生：問14（P176）】

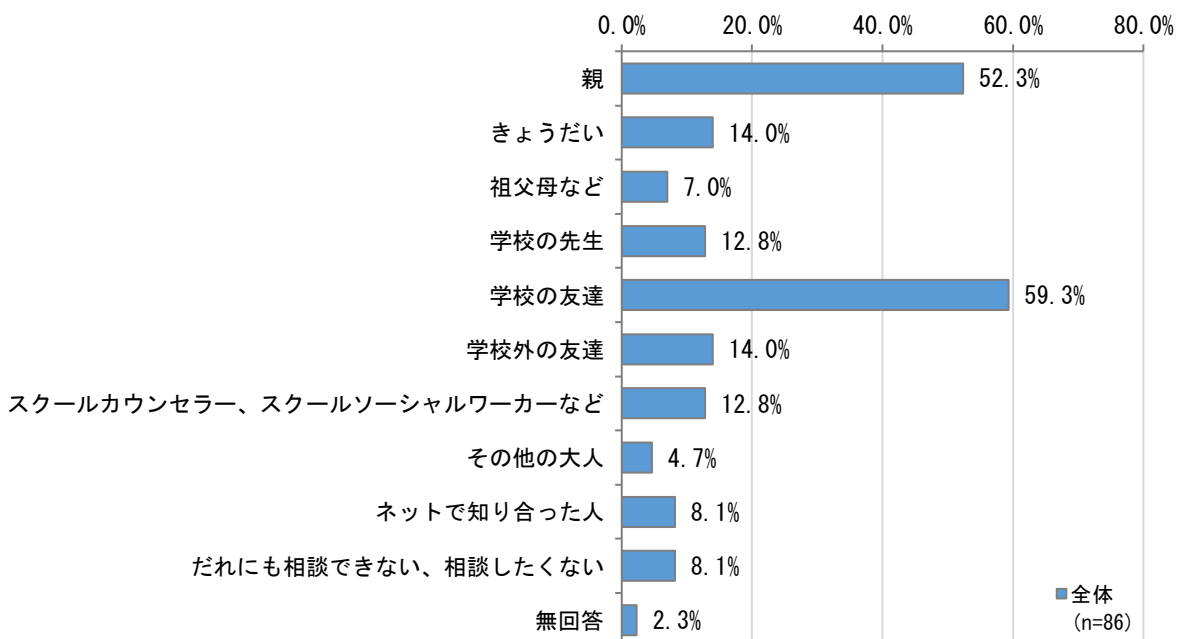
小学４年生では「親」の割合が79.7%と最も高く、次いで「学校の友達」の割合が40.5%、「きょうだい」の割合が32.9%と続く。

中学１年生では「学校の友達」の割合が59.3%と最も高く、次いで「親」の割合が52.3%、「きょうだい」、「学校外の友達」の割合がいずれも14.0%と続く。

【小学４年生】



【中学１年生】



(課題)

- ・将来の進学先の希望は、小学4年生、中学1年生いずれも「まだ分からない」、「中学、高校まで」の割合が約3割となっている。
- ・スポーツクラブやスポーツ少年団への参加は約3割の児童生徒が「参加していない」と回答しており、その理由について、約1割の児童が「お金がかかるから」「家の事情があるから」となっている。
- ・困っていることや悩みごとの相談相手については、「親」や「学校の友達」が高くなっている一方、「だれにも相談できない、相談したくない」の割合が一定数いることがうかがえる。

⇒子どもが家事やきょうだい等の世話を担っているヤングケアラーなど、家庭内での問題や、本人や家族に自覚がない、誰にも相談できないといった理由から、支援につながりにくい場合があるため、困難を抱えている可能性のある子どもや家庭に気づき、見守り、必要に応じて適切な支援につなげていく必要があります。

第3章 調査結果

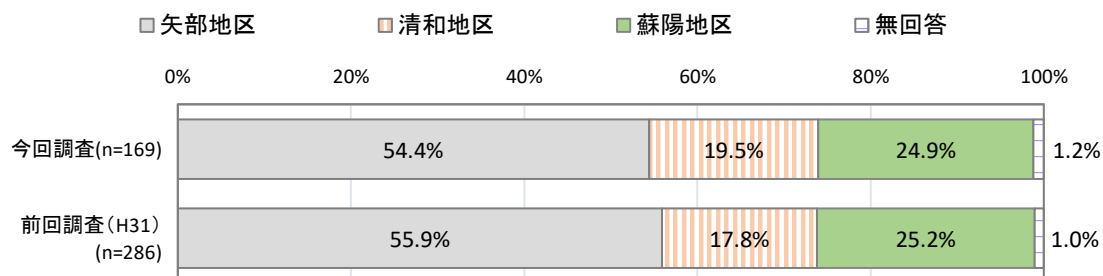
I 調査結果（未就学児）

1. 住まいの地区について

問1 お住まいの地区を教えてください。

居住する地区については、「矢部地区」54.4%が最も高く、次いで「蘇陽地区」24.9%、「清和地区」19.5%となっている。

図表 1-1 お住まいの地区

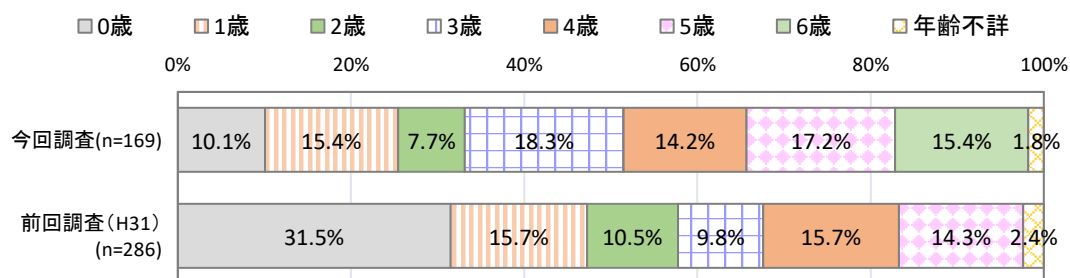


2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

子どもの年齢は、「3歳」18.3%が最も高く、次いで「5歳」17.2%、「1歳」、「6歳」がいずれも15.4%となっている。

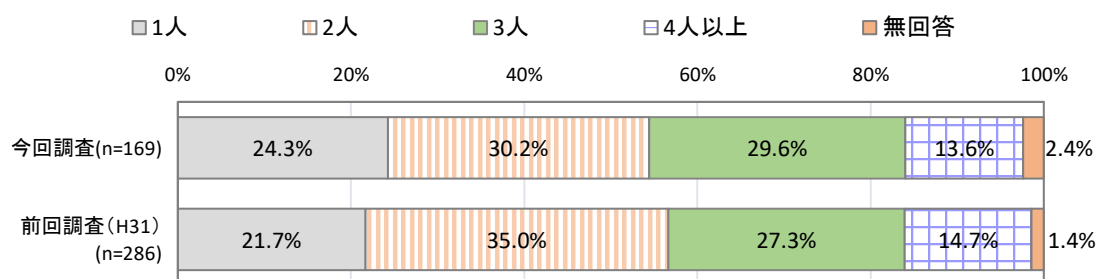
図表 2-1 年齢



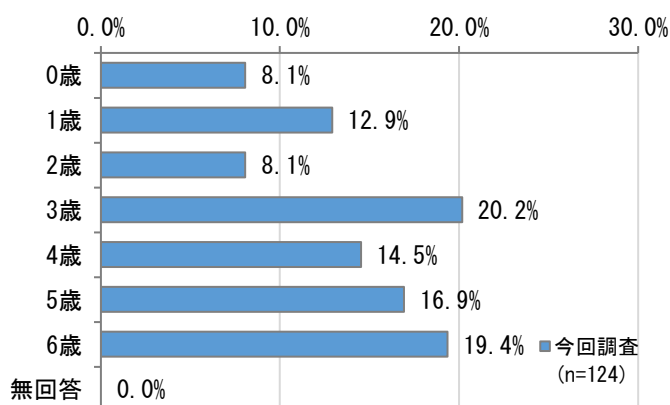
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

兄弟数については、「2人」30.2%が最も高く、次いで「3人」29.6%、「1人」24.3%となっている。末子の年齢については、「3歳」20.2%が最も高く、次いで「6歳」19.4%、「5歳」16.9%となっている。

図表 2-2 兄弟数



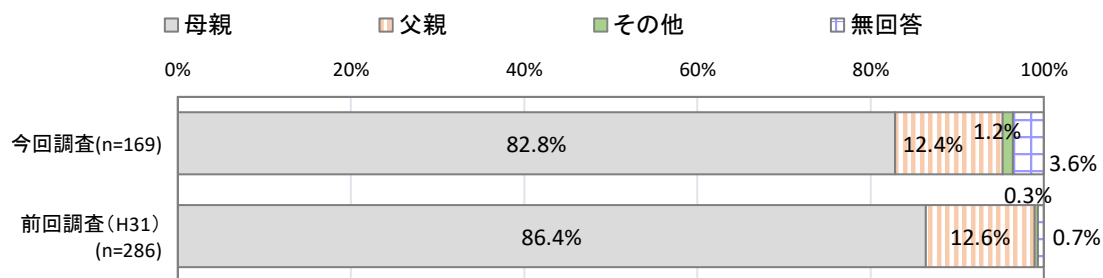
図表 2-3 末子の年齢



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

回答者の続柄については、「母親」82.8%、「父親」12.4%となっている。

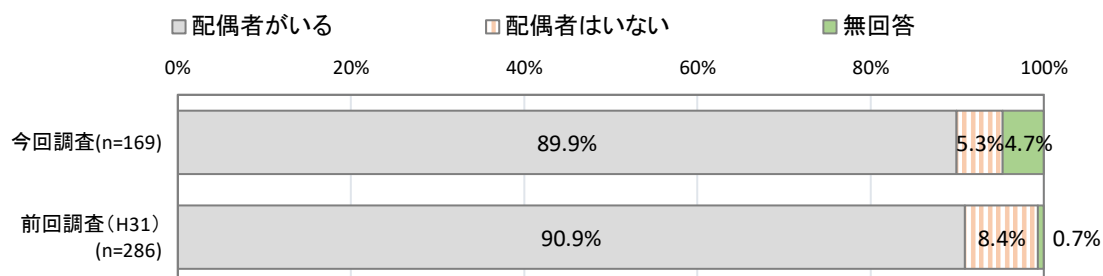
図表 2-4 続柄



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」89.9%、「配偶者はいない」5.3%となっている。

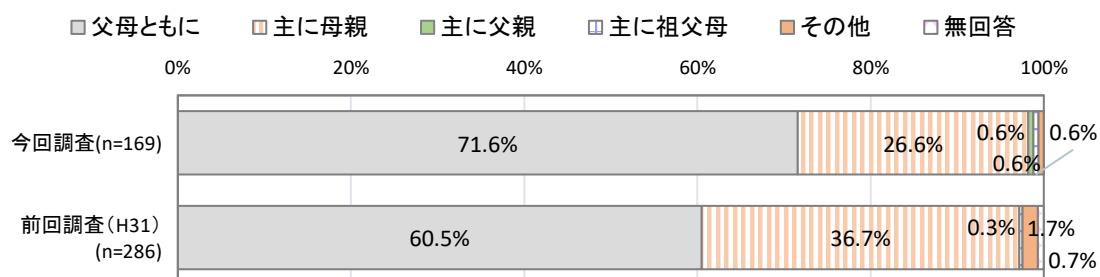
図表 2-5 配偶者の有無



問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

子育て(教育を含む)を主に行っている方については、「父母ともに」71.6%が最も高く、次いで「主に母親」26.6%となっている。

図表 2-6 子育てを主に行っている方

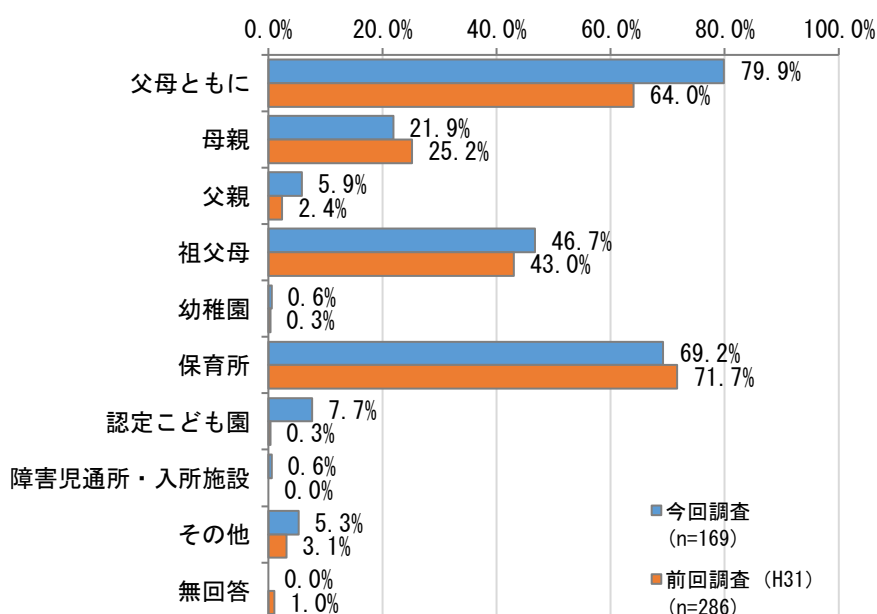


3. 子育ての環境について

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
お子さんからみた関係でお答えください。(複数回答)

子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方については、「父母ともに」79.9%が最も高く、次いで「保育所」69.2%、「祖父母」46.7%となっている。

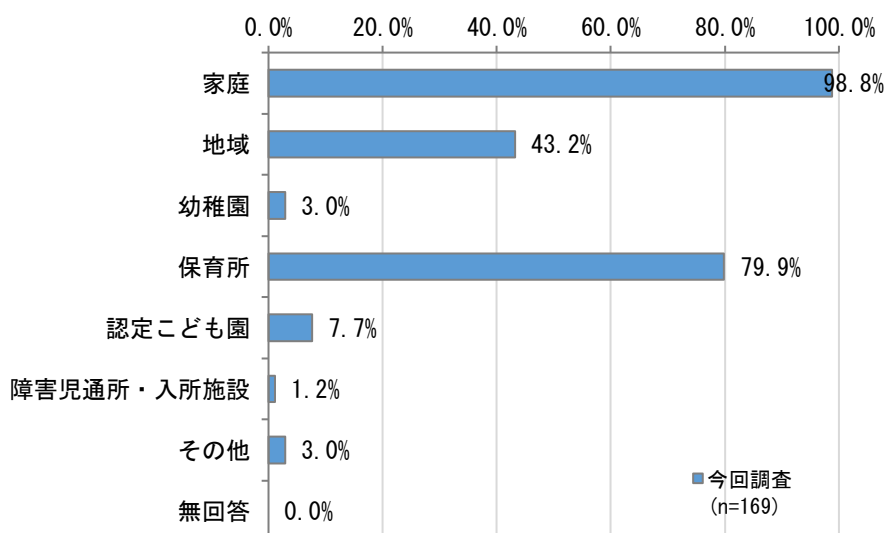
図表 3-1 日常的に子育てに関わっている方(施設)



問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境を選択してください。(複数回答)

子育て(教育を含む)にもっとも影響すると思われる環境については、「家庭」98.8%が最も高く、次いで「保育所」79.9%、「地域」43.2%となっている。

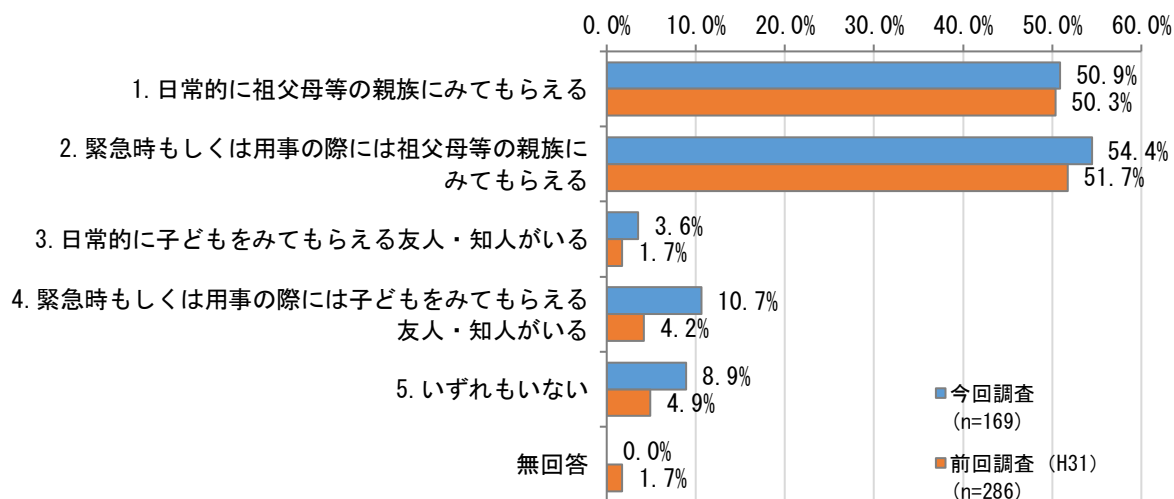
図表 3-2 子育てに大きく影響すると思われる環境



問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

子どもをみてもらえる親族・知人がいるかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」54.4%が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」50.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」10.7%となっている。

図表 3-3 子どもをみてもらえる親族・知人

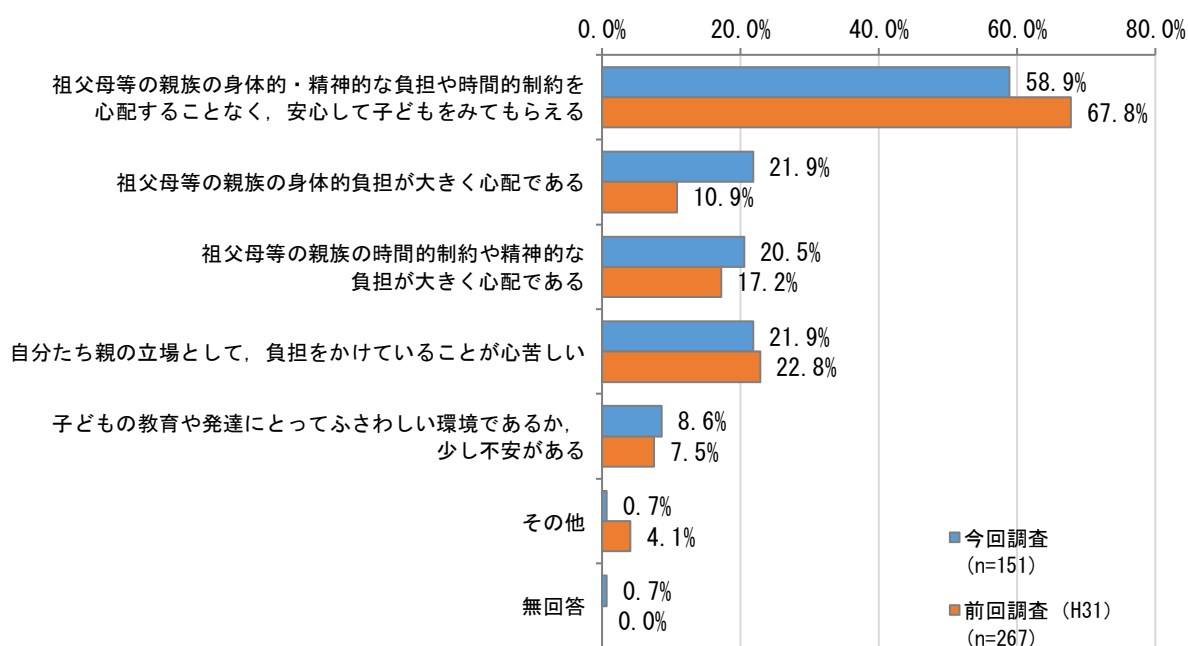


問9-1 【問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。】

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(複数回答)

祖父母等の親族に子どもをみてもらう状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」58.9%が最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がいずれも 21.9%となっている。

図表 3-4 子どもをみてもらう状況（祖父母等）

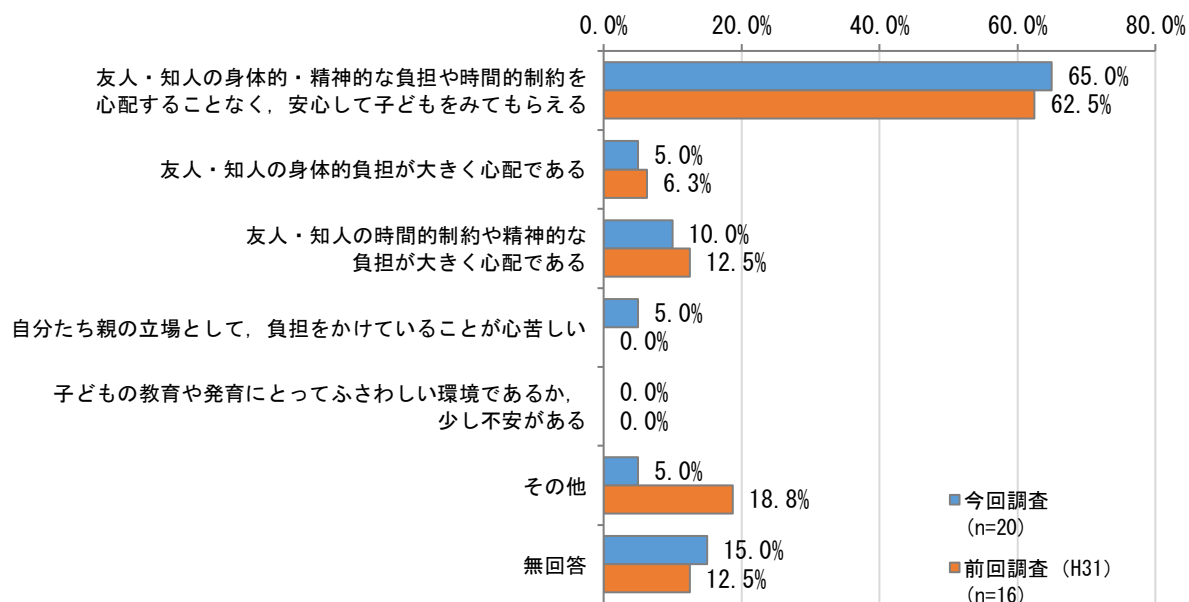


問9-2 【問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

友人・知人に子どもをみてもらう状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」65.0%が最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」10.0%となっている。

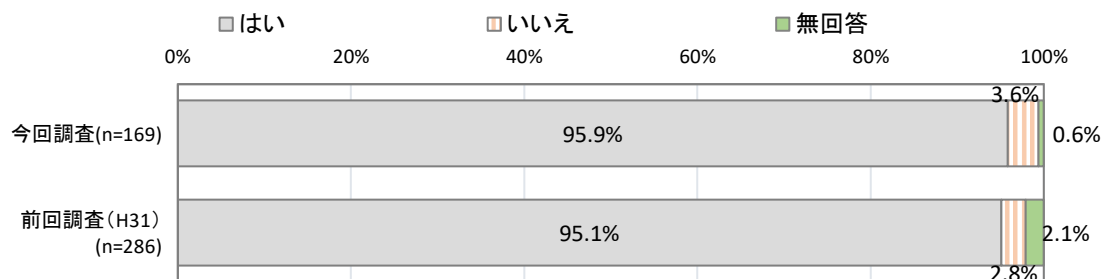
図表 3-5 子どもをみてもらう状況（友人・知人）



問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか(または、場所がありますか)。

子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所については、「はい」95.9%、「いいえ」3.6%となっている。

図表 3-6 子育てをする上で、相談できる人や場所

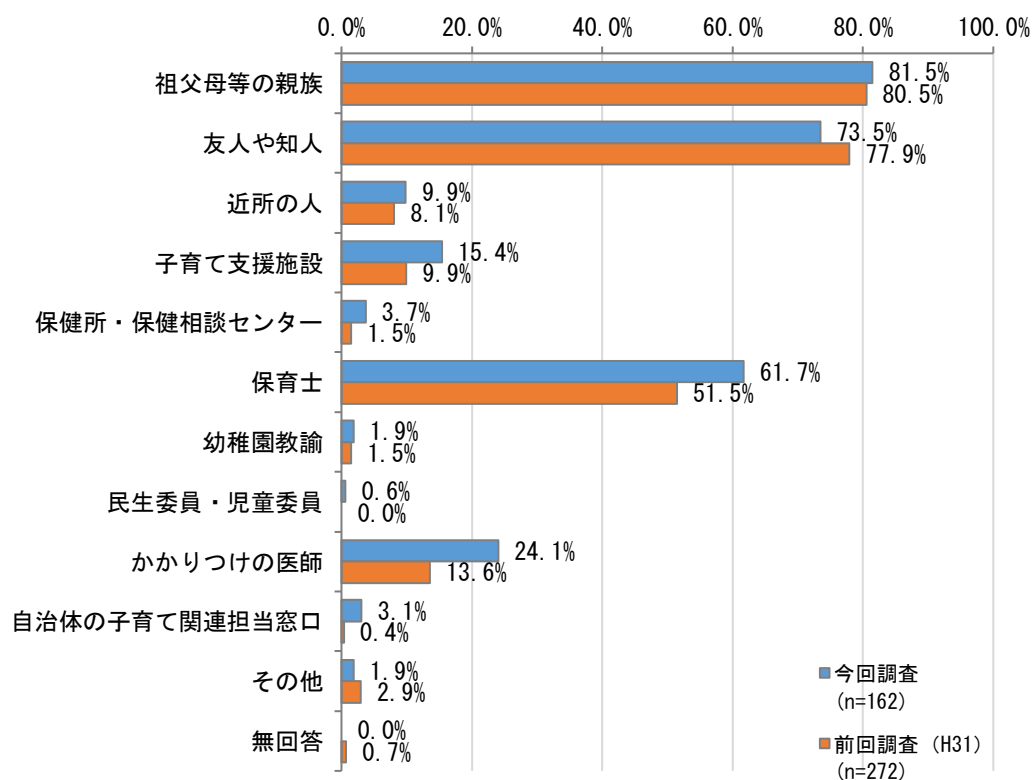


問10-1 【問 10 で「1.はい」に○をつけた方にうかがいます。】

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(複数回答)

子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる相談先については、「祖父母等の親族」81.5%が最も高く、次いで「友人や知人」73.5%、「保育士」61.7%となっている。

図表 3-7 相談先



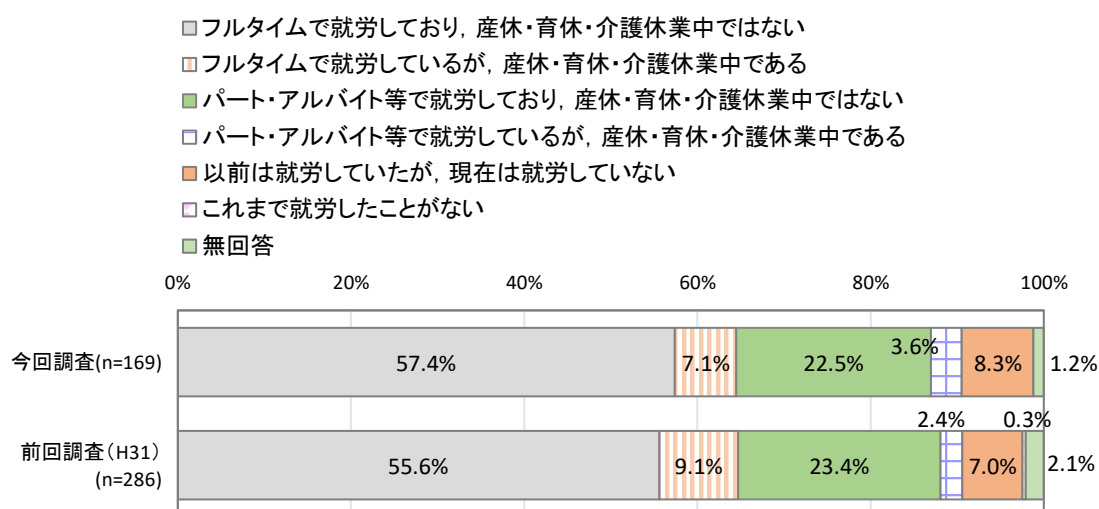
4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」57.4%が最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」22.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」8.3%となっている。

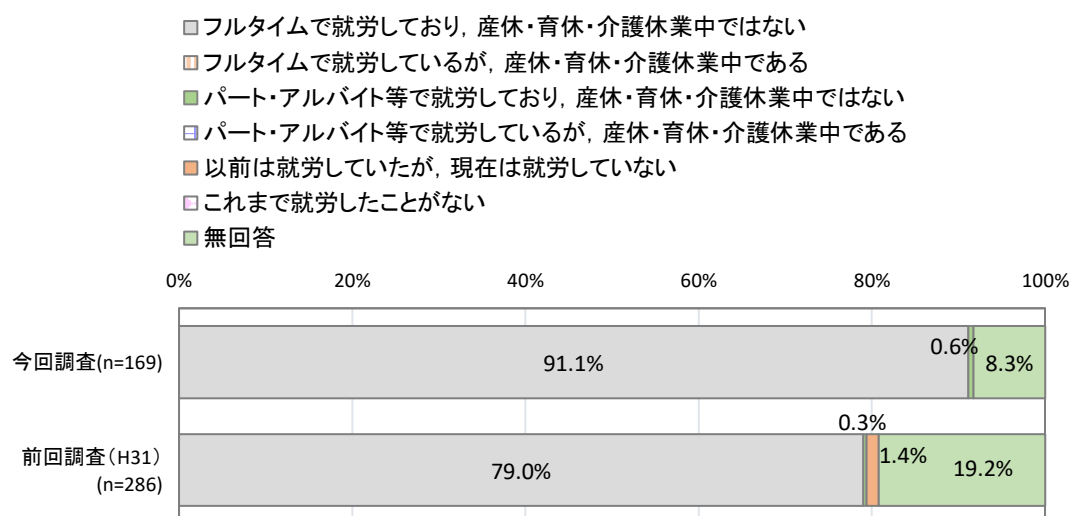
図表 4-1 就労状況（母親）



(2) 父親

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」91.1%が最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」0.6%となっている。

図表 4-2 就労状況（父親）

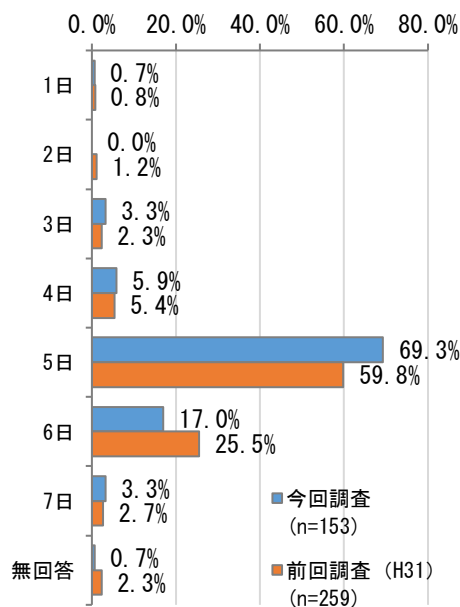


問13 【問12で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方(母親・父親それぞれ)にうかがいます。】
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
また、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

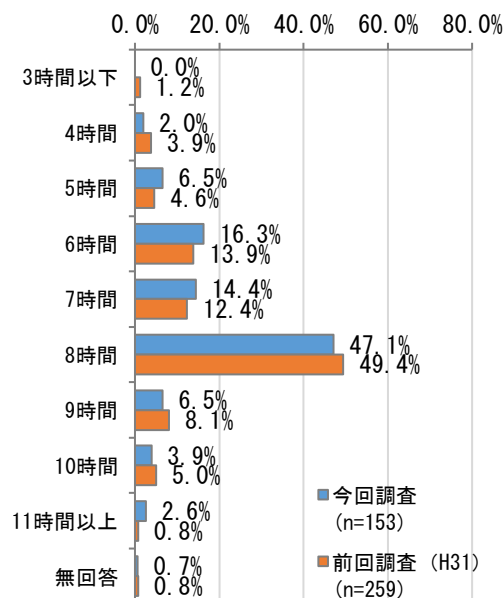
【母親】

就労状況をみると、週5日、1日8時間が最多となっている。また家を出る時刻は10時台、帰宅時刻は18時台がそれぞれ高くなっている。

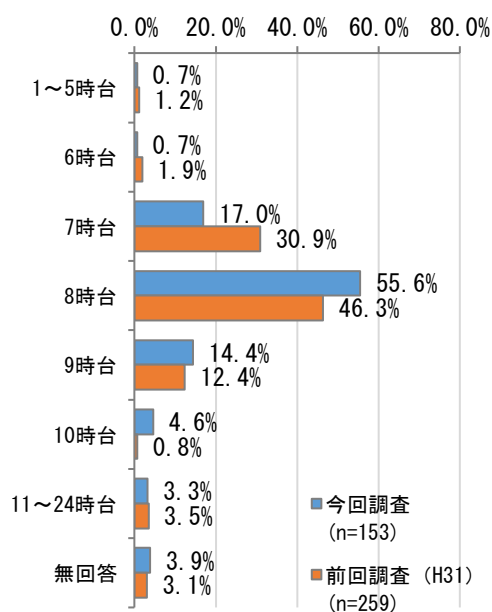
図表 4-3 1週当たり日数



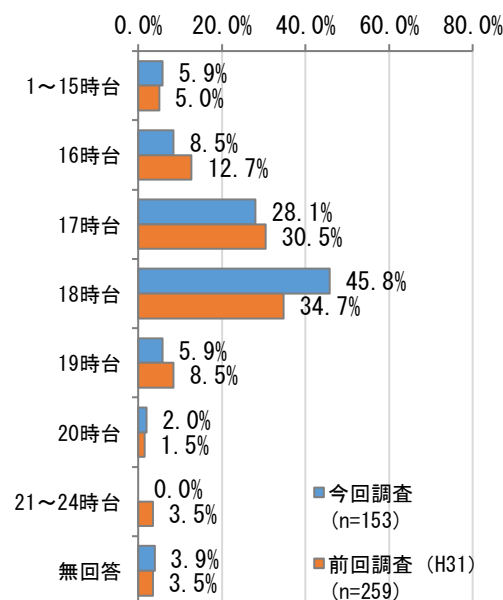
図表 4-4 1日当たり時間



図表 4-5 家を出る時刻



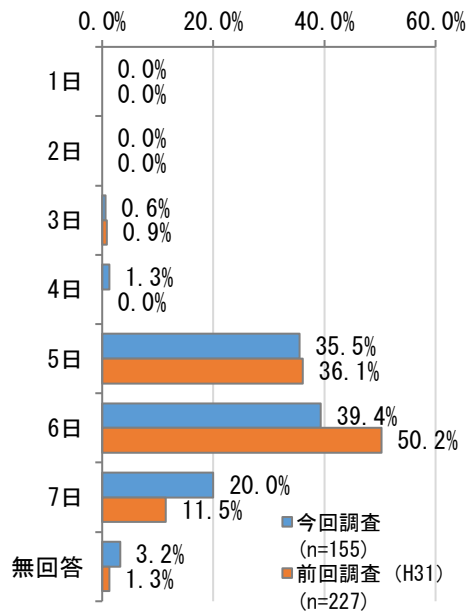
図表 4-6 帰宅時刻



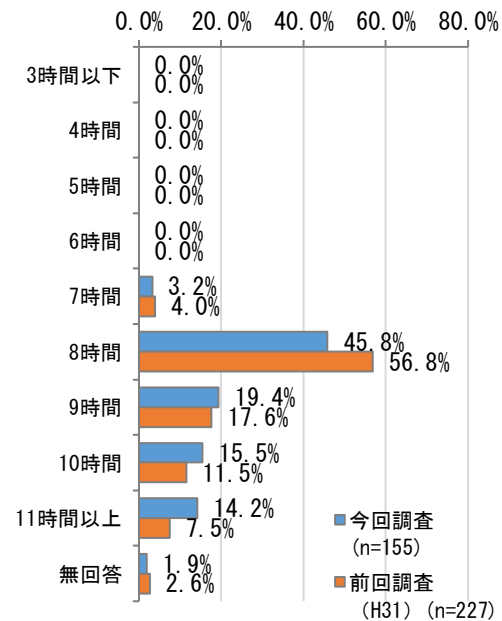
【父親】

就労状況をみると、週6日、1日8時間が最多となっている。また、家を出る時刻は8時台、帰宅時刻は18時台がそれぞれ高くなっている。

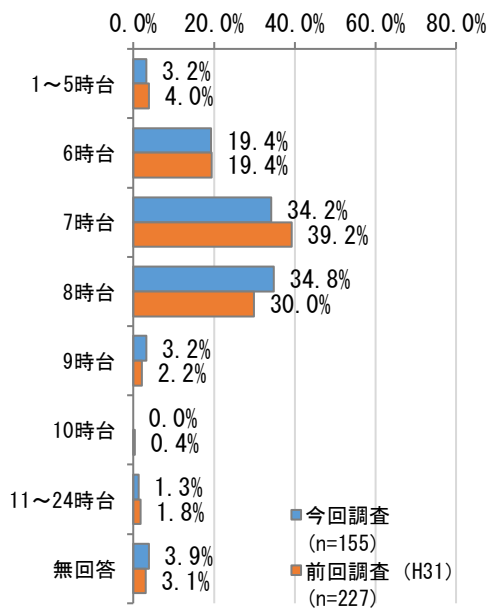
図表 4-7 1 週当たり日数



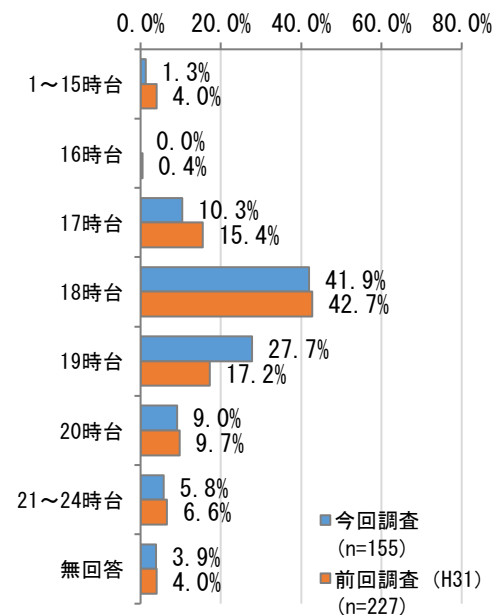
図表 4-8 1 日当たり時間



図表 4-9 家を出る時刻



図表 4-10 帰宅時刻

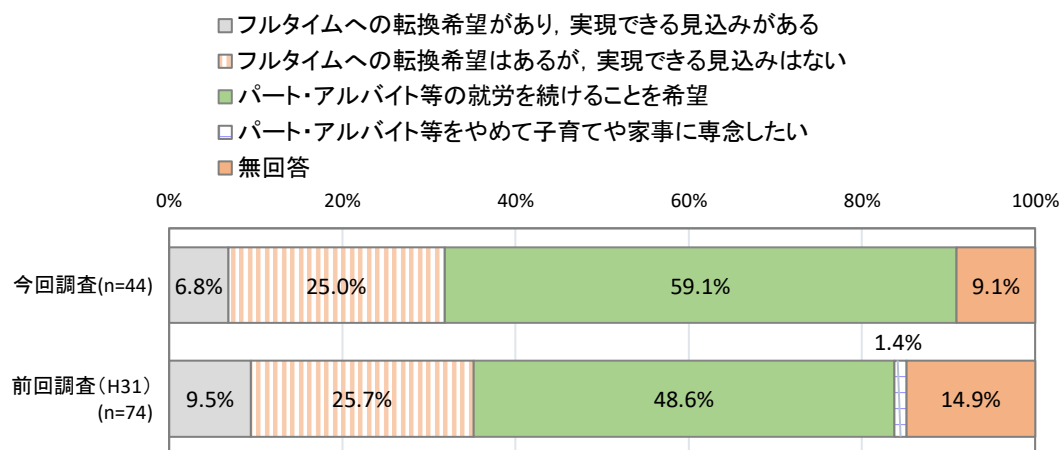


問13-1 【問 12 で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方(母親・父親それぞれ)にうかがいます。】フルタイムへの転換希望はありますか。

【母親】

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」59.1%が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」25.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」6.8%となっている。

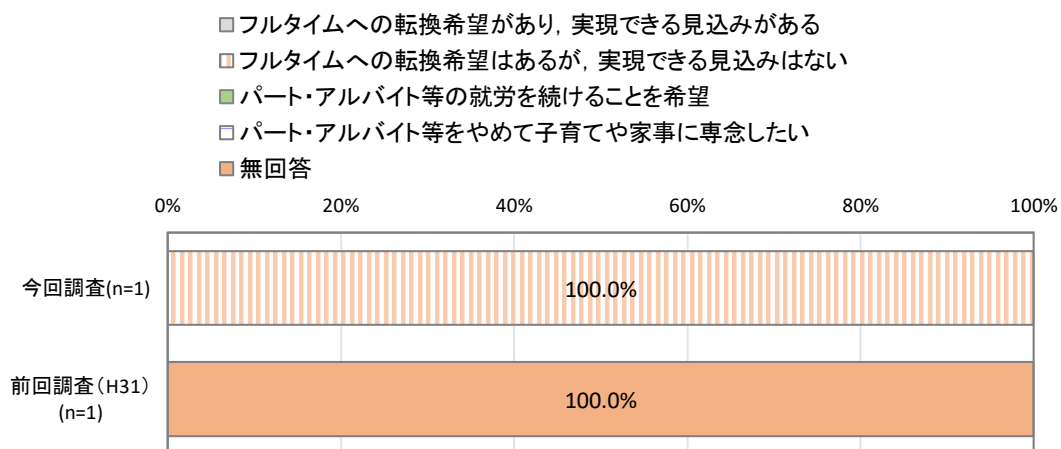
図表 4-11 フルタイムへの転換希望（母親）



【父親】

フルタイムへの転換希望については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」との回答が1件（100.0%）であった。

図表 4-12 フルタイムへの転換希望（父親）



問14 【問 12 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方(母親・父親それぞれ)にうかがいます。】
就労したいという希望はありますか。

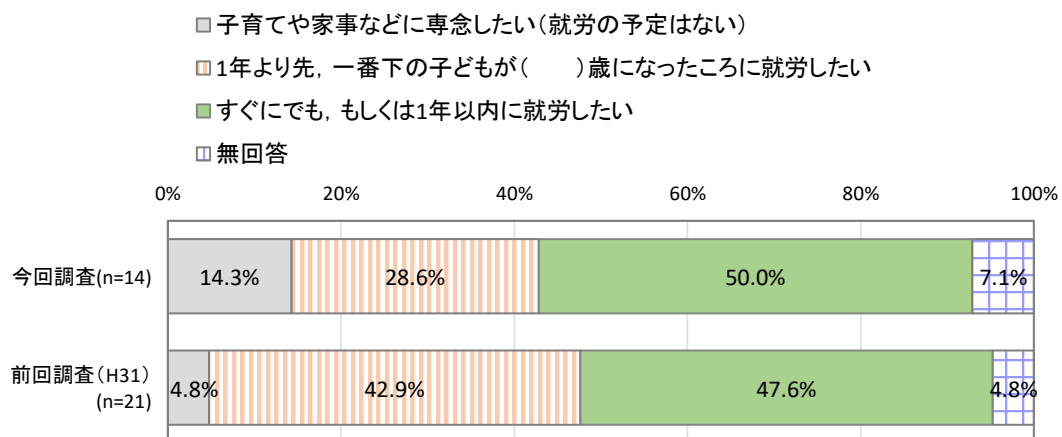
【母親】

就労していない母親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」50.0%が最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」28.6%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」14.3%となっている。

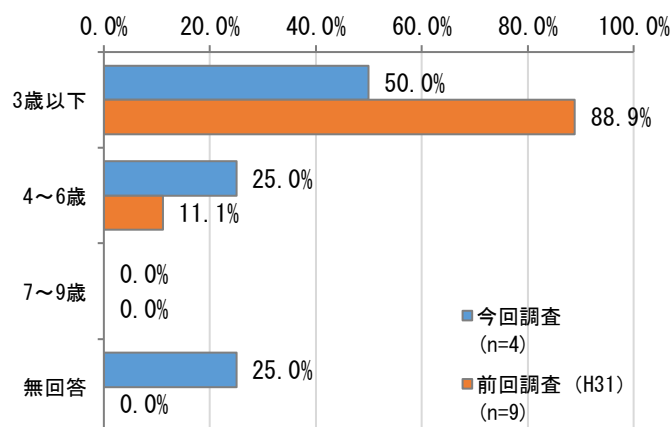
「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」と回答した人が希望する復帰時の子どもの年齢については、「3歳以下」が50.0%と最も高くなっている。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の働き方については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」57.1%、「パートタイム・アルバイト等」42.9%となっている。また、「パートタイム・アルバイト等」の働き方については、週4日、1日5時間との回答が最も高くなっている。

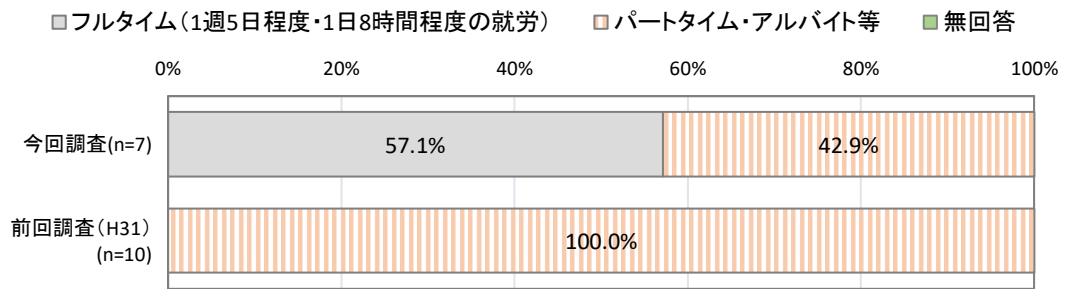
図表 4-13 就労の希望（現在、就労していない方が対象）



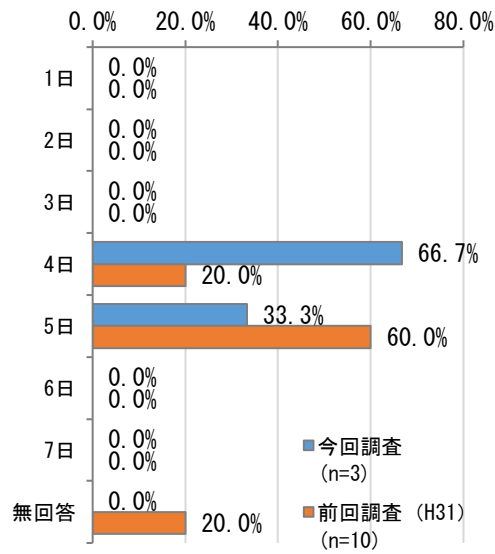
図表 4-14 子どもが何歳になったら就労したいか



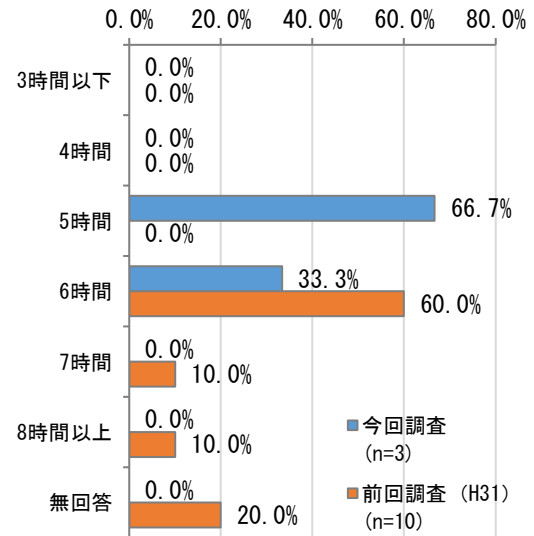
図表 4-15 就労希望



図表 4-16 日数/週



図表 4-17 時間/日



【父親】

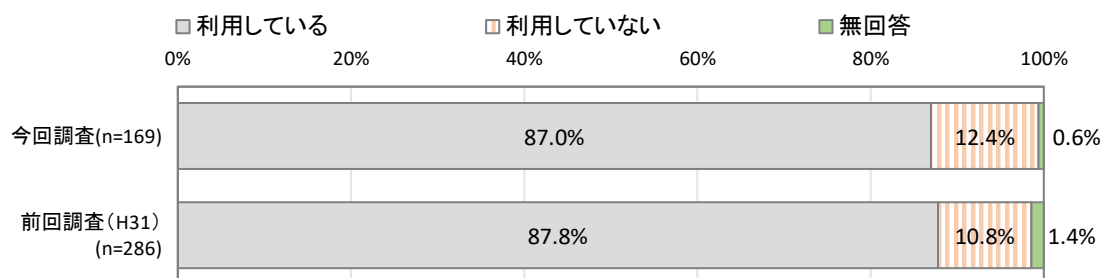
父親については、該当者がいなかった。

5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

「定期的な教育・保育の事業」の利用については、「利用している」87.0%、「利用していない」12.4%となっている。

図表 5-1 定期的な教育・保育事業の利用有無

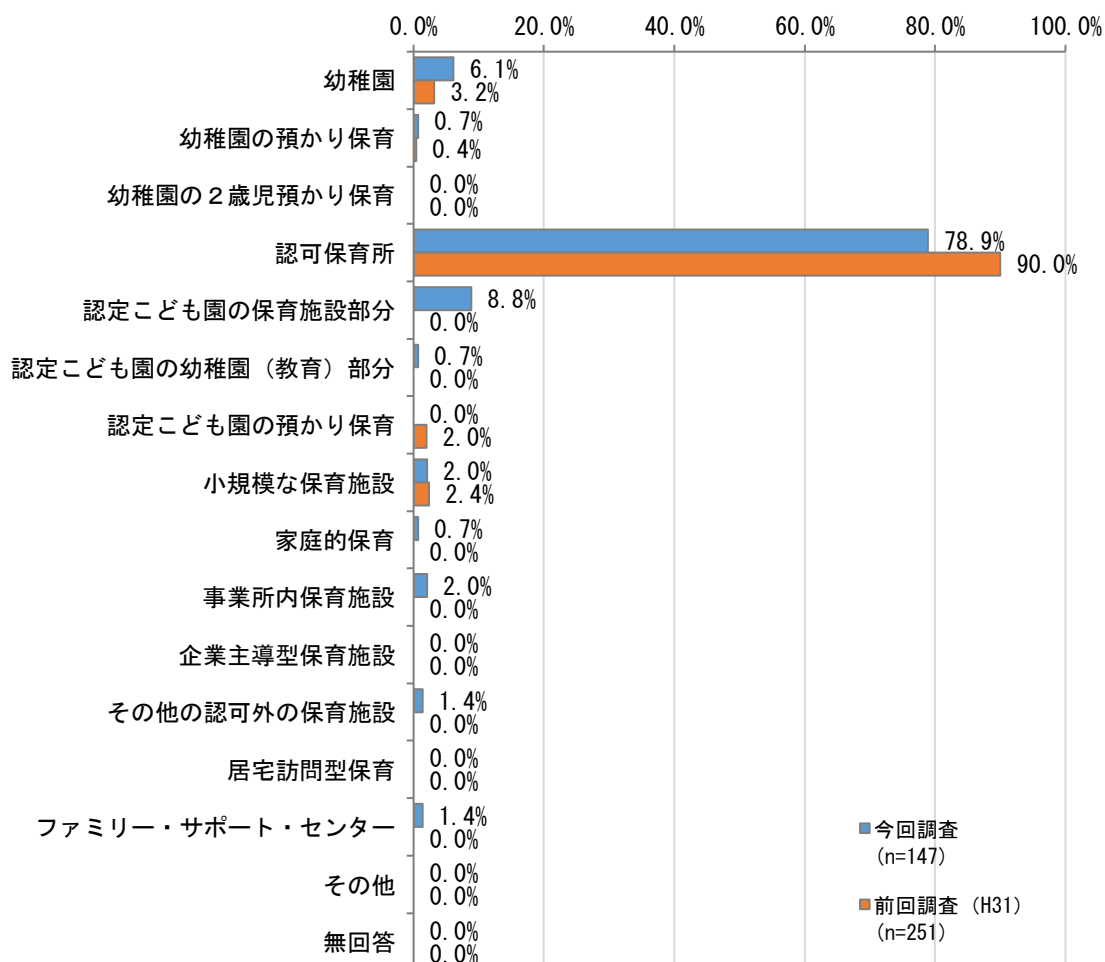


問15-1 【問15で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

平日どのような教育・保育の事業を利用しているかについては、「認可保育所」78.9%が最も高く、次いで「認定こども園の保育施設部分」8.8%、「幼稚園」6.1%となっている。

図表 5-2 教育・保育事業の利用状況

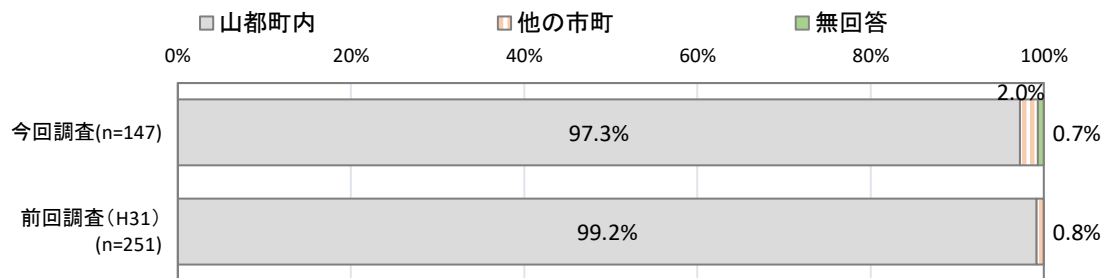


問15-2 【問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「山都町内」97.3%、「他の市町」2.0%となっている。

図表 5-3 教育・保育事業の実施場所



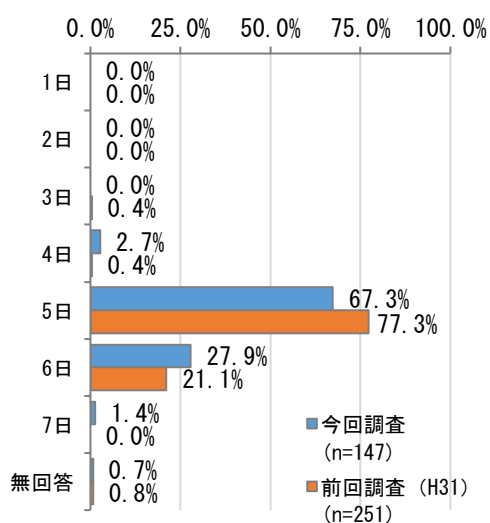
問15-3 【問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを具体的にお答えください。

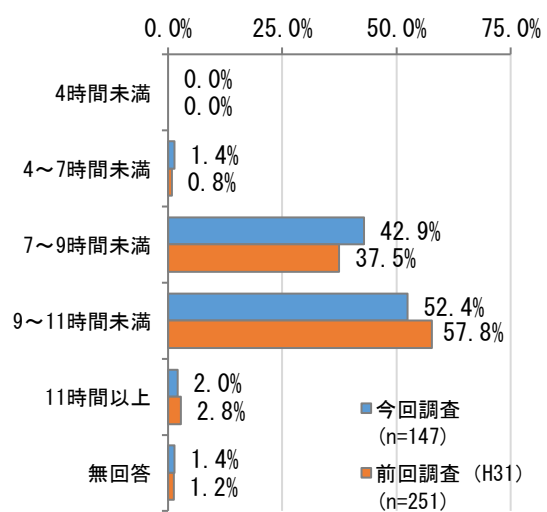
【現在】

現在の利用状況については、週に5日、1日9～11時間未満が最多となっている。
利用時間帯については、9時台から18時台が最も高くなっている。

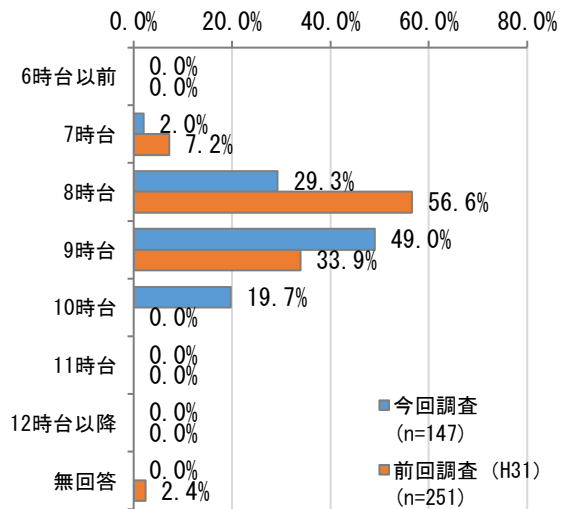
図表 5-4 利用日数/週



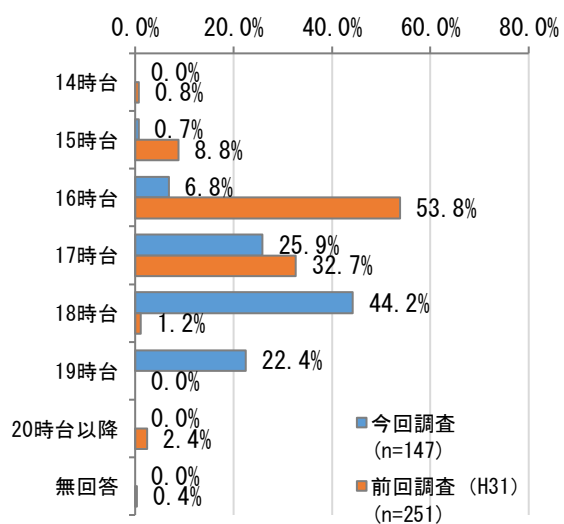
図表 5-5 利用時間/日



図表 5-6 開始時刻



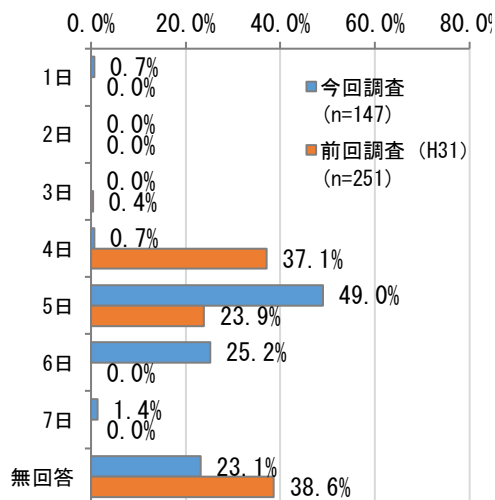
図表 5-7 終了時刻



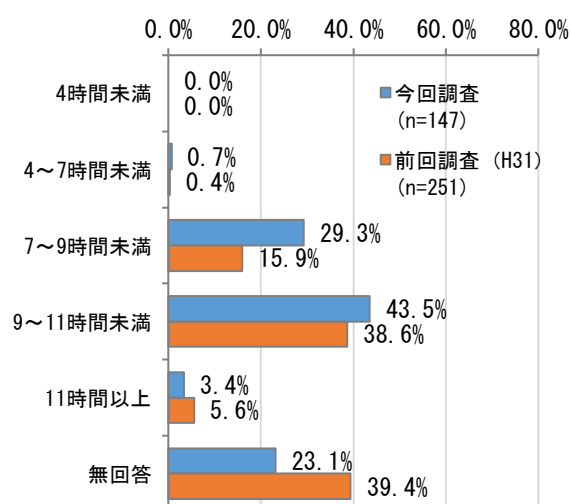
【希望】

教育・保育事業の利用希望については、週に5日、1日9～11時間未満が最多となっている。利用時間帯については、9時台から18時台が最も高くなっている。

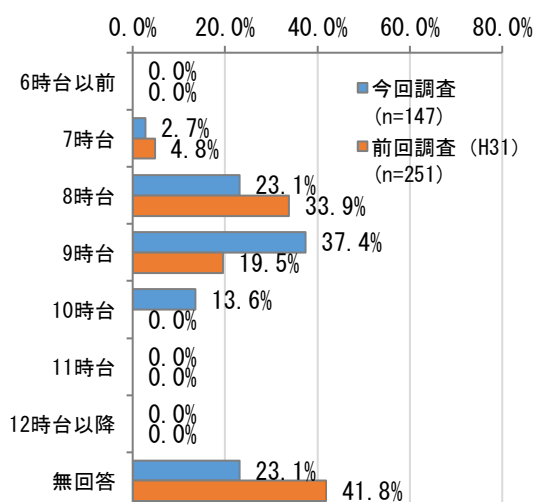
図表 5-8 利用希望日数/週



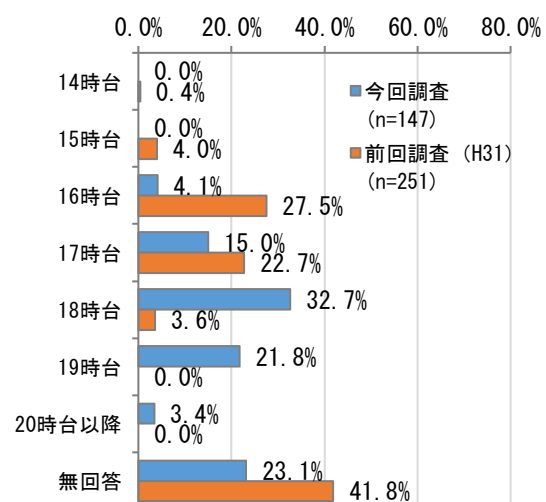
図表 5-9 利用希望時間/日



図表 5-10 開始時刻



図表 5-11 終了時刻

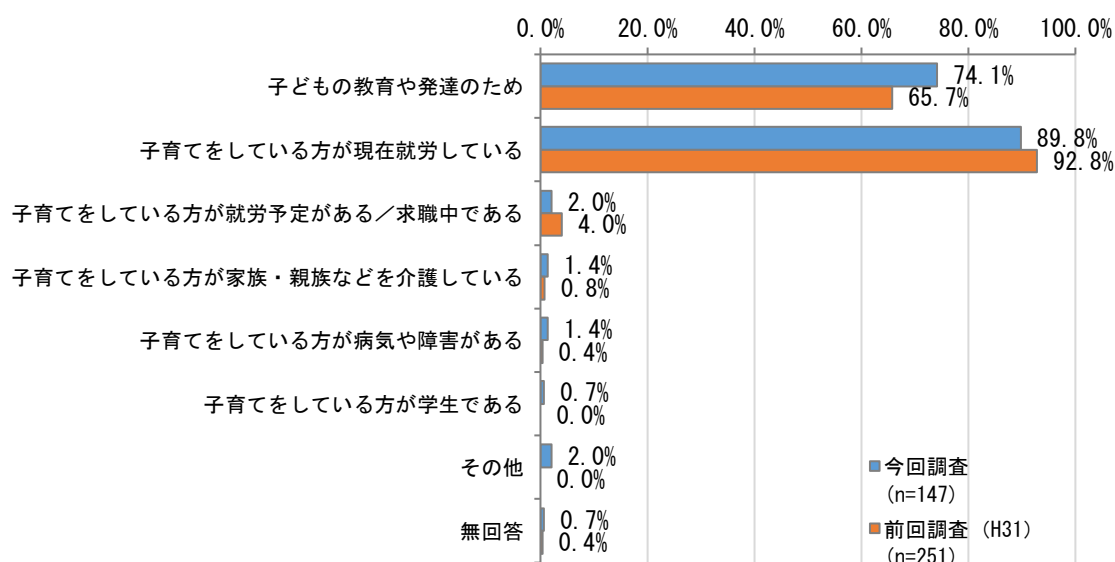


問15-4 【問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

平日に定期的に教育・保育事業を利用されている主な理由は何ですか。(複数回答)

事業を利用している主な理由については、「子育てをしている方が現在就労している」89.8%が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」74.1%、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」、「その他」がいずれも2.0%となっている。「その他」の内容については、「妊娠中であるため」という理由があげられた。

図表 5-12 事業を利用している理由

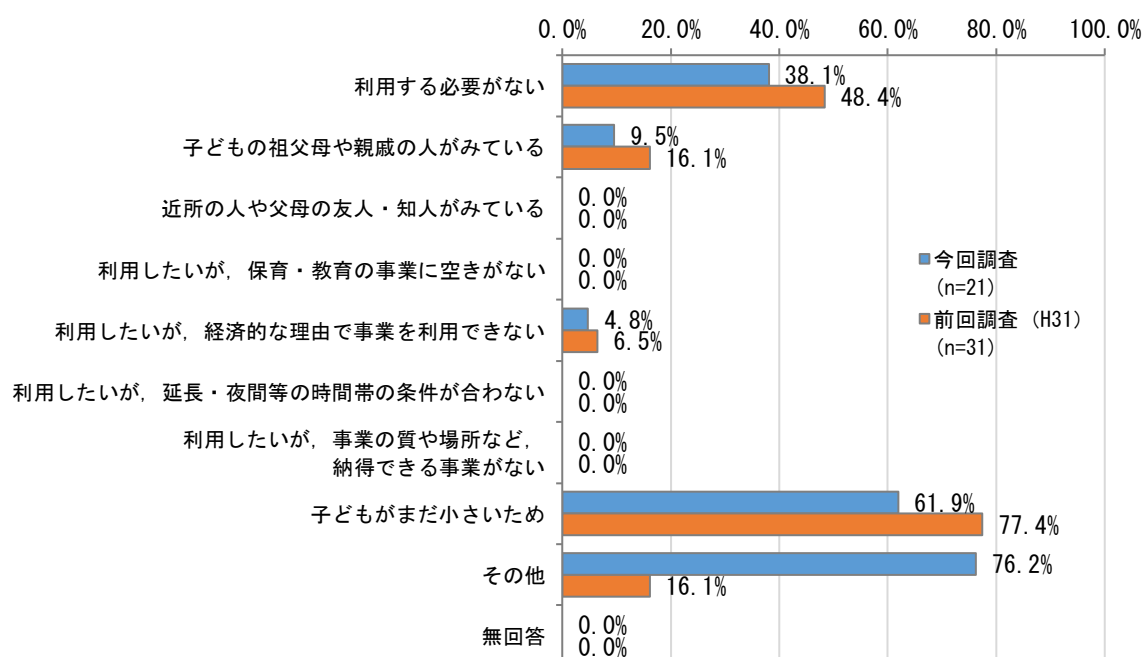


問15-5 【問 15 で「2.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】

利用していない理由は何ですか。(複数回答)

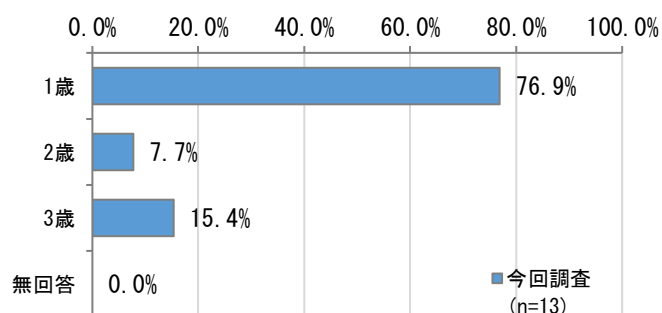
利用していない理由については、「その他」76.2%が最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」61.9%、「利用する必要がある」38.1%となっている。「その他」の内容については、「支援センターを利用している」という理由が多くあげられた。

図表 5-13 事業を利用していない理由



「子どもがまだ小さいため」と回答した方に、子どもが何歳になったら利用するかをたずねたところ、「1歳」76.9%が最も高く、次いで「3歳」15.4%、「2歳」7.7%となっている。

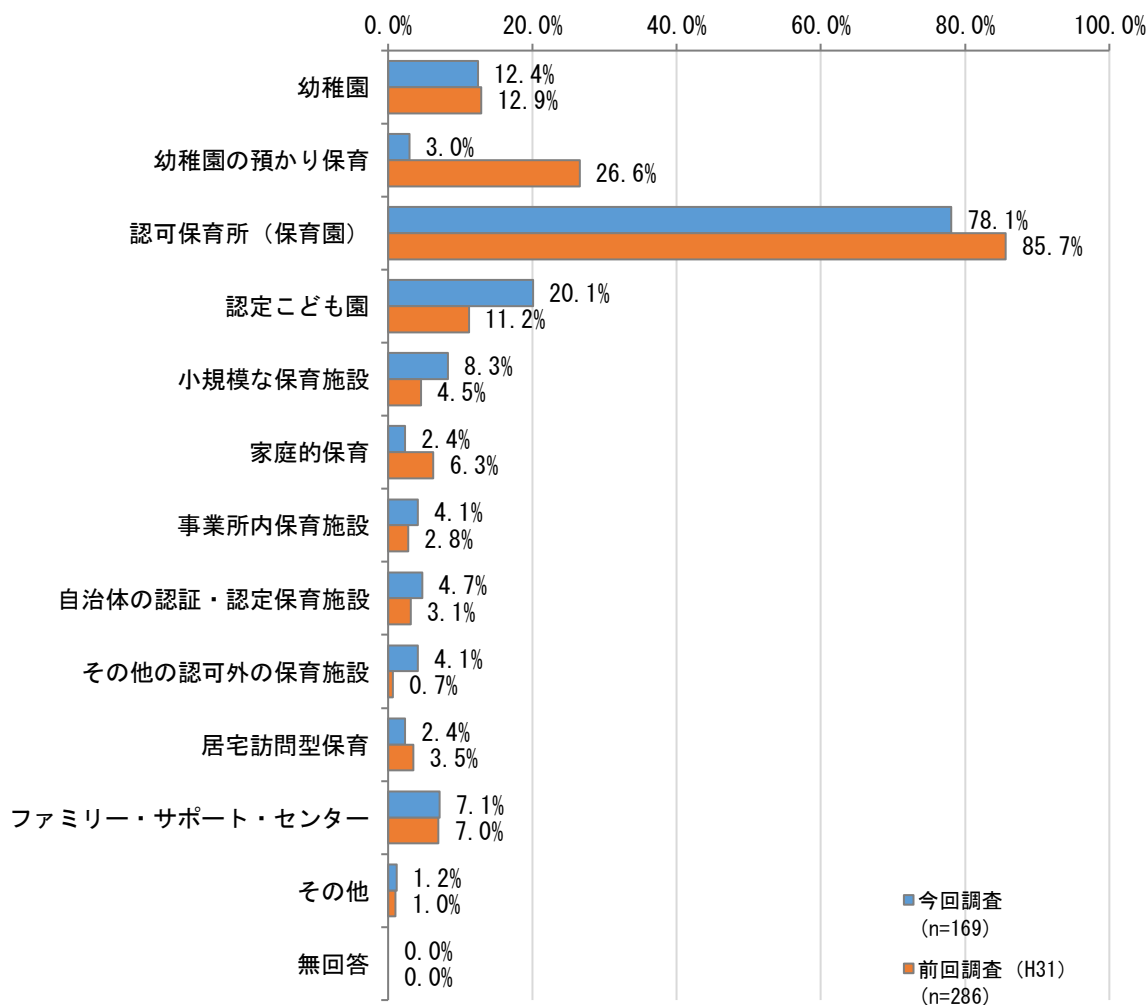
図表 5-14 子どもが何歳になったら利用するか



問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、末子のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答)

今後「定期的に」利用したいと考える事業については、「認可保育所（保育園）」78.1%が最も高く、次いで「認定こども園」20.1%、「幼稚園」12.4%となっている。

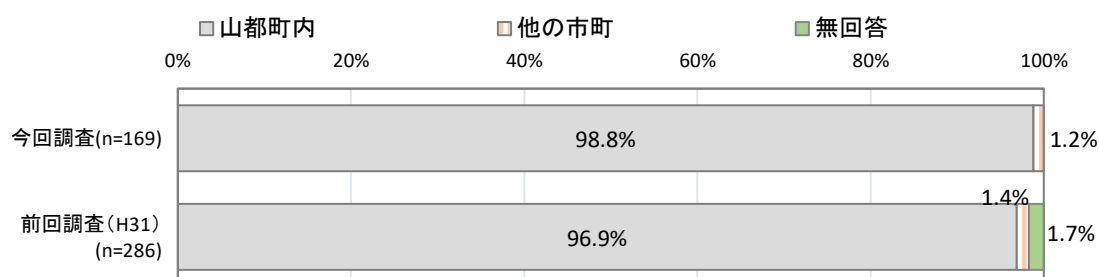
図表 5-15 「定期的」に利用したいと考える事業



問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

教育・保育事業を利用したい場所については、「山都町内」98.8%、「他の市町」1.2%となっている。

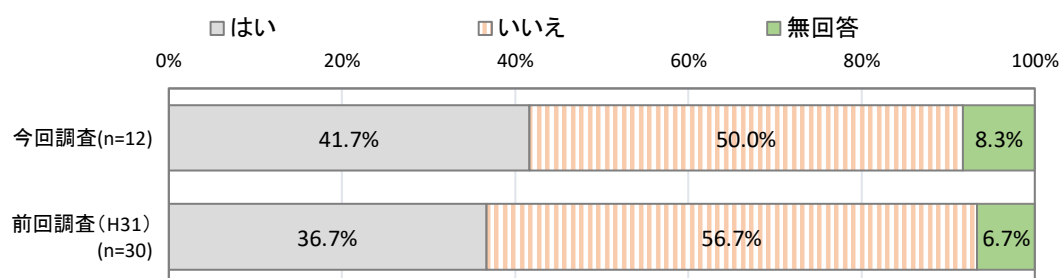
図表 5-16 利用場所



問 16-2 【問 16で「1.幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3.~15.」にも○をつけた方にうかがいます。】
特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望するかについては、「はい」41.7%、「いいえ」50.0%となっている。

図表 5-17 幼稚園の利用を強く希望するか



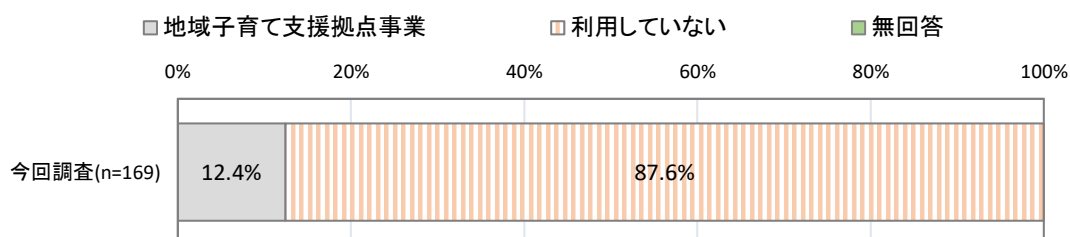
6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「つどいの広場」等と呼ばれています)を利用していますか。また、おおよその利用回数(頻度)をお答えください。

(1)利用状況

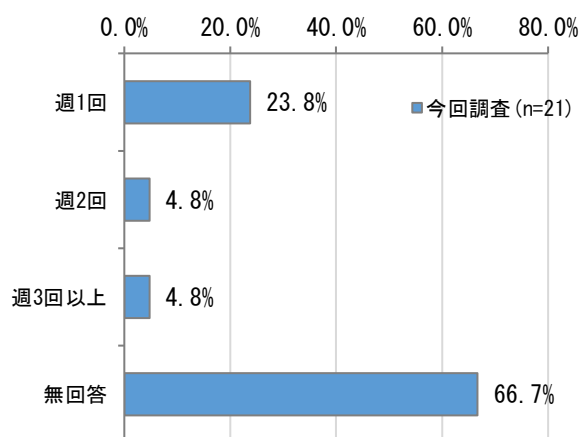
地域子育て支援拠点事業の利用については、「地域子育て支援拠点事業」12.4%、「利用していない」87.6%となっている。利用回数等は下図のとおり。

図表 6-1 現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況

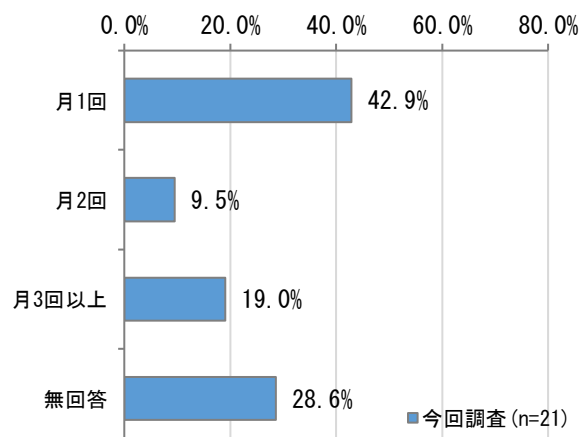


【地域子育て支援拠点事業】

図表 6-2 1 週当たりの利用回数



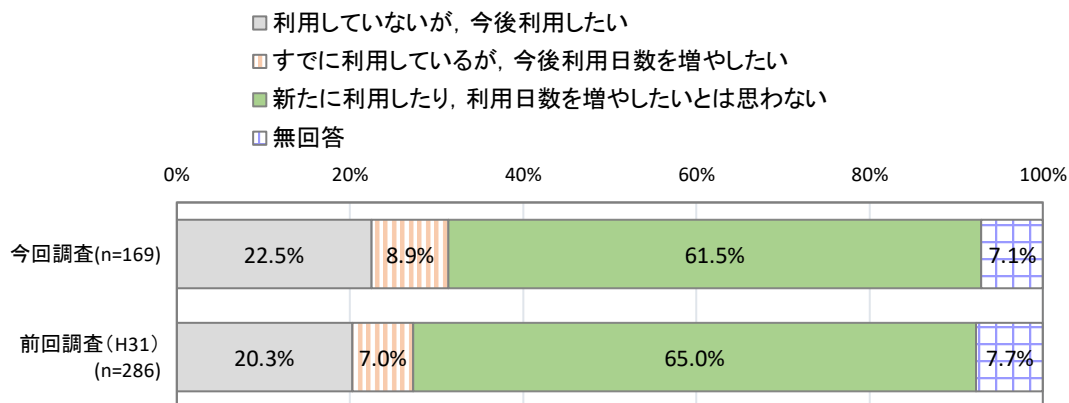
図表 6-3 1 月当たりの利用回数



問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、すでに利用している方は、今後利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数(頻度)もお答えください。

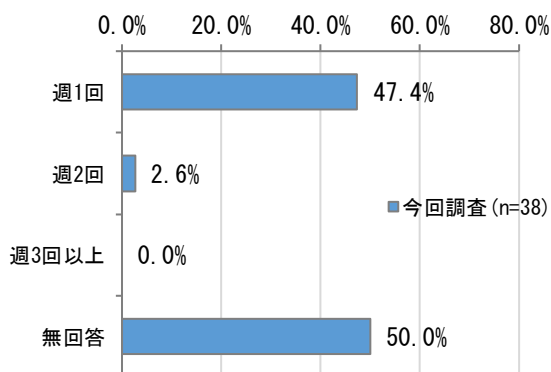
地域子育て支援拠点事業の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」61.5%が最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」22.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」8.9%となっている。利用したい日数や時間については下図のとおり。

図表 6-4 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

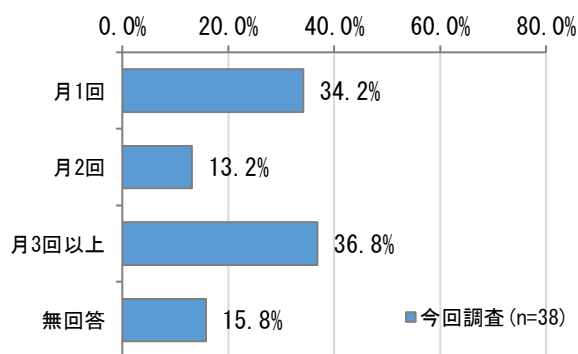


【利用していないが、今後利用をしたい】

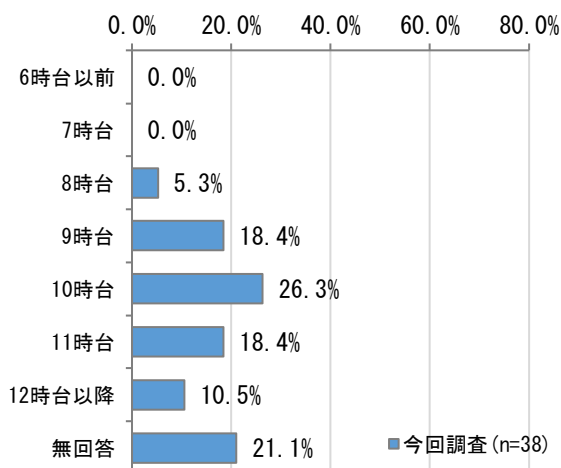
図表 6-5 1週当たりの利用回数



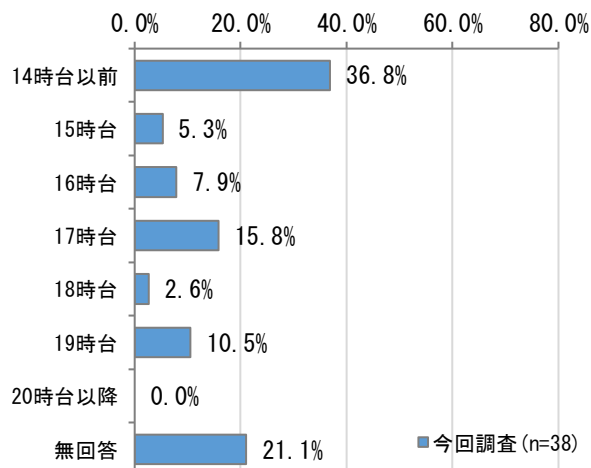
図表 6-6 1月当たりの利用回数



図表 6-7 利用開始時間

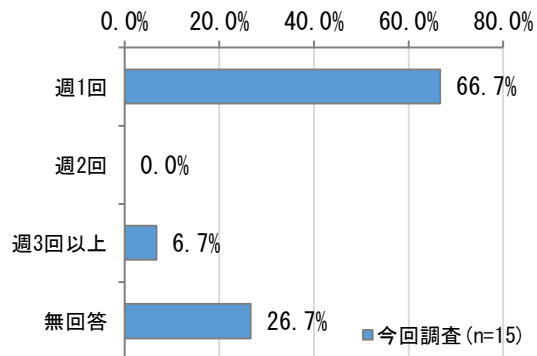


図表 6-8 利用終了時間

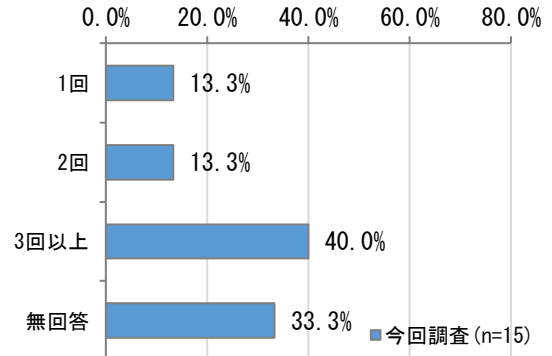


【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

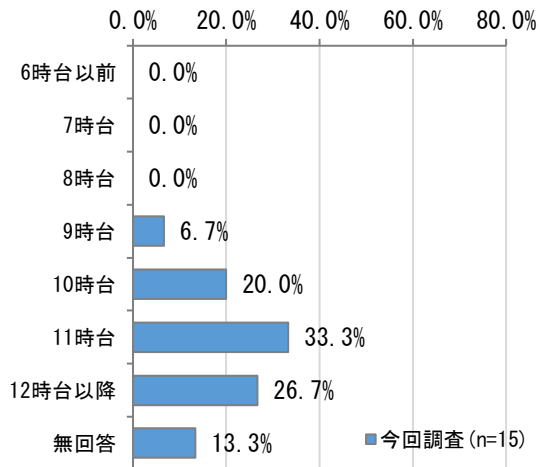
図表 6-9 1週当たりの
更に増やしたい利用回数



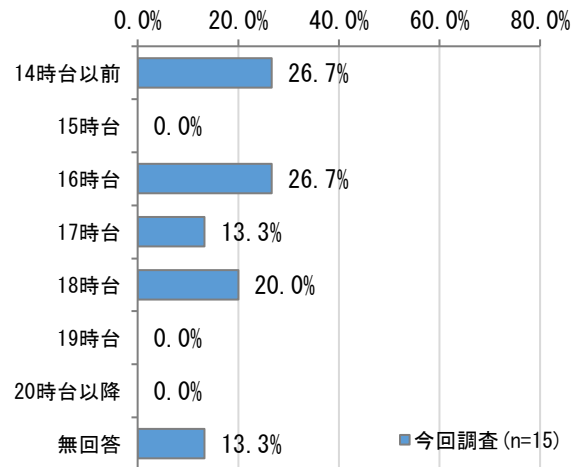
図表 6-10 1月当たりの
更に増やしたい利用回数



図表 6-11 利用開始時間



図表 6-12 利用終了時間



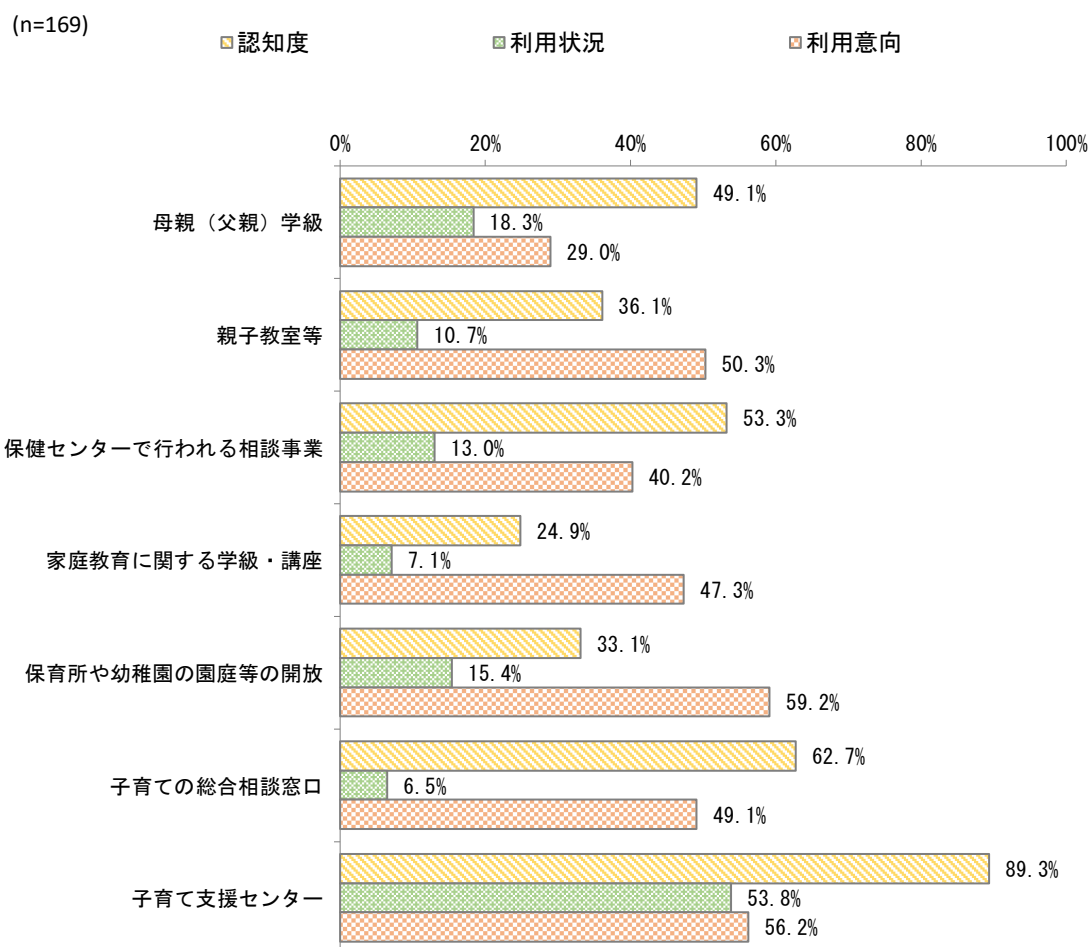
問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

認知度をみると、「子育て支援センター」89.3%が最も高く、次いで「子育ての総合相談窓口」62.7%、「保健センターで行われる相談事業」53.3%となっている。一方、認知度が最も低いのは「家庭教育に関する学級・講座」で24.9%となっている。

利用状況をみると、「子育て支援センター」53.8%が最も高く、次いで「母親（父親）学級」18.3%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」15.4%となっている。一方、利用状況が最も低いのは「子育ての総合相談窓口」6.5%となっている。

今後の利用意向でみると、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」59.2%が最も高く、次いで「子育て支援センター」56.2%、「親子教室等」50.3%となっている。一方、今後の利用意向が最も低いのは「母親（父親）学級」となっている。

図表 6-13 事業の認知度、利用状況、今後の利用意向



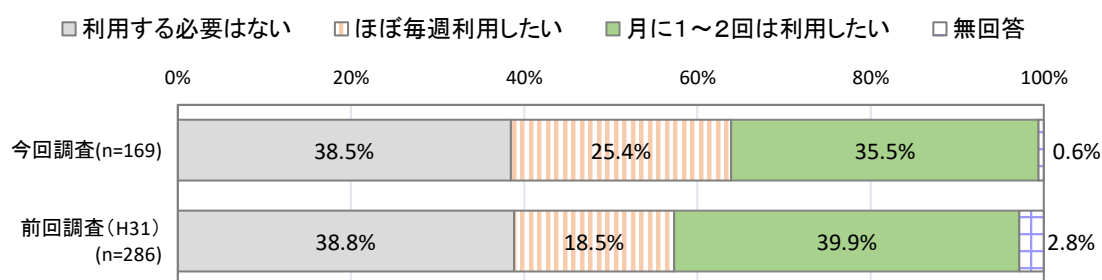
7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

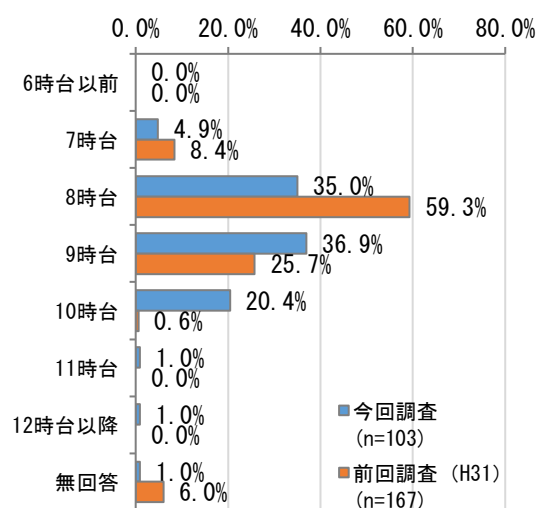
(1)土曜日

土曜日における定期的な教育・保育事業の利用希望について、「利用する必要はない」38.5%が最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」35.5%、「ほぼ毎週利用したい」25.4%となっている。利用したい時間帯については、9時台～18時台が最多となっている。

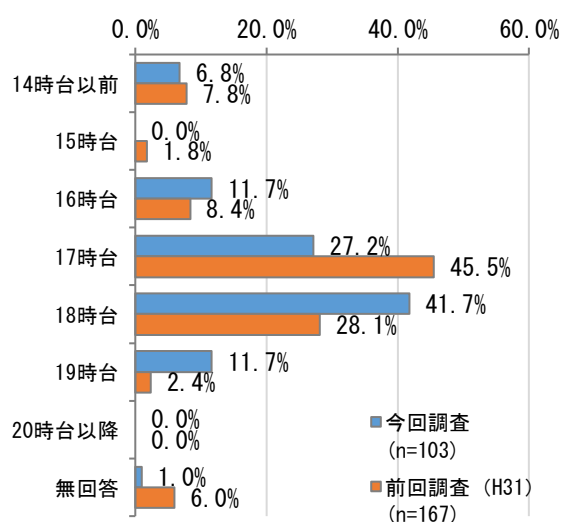
図表 7-1 定期的な教育・保育事業の利用希望（土曜日）



図表 7-2 利用開始時間



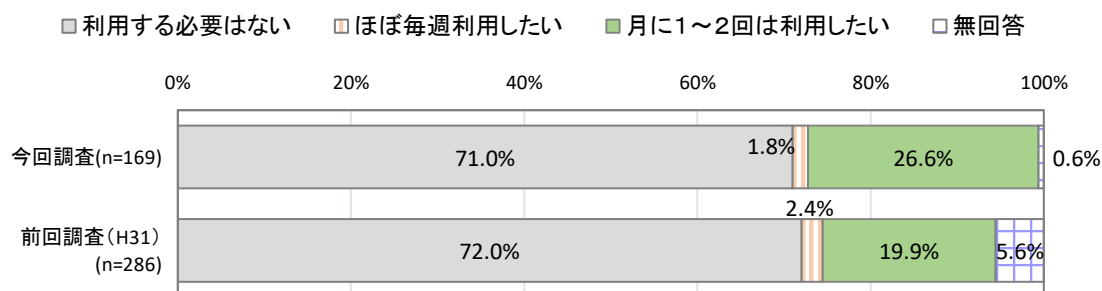
図表 7-3 利用終了時間



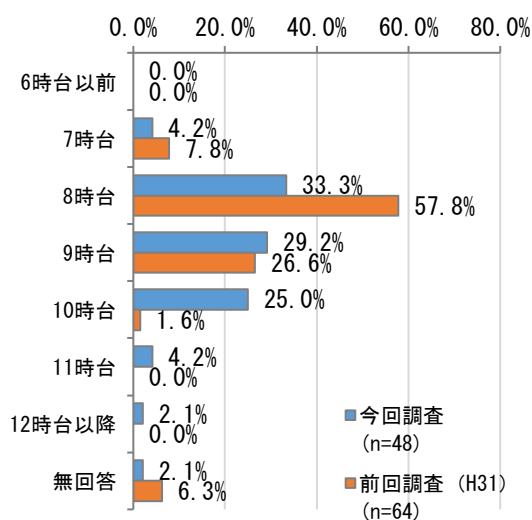
(2)日曜・祝日

日曜・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望について、「利用する必要はない」71.0%が最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」26.6%となっている。利用したい時間帯については、8時台から18時台が最多となっている。

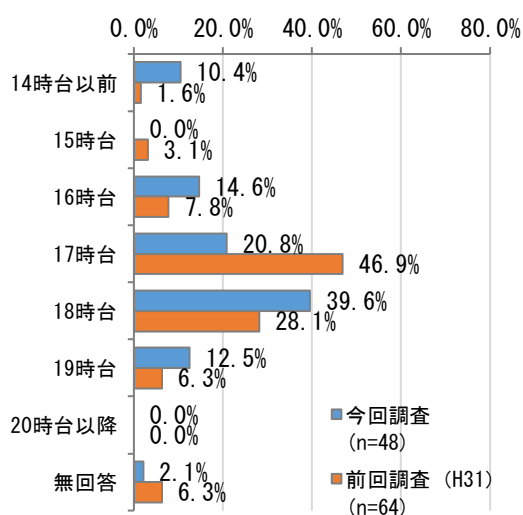
図表 7-4 定期的な教育・保育事業の利用希望（日曜・祝日）



図表 7-5 利用開始時間



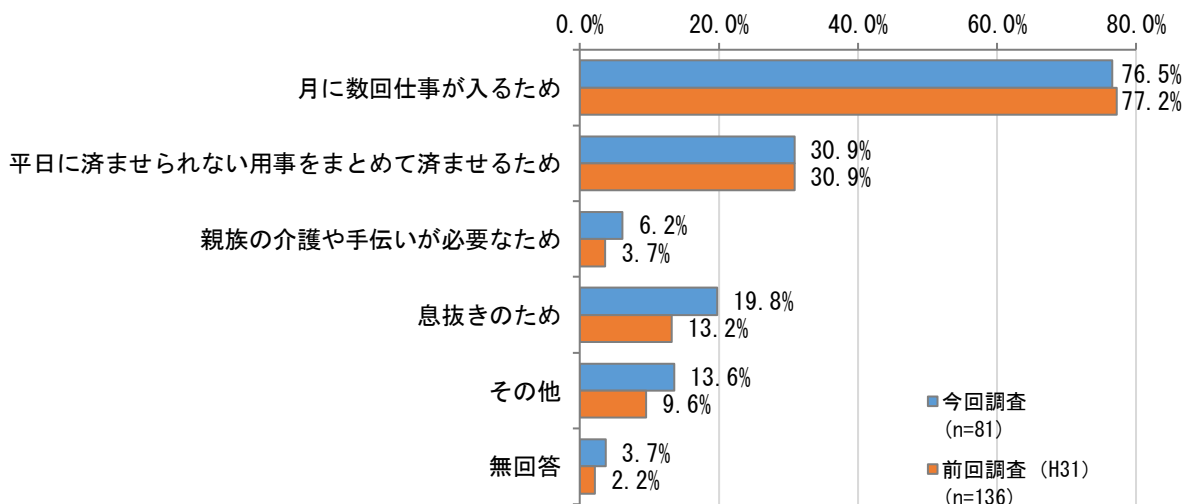
図表 7-6 利用終了時間



問20-1 【問 20 の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(複数回答)

毎週ではなく、たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」76.5%が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」30.9%、「息抜きのため」19.8%となっている。

図表 7-7 毎週ではなく、たまに利用したい理由

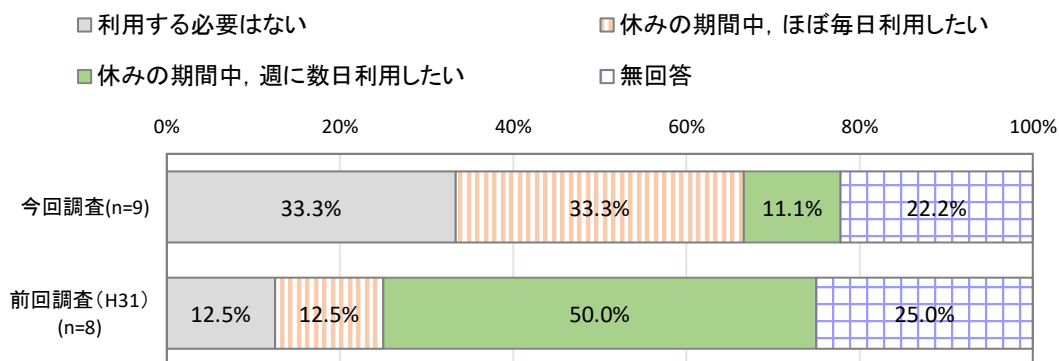


問21 【「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。】

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「利用する必要はない」、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」がいずれも33.3%と最も高くなっている。利用したい時間帯については、8時台、9時台から17時台、18時台までとなっている。

図表 7-8 長期休暇中の利用希望



図表 7-9 利用したい時間帯

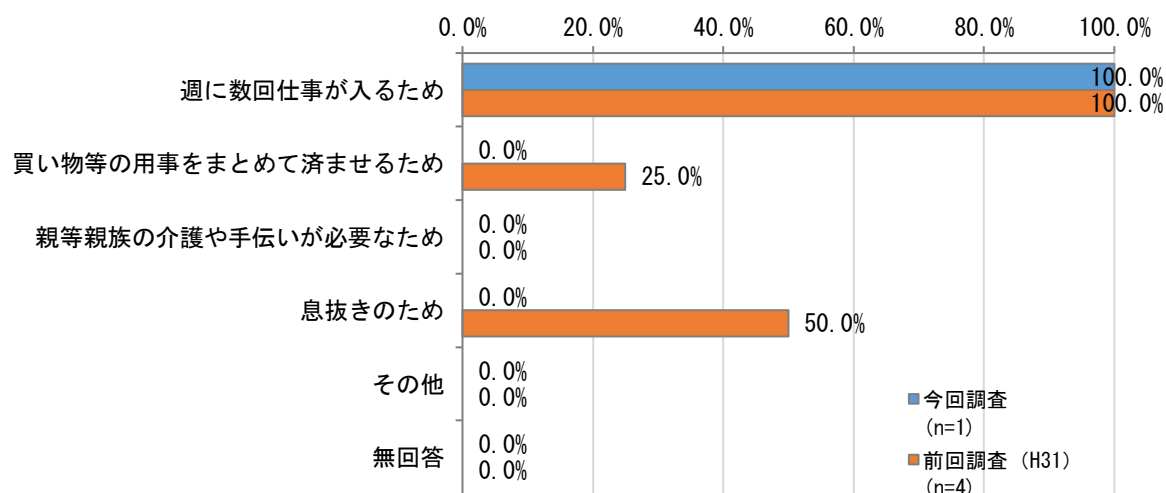
利用開始時間 (n=4)：8時台 (50.0%)、9時台 (50.0%)
 利用終了時間 (n=4)：17時台 (75.0%)、18時台 (25.0%)

問21-1 【問 21 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(複数回答)

たまに利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」との回答が1件(100.0%)であった。

図表 7-10 たまに利用したい理由

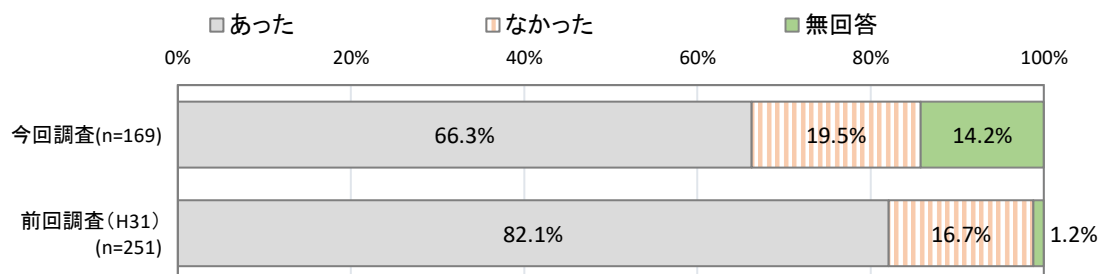


8. 宛名のお子さんの病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問22 【平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 15 で1に○をつけた方)にうかがいます。】この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがあるかについては、「あった」66.3%、「なかった」19.5%となっている。

図表 8-1 病気等で通常の事業が利用できなかったことの有無

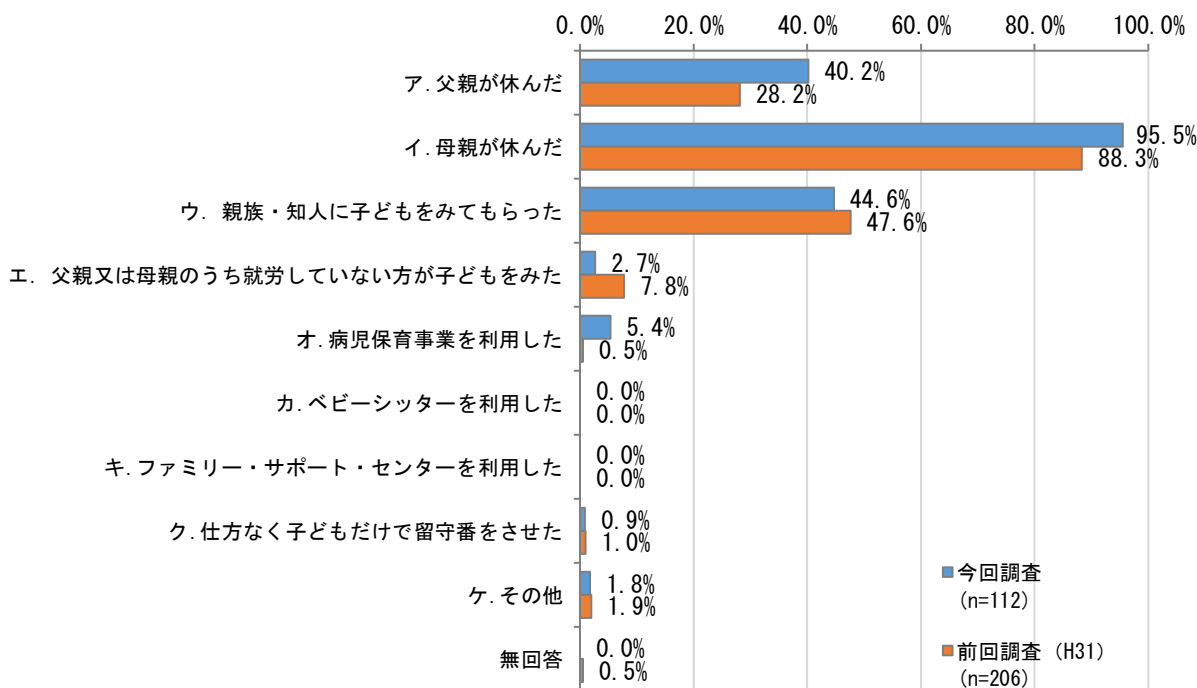


問22-1 【問 22 で「1.あった」に○をつけた方にうかがいます。】

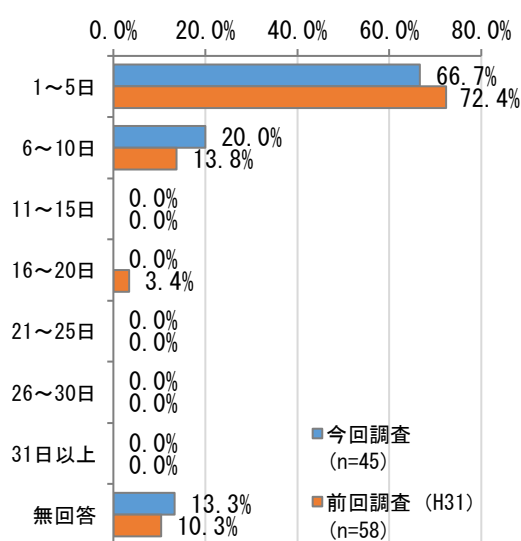
宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(複数回答)

この1年間に行った対処方法については、「母親が休んだ」95.5%が最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」44.6%、「父親が休んだ」40.2%となっている。

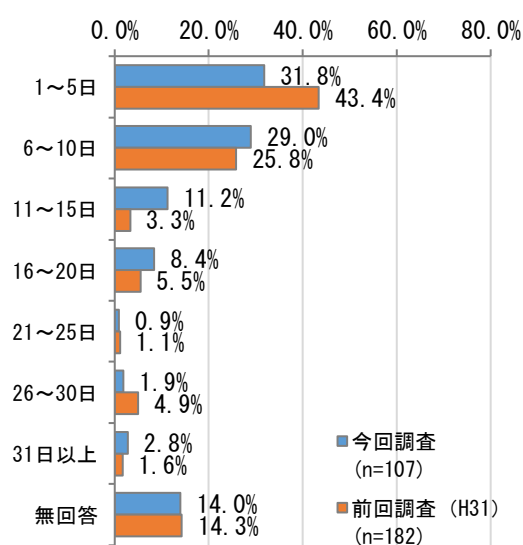
図表 8-2 この1年間に行った対処法



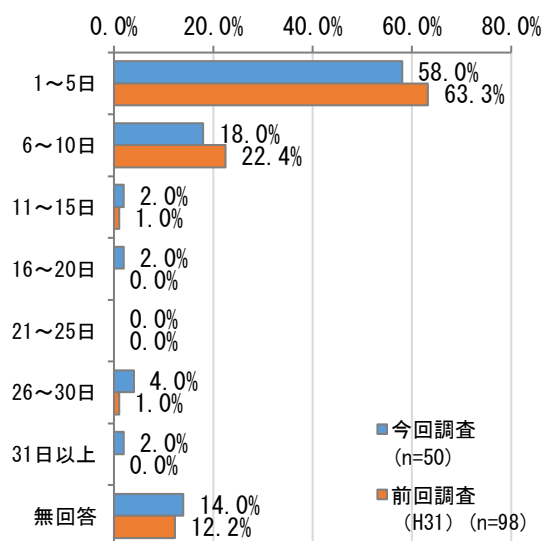
図表 8-3 ア. 「父親が休んだ」日数/年



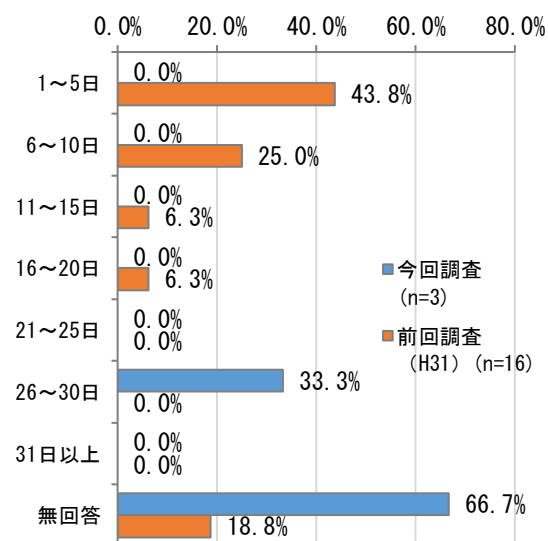
図表 8-4 イ. 「母親が休んだ」日数/年



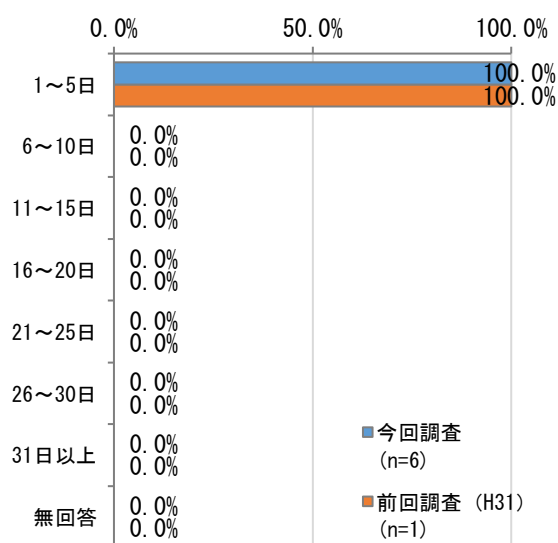
図表 8-5 ウ.「親族・知人に子どもをみてもらった」日数/年



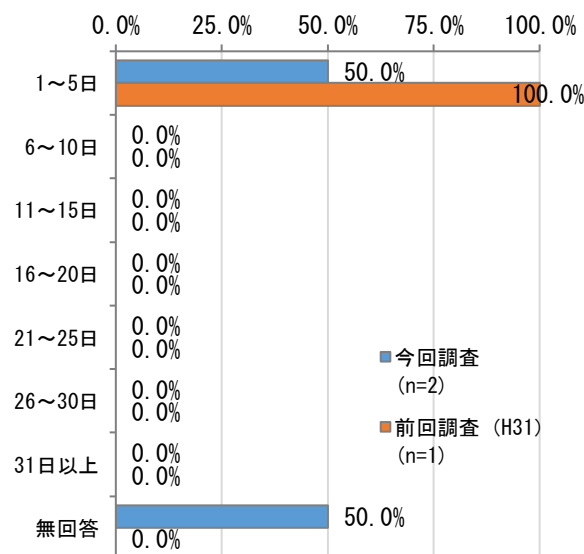
図表 8-6 エ.「就労していない保護者が子どもをみた」日数/年



図表 8-7 オ.「病児保育事業を利用した」日数/年



図表 8-8 ケ.「その他」日数/年



【カ. ベビーシッターを利用した】該当なし

【キ. ファミリー・サポート・センターを利用した】該当なし

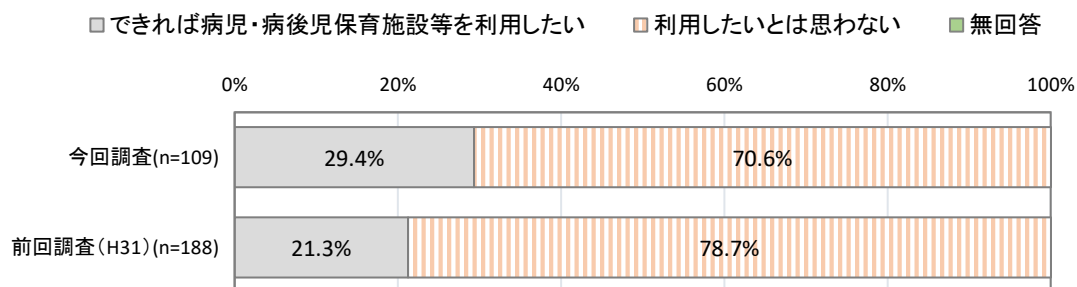
【ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた】該当なし

問22-2 【問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。】

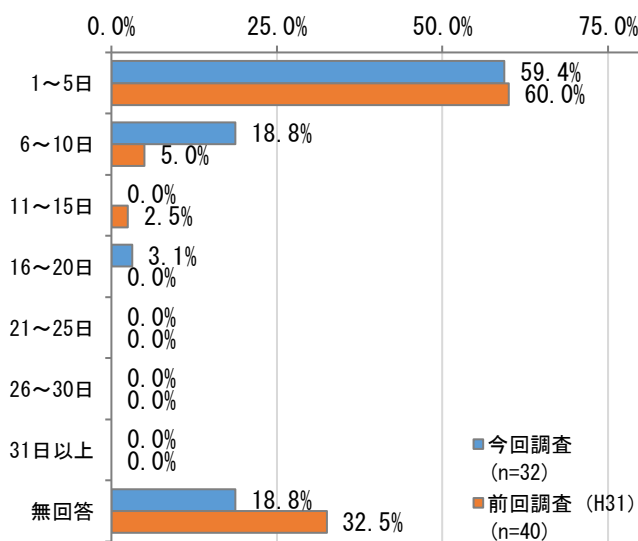
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
日数についてもお記入ください。

病児・病後児のための保育施設等の利用については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」29.4%、「利用したいとは思わない」70.6%となっている。利用日数については、「1～5日」59.4%が最も高くなっている。

図表 8-9 病児・病後児保育の利用意向



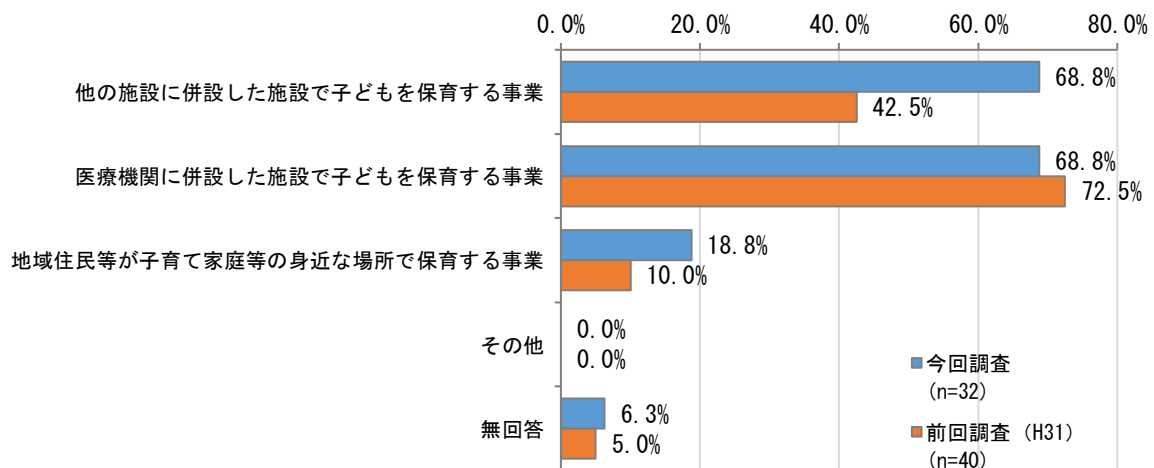
図表 8-10 病児・病後児保育の利用日数



問22-3 【問 22-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答)

病児・病後児保育施設を利用する際、望ましいと思われる事業形態については、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」、「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」がいずれも 68.8%と最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」18.8%となっている。

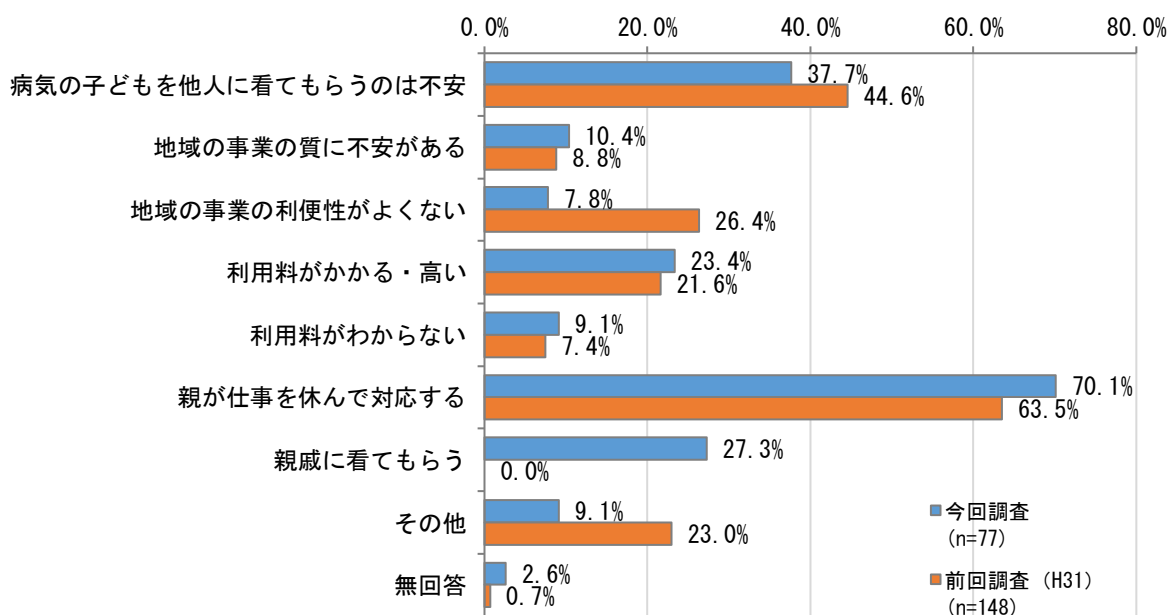
図表 8-11 病児・病後児保育施設等の事業形態



問22-4 【問 22-2 で「2.利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。】
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」70.1%が最も高く、次いで「病気の子どもを他人に看てもらうのは不安」37.7%、「親戚に看てもらう」27.3%となっている。

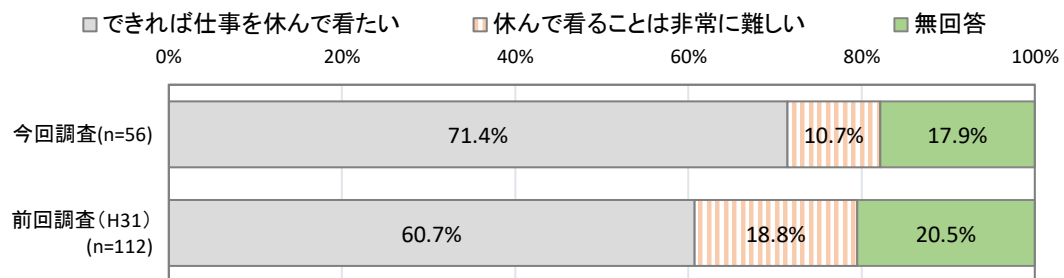
図表 8-12 「利用したいと思わない」理由



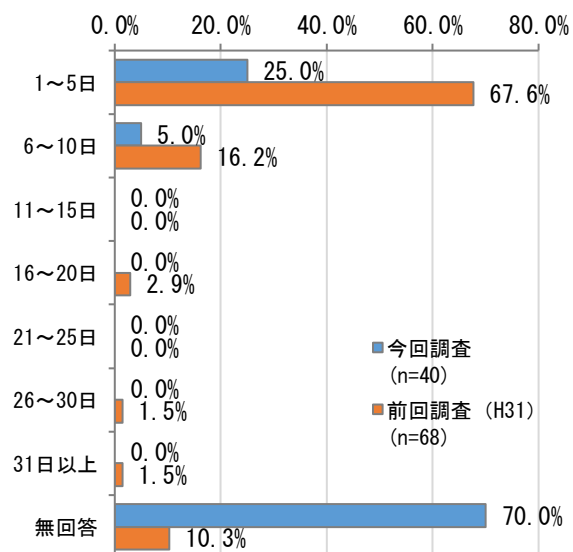
問22-5 【問 22-1で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。】
 その際、「できれば父母いずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についてもご記入ください。

父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」71.4%、「休んで看ことは非常に難しい」10.7%となっている。休んで看たい日数については、「1～5日」25.0%が最も高くなっている。

図表 8-13 「仕事を休んで看たいか」



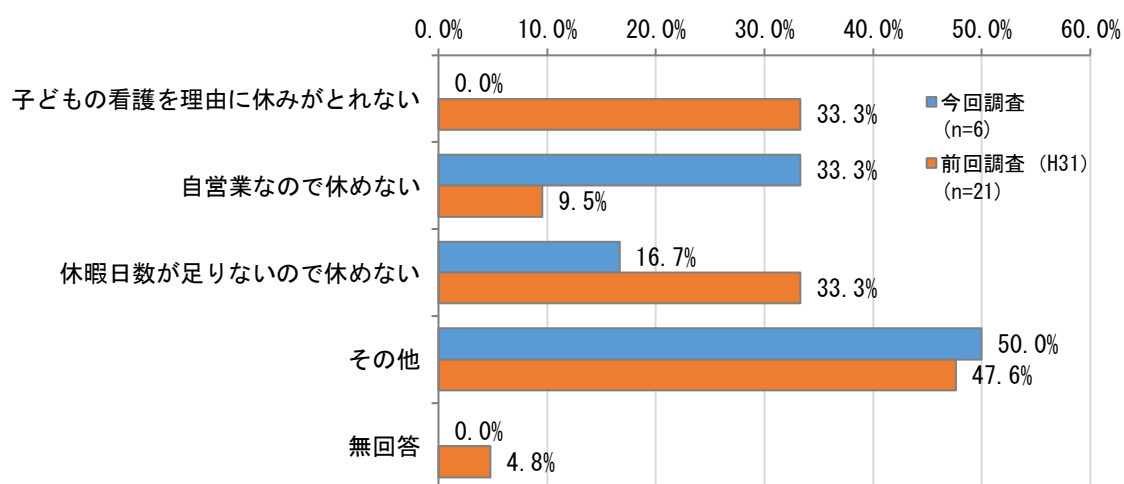
図表 8-14 「仕事を休んで看たい」日数



問22-6 【問 22-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。】
 そう思われる理由についてお答えください。(複数回答)

休んで見ることは非常に難しいと思う理由については、「その他」50.0%が最も高く、次いで「自営業なので休めない」33.3%、「休暇日数が足りないので休めない」16.7%となっている。「その他」の内容については、「他の人が休んでいて休めない」などの理由があげられた。

図表 8-15 「休んで見ることは非常に難しい」理由

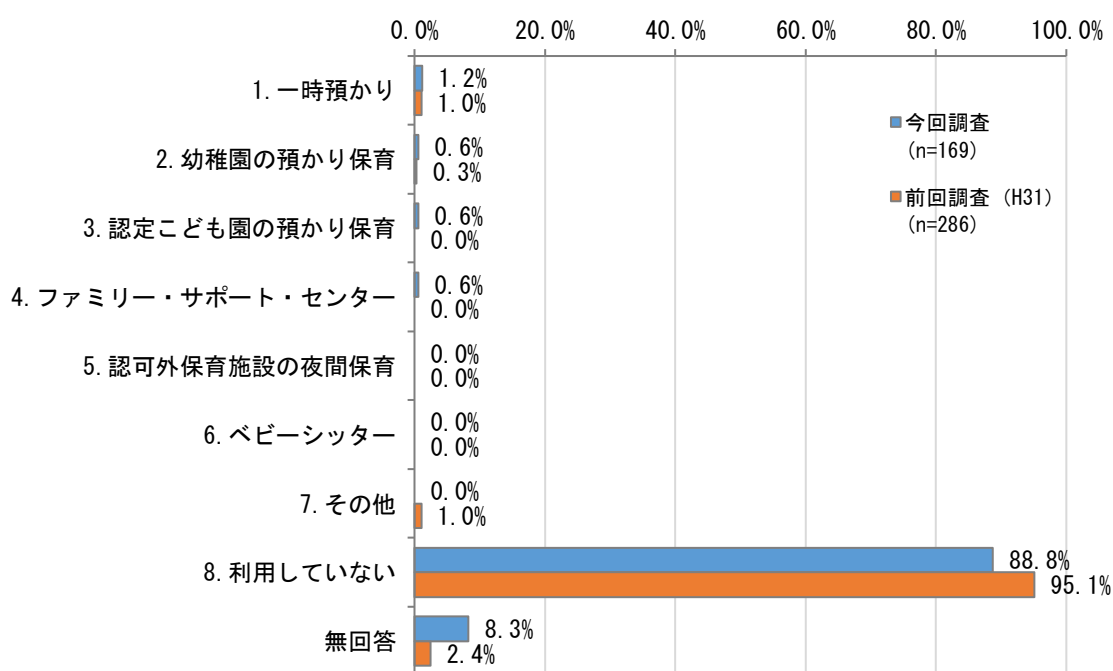


9. 宛名のお子さんの「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

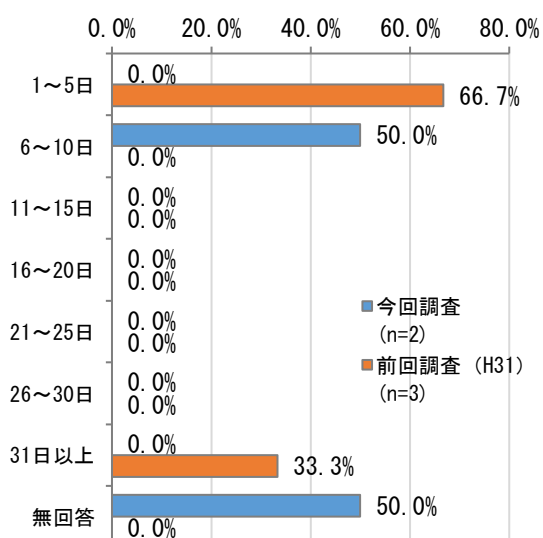
問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利
用日数(おおよそ)もお答えください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「利用し
ていない」88.8%が最も高く、次いで「一時預かり」1.2%となっている。利用日数について
は、下図のとおり。

図表 9-1 不定期に利用している事業及び利用の有無



図表 9-2 【1. 一時預かり】日数/年



【2. 幼稚園の預かり保育 (n=1)】

1～5日 (100.0%)

【3. 認定こども園の預かり保育 (n=1)】

1～5日 (100.0%)

【4. ファミリー・サポート・センター (n=1)】 1～5日 (100.0%)

【5. 認可外保育施設の夜間保育】該当なし

【6. ベビーシッター】該当なし

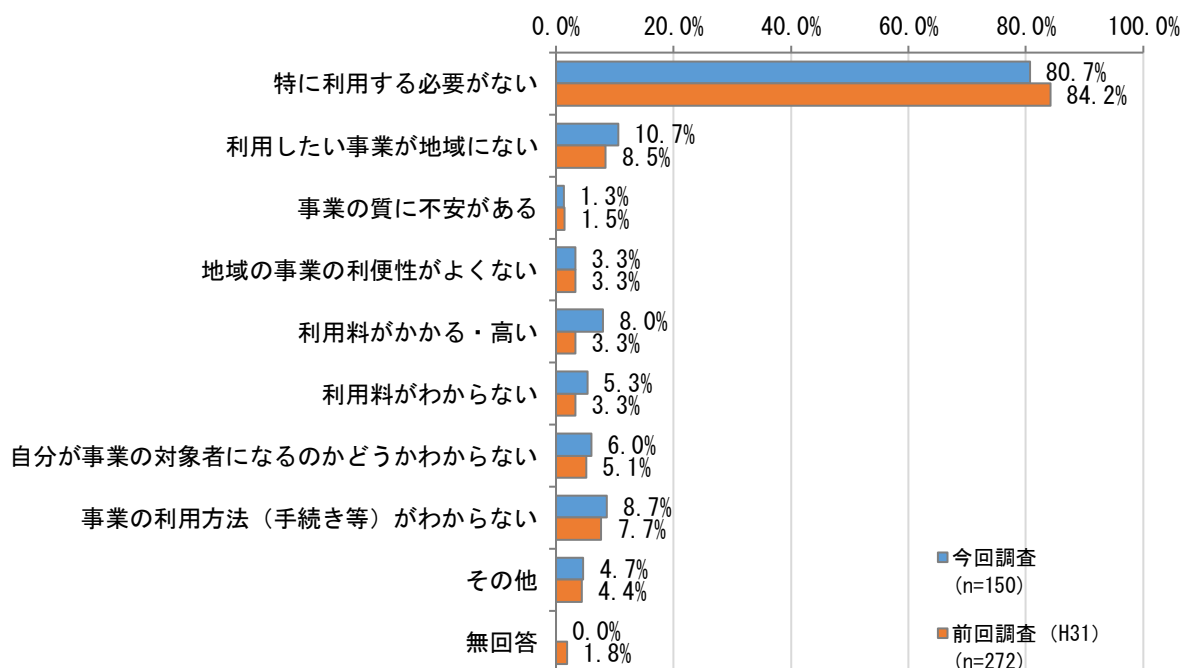
【7. その他】該当なし

問23-1 【問 23 で「8. 利用していない」と回答した方にうかがいます。】

現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

現在利用していない理由については、「特に利用する必要がない」80.7%が最も高く、次いで「利用したい事業が地域にない」10.7%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」8.7%となっている。

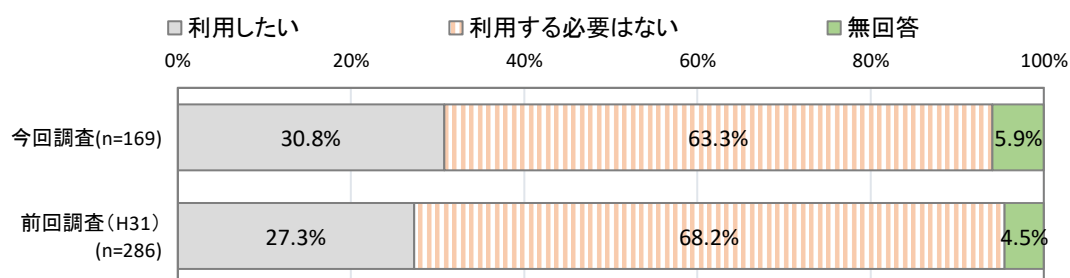
図表 9-3 現在、事業を「利用していない」理由



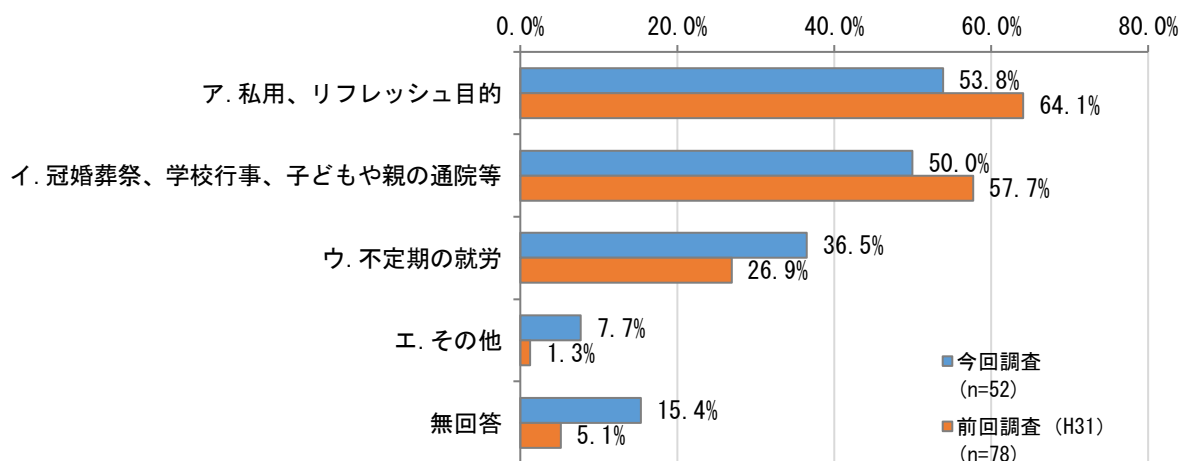
問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無と、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をお答えください。(複数回答)

不定期に教育・保育事業の利用意向があるかについては、「利用したい」30.8%、「利用する必要はない」63.3%となっている。利用理由としては、「私用、リフレッシュ目的」53.8%が最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」50.0%、「不定期の就労」36.5%となっている。利用日数の合計については、全体の23.1%が「6～10日」と回答している。

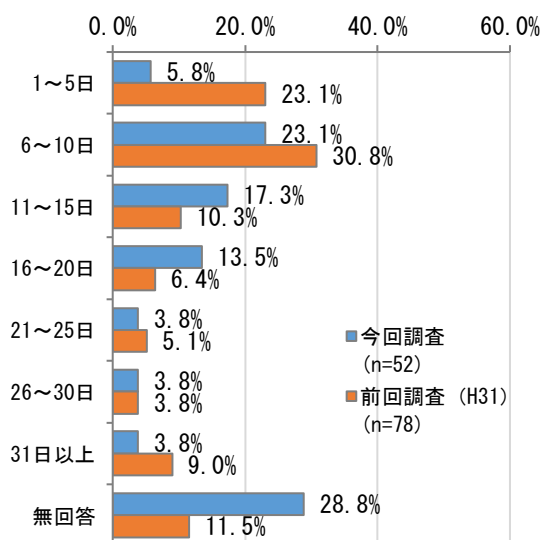
図表 9-4 事業の利用意向



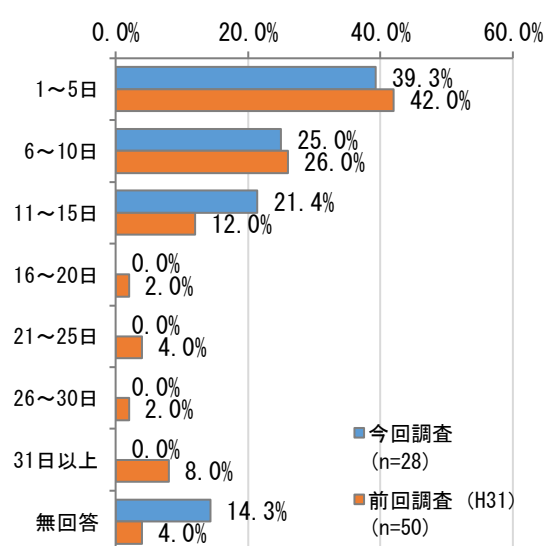
図表 9-5 事業の利用理由の内訳



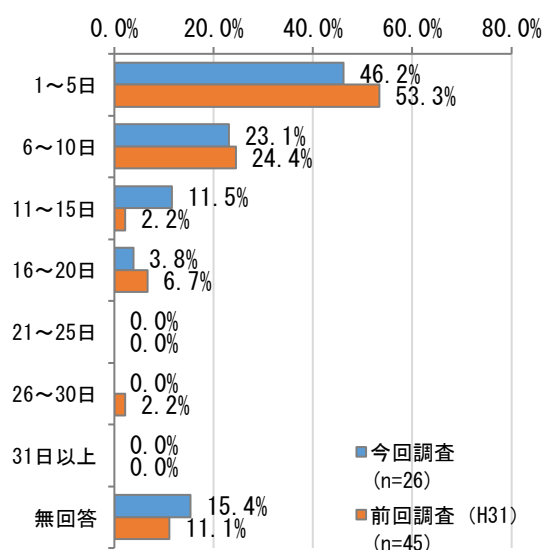
図表 9-6 【合計利用】 日数/年



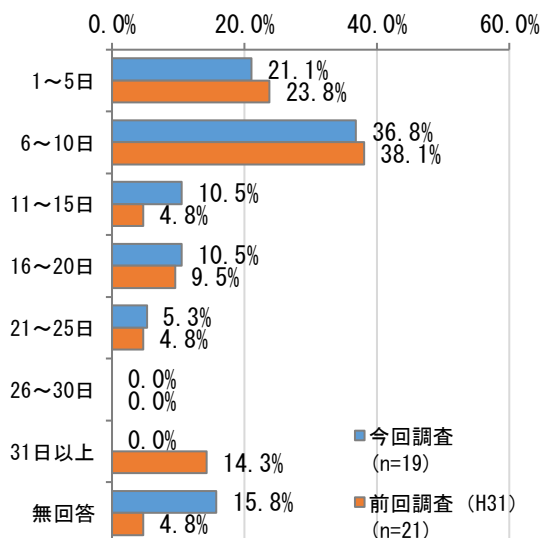
図表 9-7 【ア. 私用、リフレッシュ目的】 日数/年



図表 9-8 【イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院】 日数/年



図表 9-9 【ウ. 不定期の就労】 日数/年



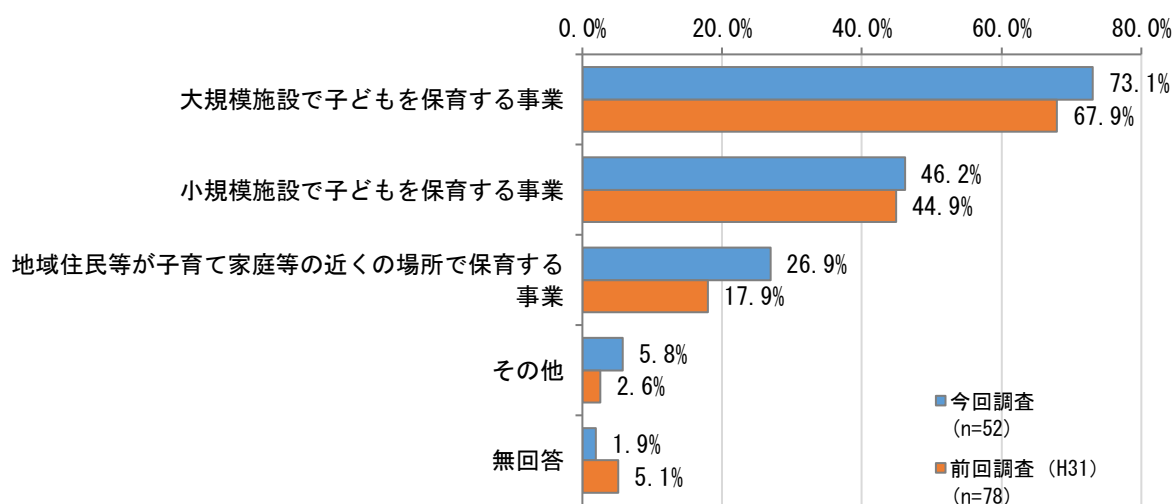
【エ. その他(n=4)】 1～5日 (25.0%)、31日以上 (25.0%)、無回答 (50.0%)

問24-1 【問 24 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。】

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答)

子どもを預ける場合、望ましいと思う事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」73.1%が最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」46.2%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」26.9%となっている。

図表 9-10 子どもを預ける際、望ましい事業形態

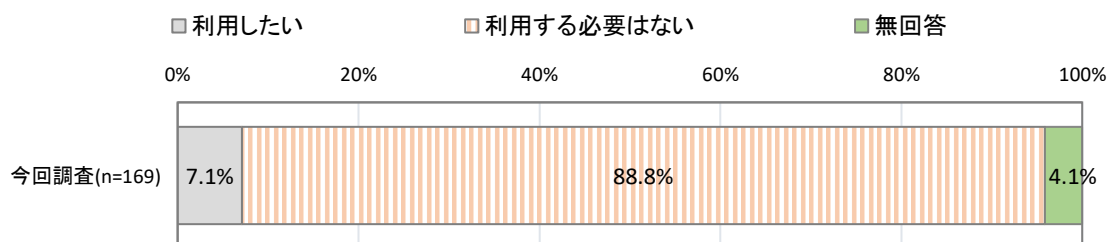


問25 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

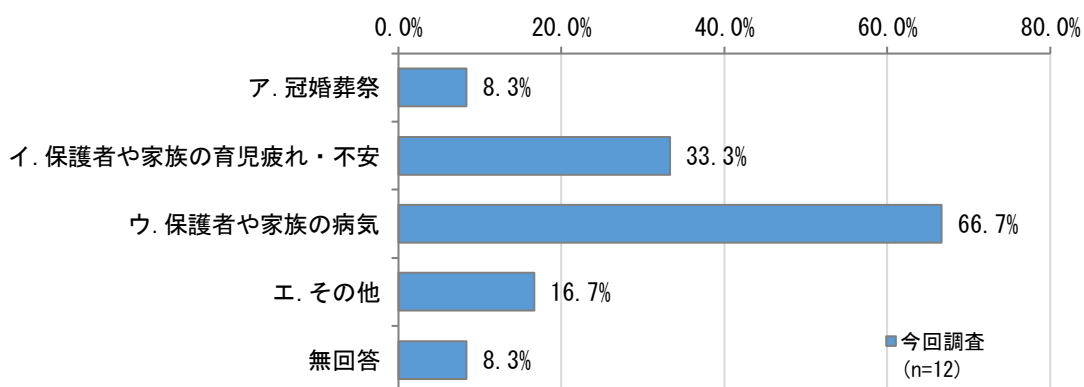
利用意向については、「利用したい」7.1%、「利用する必要はない」88.8%となっている。利用理由としては、「保護者や家族の病気」66.7%が最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」33.3%となっている。

利用泊数の合計については、「1～5日」が50.0%を占めている。

図表 9-11 短期入所生活支援事業の利用意向

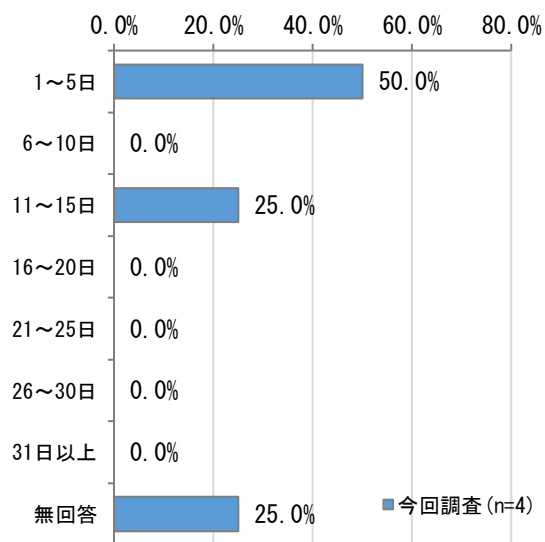
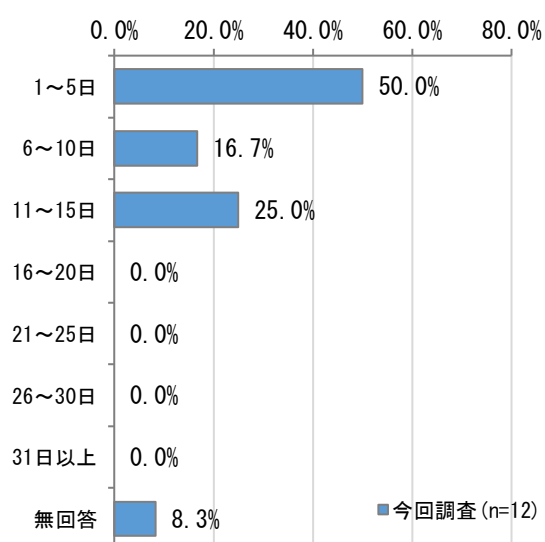


図表 9-12 事業の利用理由の内訳

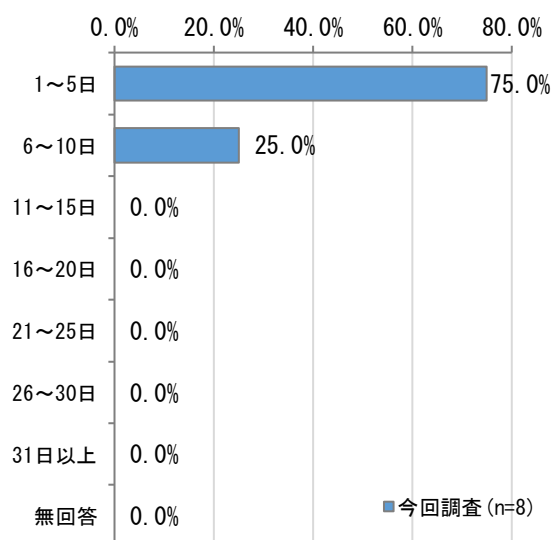


図表 9-14 【イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安】泊数/年

図表 9-13 【合計利用】泊数/年



図表 9-15 【ウ. 保護者や家族の病気】泊数/年



【ア. 冠婚葬祭(n=1)】：1～5日 (100.0%)
 【エ. その他(n=2)】：1～5日 (50.0%)、
 11～15日 (50.0%)

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

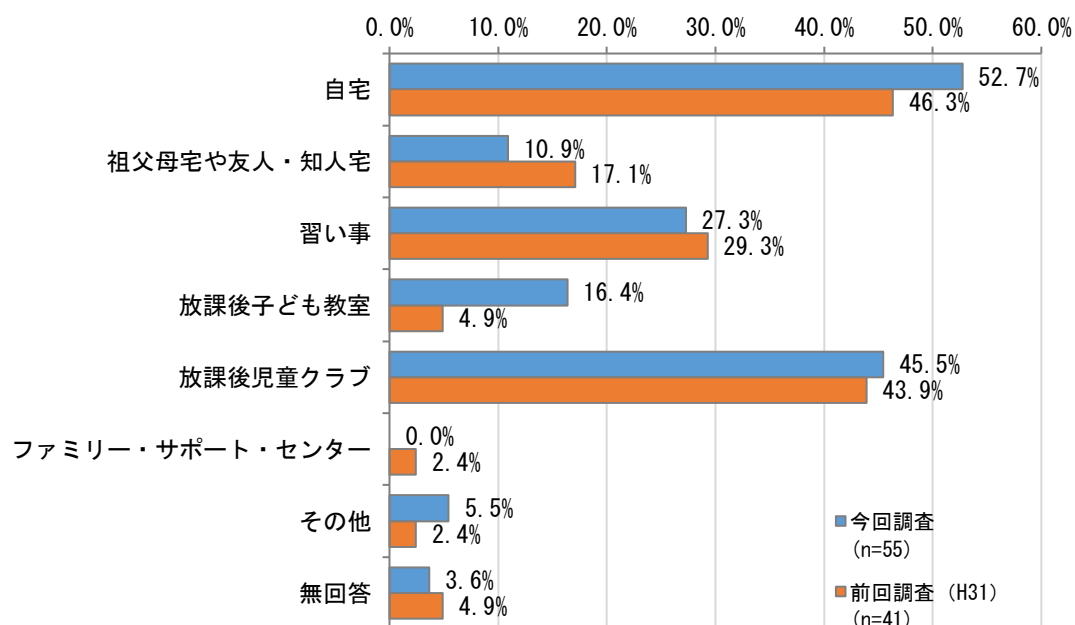
問26 【宛名のお子さんが5歳以上(回答日現在)である方にうかがいます】

宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後から夕方まで)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

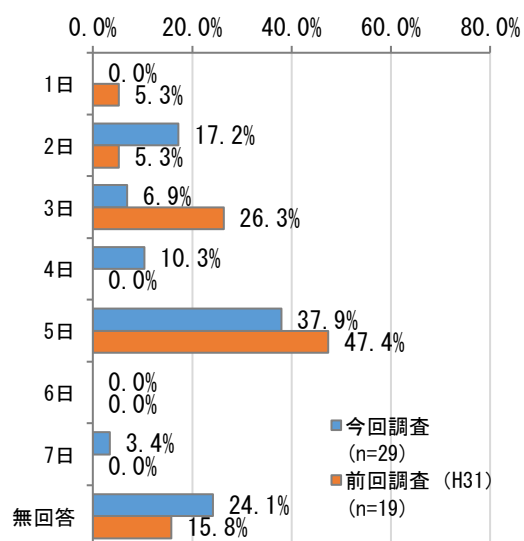
それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。(複数回答)

小学校低学年(1～3年生)のうち放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」52.7%が最も高く、次いで「放課後児童クラブ」45.5%、「習い事」27.3%となっている。

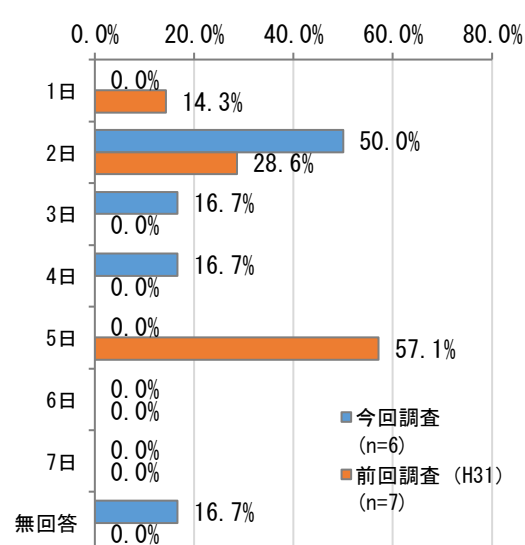
図表 10-1 放課後の過ごし方(小学校低学年)



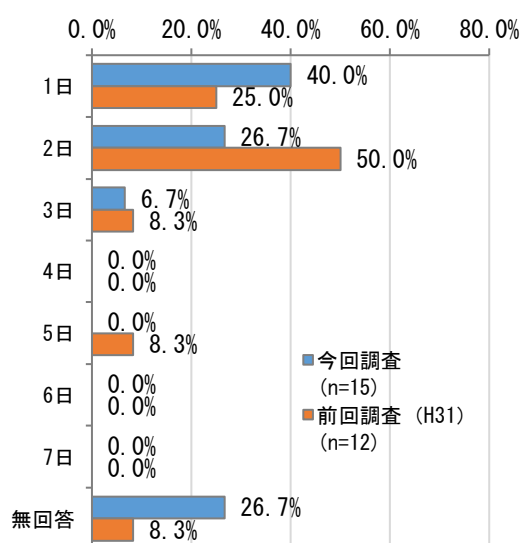
図表 10-2 【1. 自宅】日数/週



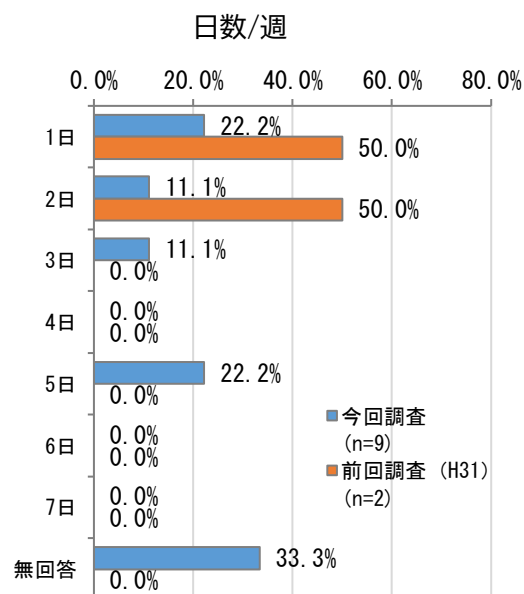
図表 10-3 【2. 祖父母や友人・知人宅】日数/週



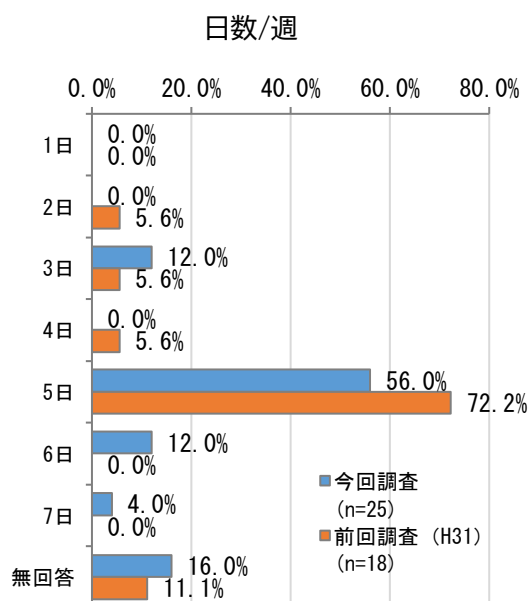
図表 10-4 【3. 習い事】日数/週



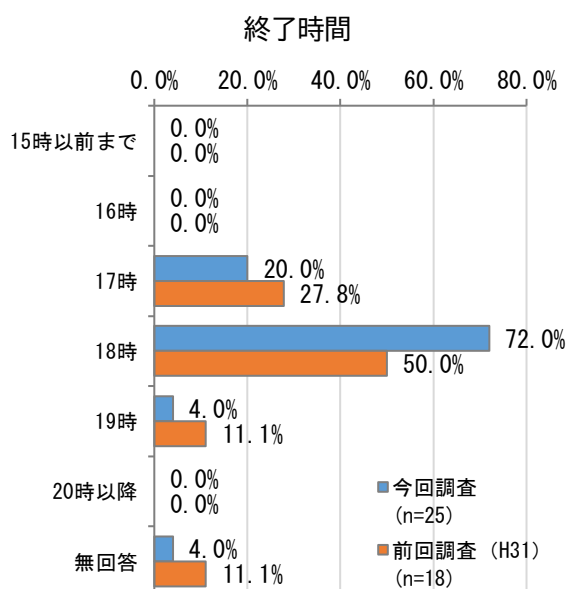
図表 10-5 【4. 放課後子ども教室】



図表 10-6 【5. 放課後児童クラブ】



図表 10-7 【5. 放課後児童クラブ】



【6. ファミリー・サポート・センター】：該当なし

【7. その他（公民館、公園など）(n=3)】：2日（33.3%）、無回答（66.7%）

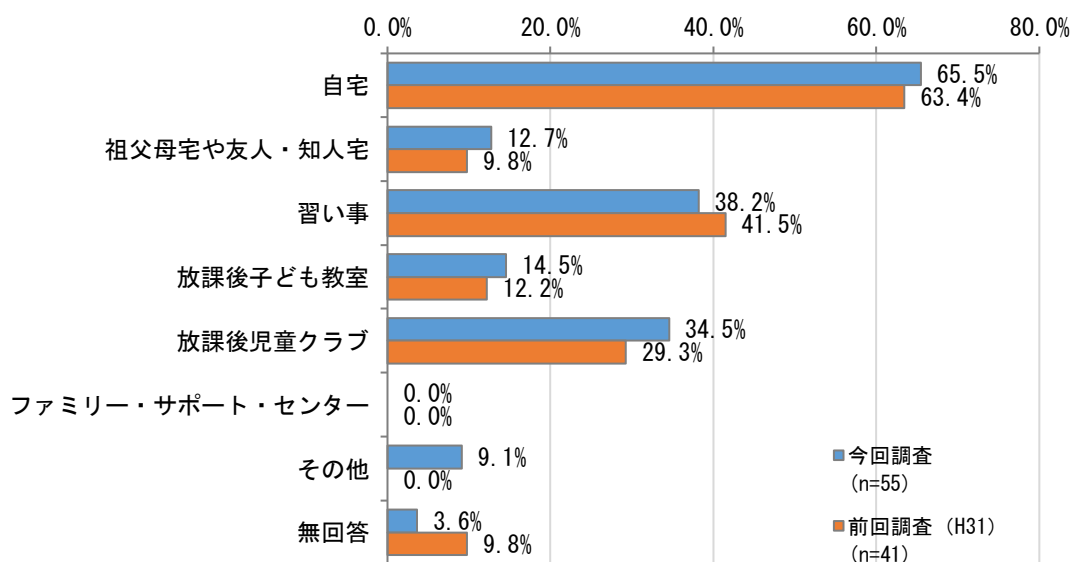
問27 【宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。】

宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後から夕方まで)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

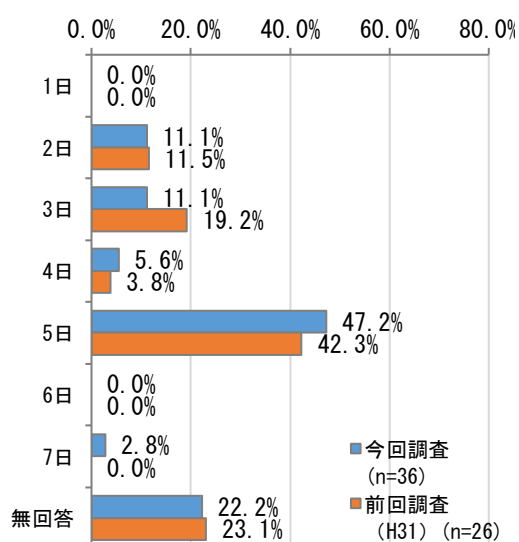
それぞれの週当たり日数をお答えください。

小学校高学年(4～6年生)のうち放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」65.5%が最も高く、次いで「習い事」38.2%、「放課後児童クラブ」34.5%となっている。

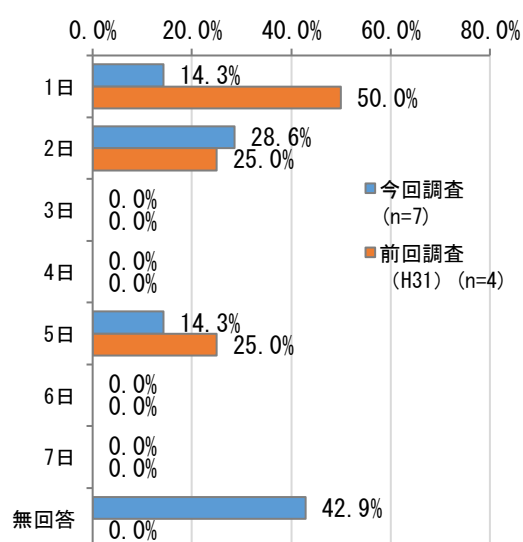
図表 10-8 放課後の過ごし方(小学校高学年)



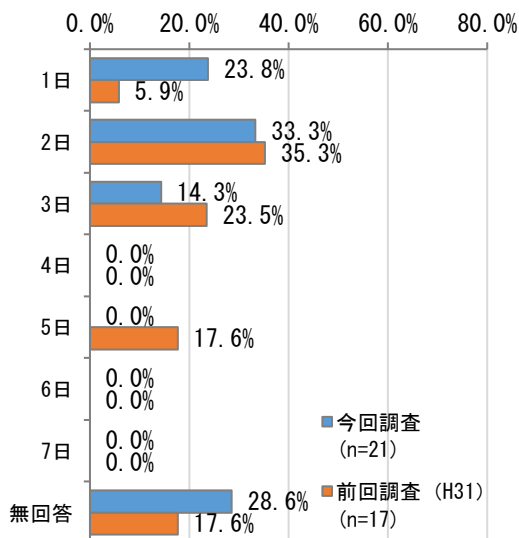
図表 10-9 【1. 自宅】日数/週



図表 10-10 【2. 祖父母や友人・知人宅】日数/週

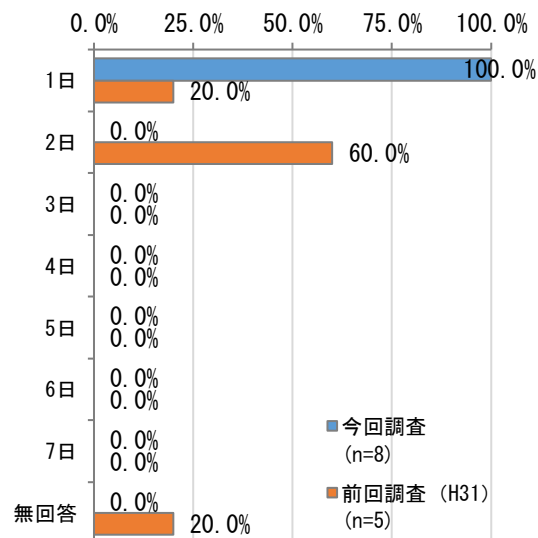


図表 10-11 【3. 習い事】 日数/週

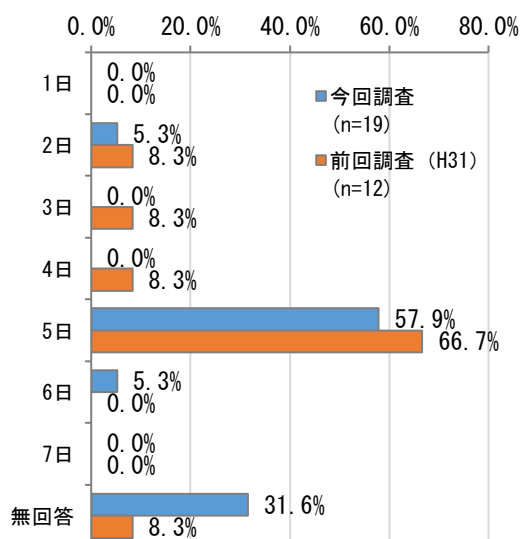


図表 10-12 【4. 放課後子ども教室】

日数/週

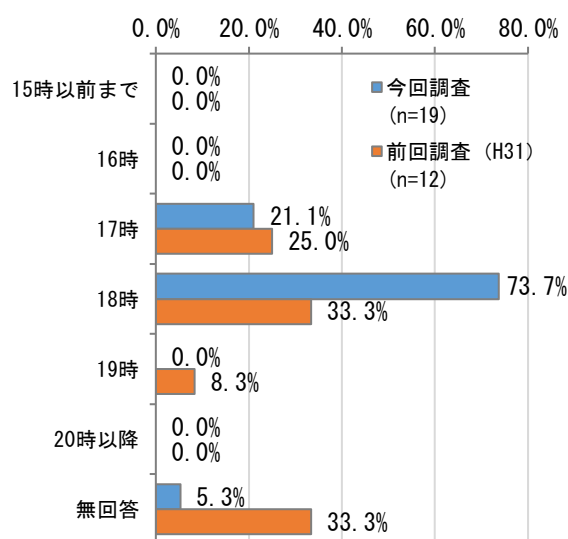


図表 10-13 【5. 放課後児童クラブ】 日数/週

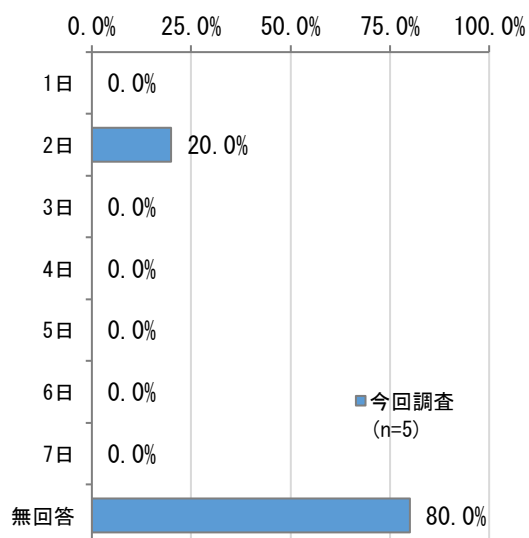


図表 10-14 【5. 放課後児童クラブ】

終了時間



図表 10-15 【7. その他（公民館、公園など）】 日数/週



【6. ファミリー・サポート・センター】

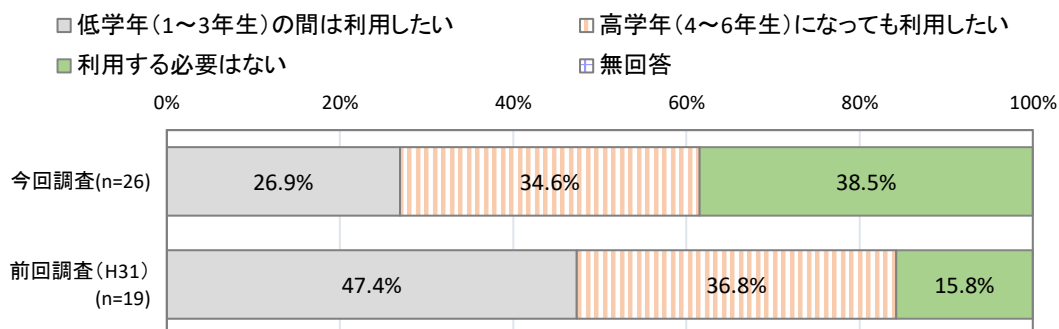
該当なし

問28 【問 26 または問 27 で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。】宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

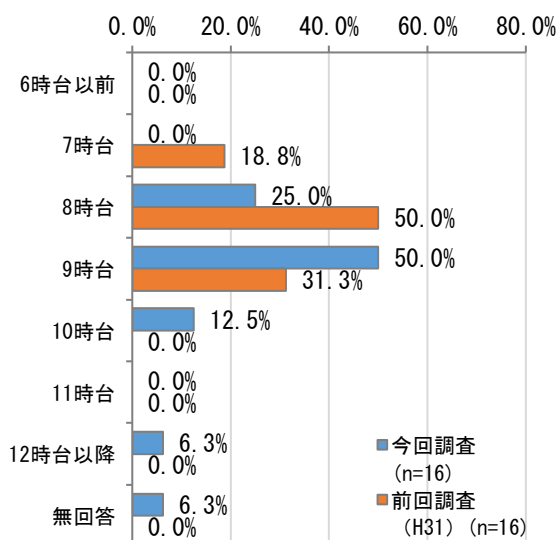
(1)土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」38.5%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」34.6%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」26.9%となっている。利用したい時間帯は9時台から18時台が最多となっている。

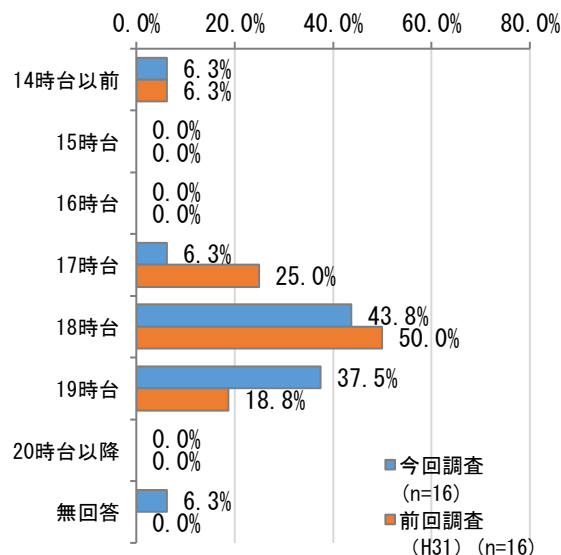
図表 10-16 「放課後児童クラブ」の利用希望【土曜日】



図表 10-17 利用時間帯【開始】



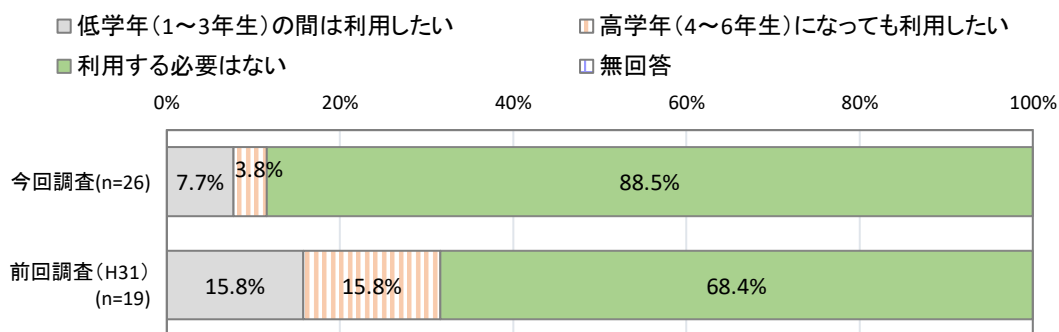
図表 10-18 利用時間帯【終了】



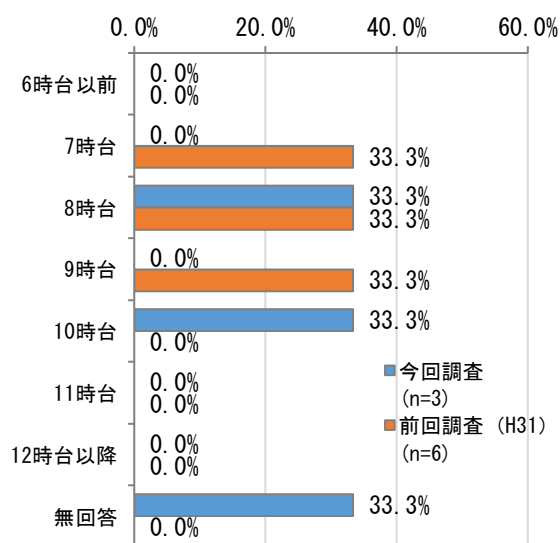
(2)日曜・祝日

日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」88.5%が最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」7.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」3.8%となっている。利用したい時間帯は8時台、10時台から19時台が最多となっている。

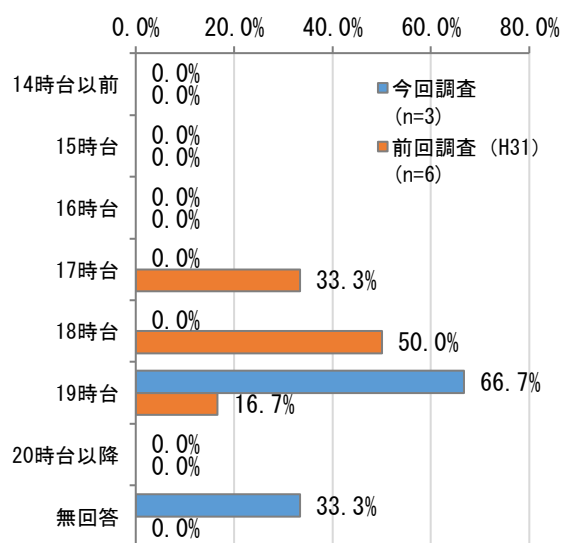
図表 10-19 「放課後児童クラブ」の利用希望【日曜日・祝日】



図表 10-20 利用時間帯【開始】



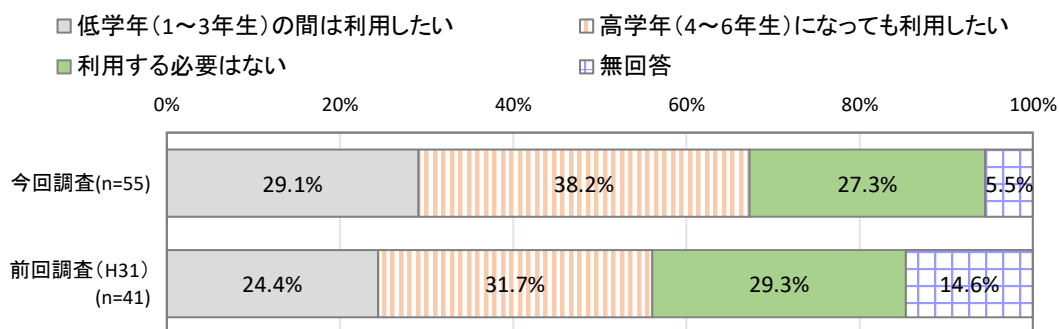
図表 10-21 利用時間帯【終了】



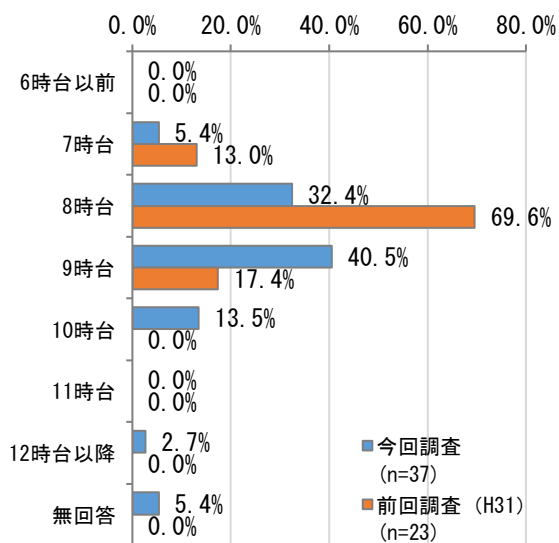
問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用については、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」38.2%が最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」29.1%、「利用する必要はない」27.3%となっている。利用したい時間帯は9時台から18時台が最多となっている。

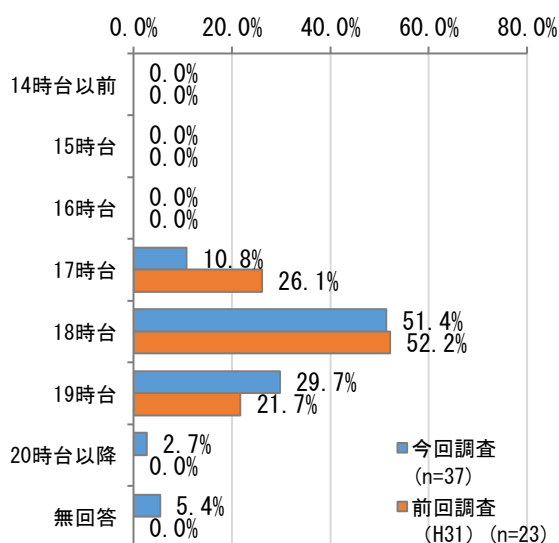
図表 10-22 放課後児童クラブの利用希望の有無（長期休暇中）



図表 10-23 利用時間帯【開始】



図表 10-24 利用時間帯【終了】



11. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

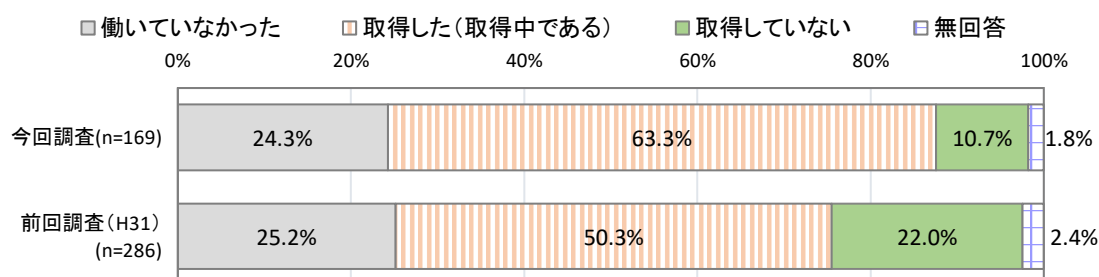
問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。

【母親】

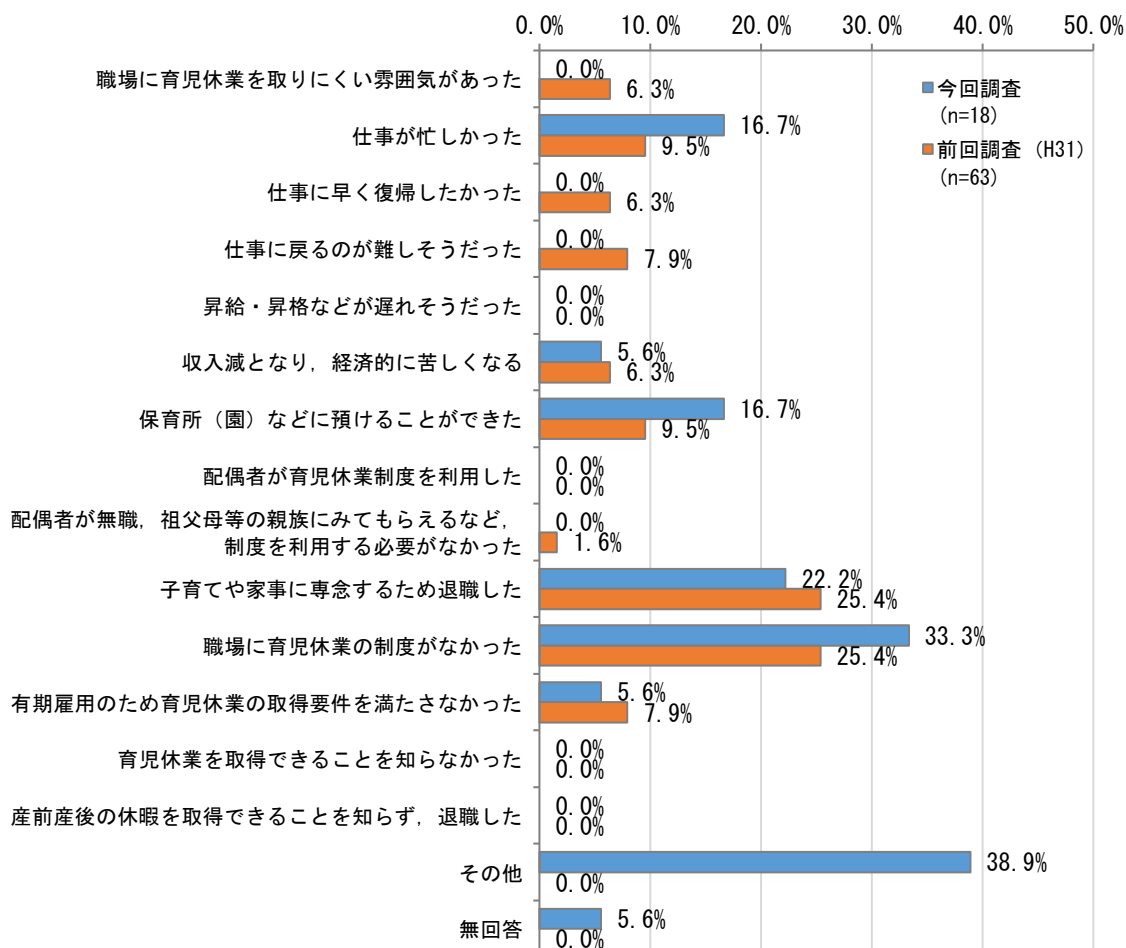
育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」63.3%が最も高く、次いで「働いていなかった」24.3%、「取得していない」10.7%となっている。

また、育児休業を取得していない理由については、「その他」38.9%が最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」33.3%、「子育てや家事に専念するため退職した」22.2%となっている。「その他」の内容では、自営業のためなどの理由があげられた。

図表 11-1 育児休業取得の有無（母親）



図表 11-2 取得していない理由（複数回答）

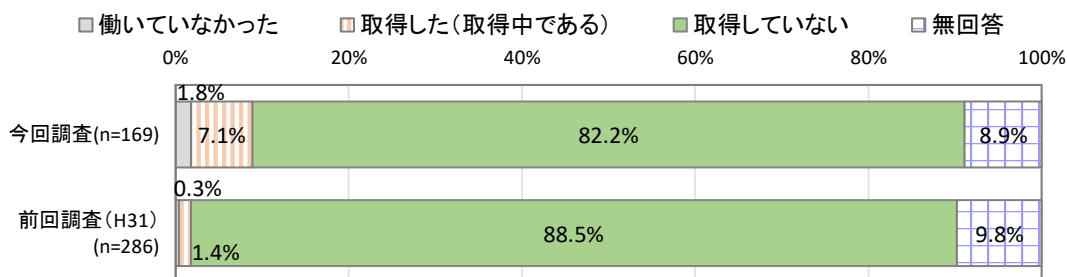


【父親】

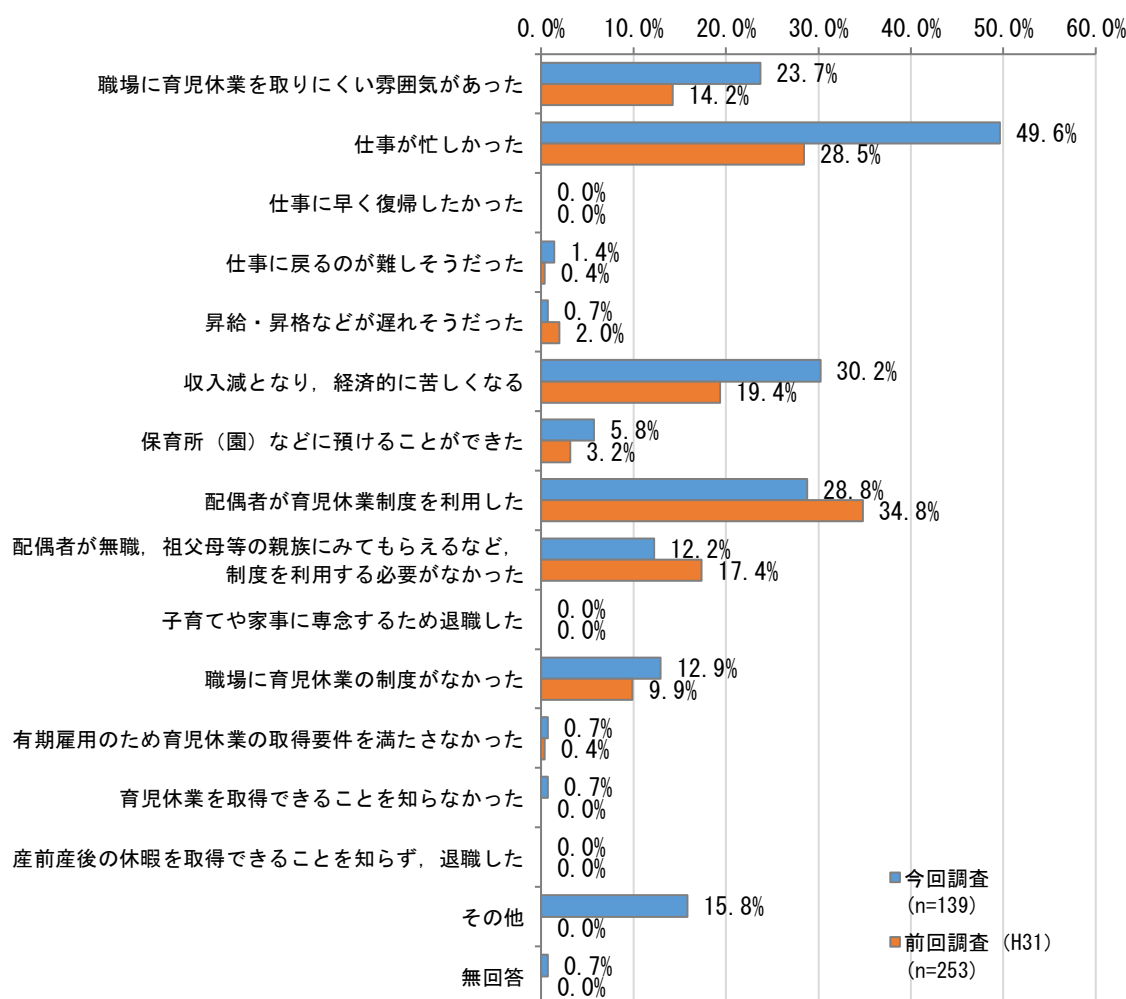
育児休業の取得状況については、「取得していない」82.2%が最も高く、次いで「取得した（取得中である）」7.1%、「働いていなかった」1.8%となっている。

また、育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」49.6%が最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」30.2%、「配偶者が育児休業制度を利用した」28.8%となっている。

図表 11-3 育児休業取得の有無（父親）



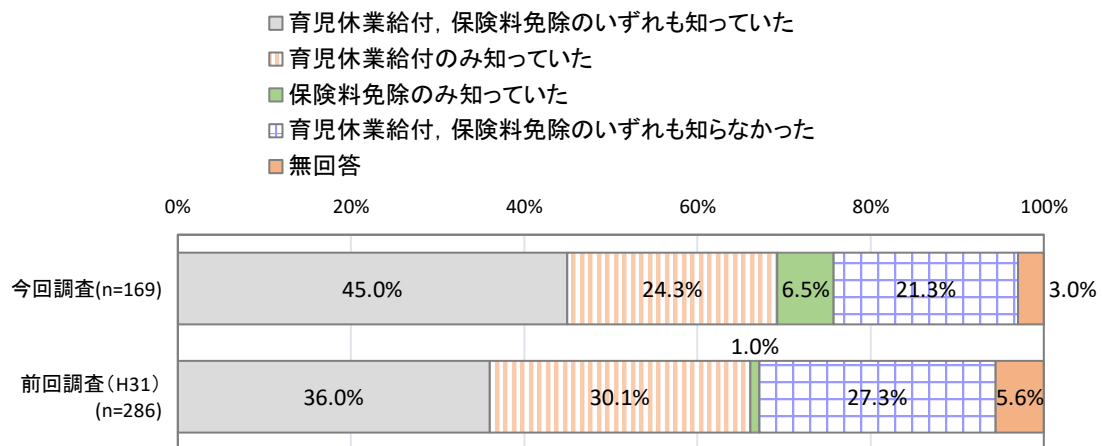
図表 11-4 取得していない理由（複数回答）



問30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業給付、保険料免除の認知状況については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」45.0%が最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」24.3%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」21.3%となっている。

図表 11-5 制度の認知状況

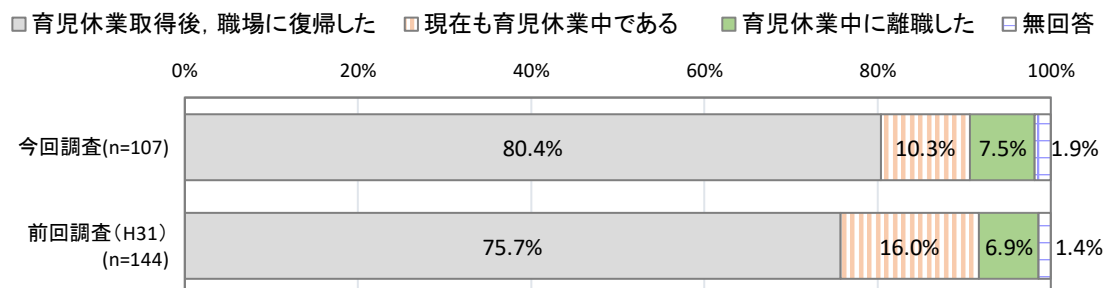


問30-2 【問 30 で「2.取得した(取得中である)」と回答した方(母親・父親それぞれ)にうかがいます。】育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

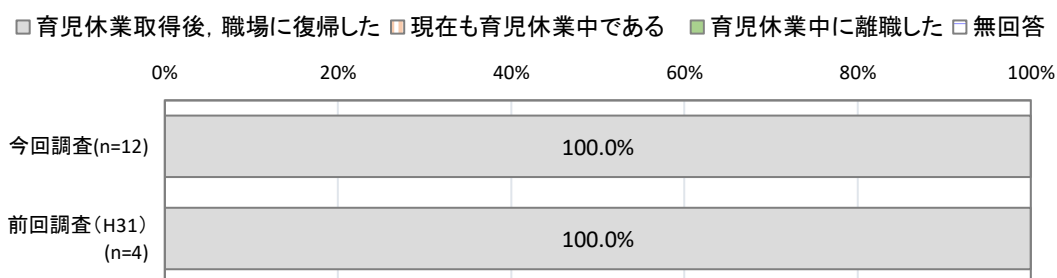
母親については、「育児休業取得後、職場に復帰した」80.4%が最も高く、次いで「現在も育児休業中である」10.3%、「育児休業中に離職した」7.5%となっている。

父親については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が100.0%となっている。

図表 11-6 育児休業後の状況(母親)



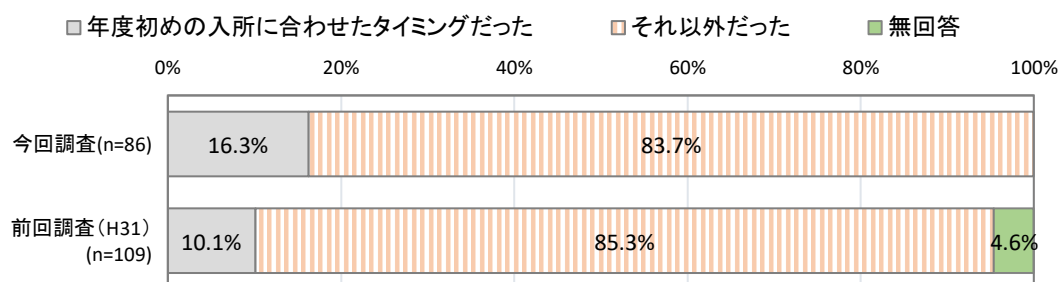
図表 11-7 育児休業後の状況（父親）



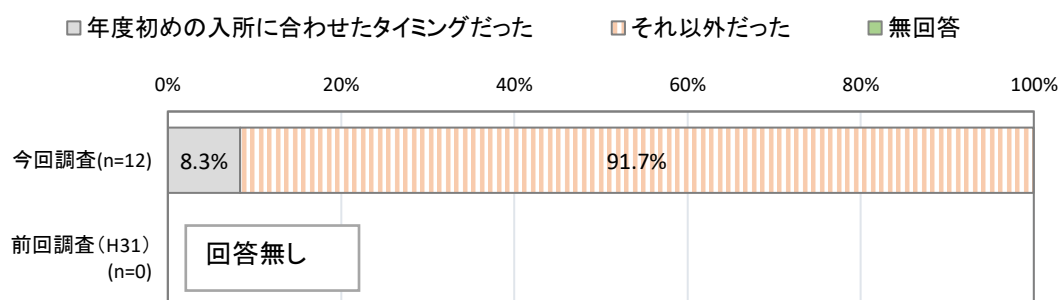
問30-3 【問 30-2 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方(母親・父親それぞれ)にうかがいます。】
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

母親については、「それ以外だった」83.7%が最も高く、次いで「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」16.3%となっている。
父親については、「それ以外だった」が91.7%を占めている。

図表 11-8 職場復帰のタイミング（母親）



図表 11-9 職場復帰のタイミング（父親）



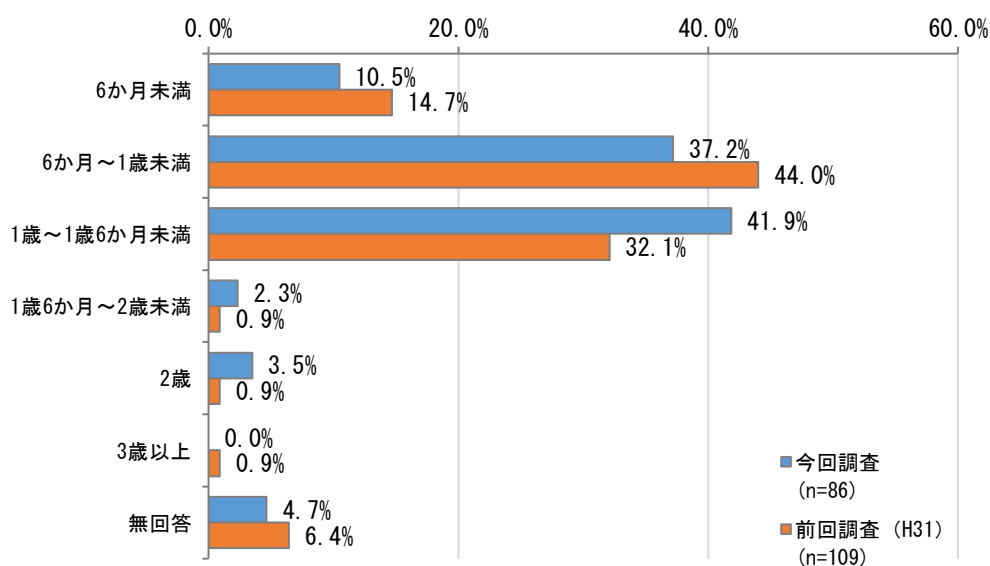
問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

【実際】

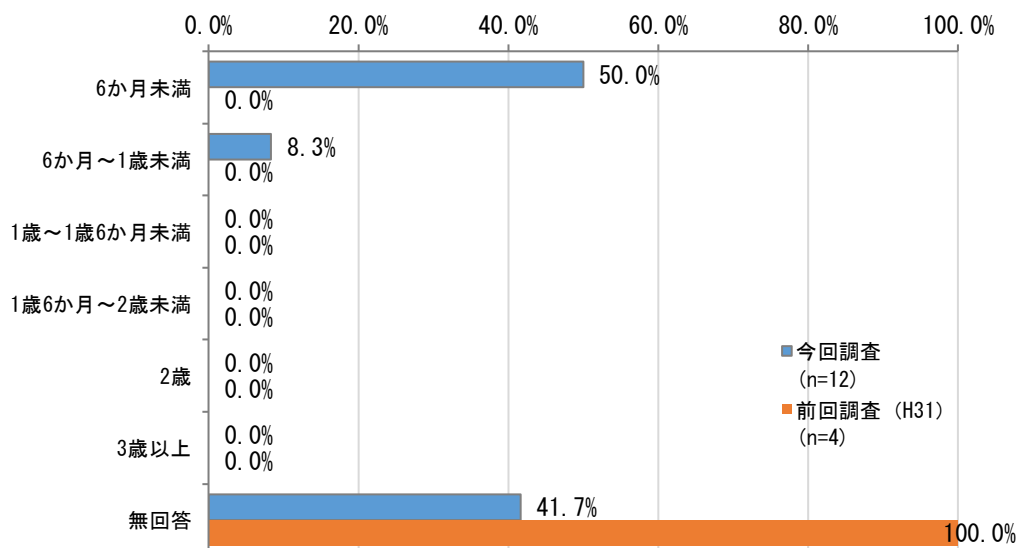
職場復帰時の子どもの年齢について、母親では「1歳～1歳6か月未満」41.9%が最も高く、次いで「6か月～1歳未満」37.2%、「6か月未満」10.5%となっている。

父親については、「6か月未満」50.0%が最も高く、次いで「6か月～1歳未満」8.3%となっている。

図表 11-10 職場復帰時の子どもの年齢【母親】



図表 11-11 職場復帰時の子どもの年齢【父親】

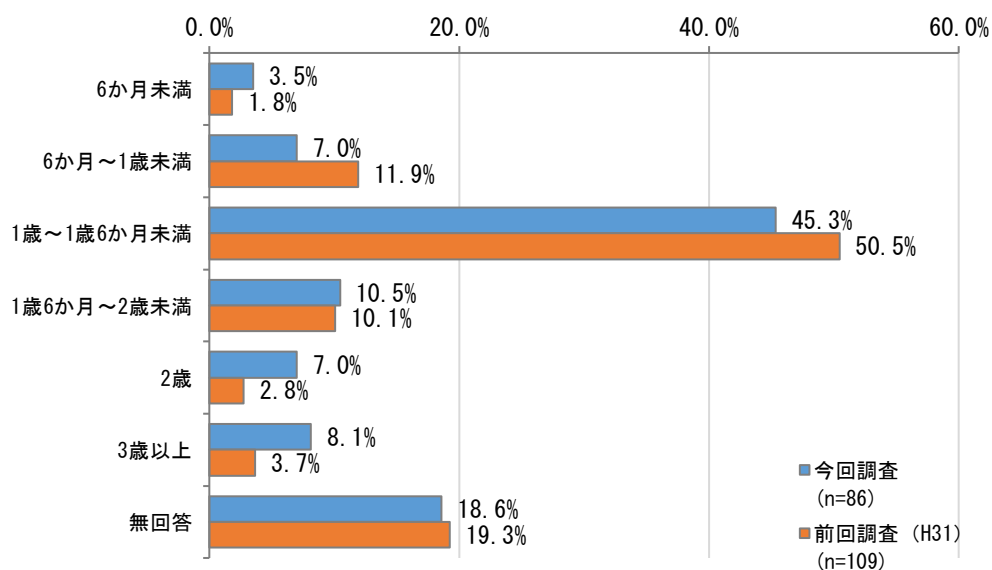


【希望】

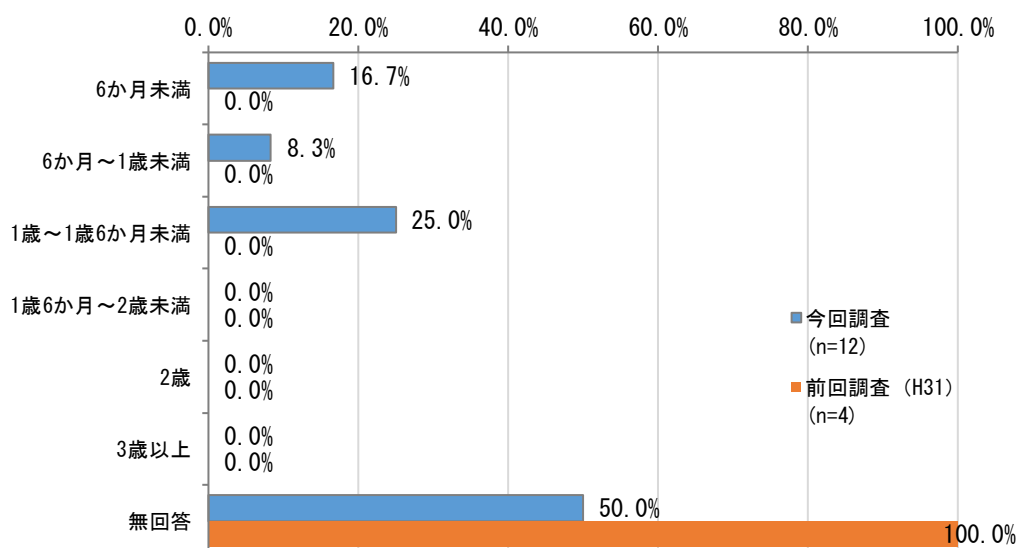
母親が希望する職場復帰年齢については、「1歳～1歳6か月未満」45.3%が最も高く、次いで「1歳6か月～2歳未満」10.5%となっている。

父親については、「1歳～1歳6か月未満」25.0%が最も高く、次いで「6か月未満」16.7%となっている。

図表 11-12 希望する職場復帰年齢【母親】



図表 11-13 希望する職場復帰年齢【父親】

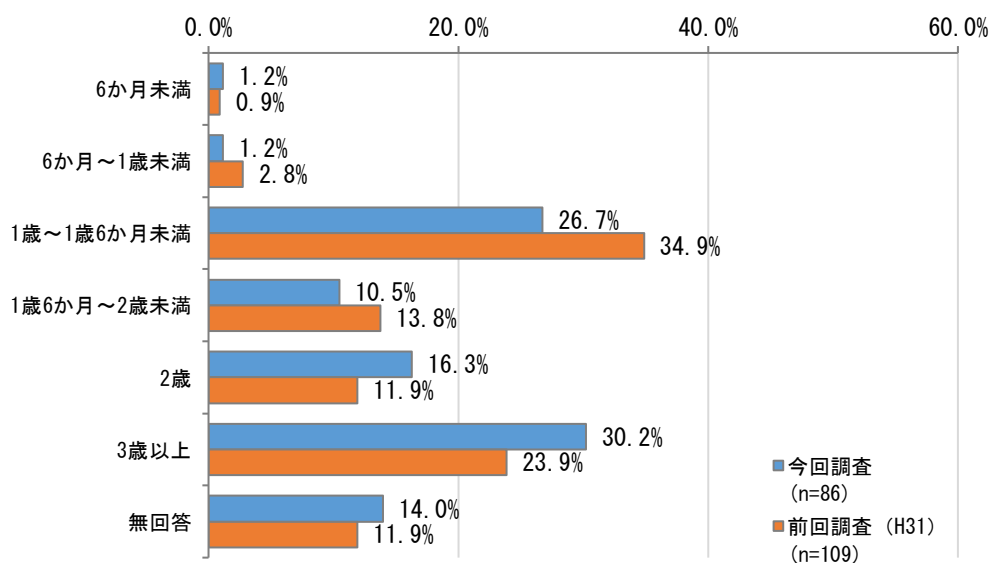


問30-5 お勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

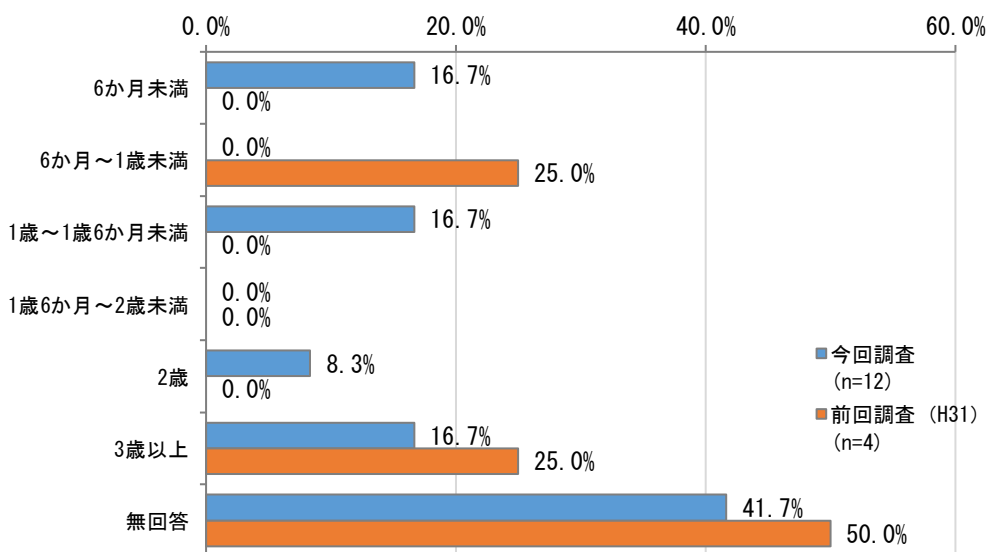
3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する職場復帰年齢について、母親では「3歳以上」30.2%が最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」26.7%、「2歳」16.3%となっている。

父親については、「6か月未満」、「1歳～1歳6か月未満」、「3歳以上」がいずれも16.7%となっている。

図表 11-14 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰年齢



図表 11-15 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰年齢【父親】



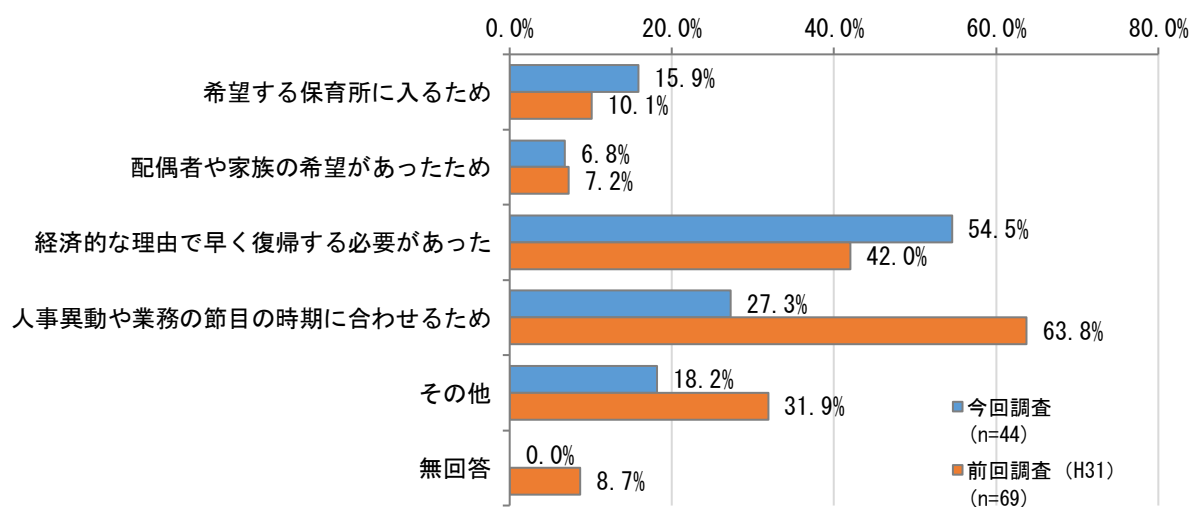
問30-6 【問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。】

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

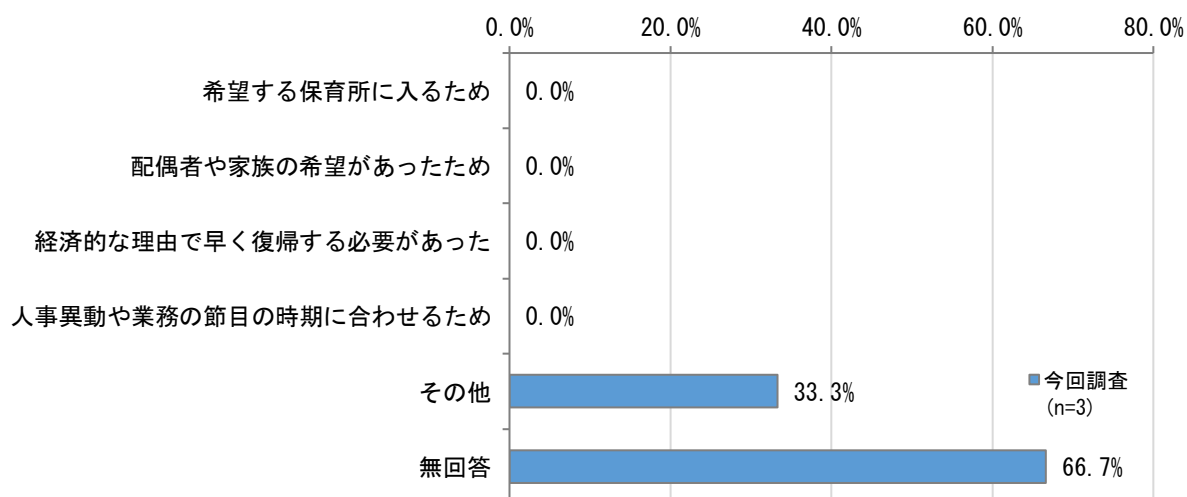
(1) 「希望」より早く復帰した方

希望の時期に職場復帰しなかった理由について、母親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」54.5%が最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」27.3%となっている。父親については、「その他」33.3%が最も高くなっている。「その他」意見では、「職場の人員不足」、「保育園等で他の子と接する機会を持たなかった」などの回答があげられた。

図表 11-16 職場復帰の状況（希望と実際との差：母親）



図表 11-17 職場復帰の状況（希望と実際との差：父親）



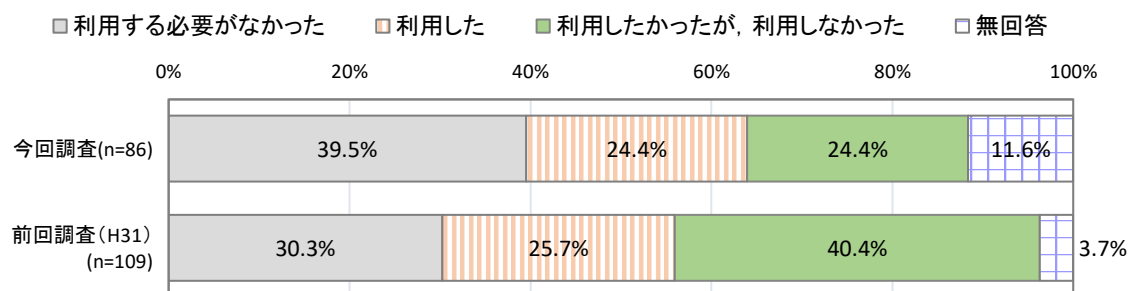
(2) 「希望」より遅く復帰した方（複数回答）

母親 (n=2) : 無回答 (100.0%)
父親 : 該当なし

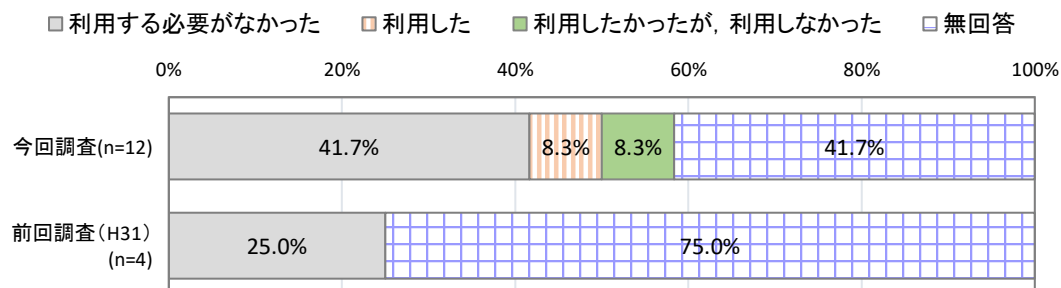
問30-7 【問 30-2 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

短時間勤務制度利用の有無について、母親では、「利用する必要がなかった」39.5%が最も高く、次いで「利用した」、「利用したかったが、利用しなかった」がいずれも24.4%となっている。父親については、「利用する必要がなかった」41.7%が最も高く、次いで「利用した」、「利用したかったが、利用しなかった」がいずれも8.3%となっている。

図表 11-18 短時間勤務制度利用の有無（母親）



図表 11-19 短時間勤務制度利用の有無（父親）



問30-8 【問 30-7 で「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方
にうかがいます。】

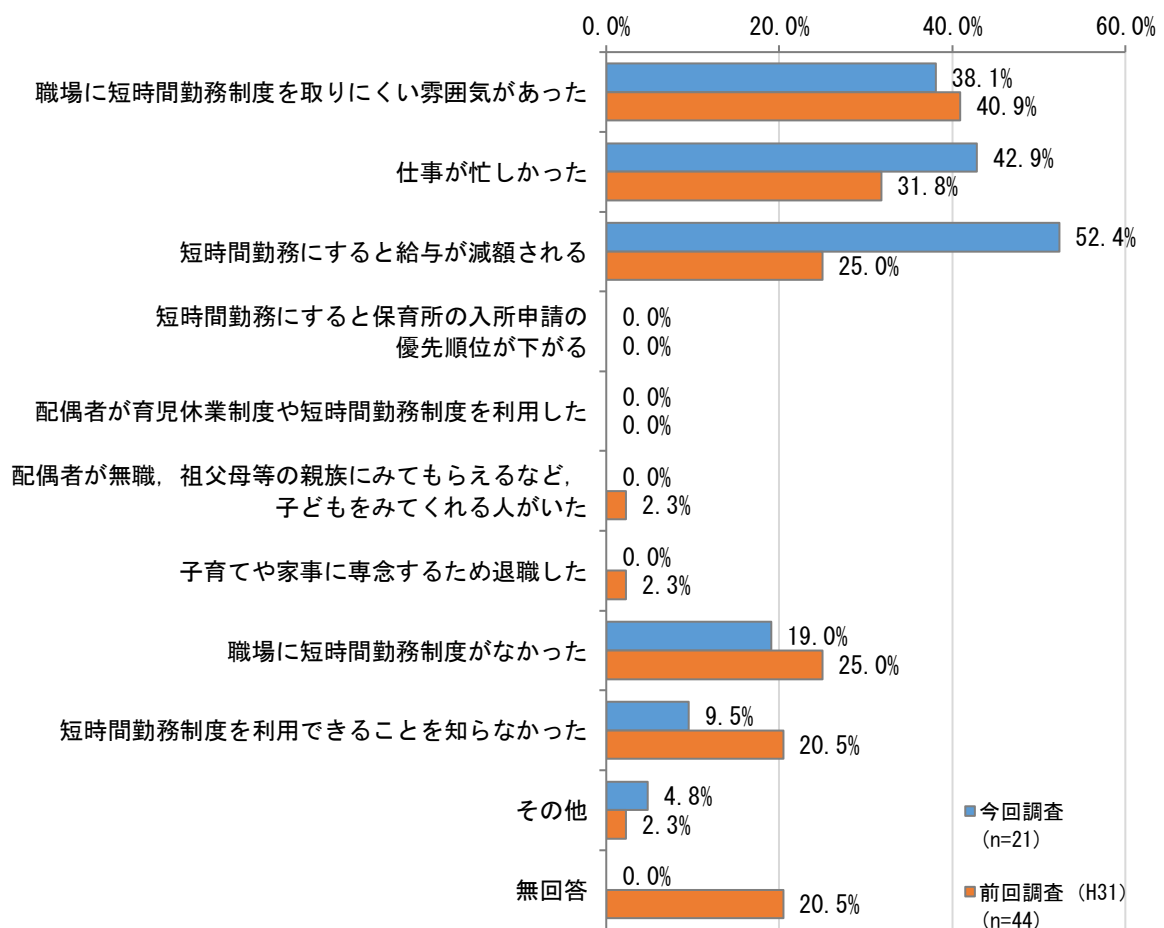
短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

(1)母親

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由について母親は、「短時間勤務にすると給与が減額される」52.4%が最も高く、次いで「仕事が忙しかった」42.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」38.1%となっている。

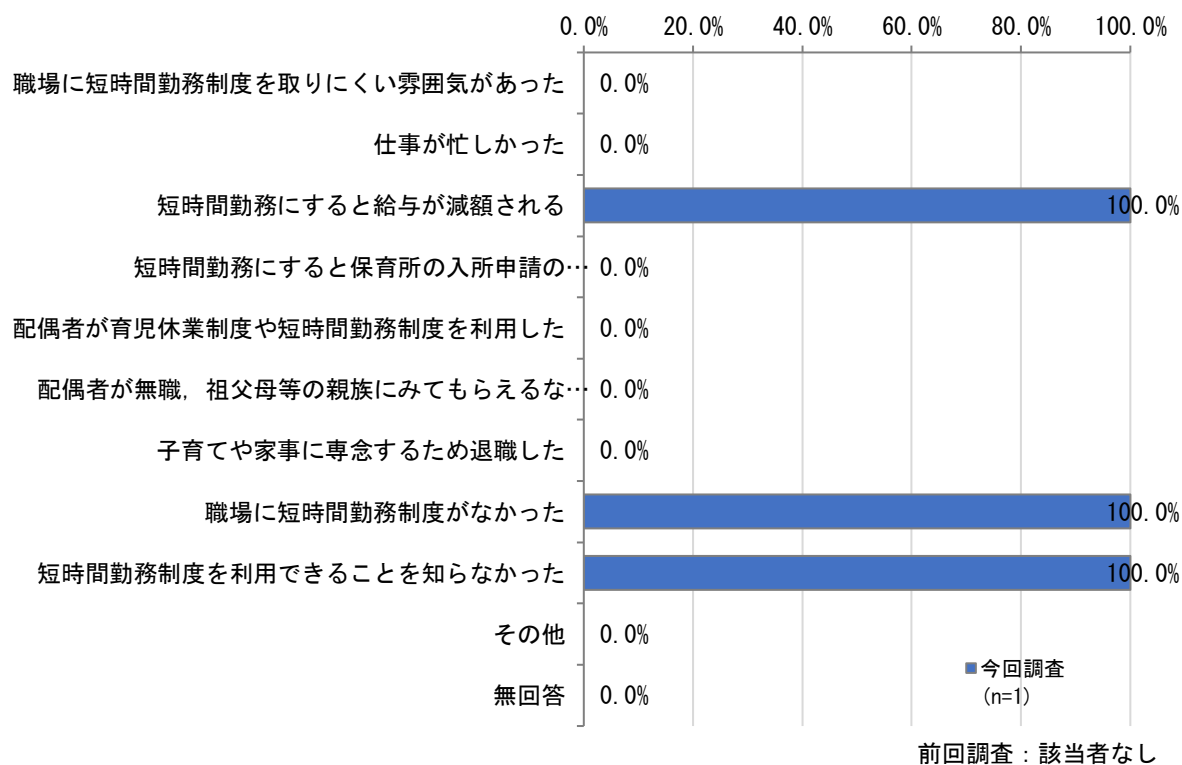
父親については、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「短時間勤務にすると給与が減額される」、「職場に短時間勤務制度がなかった」、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」がいずれも100.0%となっている。

図表 11-20 短時間勤務制度を利用しなかった理由（母親）



(1)父親

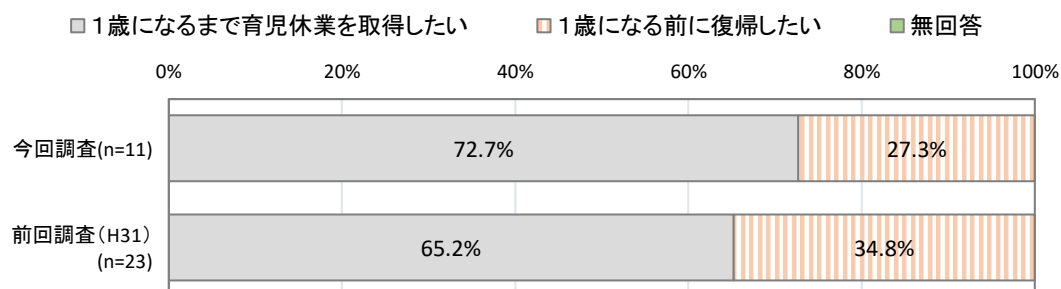
図表 11-21 短時間勤務制度を利用しなかった理由（父親）



問30-9 【問 30-2 で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。】
宛名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで
育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても 1 歳になる前に復帰しま
すか。

1 歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、利用したいか、事業があつても 1 歳になる前に復帰するかについて、母親では「1 歳になるまで育児休業を取得したい」72.7%、「1 歳になる前に復帰したい」27.3%となっている。父親については、該当者がいなかった。

図表 11-22 育児休業の取得意向（母親）

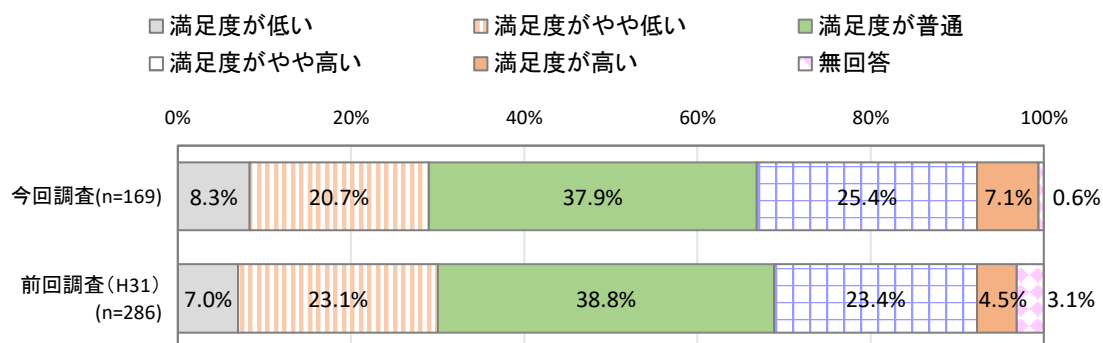


12. 山都町の子育ての環境や支援について

問31 山都町の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

山都町の子育ての環境や支援への満足度については、「満足度が普通」37.9%が最も高く、次いで「満足度がやや高い」25.4%、「満足度がやや低い」8.3%となっている。『満足度が高い』（「満足度がやや高い」＋「満足度が高い」）は、32.5%となっている。

図表 12-1 環境や支援への満足度



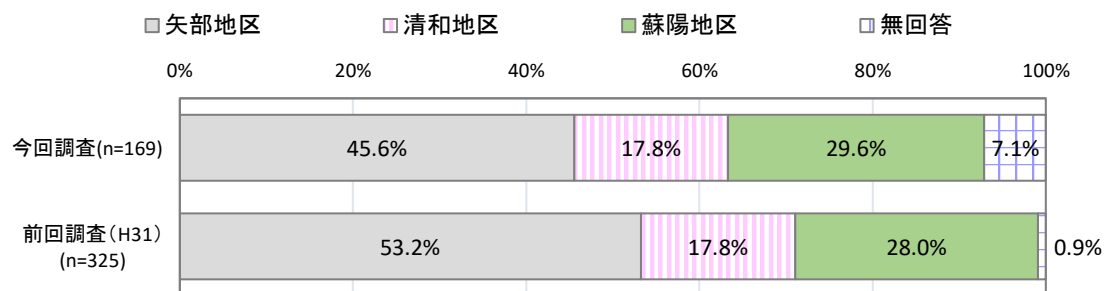
Ⅱ 調査結果（就学児）

1. 住まいの地域について

問1(1) お住まいの地区を教えてください。

小学校区は、「矢部地区」45.6%が最も高く、次いで「蘇陽地区」29.6%、「清和地区」17.8%となっている。

図表 1-1 地域

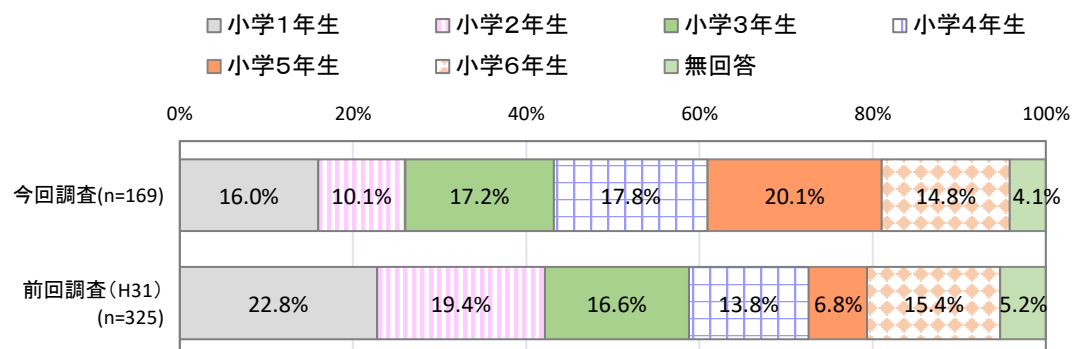


2. お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

学年は「小学5年生」20.1%が最も高く、次いで「小学4年生」17.8%、「小学3年生」17.2%となっている。

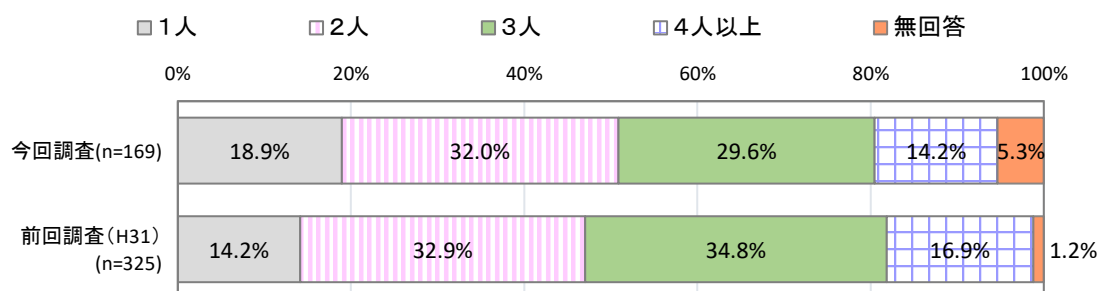
図表 2-2 学年



問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、最年少の方の生年月月をご記入ください。

兄弟数は「2人」32.0%が最も高く、次いで「3人」29.6%、「1人」18.9%となっている。

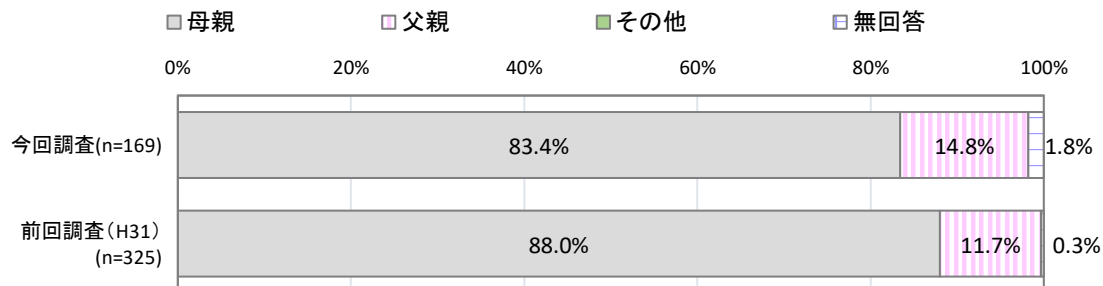
図表 2-3 兄弟数



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

回答者の続柄については、「母親」83.4%、「父親」14.8%となっている。

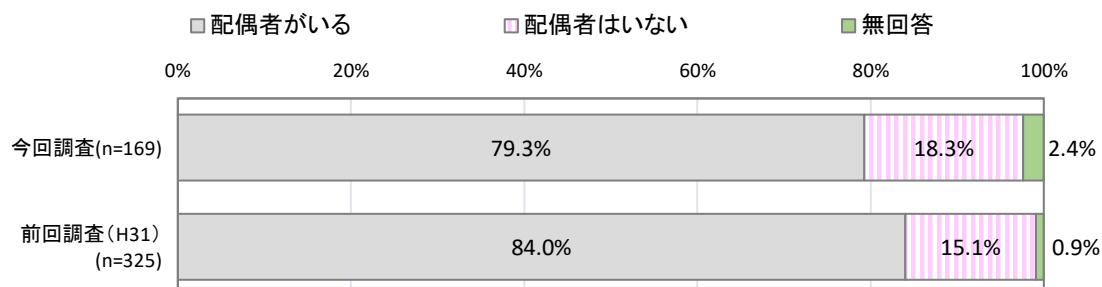
図表 2-4 続柄



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」79.3%、「配偶者はいない」18.3%となっている。

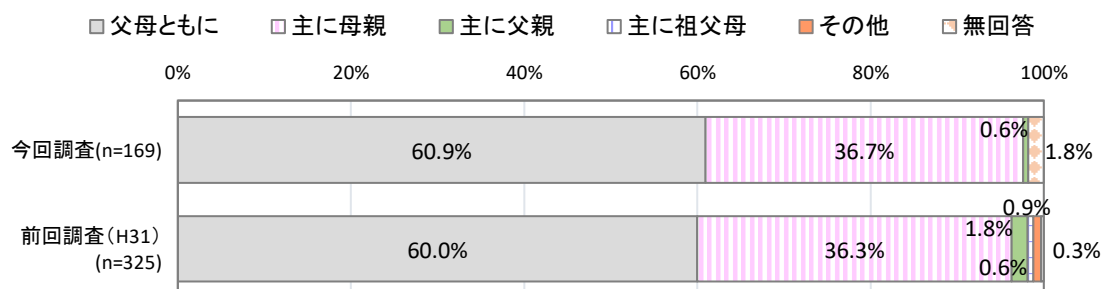
図表 2-5 配偶者の有無



問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

子育てを主に行っている方については、「父母ともに」60.9%が最も高く、次いで「主に母親」36.7%となっている。

図表 2-6 子育てを主に行っている方

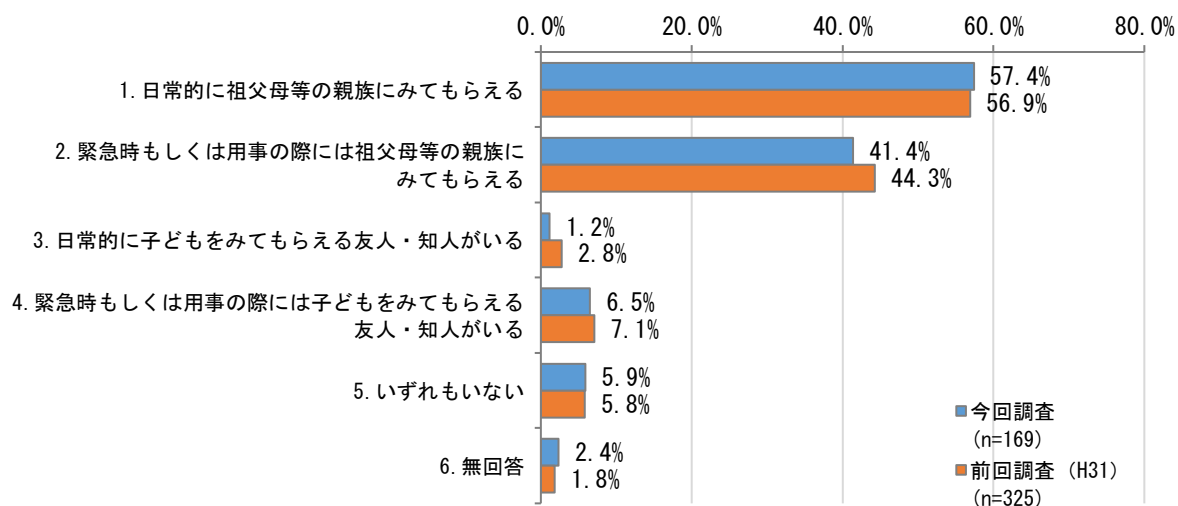


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

子どもをみてもらえる親族・友人・知人がいるかについては、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」57.4%が最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」41.4%となっている。

図表 3-1 子どもをみてもらえる親族・友人・知人

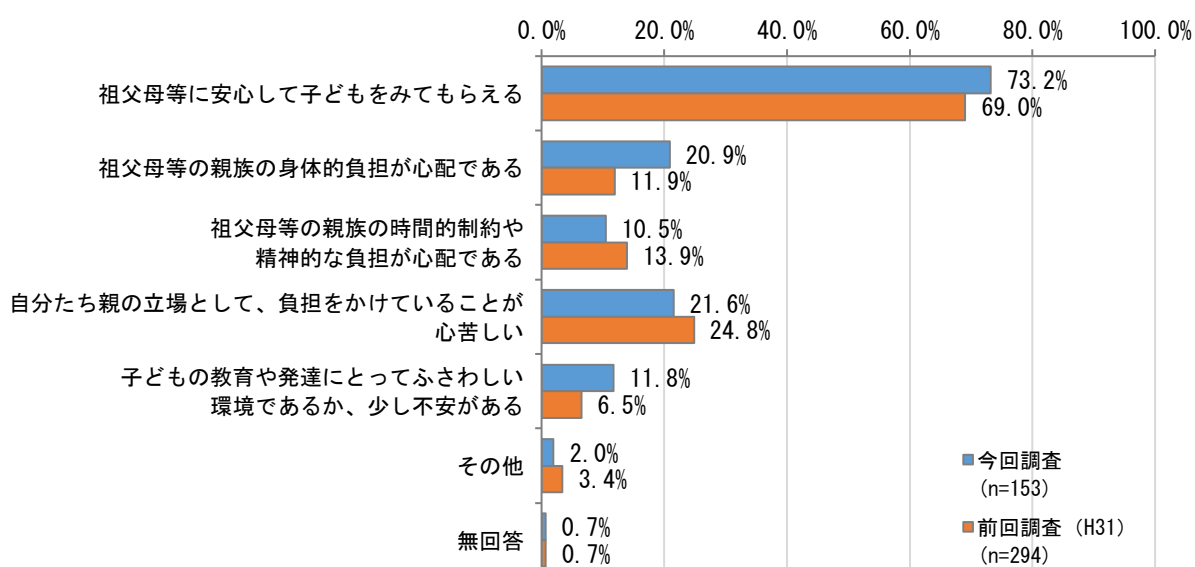


問 7-1 【問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。】

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(複数回答)

祖父母等の親族にお子さんをみてもらう状況については、「祖父母等に安心して子どもをみてもらえる」73.2%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」21.6%、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」20.9%となっている。

図表 3-2 子どもをみてもらう状況（祖父母等）

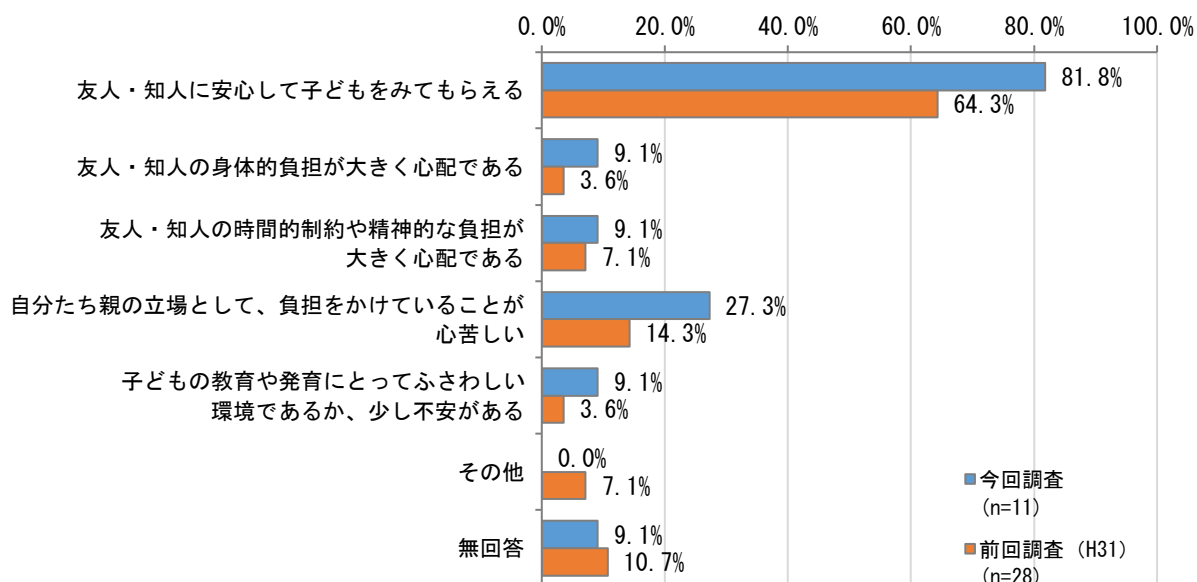


問7-2 【問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

友人・知人に子どもをみてもらう状況については、「友人・知人に安心して子どもをみてもらえる」81.8%が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」27.3%となっている。

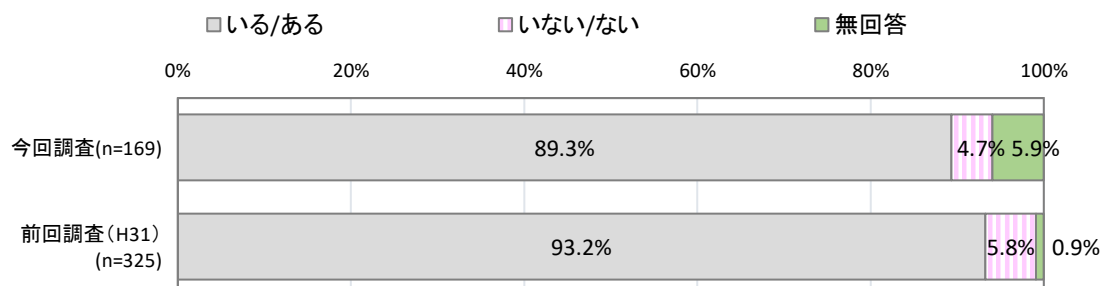
図表 3-3 子どもをみてもらう状況（友人・知人）



問8 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所については、「いる/ある」89.3%、「いない/ない」4.7%となっている。

図表 3-4 子育てをする上での相談相手の有無

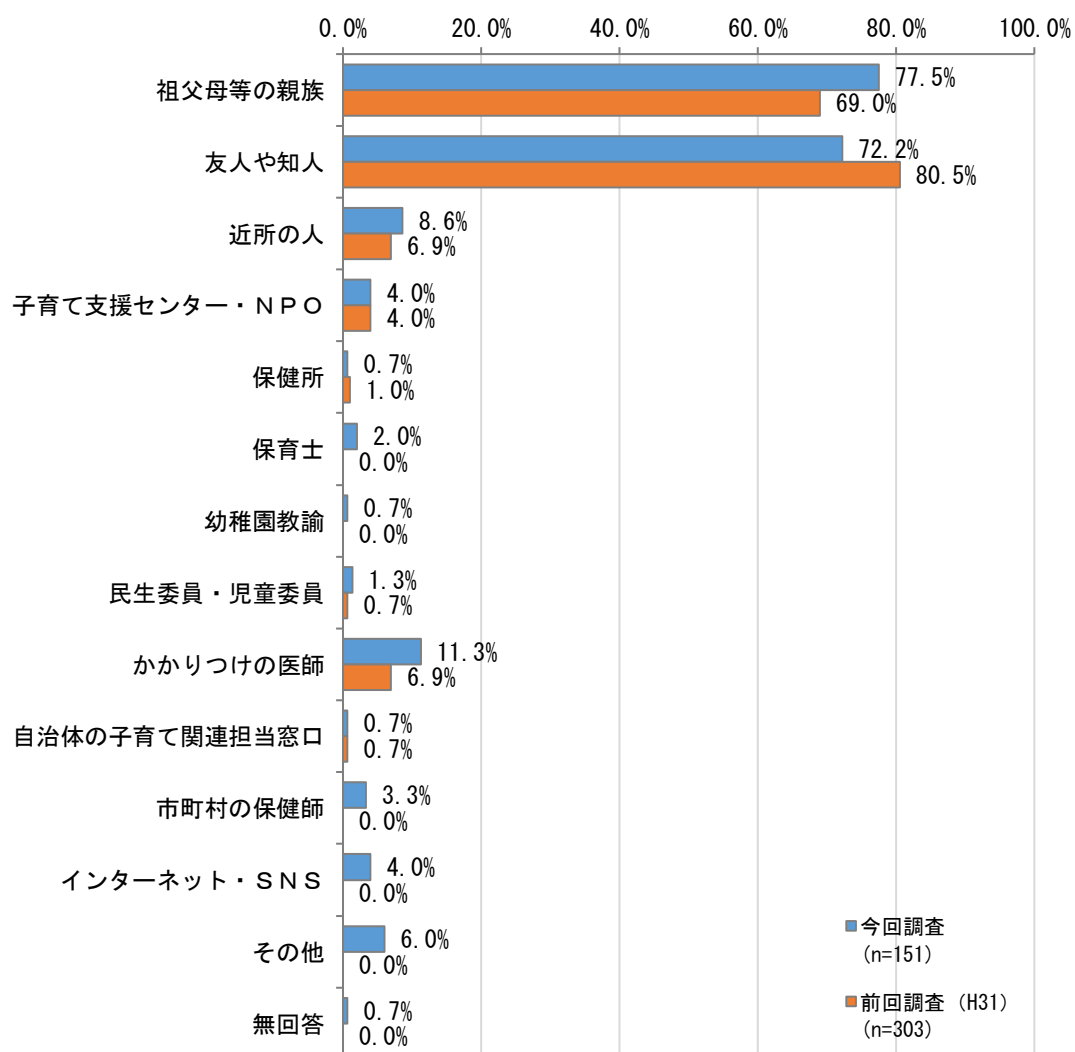


問8-1 【問8で「1.いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。】

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(複数回答)

子育てに関して、気軽に相談できる相談先については、「祖父母等の親族」77.5%が最も高く、次いで「友人や知人」72.2%となっている。

図表 3-5 相談先



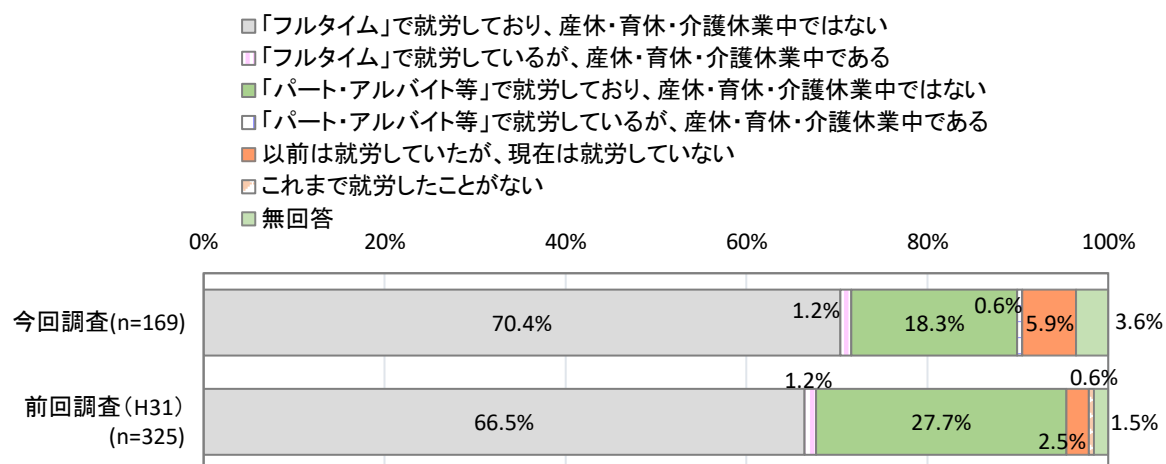
4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」70.4%が最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」18.3%となっている。

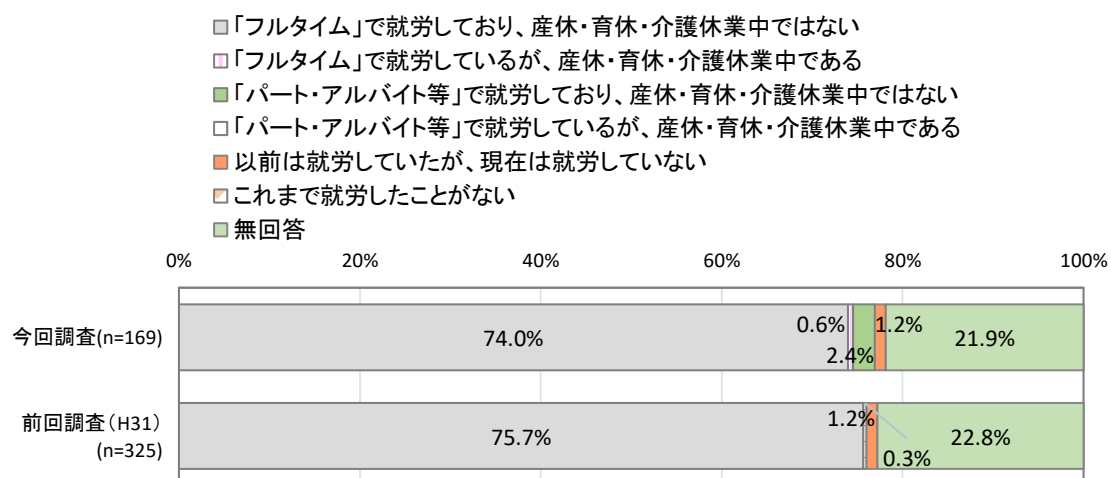
図表 4-1 就労状況（母親）



(2) 父親

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」74.0%が最も高くなっている。

図表 4-2 保護者の就労状況（父親）



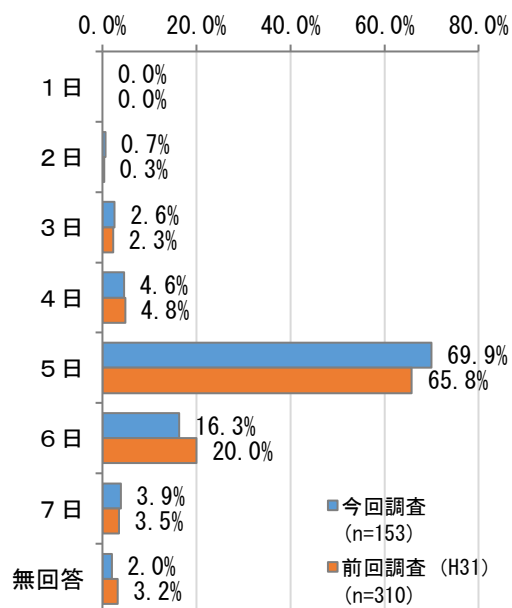
問10-1 【問 10 で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。】

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。また、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

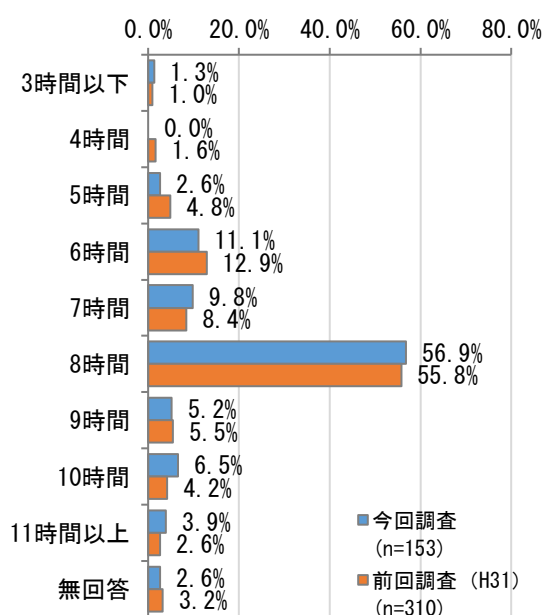
【母親】 1 週当たりの就労日数及び 1 日当たりの就労時間 / 家を出る時刻及び帰宅時刻

就労状況をみると、週 5 日、1 日 8 時間が最多となっている。また、家を出る時刻は 8 時台、帰宅時刻は 19 時台が最も高くなっている。

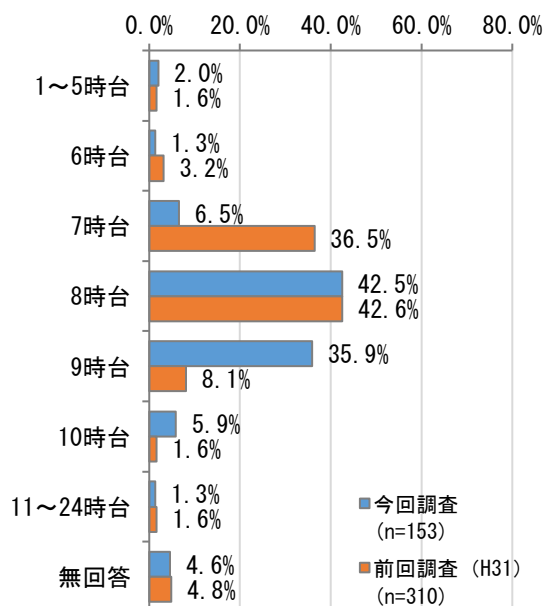
図表 4-3 1 週当たり日数



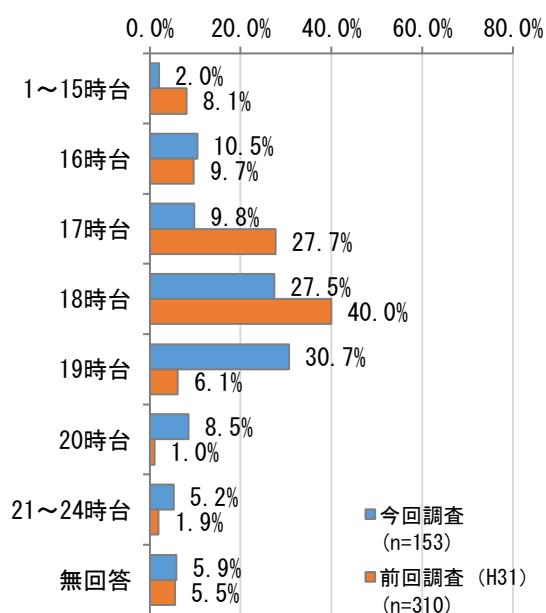
図表 4-4 1 日当たり時間



図表 4-5 家を出る時刻



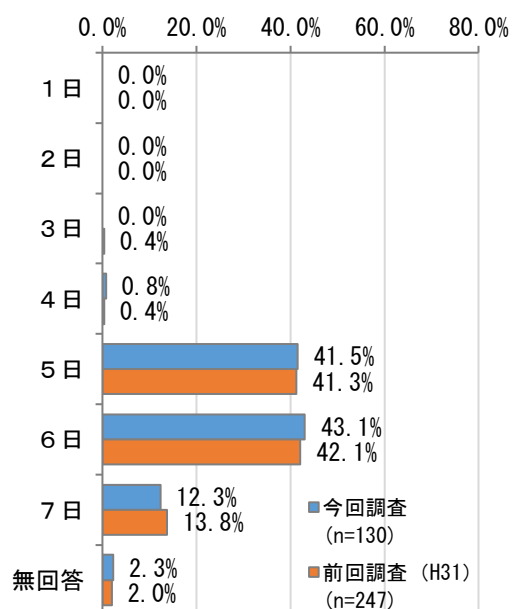
図表 4-6 帰宅時刻



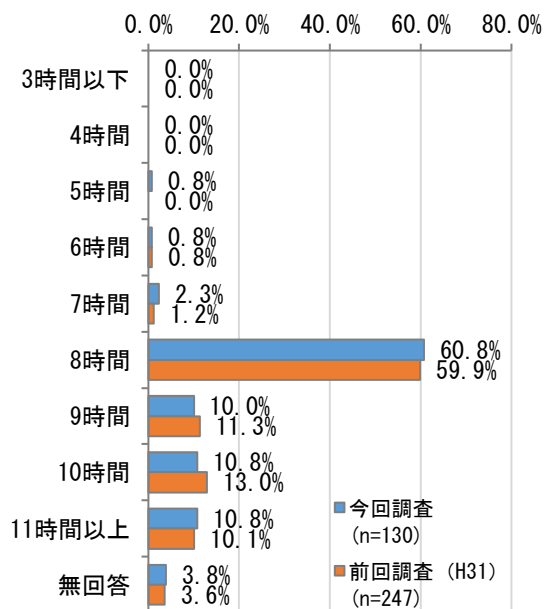
【父親】 1 週当たりの就労日数及び 1 日当たりの就労時間 / 家を出る時刻及び帰宅時刻

就労状況をみると、週 6 日、1 日 8 時間が最多となっている。また、家を出る時刻は 8 時台、帰宅時刻は 19 時台が最も高くなっている。

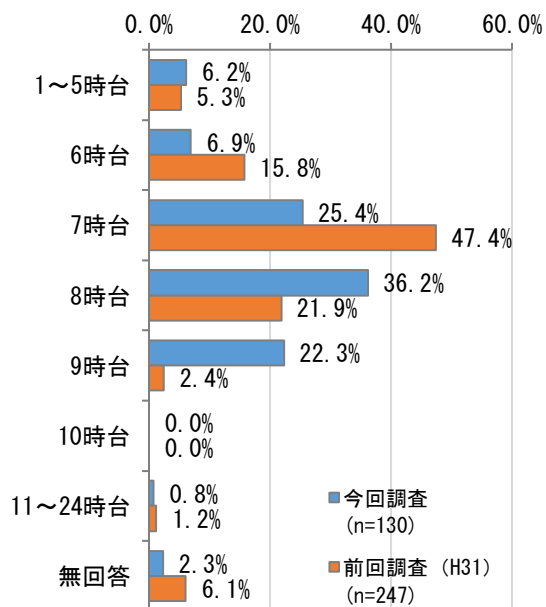
図表 4-7 1 週当たり日数



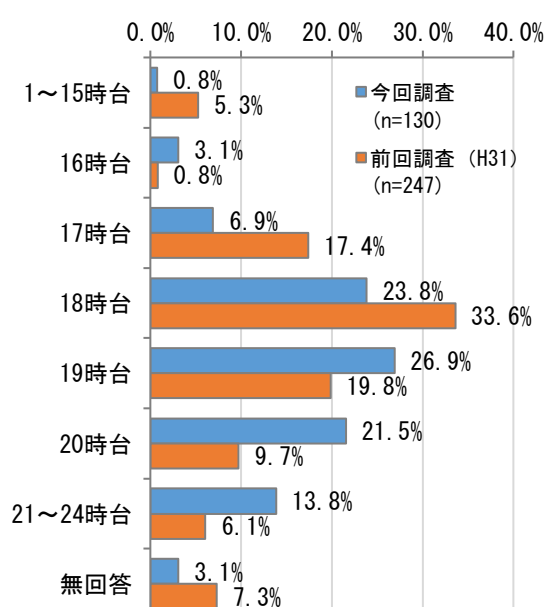
図表 4-8 1 日当たり時間



図表 4-9 家を出る時刻



図表 4-10 帰宅時刻

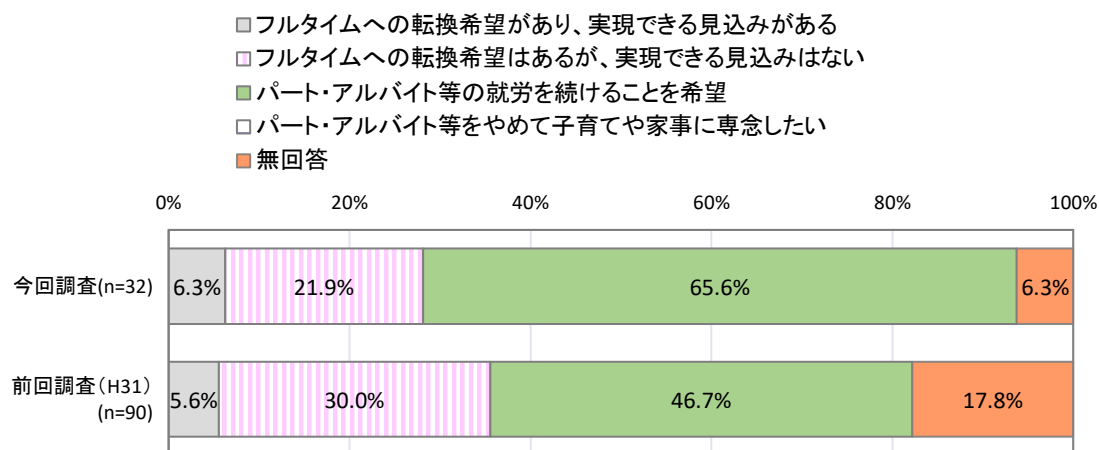


問11 【問 10 で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。】
フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」65.6%が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」21.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」6.3%となっている。

図表 4-11 フルタイムへの転換希望（母親）



(2) 父親

サンプル数は4名となっているが、回答は得られなかった。

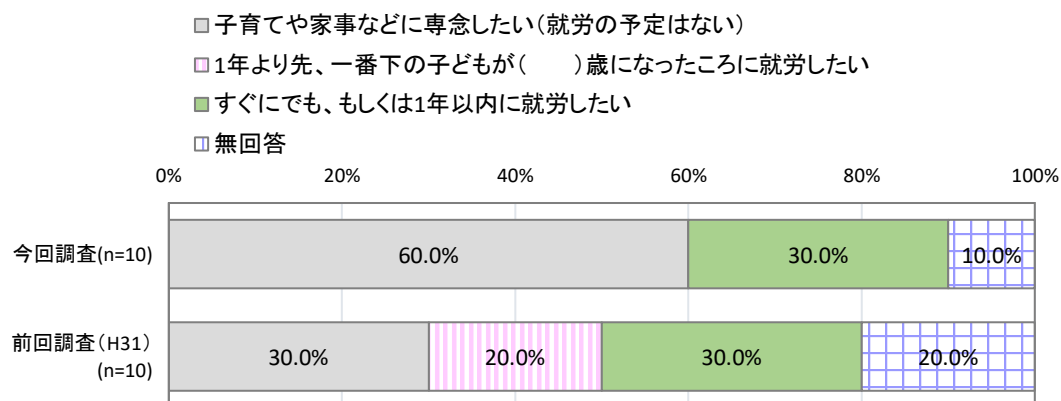
問12 【問 10 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。】
就労したいという希望はありますか。

(1) 母親

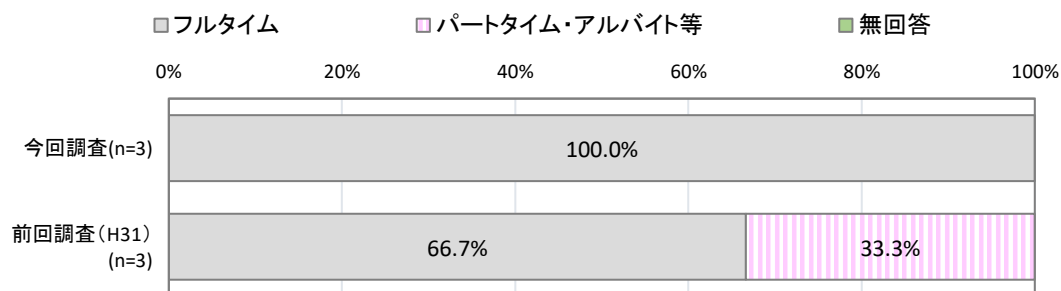
就労していない母親の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」60.0%が最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」30.0%となっている。

就労希望については「フルタイム」が100.0%となっている。

図表 4-12 就労の希望（現在、就労していない方が対象）



図表 4-13 就労希望

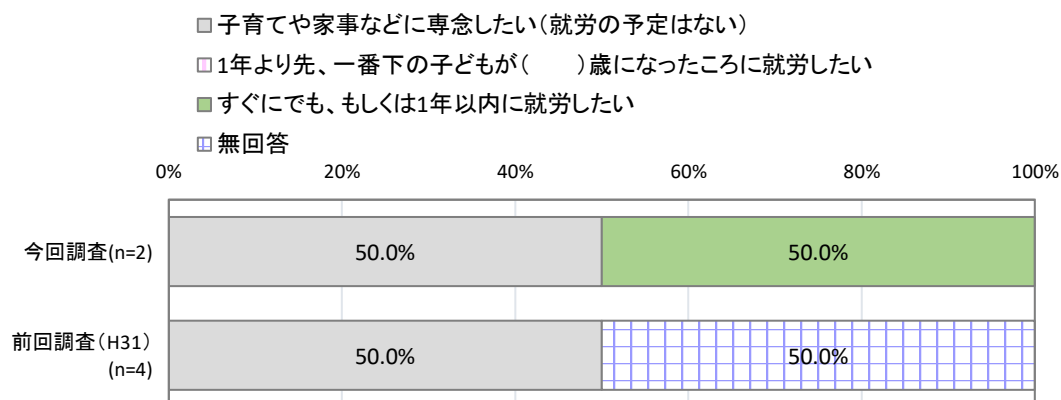


(2) 父親

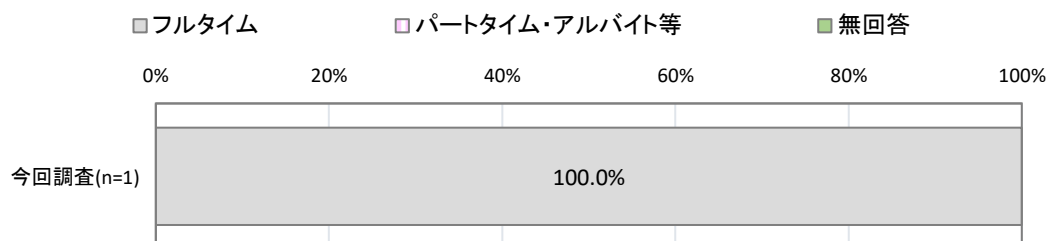
サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、父親の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がいずれも50.0%となっている。

就労希望については、「フルタイム」が100.0%となっている。

図表 4-16 就労の希望（現在、就労していない方が対象）



図表 4-17 就労希望

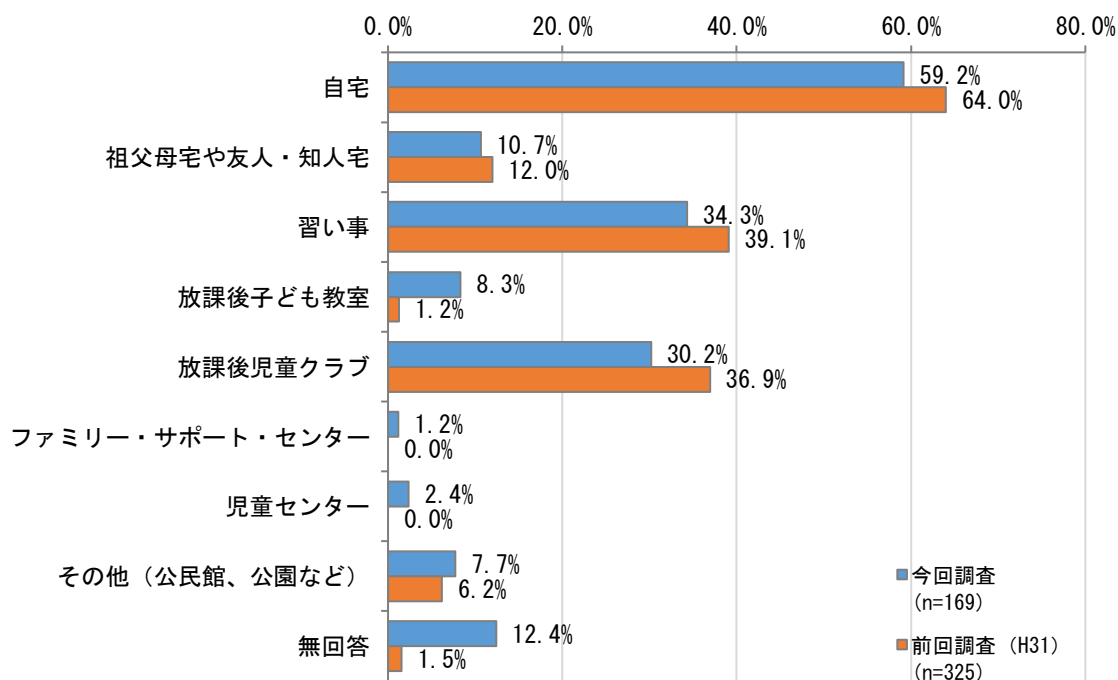


5. 宛名のお子さんの放課後（平日の小学校終了後）や休日の過ごし方について

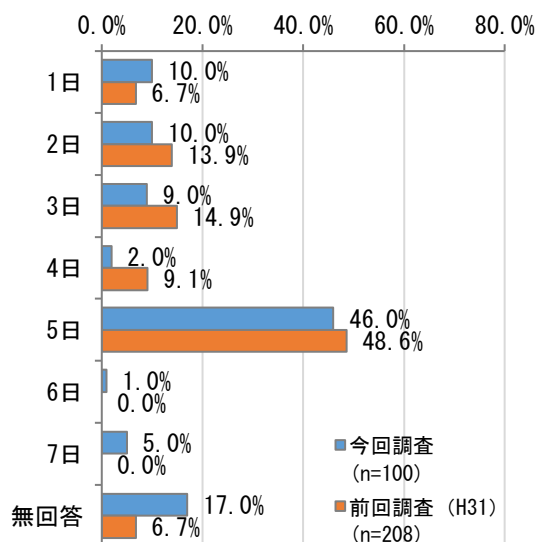
問13 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3 年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたい（過ごさせたかった）と思いますか。（複数回答）

小学校低学年のうちの放課後の過ごし方は、「自宅」59.2%が最も高く、次いで「習い事」34.3%、「放課後児童クラブ」30.2%となっている。

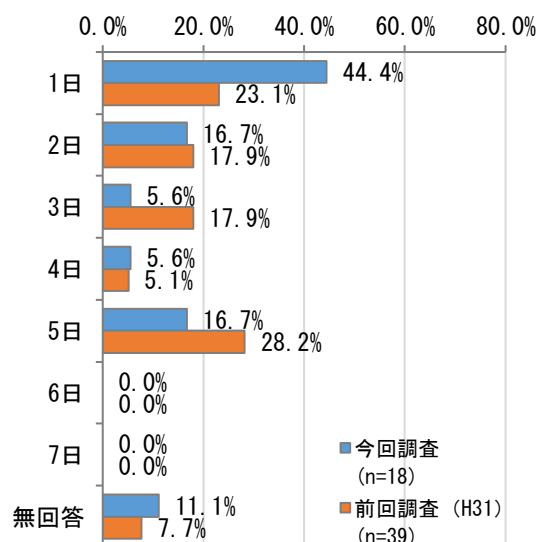
図表 5-1 放課後の過ごし方（小学校低学年）



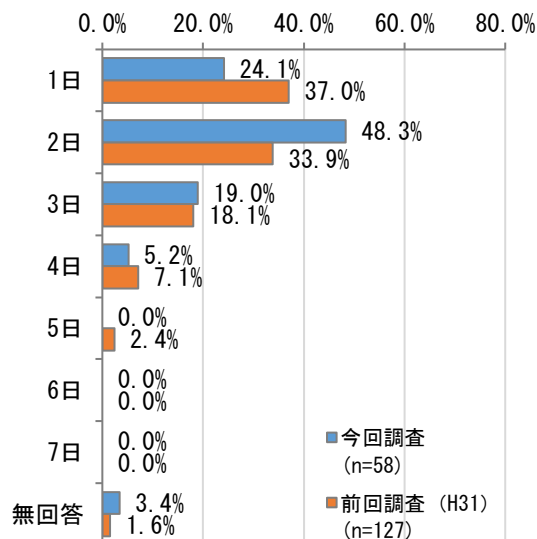
図表 5-2 【1. 自宅】日数/週



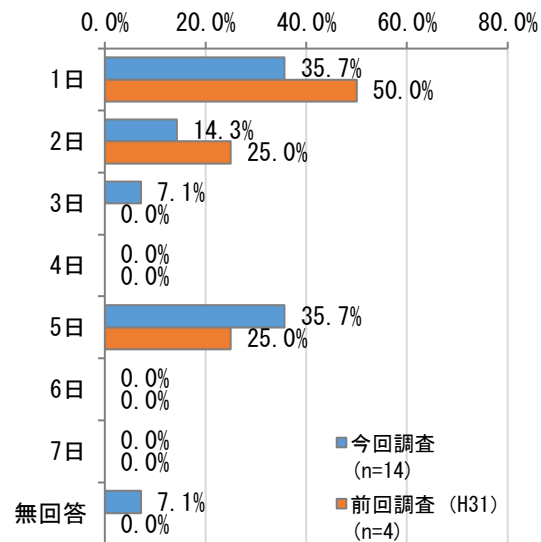
図表 5-3 【2. 祖父母宅や友人・知人宅】日数/週



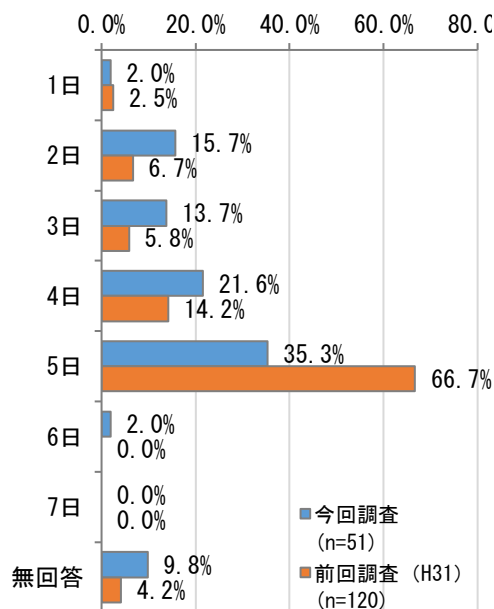
図表 5-4 【3. 習い事】 日数/週



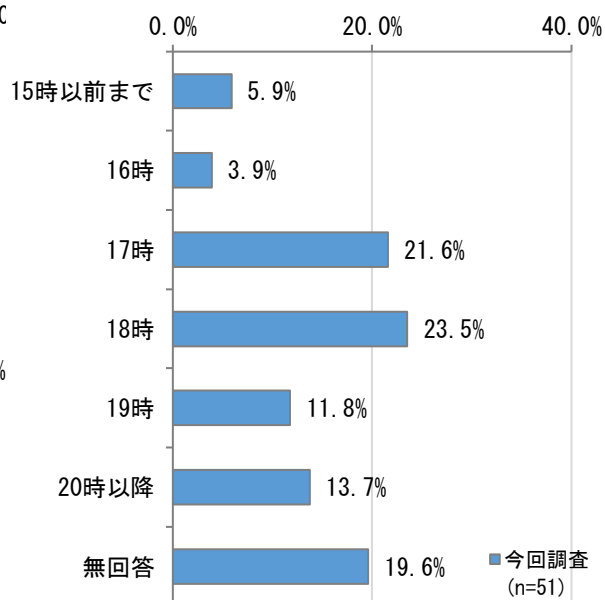
図表 5-5 【4. 放課後子ども教室】 日数/週



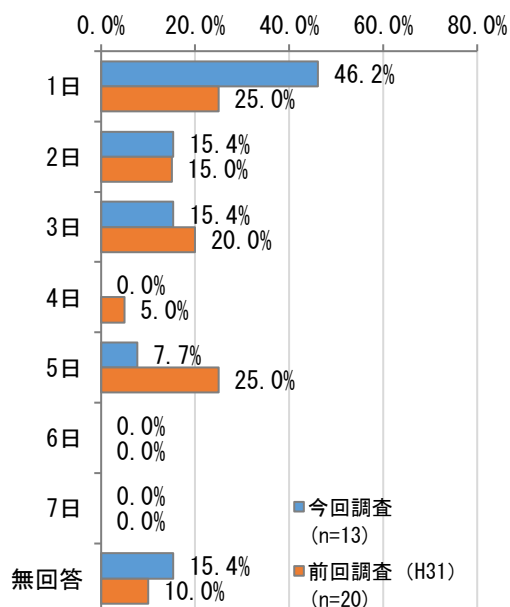
図表 5-6 【5. 放課後児童クラブ】 日数/週



図表 5-7 【5. 放課後児童クラブ】
終了時間



図表 5-8 【8. その他】 日数/週



【6. ファミリー・サポート・センター(n=2)】

1日 (50.0%)、5日 (50.0%)

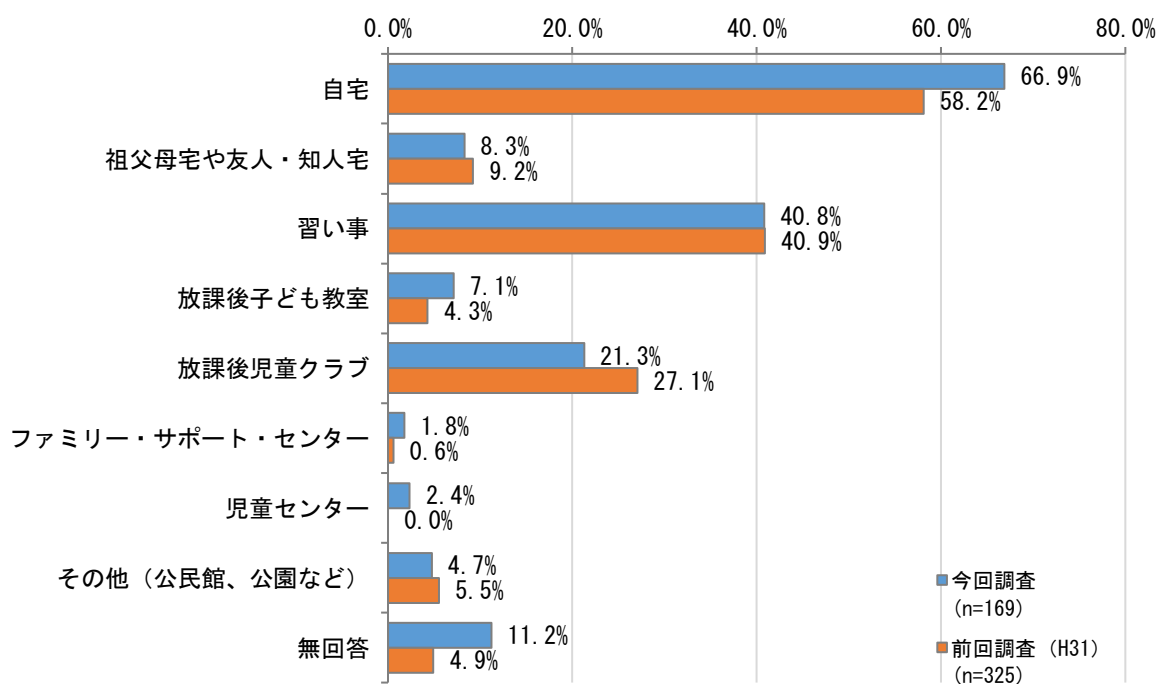
【7. 児童センター (n=4)】

5日 (75.0%)、無回答 (25.0%)

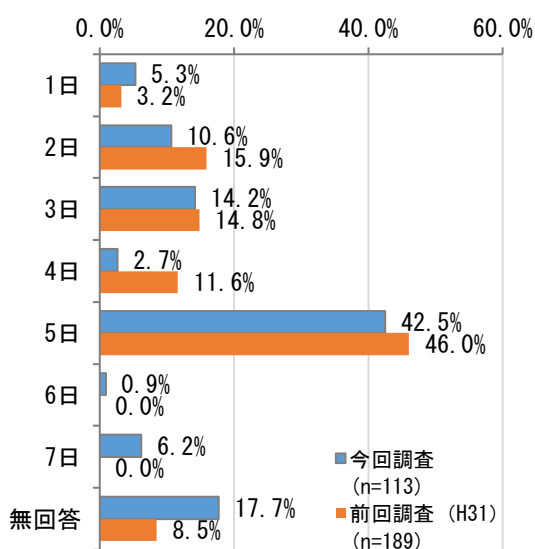
問14 宛名のお子さんについて、**小学校高学年(4～6年生)**になったら(の方は)、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(過ごさせていますか)(複数回答)

小学校高学年になった際の放課後の過ごし方は、「自宅」66.9%が最も高く、次いで「習い事」40.8%、「放課後児童クラブ」21.3%となっている。

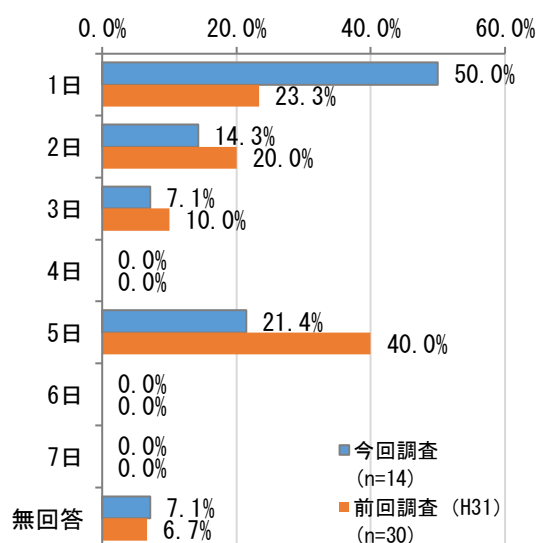
図表 5-9 放課後の過ごし方（小学校高学年）



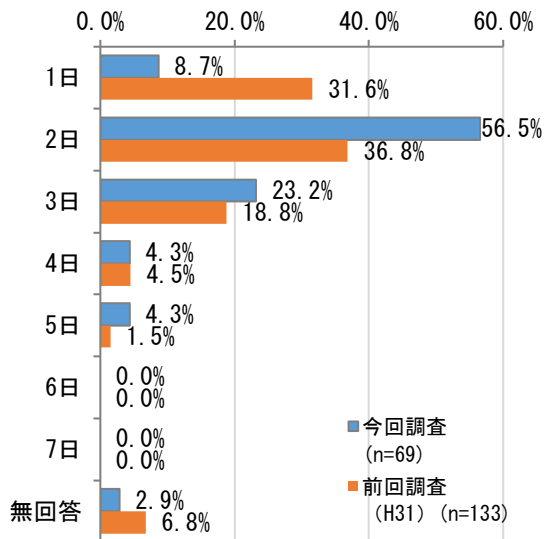
図表 5-10 【1. 自宅】日数/週



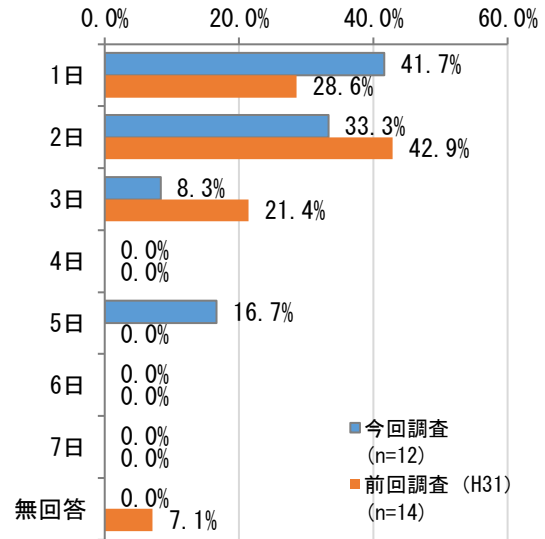
図表 5-11 【2. 祖父母宅や友人・知人宅】日数/週



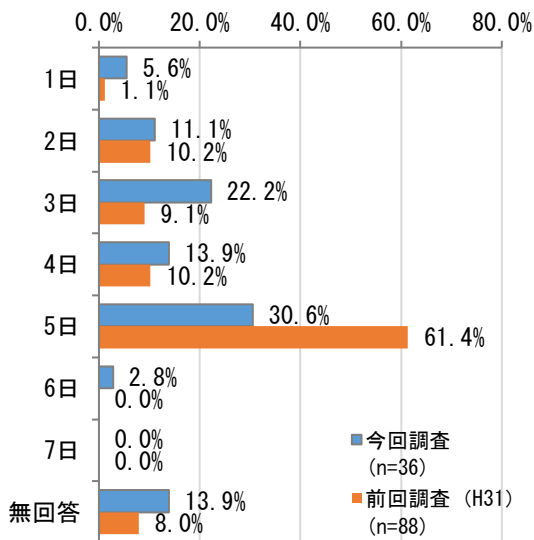
図表 5-12 【3. 習い事】 日数/週



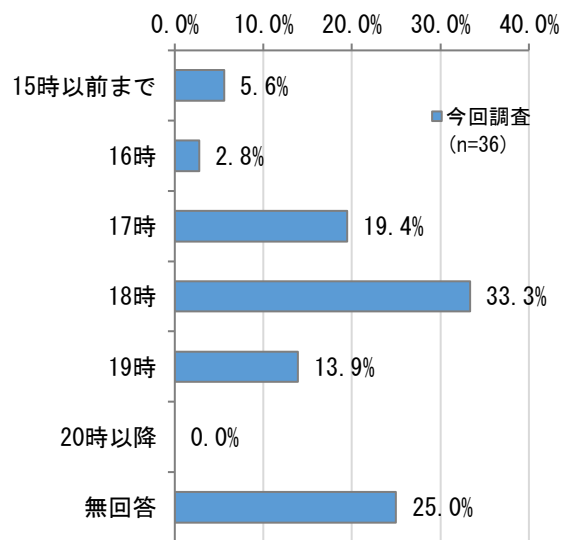
図表 5-13 【4. 放課後子ども教室】 日数/週



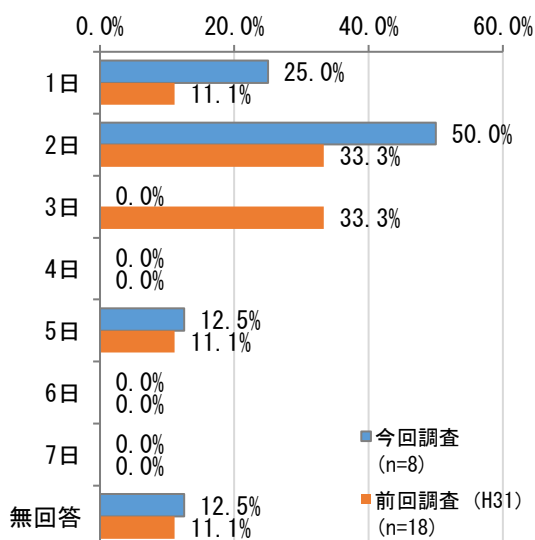
図表 5-14 【5. 放課後児童クラブ】 日数/週



図表 5-15 【5. 放課後児童クラブ】 終了時間



図表 5-16 【8. その他】 日数/週



【6. ファミリー・サポート・センター(n=3)】

1日 (33.3%)、5日 (66.7%)

【7. 児童センター(n=4)】

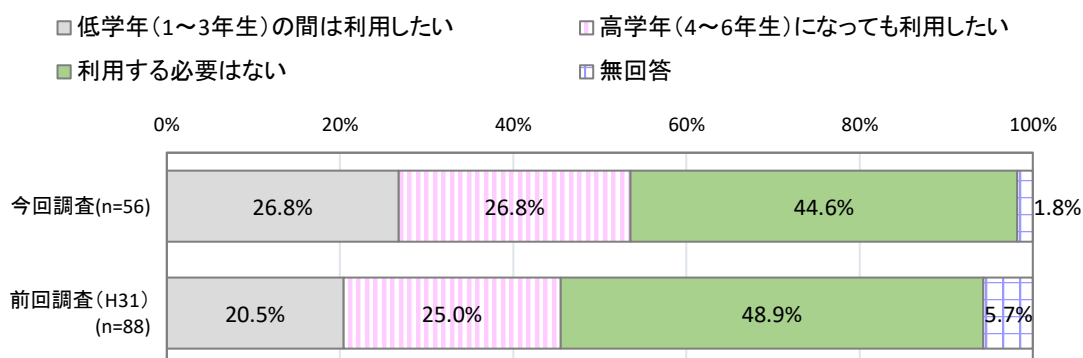
2日 (25.0%)、5日 (50.0%)、無回答 (25.0%)

問15 【問13または問14で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方におたずねします。】宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(複数回答)

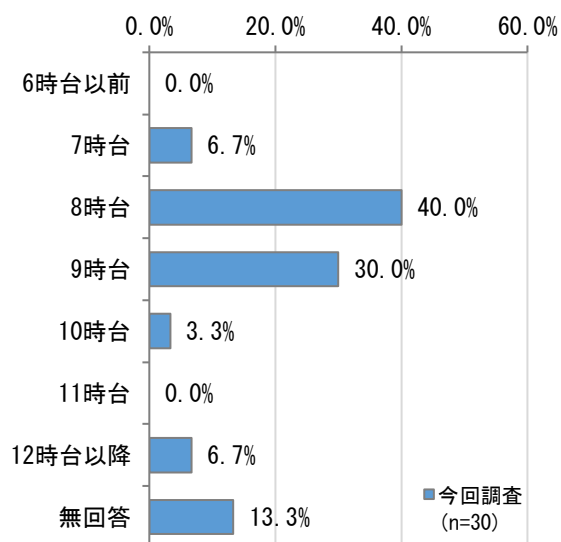
(1) 土曜日

土曜日における、「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用意向については、「利用する必要はない」44.6%が最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」がいずれも26.8%となっている。利用したい時間帯は8時から18時台が最多となっている。

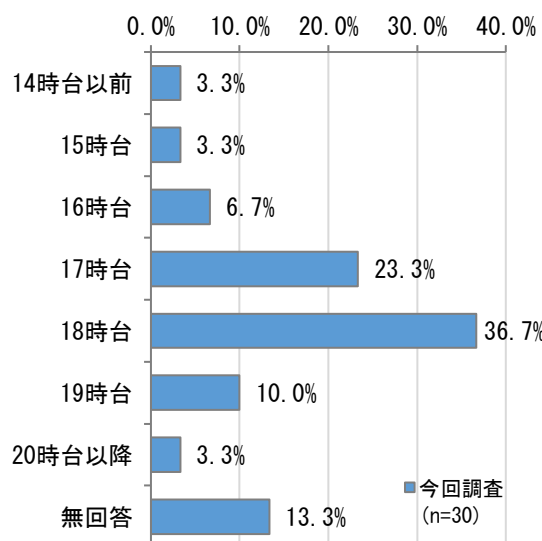
図表 5-17 「放課後児童クラブ」の利用希望【土曜日】



図表 5-18 利用時間帯【開始】



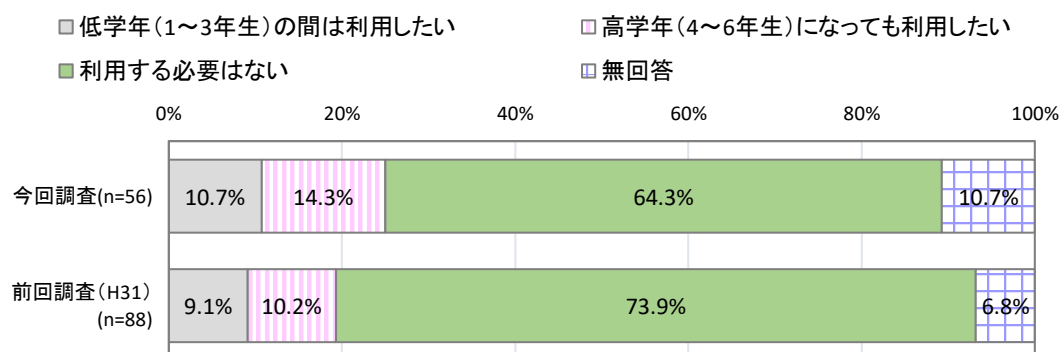
図表 5-19 利用時間帯【終了】



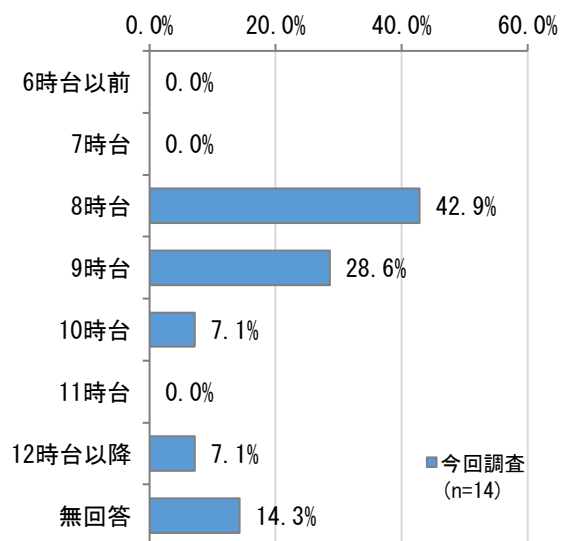
(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日における、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用意向については、「利用する必要はない」64.3%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」14.3%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」10.7%となっている。利用したい時間帯については、8時台から16時台、18時台が最多となっている。

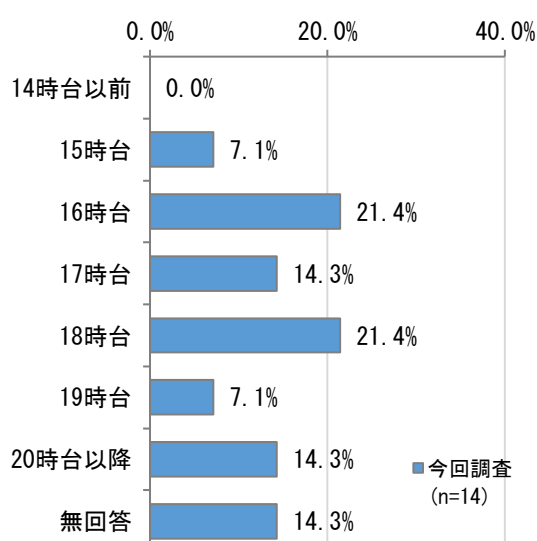
図表 5-20 「放課後児童クラブ」の利用希望【日曜日・祝日】



図表 5-21 利用時間帯【開始】



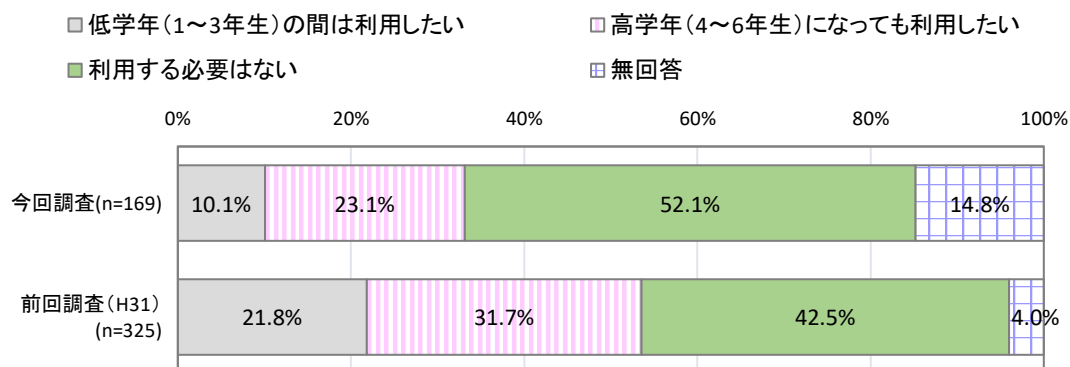
図表 5-22 利用時間帯【終了】



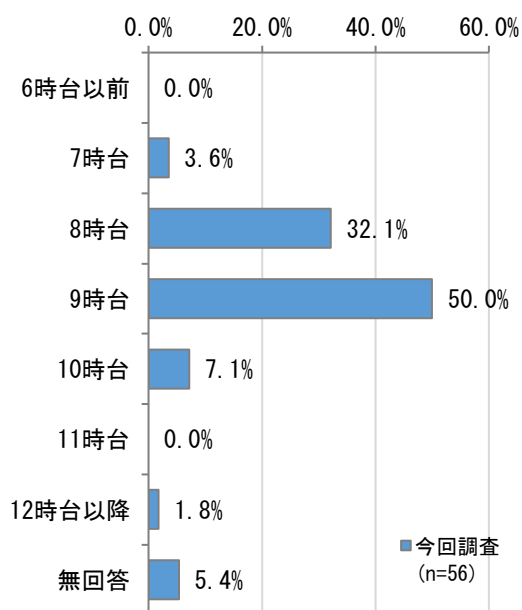
問16 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用については、「利用する必要はない」52.1%が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」23.1%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」10.1%となっている。利用したい時間帯については9時台から18時台が最多となっている。

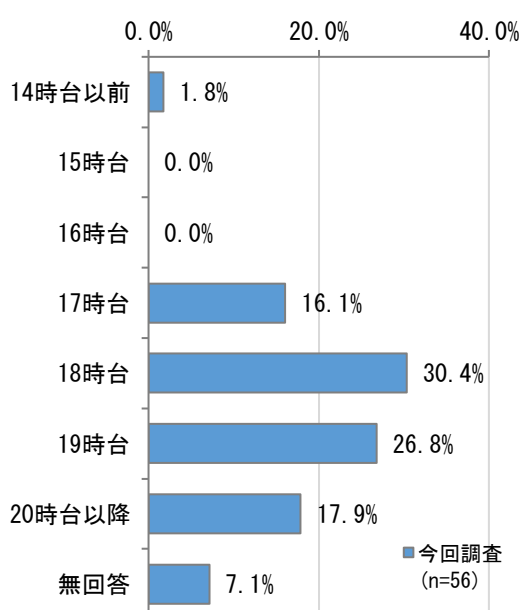
図表 5-23 放課後児童クラブの利用希望の有無（長期休暇中）



図表 5-24 利用時間帯【開始】



図表 5-25 利用時間帯【終了】

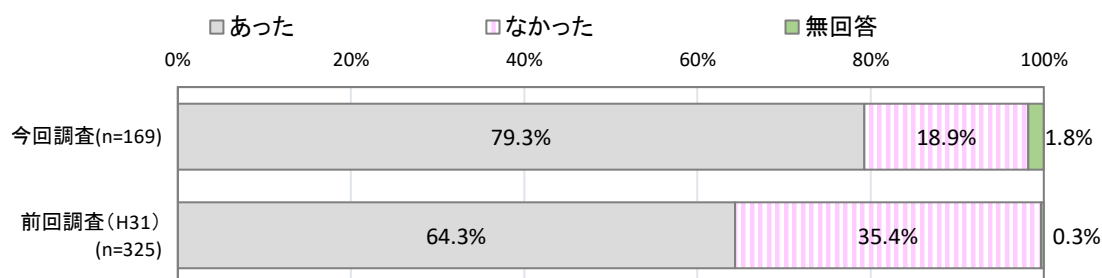


6. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校に行けなかったことはありますか。

子どもが病気やケガで登校ができなかったことがあるかについては、「あった」79.3%、「なかった」18.9%となっている。

図表 6-1 病気等で登校ができなかったことの有無

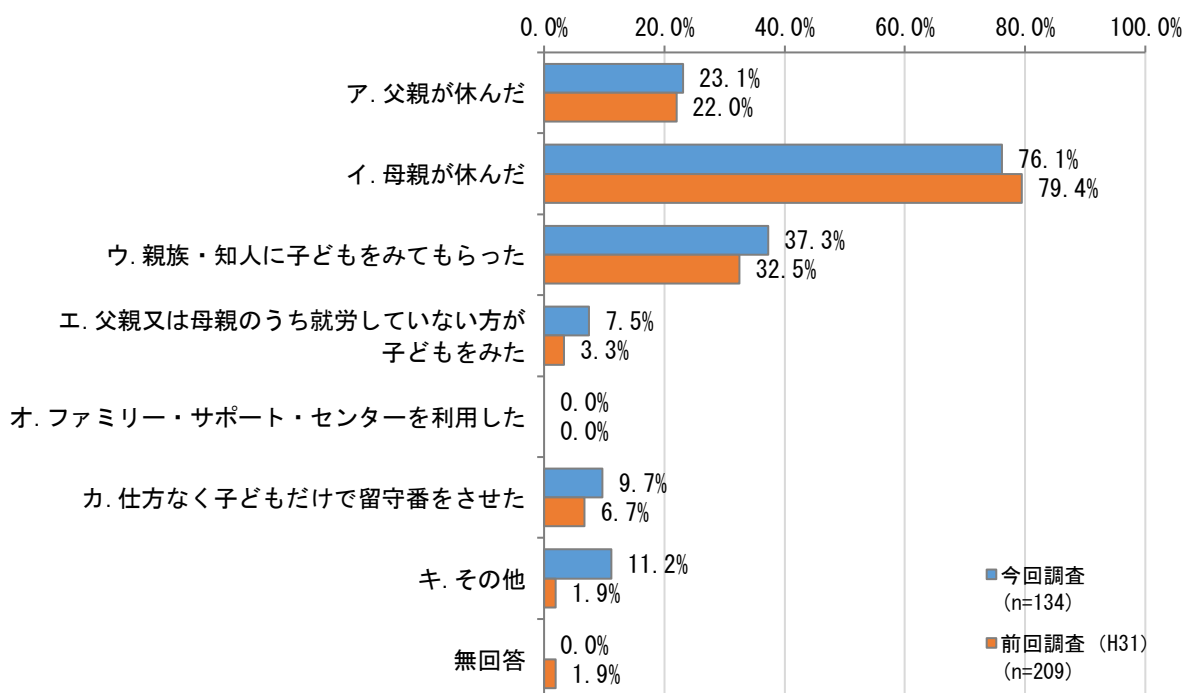


問18 【問17で「1. あった」に○をつけた方におたずねします。】

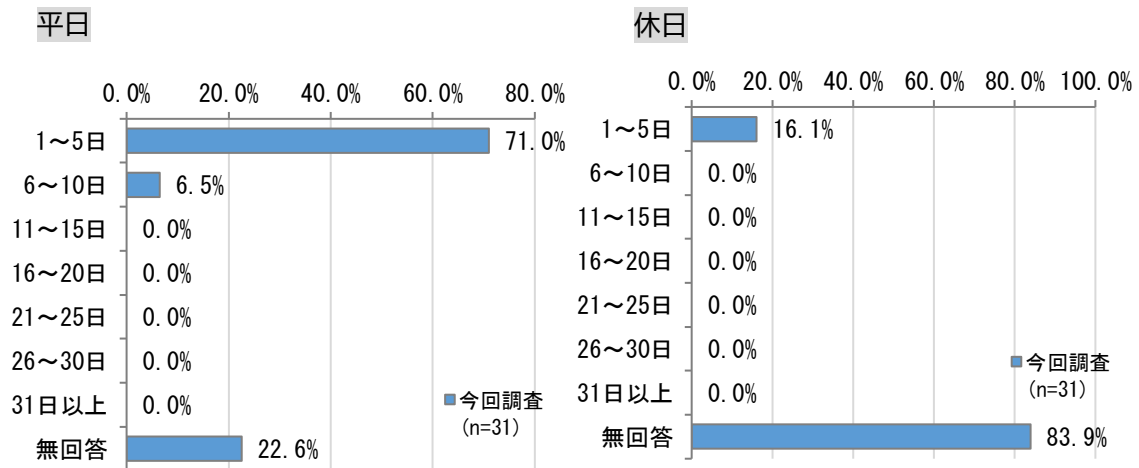
この1年間に行った対処方法及び、それぞれの日数をお答えください。(複数回答)

この1年間に行った対処方法については、「母親が休んだ」76.1%が最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」37.3%、「父親が休んだ」23.1%となっている。

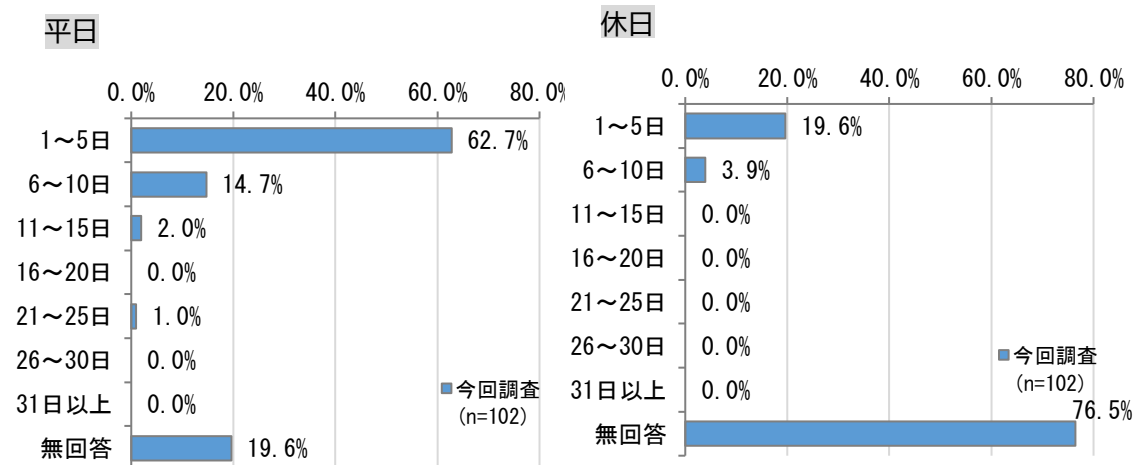
図表 6-2 この1年間に行った対処法



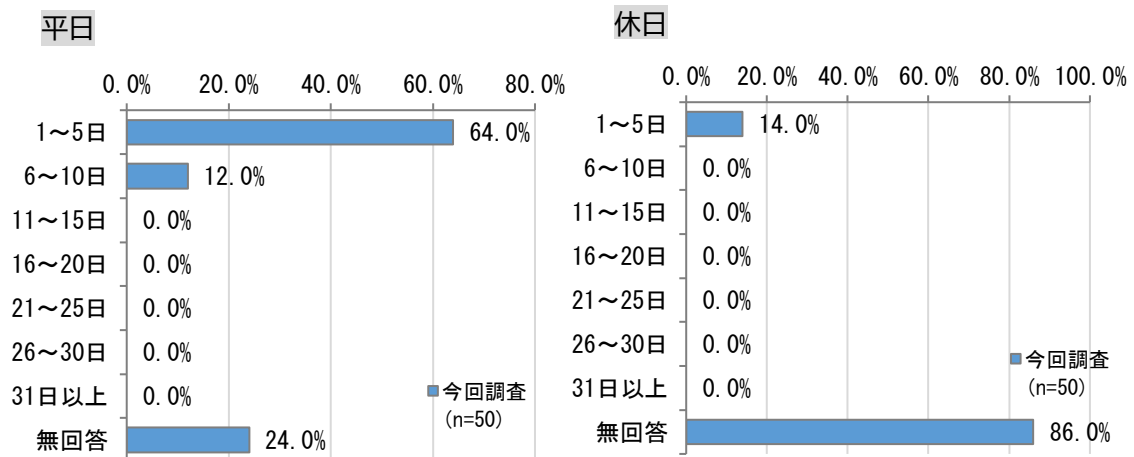
図表 6-3 【ア. 父親が休んだ】日数/年



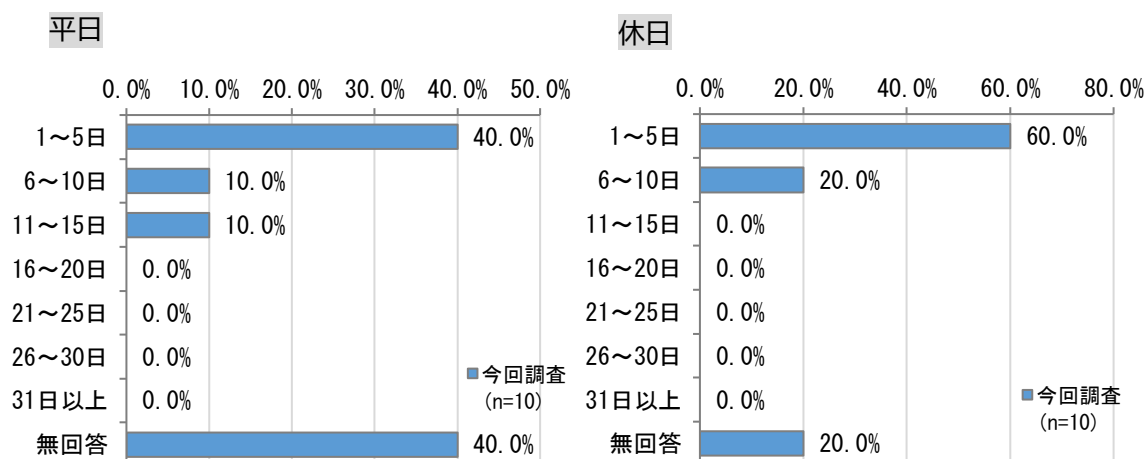
図表 6-4 【イ. 母親が休んだ】日数/年



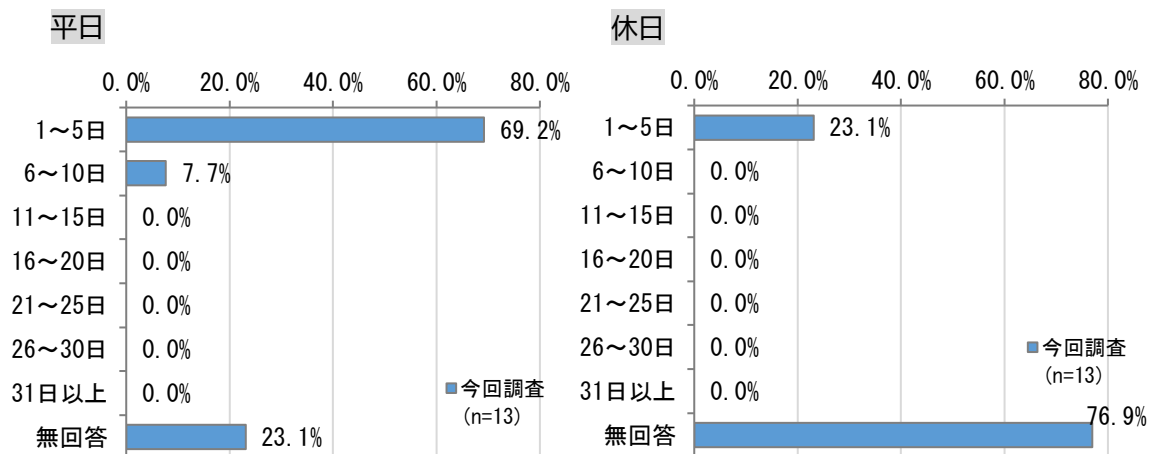
図表 6-5 【ウ. 親族・知人に子どもをみてもらった】日数/年



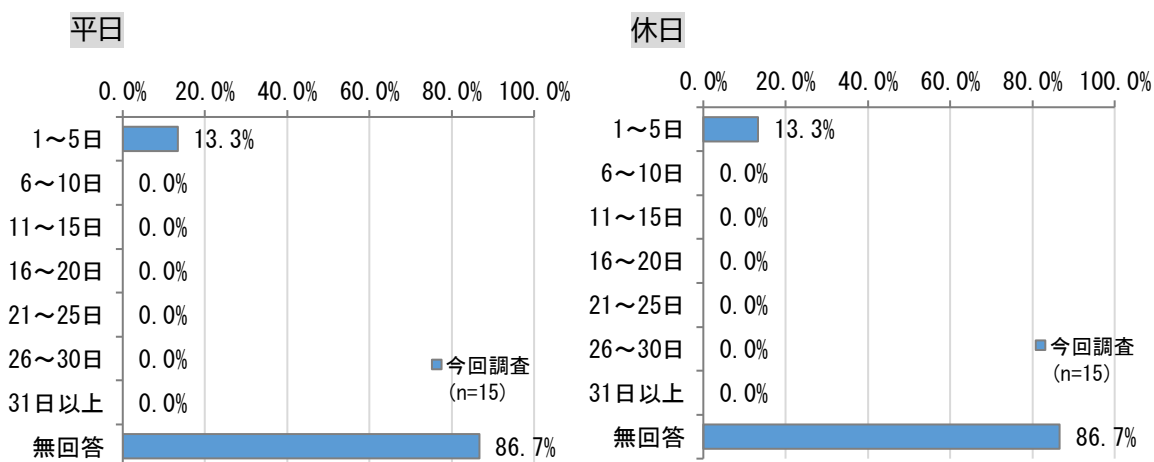
図表 6-6 【工. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた】日数/年



図表 6-7 【カ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた】日数/年



図表 6-8 【キ. その他】日数/年

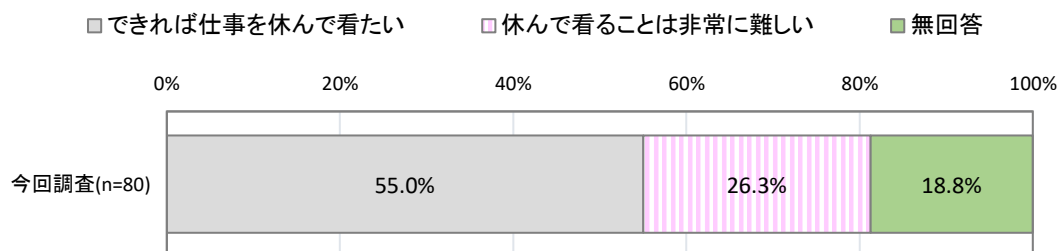


【オ. ファミリー・サポート・センターを利用した】：該当なし

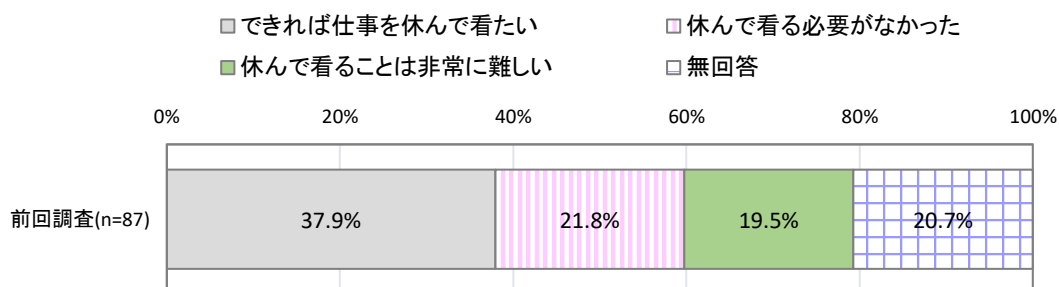
問18-1 【問18で「ウ.」～「キ.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。】
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たい」と思われましたか。仕事を休んで子どもを看たい場合、その日数もお答えください。

父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」55.0%が最も高く、次いで「休んで看ることは非常に難しい」26.3%となっている。

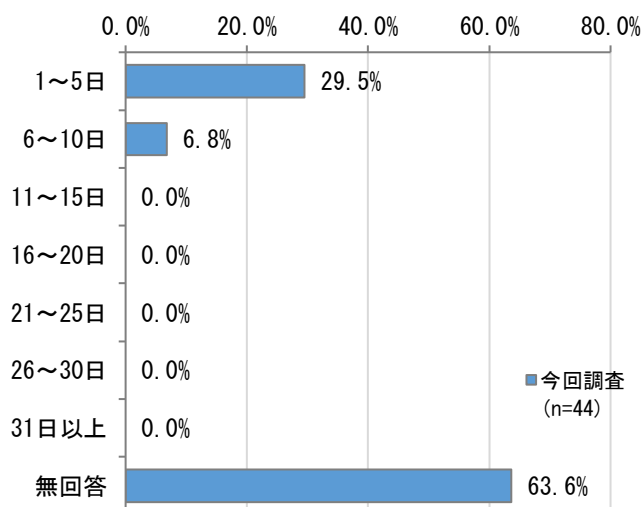
図表 6-9 「仕事を休んで看たいか」



※参考 前回調査（選択肢が一部異なる）



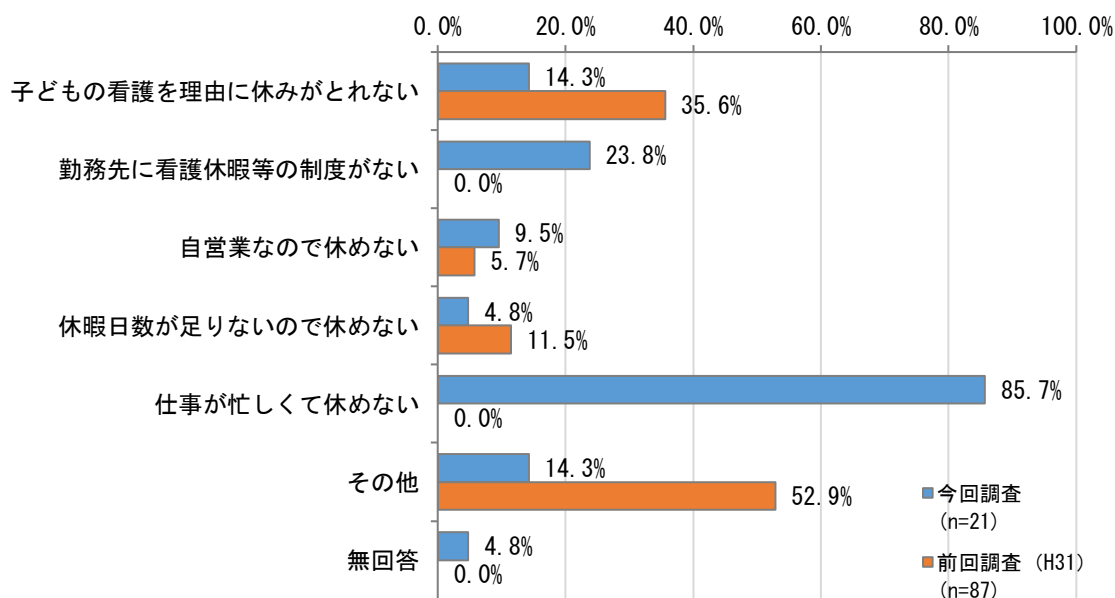
図表 6-10 「仕事を休んで看たい」日数



問18-2 【問 18-1 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。】
 そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

休んで看することは非常に難しいと思う理由については、「仕事が忙しくて休めない」85.7%が最も高く、次いで「勤務先に看護休暇等の制度がない」23.8%となっている。

図表 6-11 「休んで看することは非常に難しい」理由

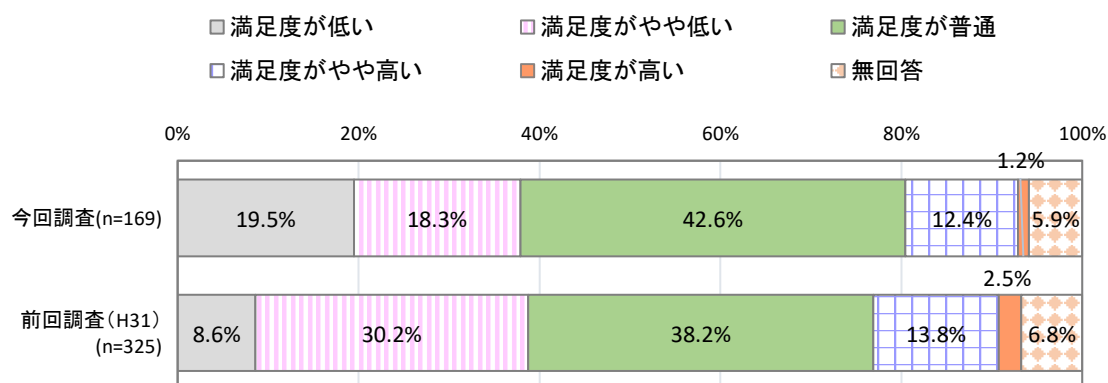


7. 山都町の子育ての環境や支援について

問 19 山都町の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

山都町の子育ての環境や支援への満足度については、「満足度が普通」42.6%が最も高く、次いで「満足度が低い」19.5%、「満足度がやや低い」18.3%となっている。『満足度が高い』（「満足度がやや高い」＋「満足度が高い」）は、13.6%となっている。

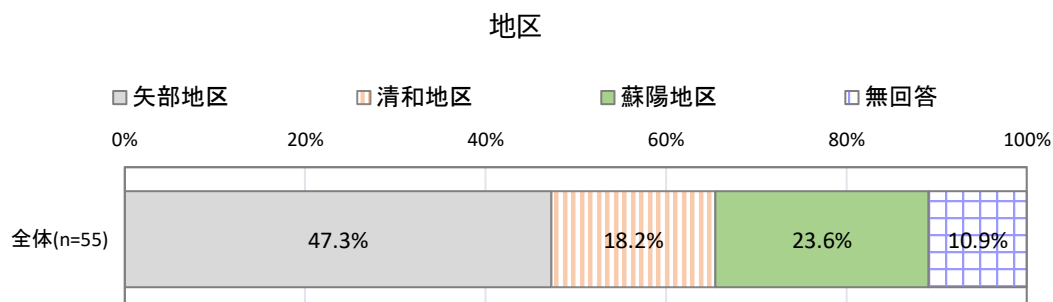
図表 7-1 環境や支援への満足度



Ⅲ 調査結果（小学4年生保護者）

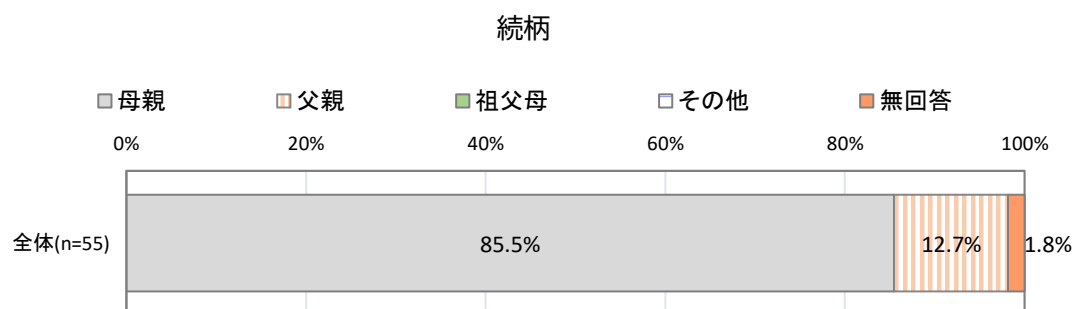
問1 お住まいの地区を教えてください。

地域は、「矢部地区」47.3%が最も高く、次いで「蘇陽地区」23.6%、「清和地区」18.2%となっている。



問2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。

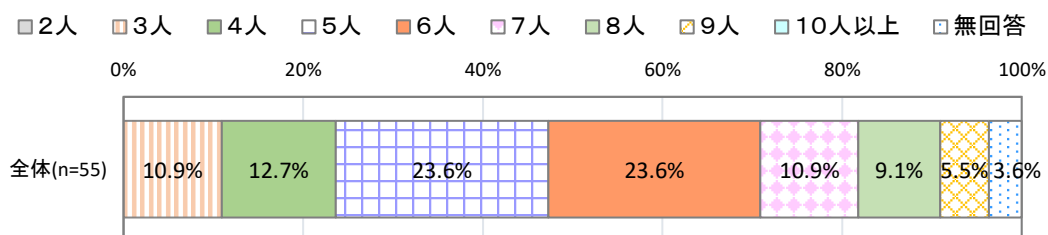
回答者の続柄については、「母親」85.5%が最も高く、次いで「父親」12.7%となっている。



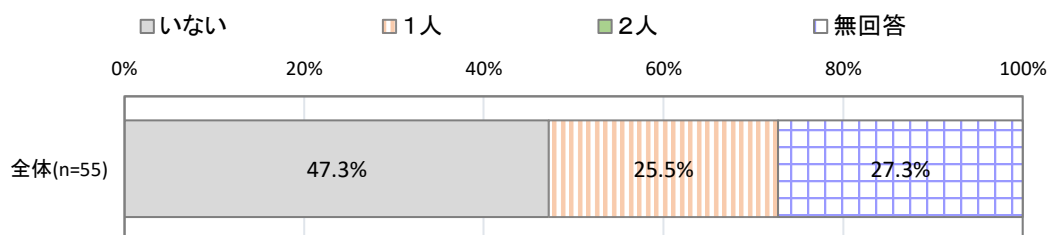
問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。
 単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

生計を同一にしている家族の構成と人数については、「5人」、「6人」がいずれも23.6%と最も高く、次いで「4人」12.7%、「3人」、「7人」がいずれも10.9%となっている。

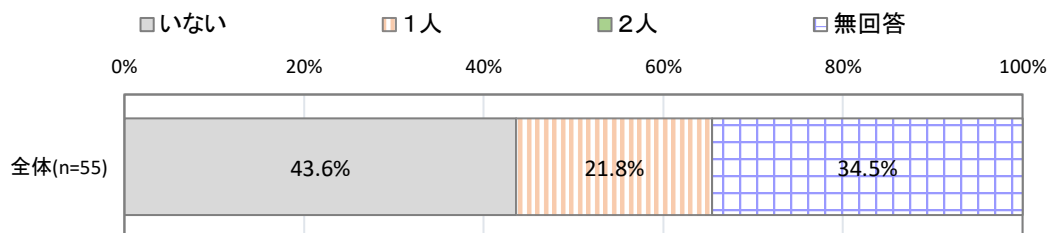
生計を同一にしている家族 h)合計



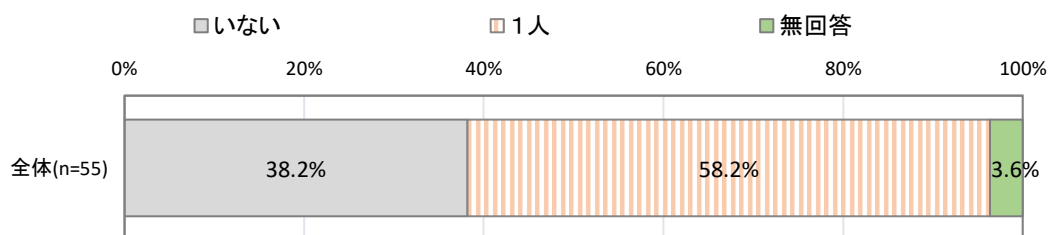
生計を同一にしている家族 a)祖母



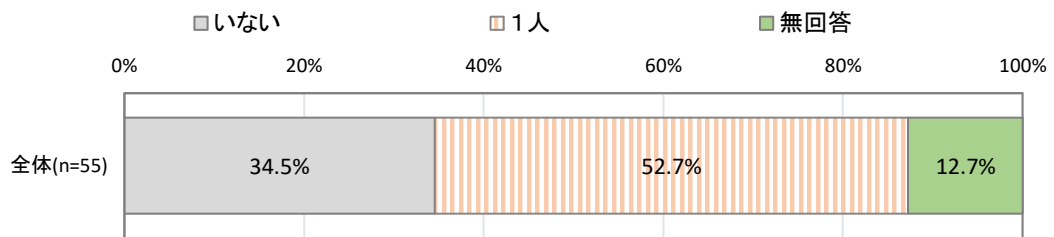
生計を同一にしている家族 b)祖父



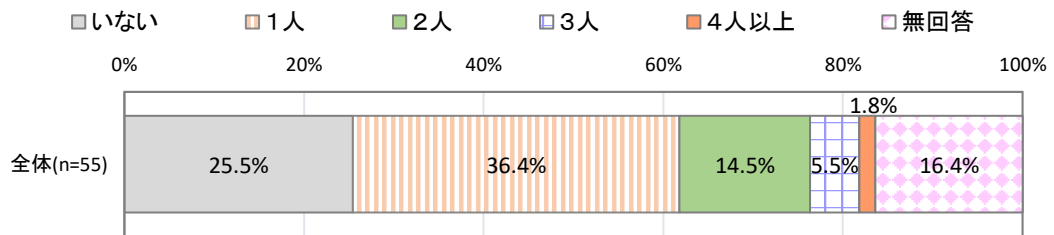
生計を同一にしている家族 c)母親



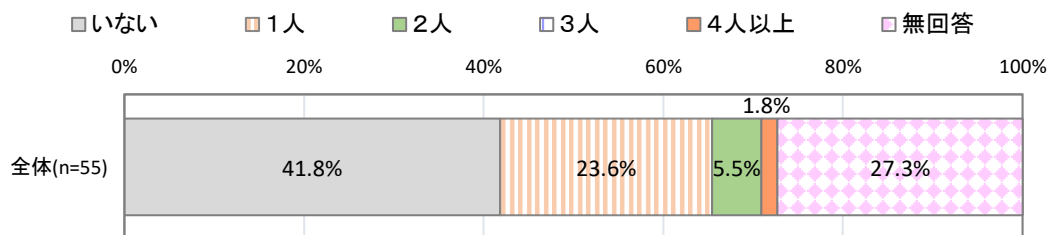
生計を同一にしている家族 d)父親



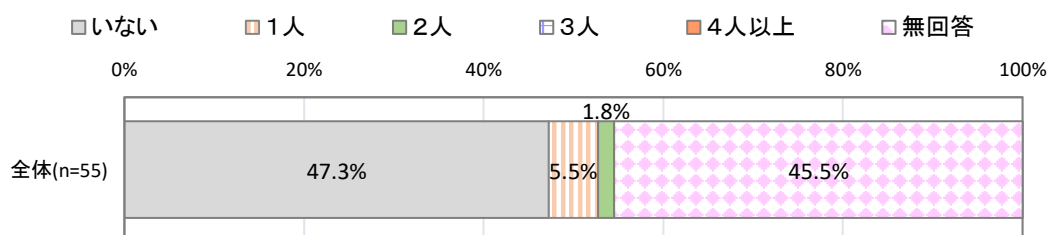
生計を同一にしている家族 e)姉・兄



生計を同一にしている家族 f)妹・弟



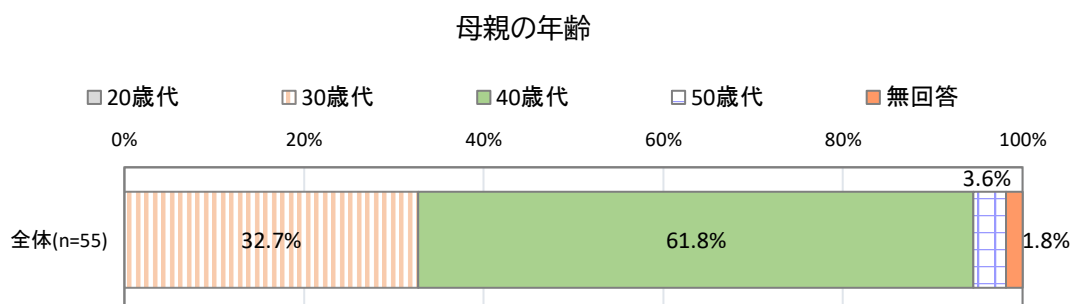
生計を同一にしている家族 g)その他



問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

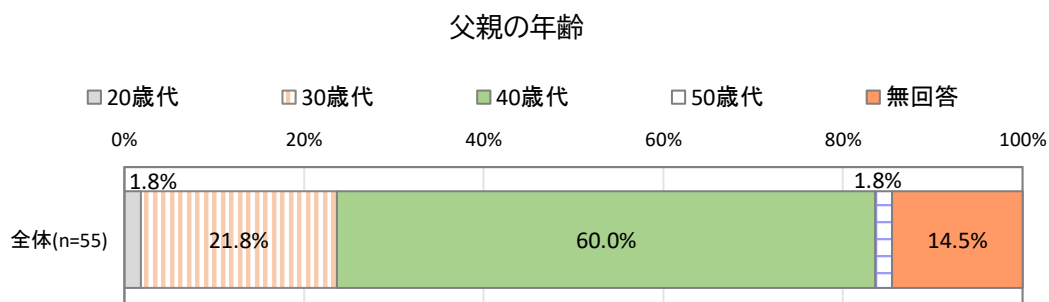
(1) 母親

母親の年齢については、「40 歳代」61.8%が最も高く、次いで「30 歳代」32.7%、「50 歳代」3.6%となっている。



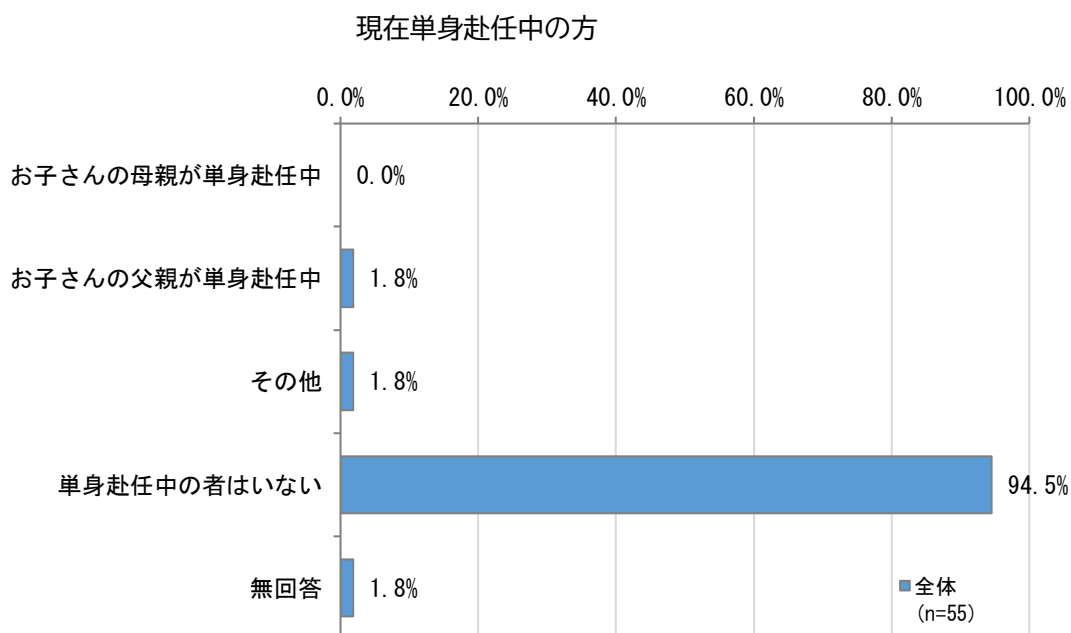
(2) 父親

父親の年齢については、「40 歳代」60.0%が最も高く、次いで「30 歳代」21.8%、「20 歳代」、「50 歳代」がいずれも 1.8%となっている。



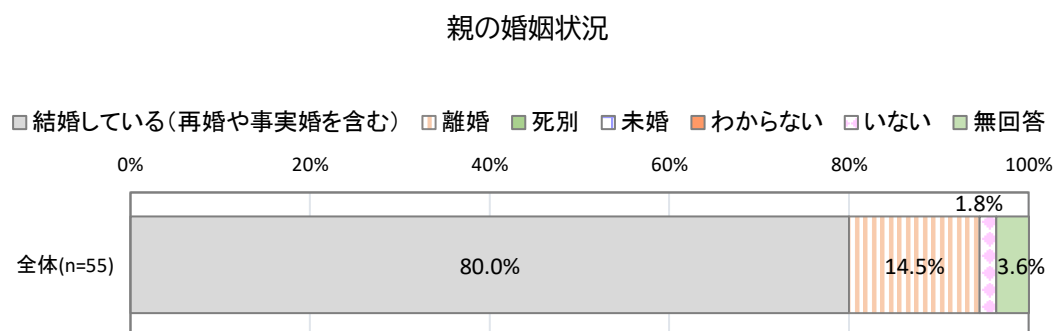
問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。

現在単身赴任中の方については、「単身赴任中の者はいない」94.5%が最も高く、次いで「お子さんの父親が単身赴任中」、「その他」がいずれも1.8%となっている。



問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

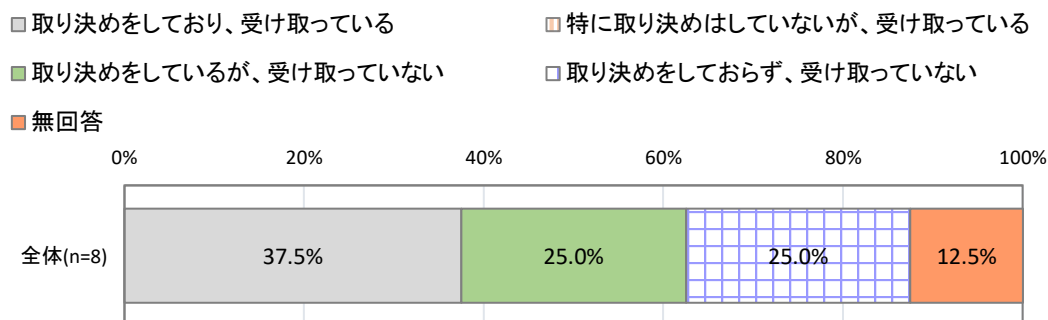
婚姻状況については、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」80.0%が最も高く、次いで「離婚」14.5%、「いない」1.8%となっている。



問7 前問で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。

子供の養育費の取り決めや受け取りの状況については、「取り決めをしており、受け取っている」37.5%が最も高く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」、「取り決めをしておらず、受け取っていない」がいずれも25.0%となっている。

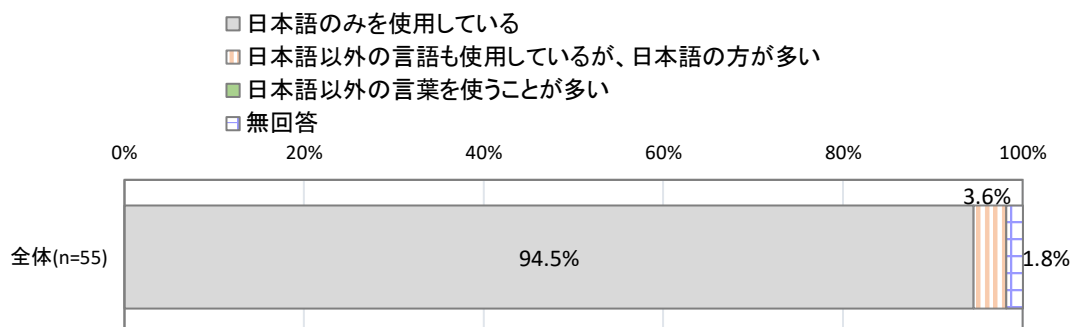
子供の養育費の取り決めや受け取りの状況



問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

日本語以外の言語の使用については、「日本語のみを使用している」94.5%が最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」3.6%となっている。

日本語以外の言語の使用

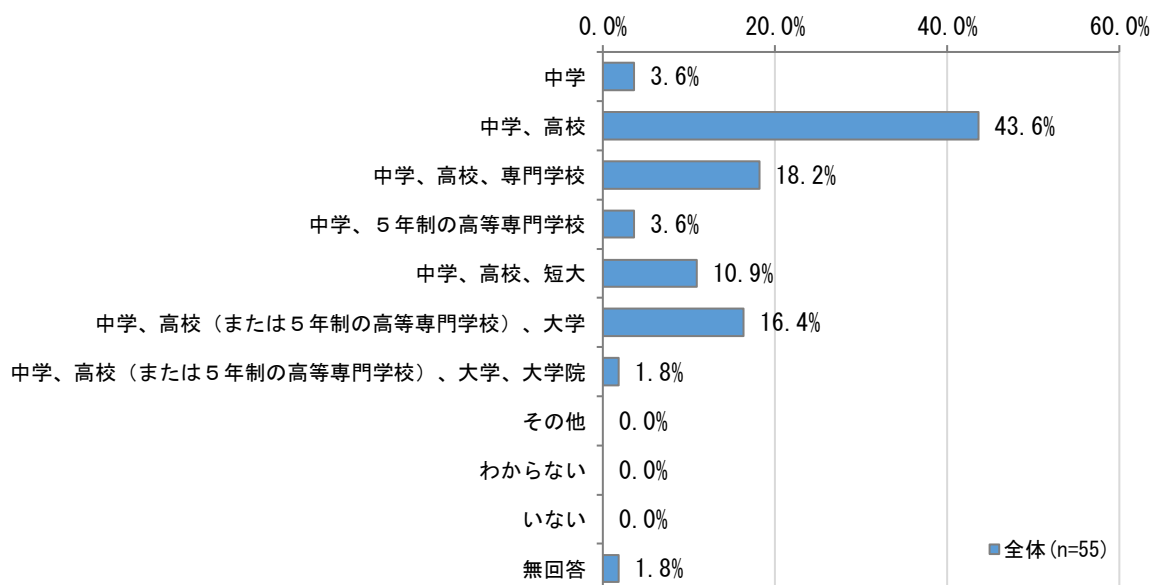


問 9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a) 母親

卒業・修了した学校について、母親では、「中学、高校」43.6%が最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」18.2%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」16.4%となっている。

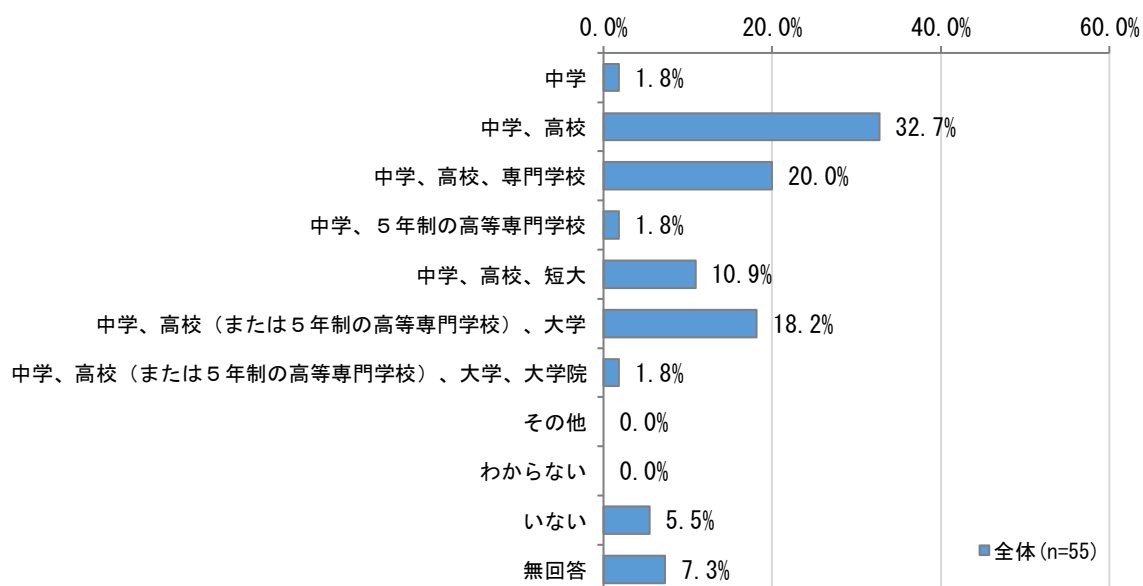
卒業・修了した学校（母親）



(b) 父親

父親については、「中学、高校」32.7%が最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」20.0%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」18.2%となっている。

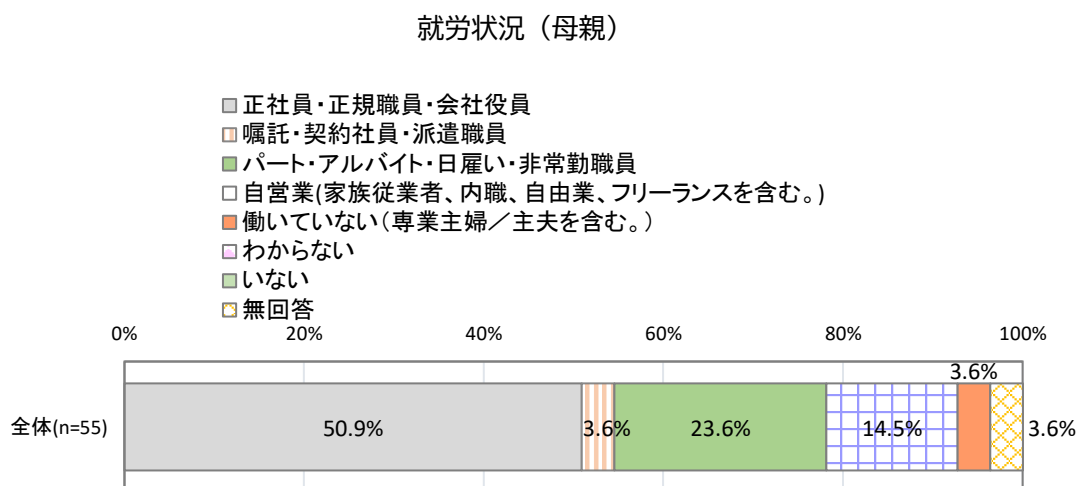
卒業・修了した学校（父親）



問 10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

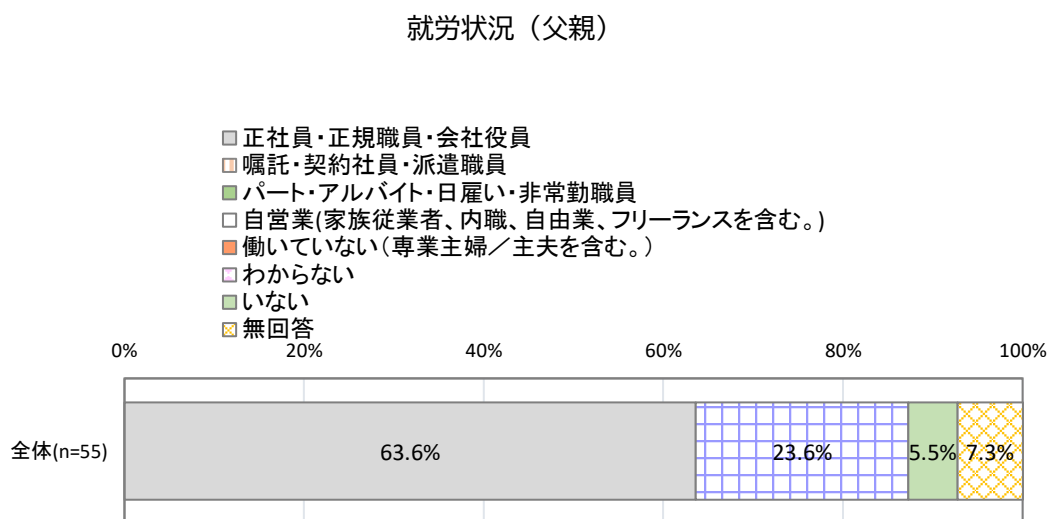
(a) 母親

母親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」50.9%が最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」23.6%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」14.5%となっている。



(b) 父親

父親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」63.6%が最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」23.6%、「いない」5.5%となっている。

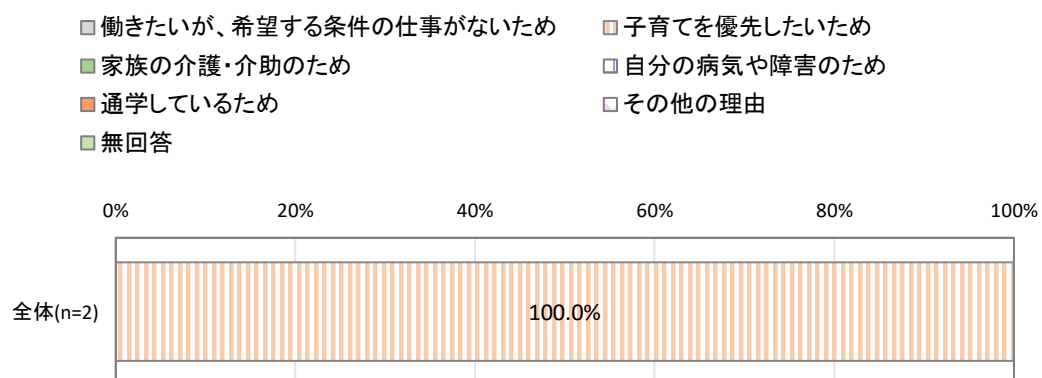


問 11 前の質問で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

(a) 母親

母親が働いていない最も主な理由については、「子育てを優先したいため」100.0%となっている。

働いていない最も主な理由（母親）



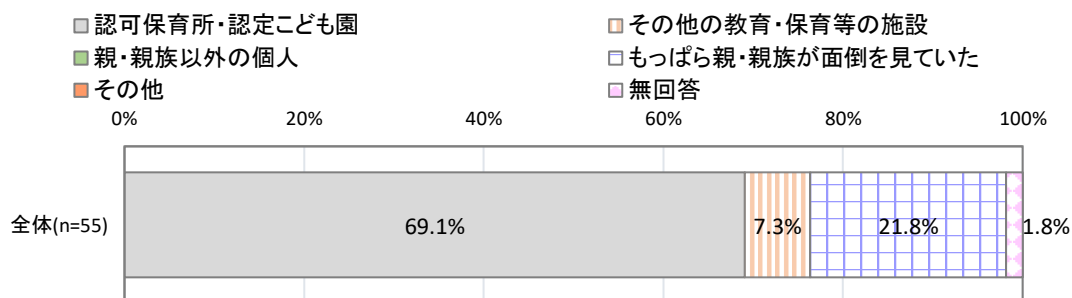
(b) 父親

父親が働いていない最も主な理由については、該当なしとなっている。

問 12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「認可保育所・認定こども園」69.1%が最も高く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」21.8%、「その他の教育・保育等の施設」7.3%となっている。

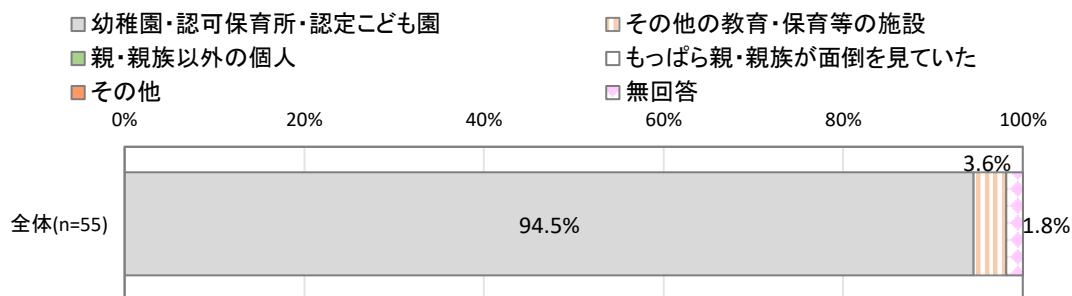
0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等



問13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」94.5%が最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」3.6%となっている。

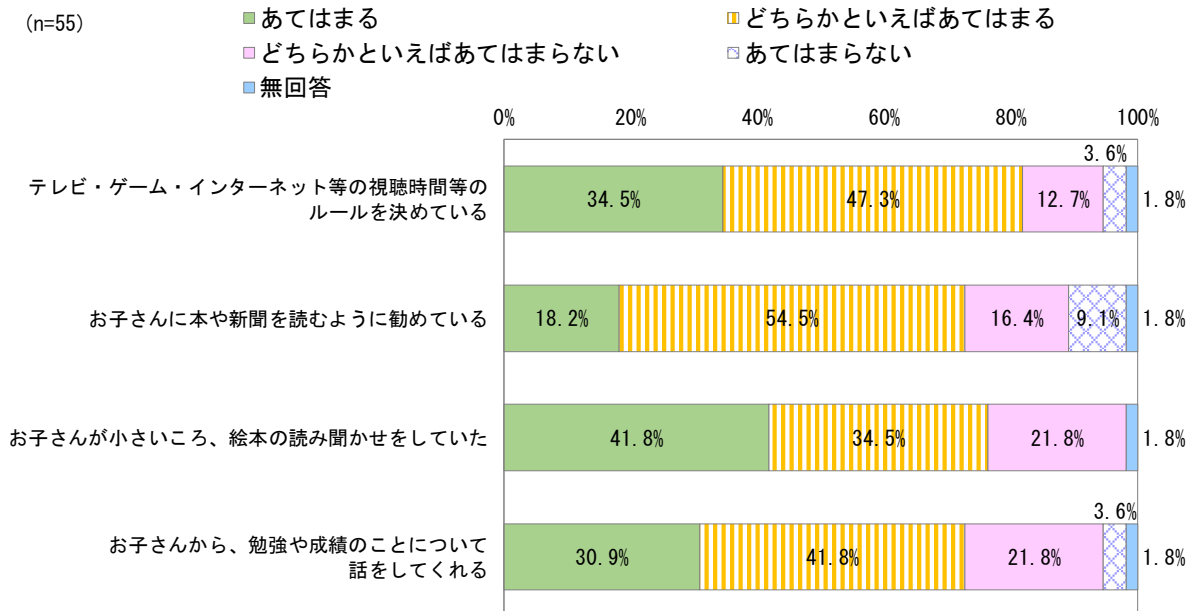
3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等



問14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

子どもとの関わり方については、いずれの項目も『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と回答した人が7割以上を占め、特に「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」は81.8%と最も高くなっている。

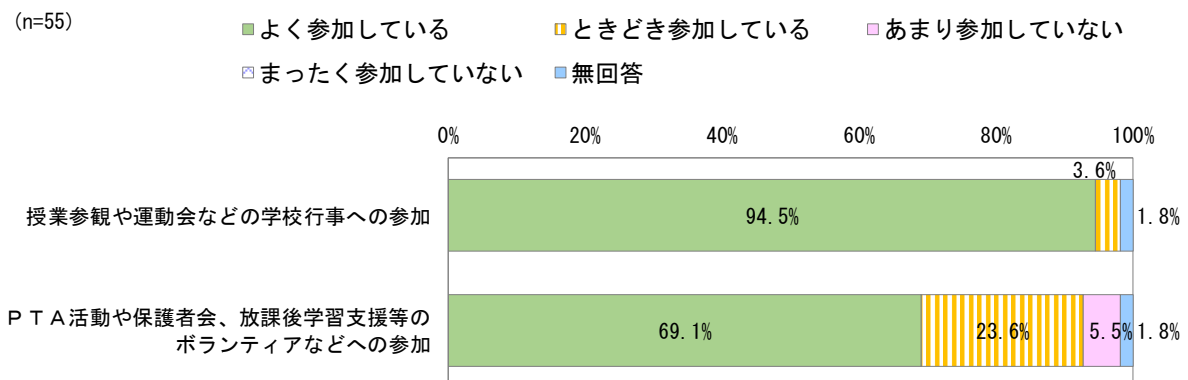
お子さんとの関わり方



問15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

学校行事、ボランティアなどへの参加について、『参加している』（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）はいずれの項目でも9割以上を占めている。

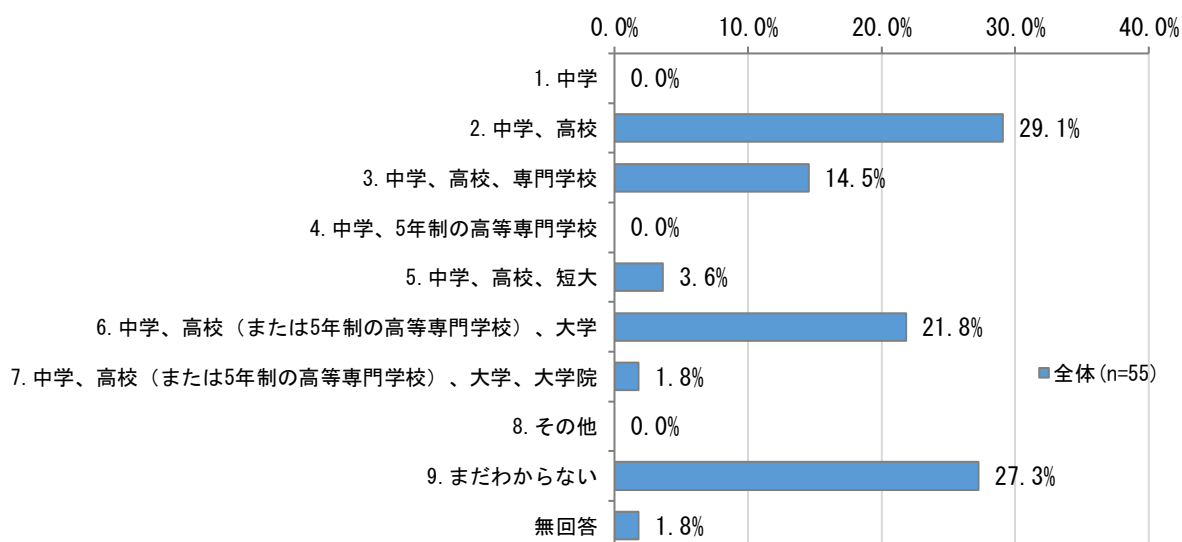
学校行事・ボランティアなどへの参加



問16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

子どもが将来、現実的にみてどの段階まで進学すると思うかについては、「中学、高校」29.1%が最も高く、次いで「まだわからない」27.3%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」21.8%となっている。

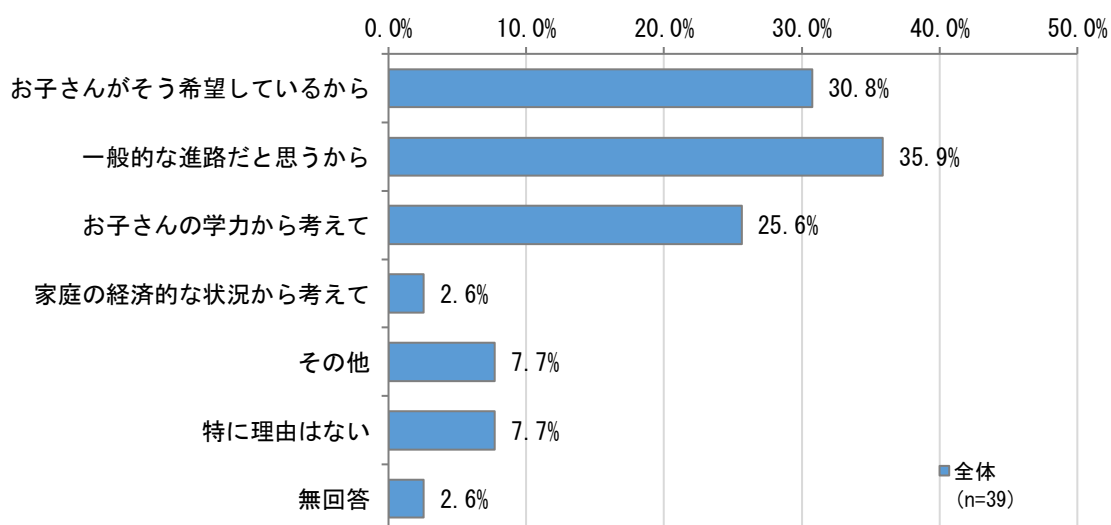
現実的にみて、子どもがどの段階まで進学すると思うか



問17 前の質問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。(複数回答)

選択した進学先の回答理由については、「一般的な進路だと思うから」35.9%が最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」30.8%、「お子さんの学力から考えて」25.6%となっている。

子どもの進学先を【問16】のように考える理由



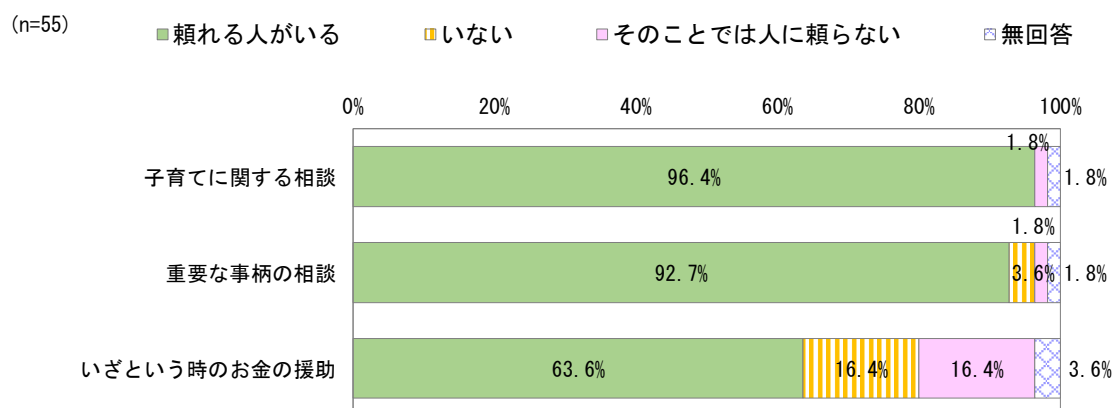
問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか(複数回答)

頼れる人の有無について、「子育てに関する相談」、「重要な事柄の相談」についてはいずれも「頼れる人がいる」が9割を超えている。

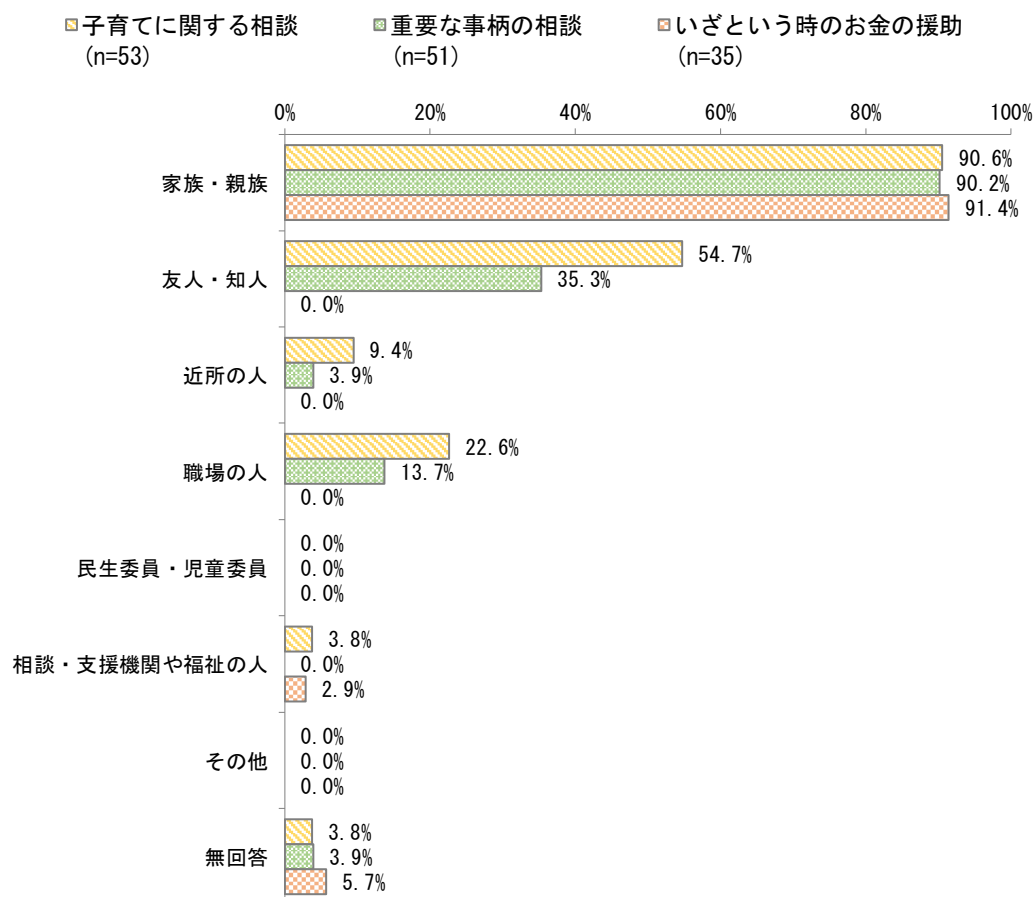
一方、頼れる人が「いない」では「いざという時のお金の援助」が16.4%と他の項目と比較して高くなっている。

頼れる人の有無



頼れる人がいる場合、それは誰かについては、全ての項目で「家族・親戚」が9割を超え最も高くなっている。

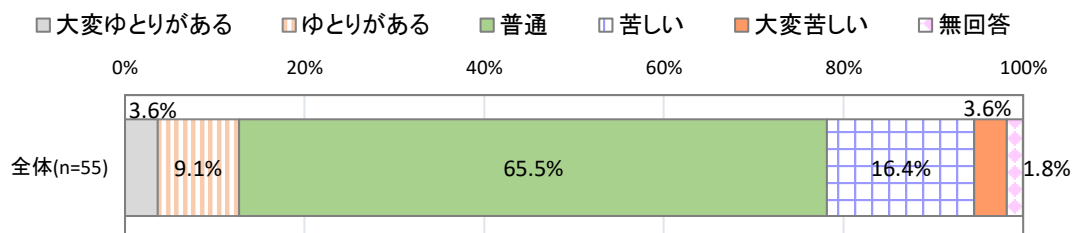
頼れる人がいる場合、その相手



問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか

現在の暮らしの状況については、「普通」65.5%が最も高く、次いで「苦しい」16.4%、「ゆとりがある」9.1%となっている。
『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」）と回答した人の割合は全体で12.7%である一方、『苦しい』（「苦しい」＋「大変苦しい」）と回答した人の割合は全体で20.0%を占めている。

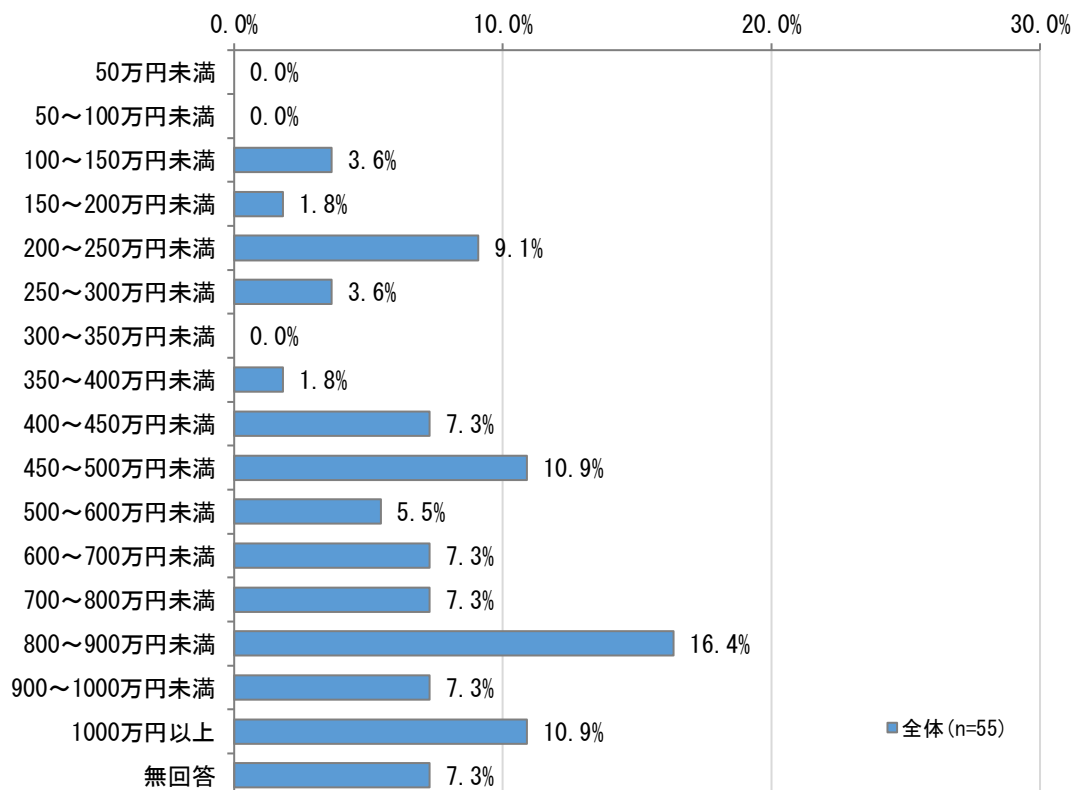
現在の暮らしの状況



問20 令和5年の世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

令和5年の世帯全体のおおよその年間収入については、「800～900万円未満」16.4%が最も高く、次いで「450～500万円未満」、「1000万円以上」がいずれも10.9%、「200～250万円未満」9.1%となっている。

世帯全体のおおよその年間収入

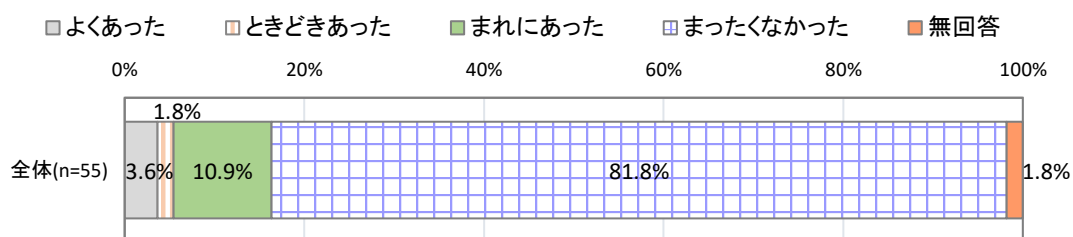


問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがあったかについては、「まったくなかった」81.8%が最も高く、次いで「まれにあった」10.9%、「よくあった」3.6%となっている。

『あった』（「よくあった」＋「ときどきあった」＋「まれにあった」）と回答した人の割合は全体で16.3%となっている。

家族が必要とする食料が買えないこと

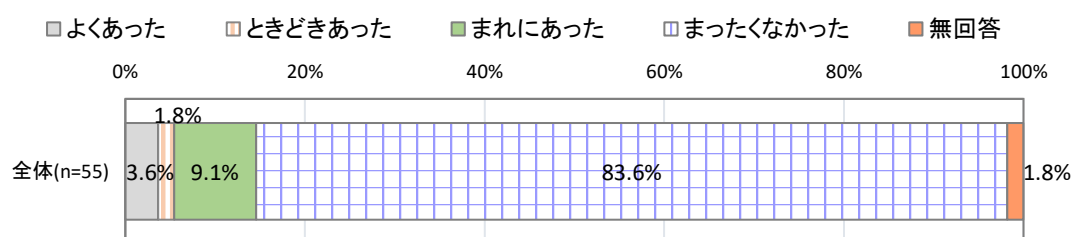


問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがあったかについては、「まったくなかった」83.6%が最も高く、次いで「まれにあった」9.1%、「よくあった」3.6%となっている。

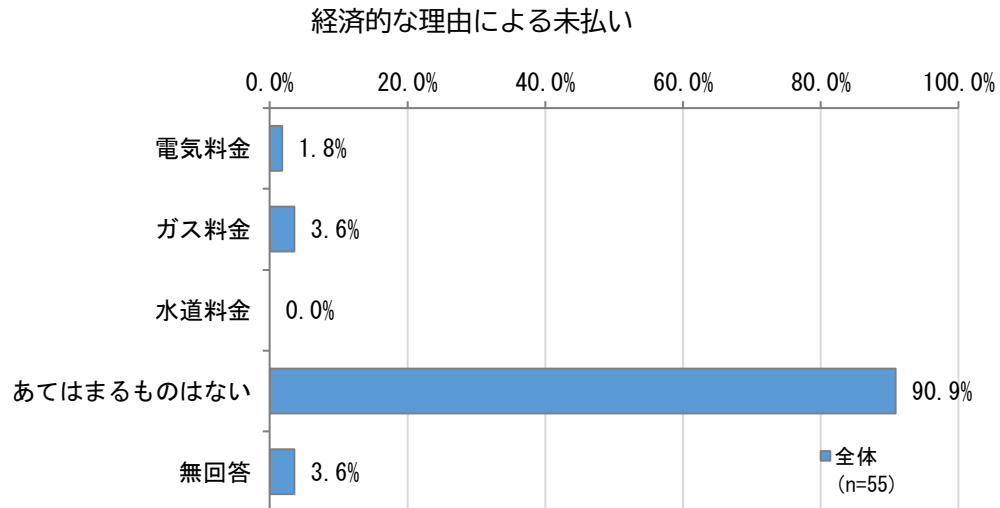
『あった』（「よくあった」＋「ときどきあった」＋「まれにあった」）と回答した人の割合は全体で14.5%となっている。

家族が必要とする衣服が買えないこと



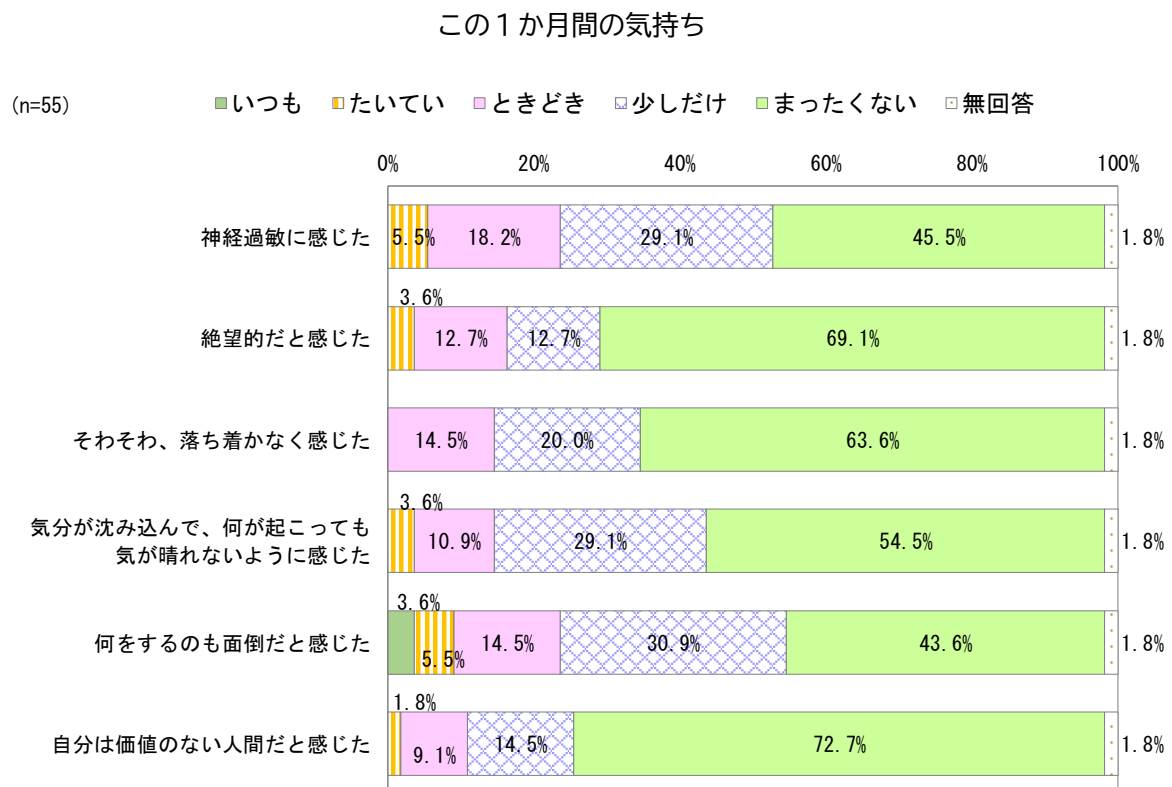
問23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(複数回答)

過去1年の間に、経済的な理由で未払いになったことがあったかについては、「あてはまるものはない」90.9%が最も高く、次いで「ガス料金」3.6%、「電気料金」1.8%となっている。



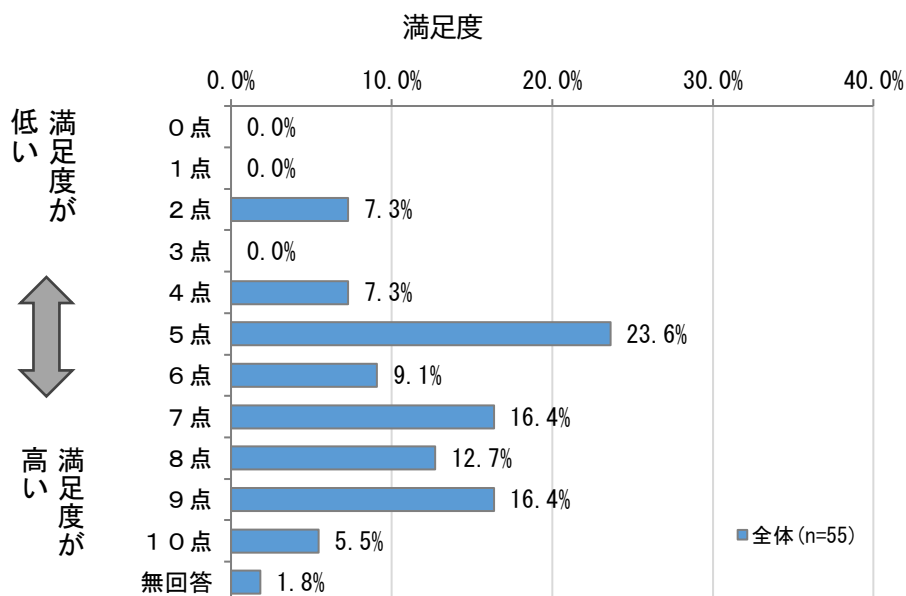
問24 この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。

この1か月間の気持ちについては、『該当する』(「いつも」+「たいてい」+「ときどき」+「少しだけ」) 人の割合は、「何をするのも面倒だと感じた」が54.5%が最も高く、次いで「神経過敏に感じた」52.8%となっている。



問 25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

満足度については、「5点」23.6%が最も高く、次いで「7点」、「9点」がいずれも16.4%、「8点」12.7%となっている。

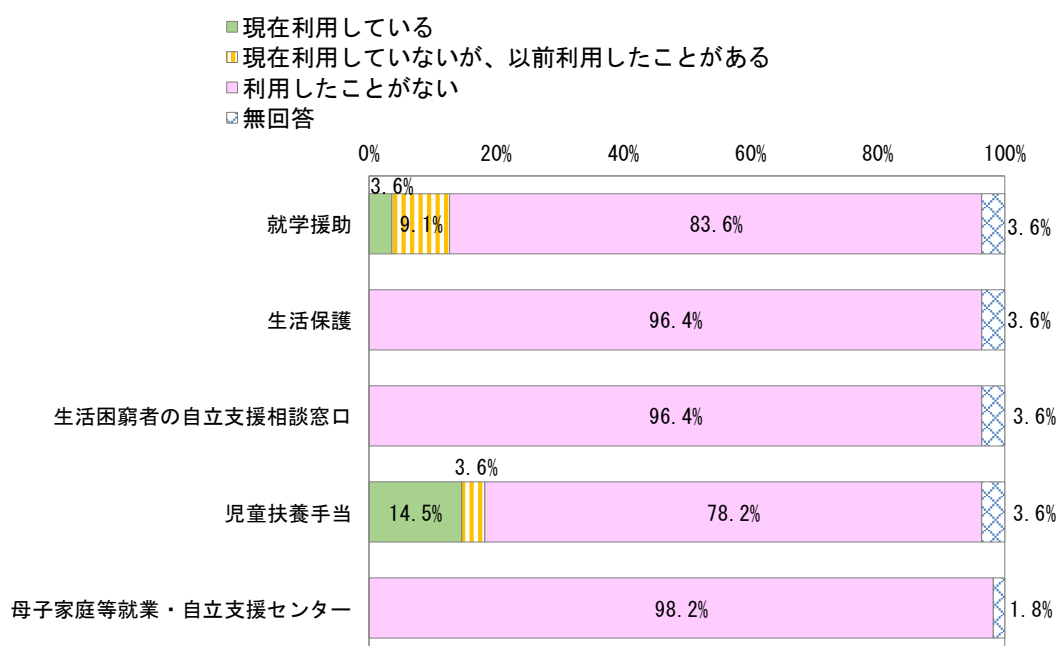


問 26 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

支援制度の利用経験については、「利用したことがない」がすべての項目で7割以上を占めている。一方、「現在利用している」では「児童扶養手当」14.5%が最も高く、次いで「就学援助」3.6%となっている。

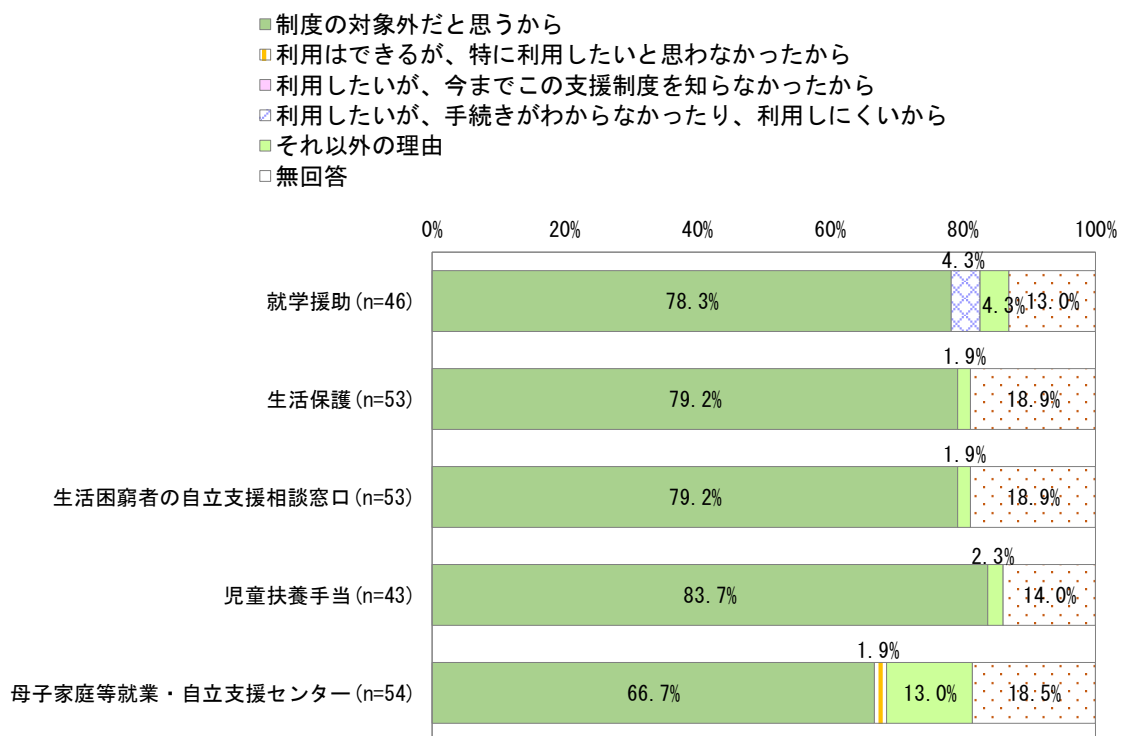
支援制度の利用経験

(n=55)



利用したことがない理由については、全ての項目で「制度の対象外だと思うから」が6割以上と高くなっている。

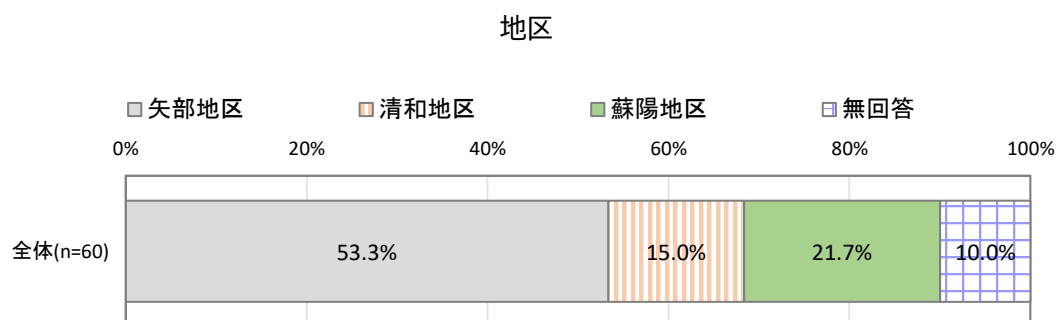
支援制度を利用したことがない理由



IV 調査結果（中学1年生保護者）

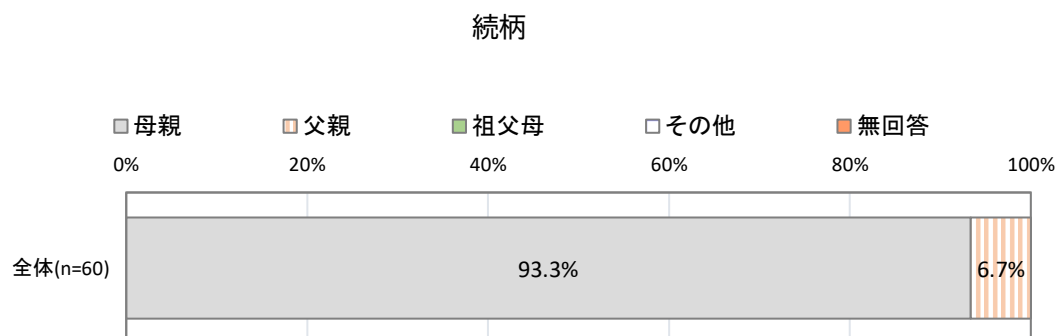
問1 お住まいの地区を教えてください。

地域は、「矢部地区」53.3%が最も高く、次いで「蘇陽地区」21.7%、「清和地区」15.0%となっている。



問2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。

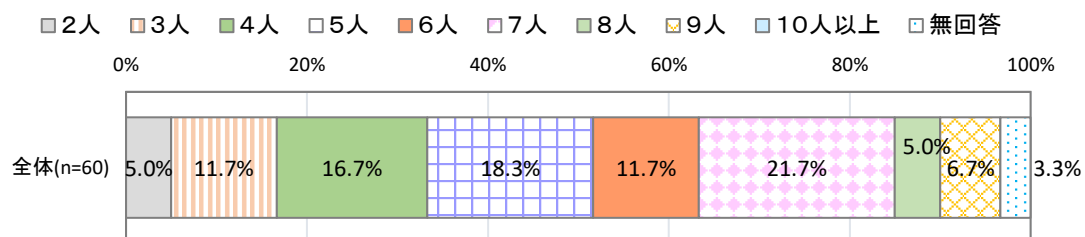
回答者の続柄については、「母親」93.3%が最も高く、次いで「父親」6.7%となっている。



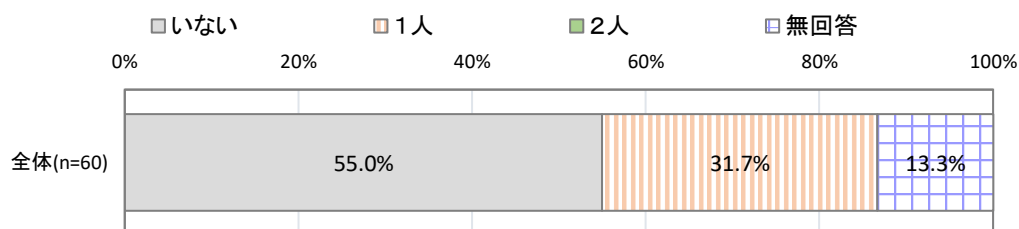
問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。
 単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数
 に含めて教えてください。

生計を同一にしている家族の構成と人数については、「7人」21.7%が最も高く、次いで
 「5人」18.3%、「4人」16.7%となっている。

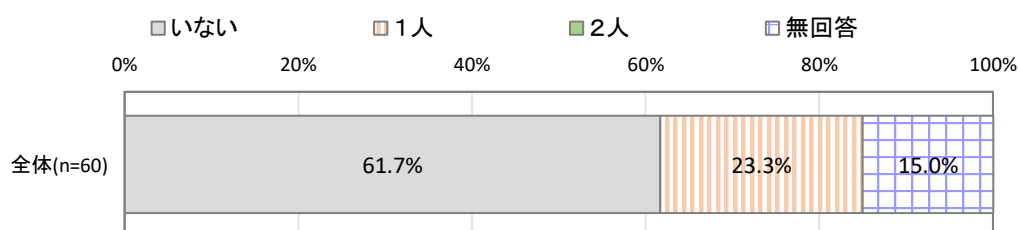
生計を同一にしている家族 合計



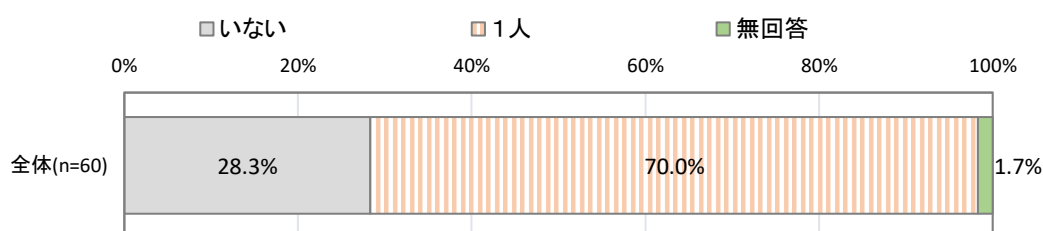
生計を同一にしている家族 祖母



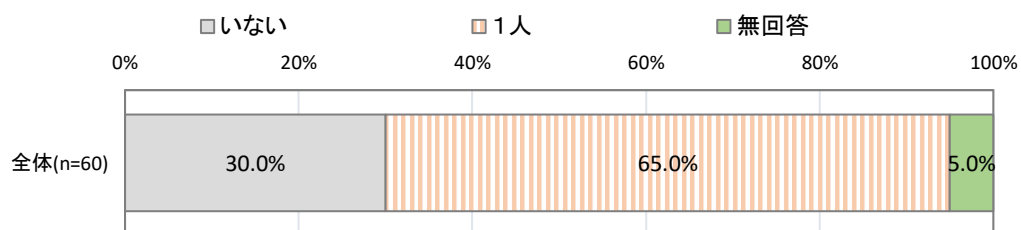
生計を同一にしている家族 祖父



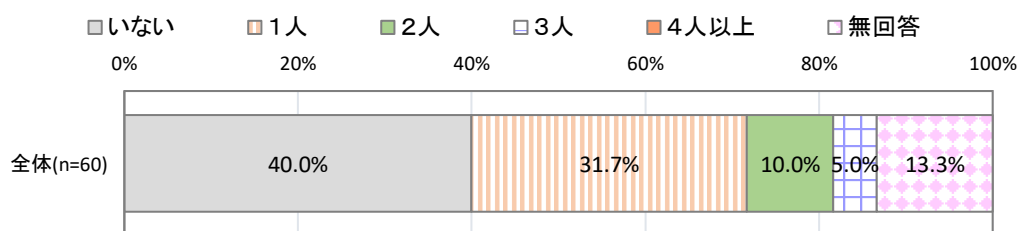
生計を同一にしている家族 母親



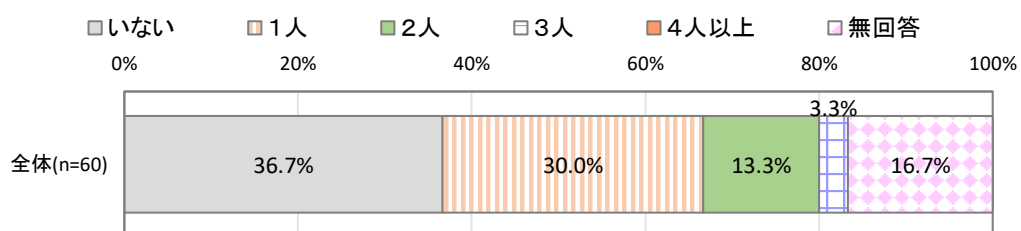
生計を同一にしている家族 父親



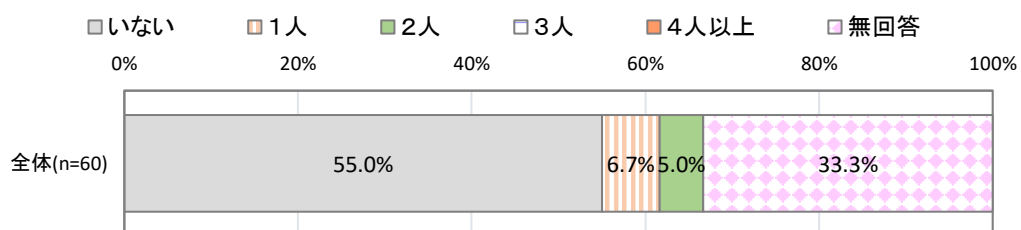
生計を同一にしている家族 姉・兄



生計を同一にしている家族 妹・弟



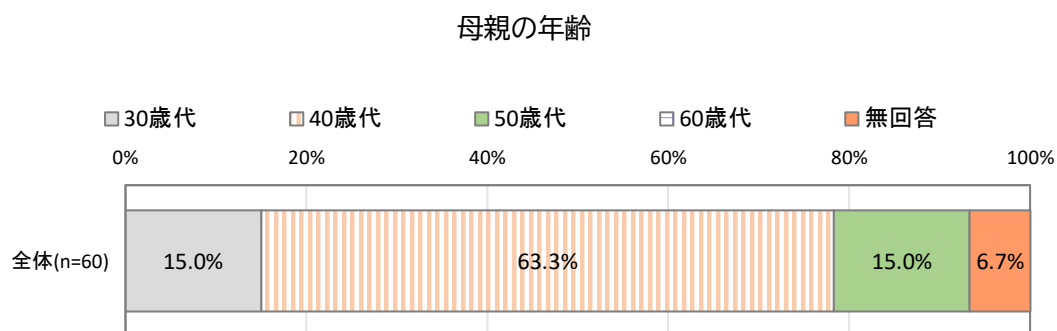
生計を同一にしている家族 その他



問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

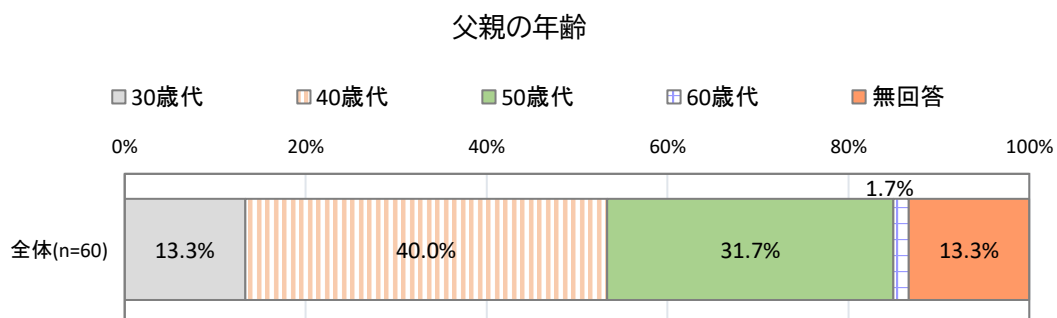
(1) 母親

母親の年齢については、「40 歳代」63.3%が最も高く、次いで「30 歳代」、「50 歳代」がいずれも 15.0%となっている。



(2) 父親

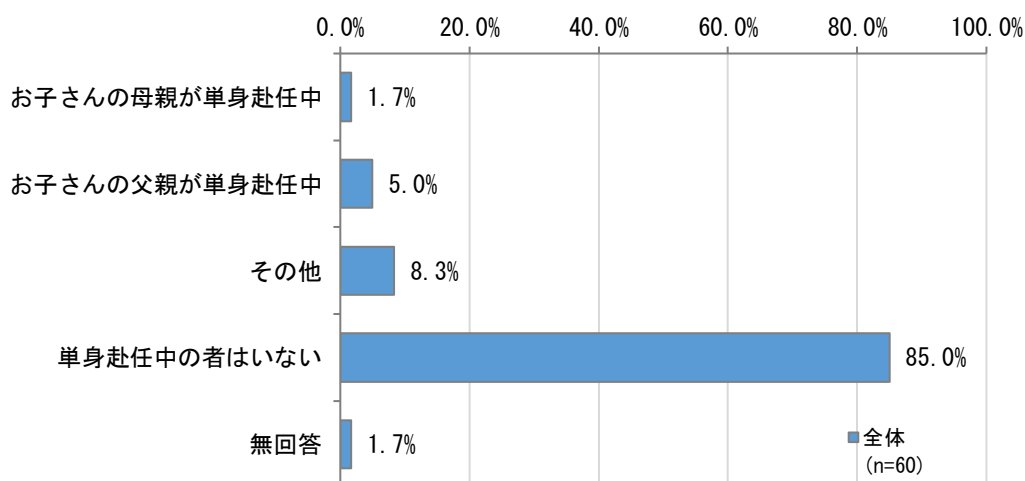
父親の年齢については、「40 歳代」40.0%が最も高く、次いで「50 歳代」31.7%、「30 歳代」13.3%となっている。



問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(複数回答)

現在単身赴任中の方については、「単身赴任中の者はいない」85.0%が最も高く、次いで「その他」8.3%、「お子さんの父親が単身赴任中」5.0%となっている。

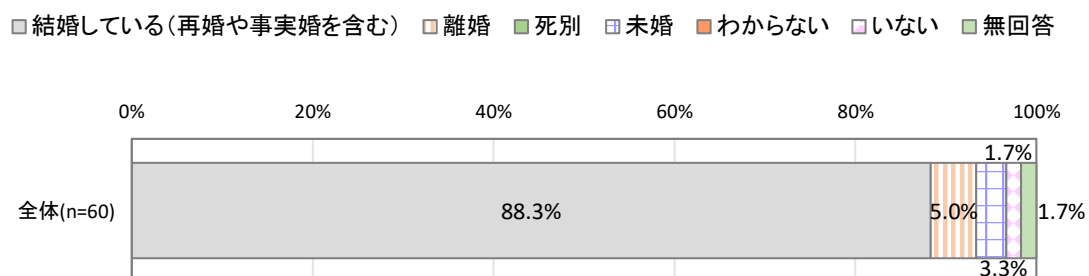
現在単身赴任中の方



問6 お子さんと同じく、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

婚姻状況については、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」88.3%が最も高く、次いで「離婚」5.0%、「未婚」3.3%となっている。

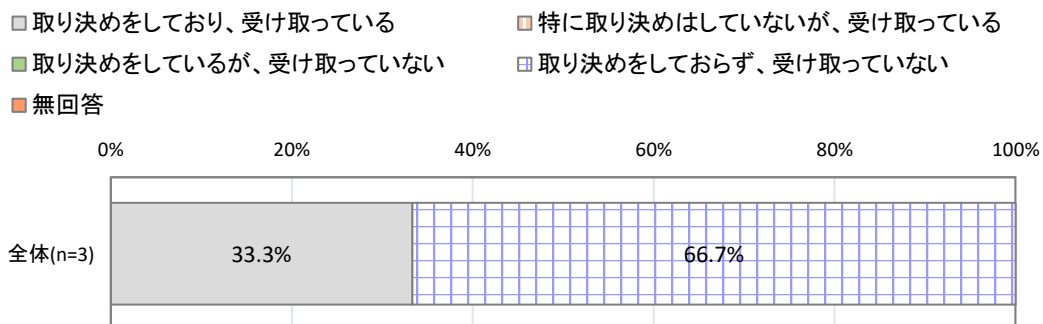
親の婚姻状況



問7 前問で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。

子供の養育費の取り決めや受け取りの状況については、「取り決めをしておらず、受け取っていない」66.7%が最も高く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」33.3%となっている。

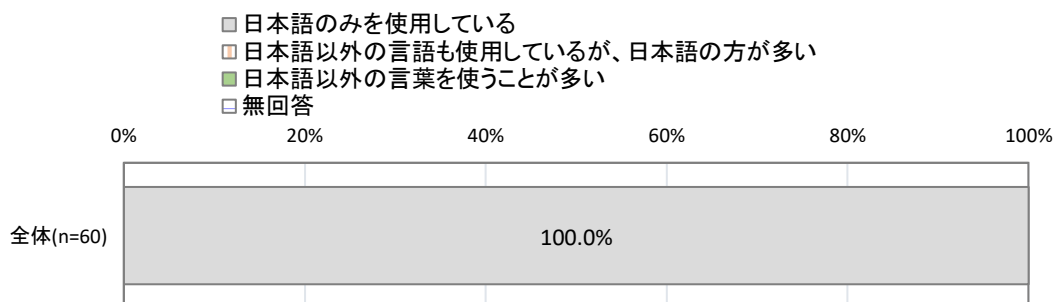
子供の養育費の取り決めや受け取りの状況



問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

日本語以外の言語の使用については、「日本語のみを使用している」が100.0%となっている。

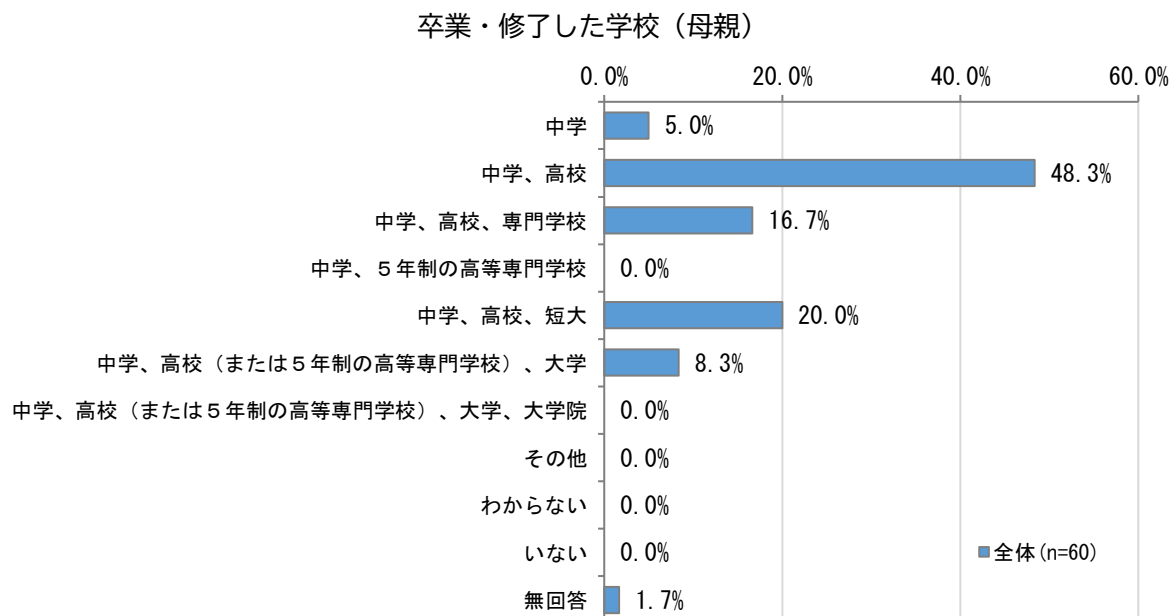
日本語以外の言語の使用



問 9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

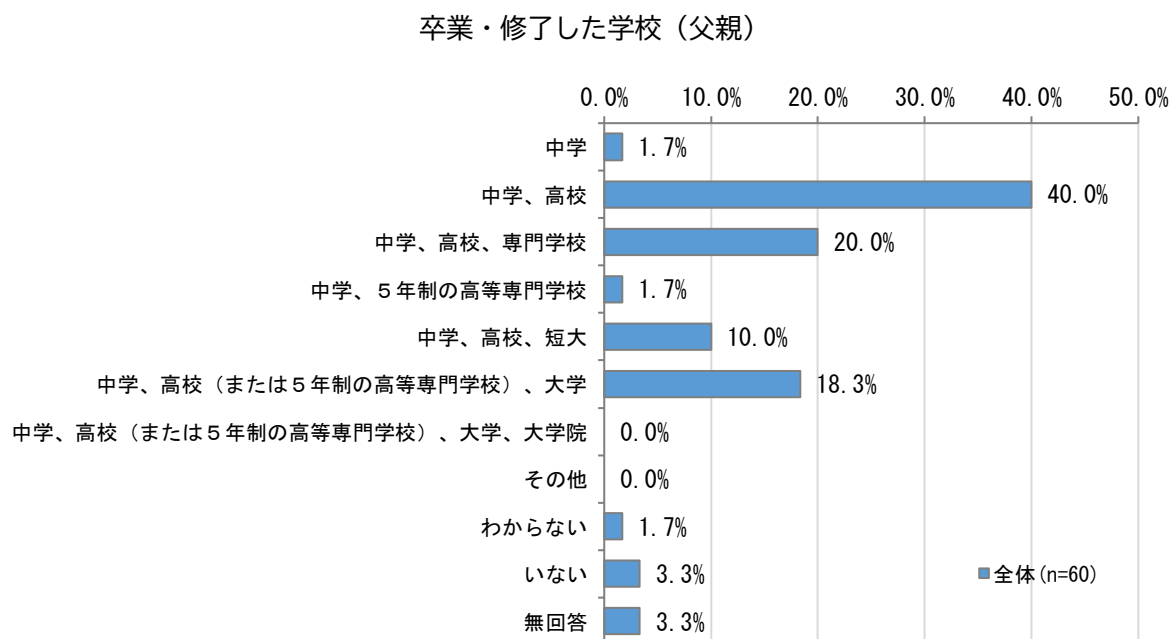
(a) 母親

卒業・修了した学校について、母親では、「中学、高校」48.3%が最も高く、次いで「中学、高校、短大」20.0%、「中学、高校、専門学校」16.7%となっている。



(b) 父親

父親は、「中学、高校」40.0%が最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」20.0%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」18.3%となっている。

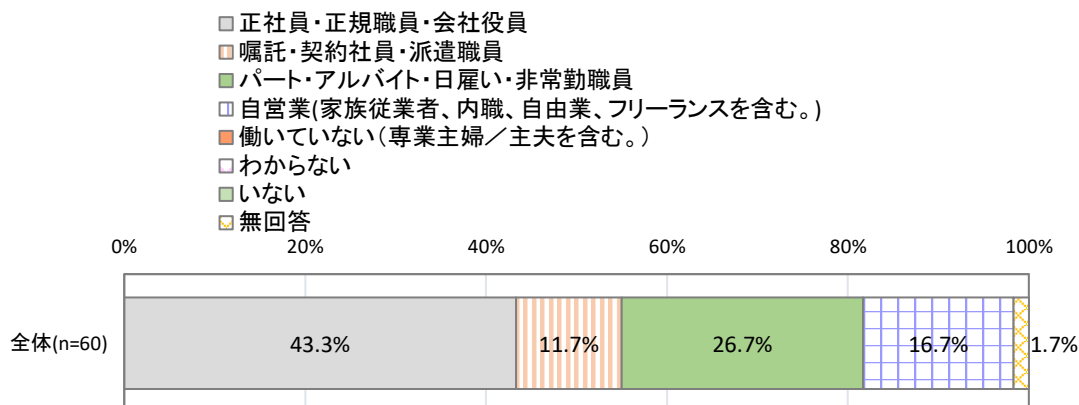


問 10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a) 母親

母親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」43.3%が最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」26.7%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」16.7%となっている。

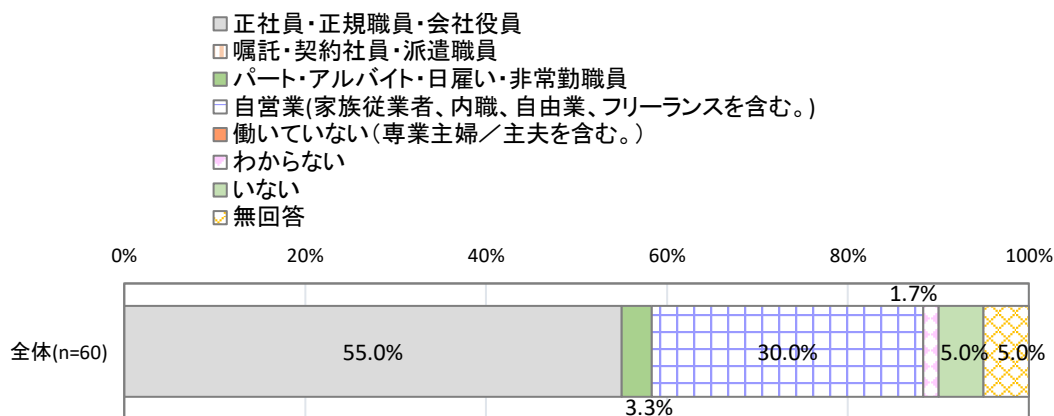
就労状況（母親）



(b) 父親

父親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」55.0%が最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」30.0%、「いない」5.0%となっている。

就労状況（父親）



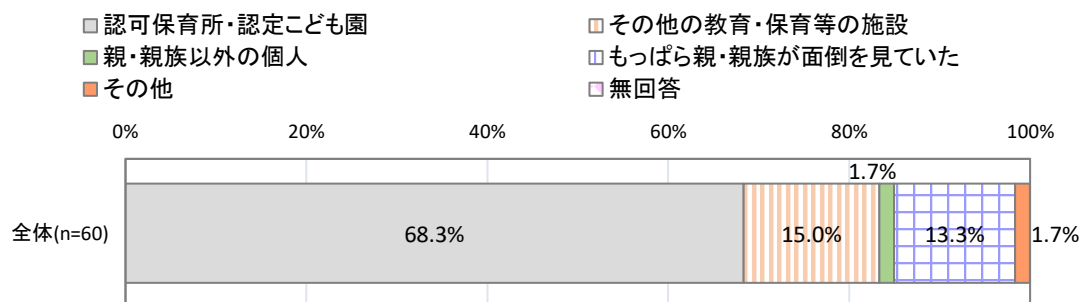
問 11 前の質問で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

母親、父親ともに該当者はいなかった。

問 12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「認可保育所・認定こども園」68.3%が最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」15.0%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」13.3%となっている。

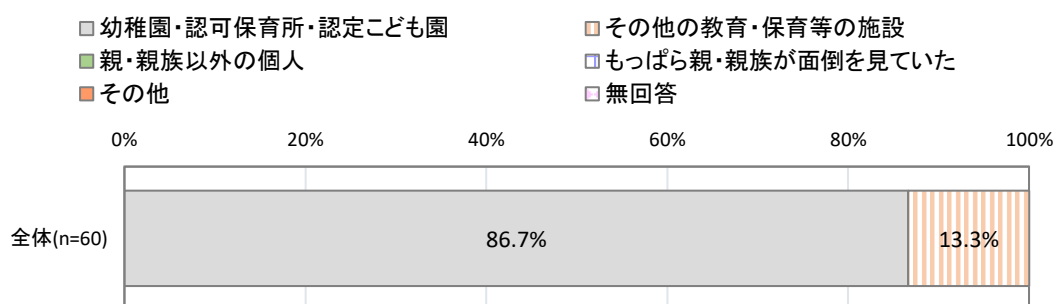
0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等



問13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」86.7%が最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」13.3%となっている。

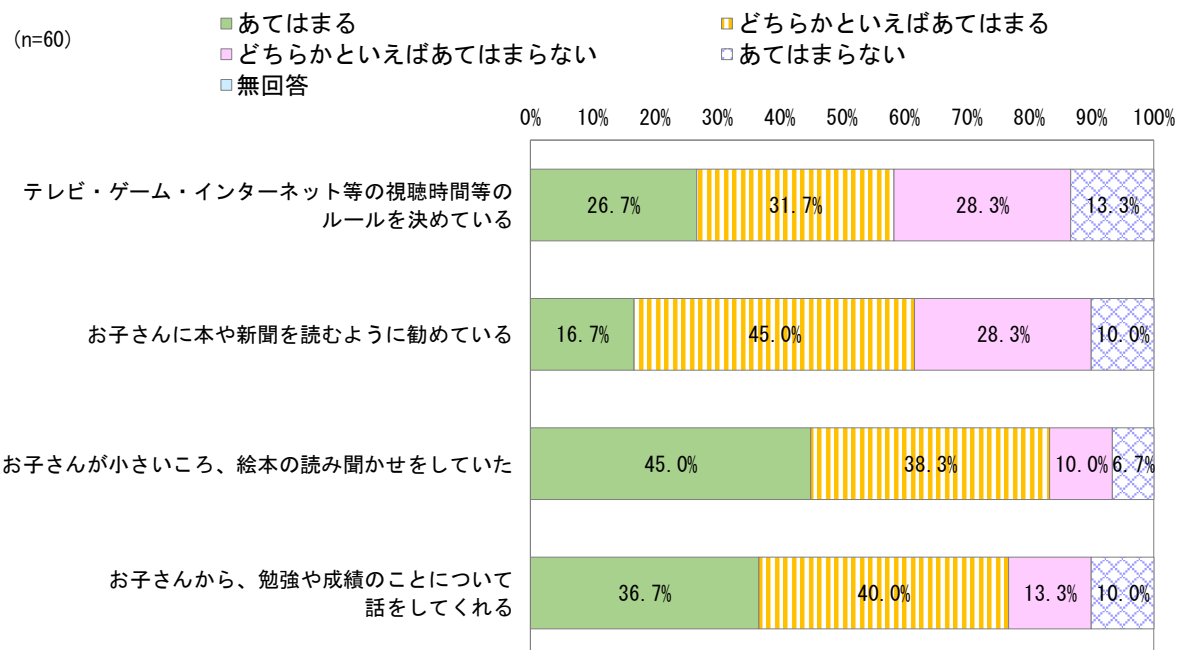
3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等



問14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

子どもとの関わり方については、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と回答した割合が高いのは、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」83.3%が最も高く、次いで「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」76.7%となっている。

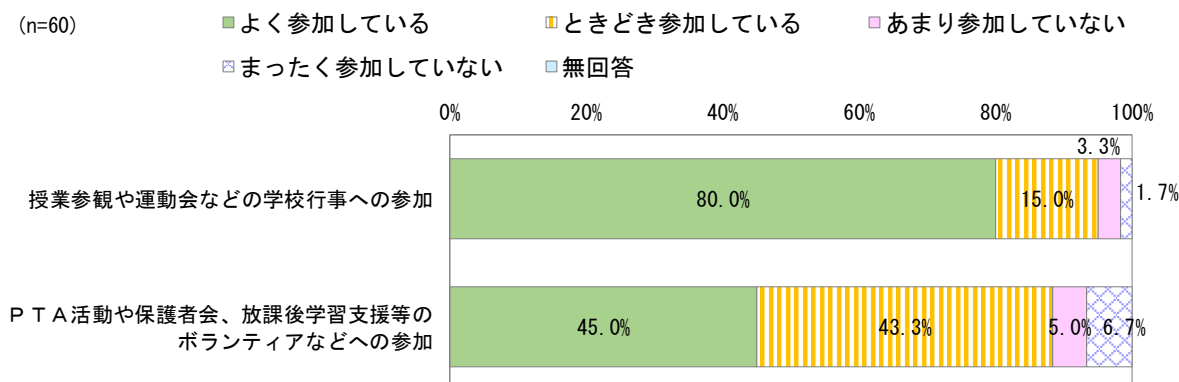
お子さんとの関わり方



問15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

学校行事、ボランティアなどへの参加については、『参加している』（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）はいずれの項目でも8割以上を占めている。

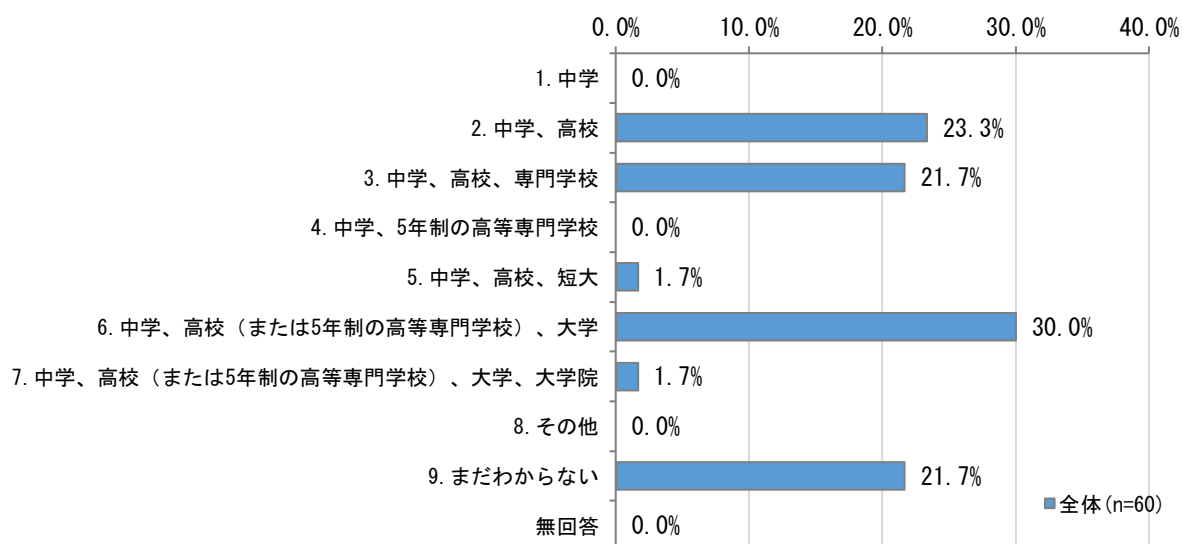
学校行事・ボランティアなどへの参加



問16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

子どもの将来の進学希望については、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」30.0%が最も高く、次いで「中学、高校」23.3%、「中学、高校、専門学校」21.7%となっている。

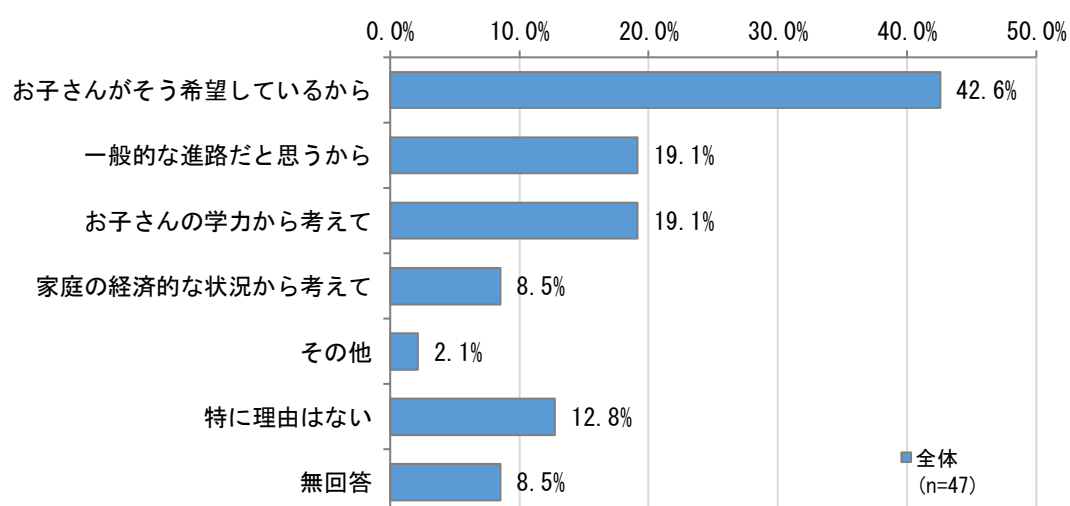
現実的にみて、子どもがどの段階まで進学すると思うか



問17 前の質問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

選択した進学先の回答理由については、「お子さんがそう希望しているから」42.6%が最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」、「お子さんの学力から考えて」がいずれも19.1%、「特に理由はない」12.8%となっている。

子どもの進学先を【問16】のように考える理由



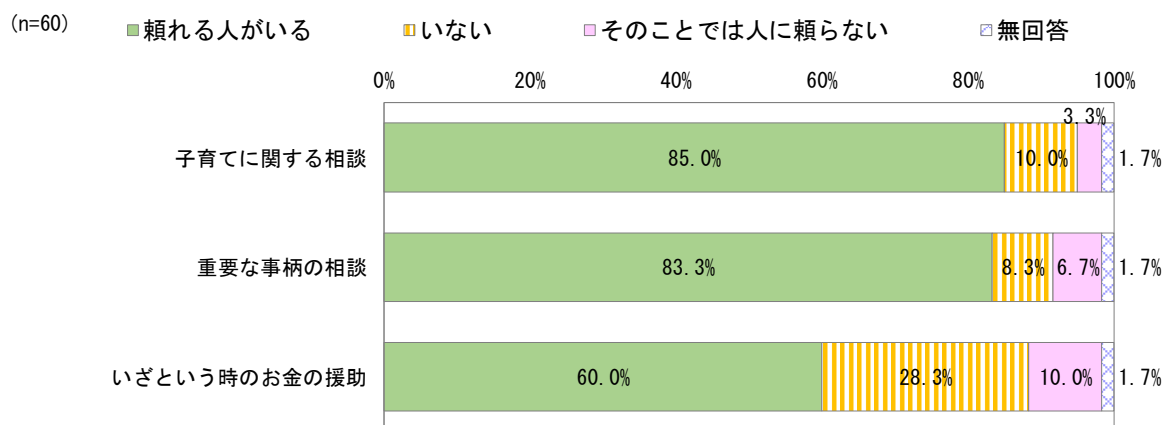
問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか(複数回答)

頼れる人の有無については、「子育てに関する相談」、「重要な事柄の相談」についてはいずれも「頼れる人がいる」が8割を超えている。

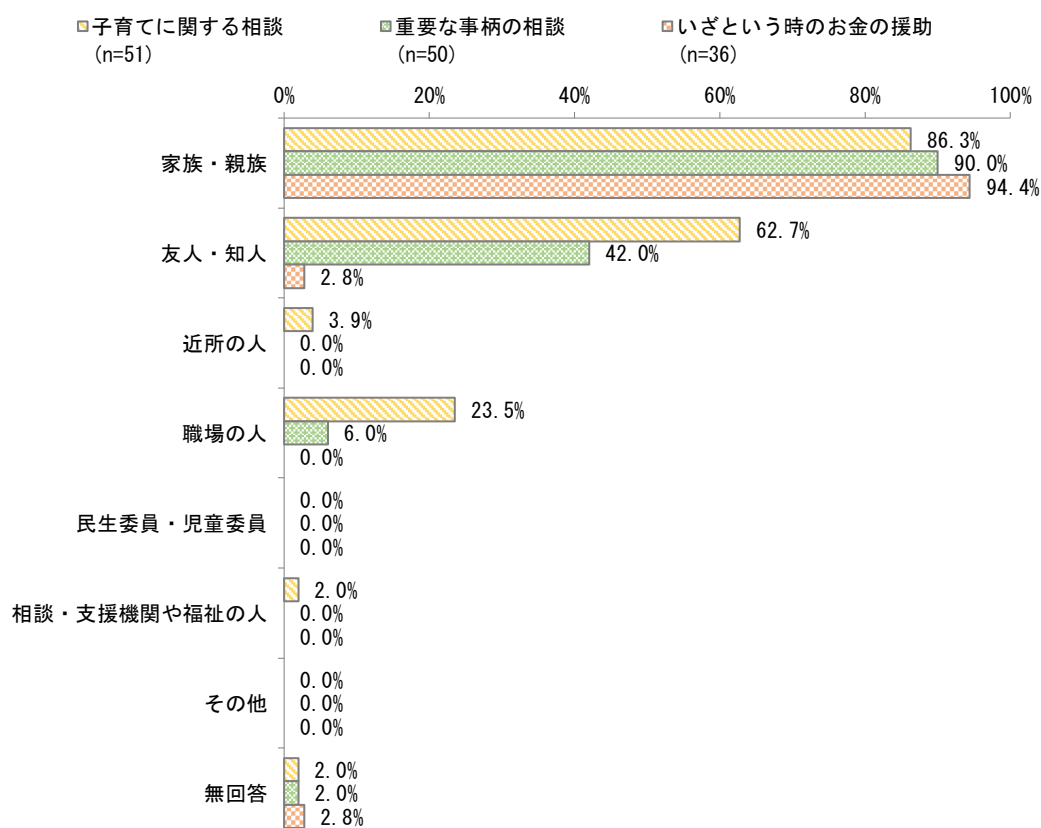
一方、頼れる人が「いない」では「いざという時のお金の援助」が28.3%と他の項目と比較して高くなっている。

頼れる人の有無



相談をする人がいる場合、それは誰かについては、全ての項目で「家族・親族」が8割を超え最も高くなっている。

頼れる人がいる場合、その相手

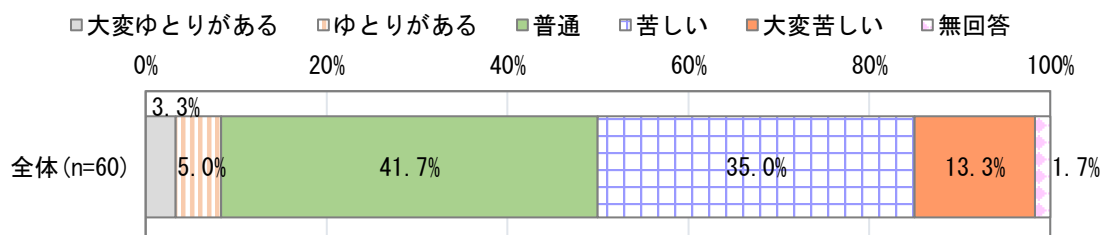


問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか

現在の暮らしの状況については、「普通」41.7%が最も高く、次いで「苦しい」35.0%、「大変苦しい」13.3%となっている。

『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」）と回答した人の割合は全体で8.3%である一方、『苦しい』（「苦しい」＋「大変苦しい」）と回答した人の割合は全体で48.3%となっている。

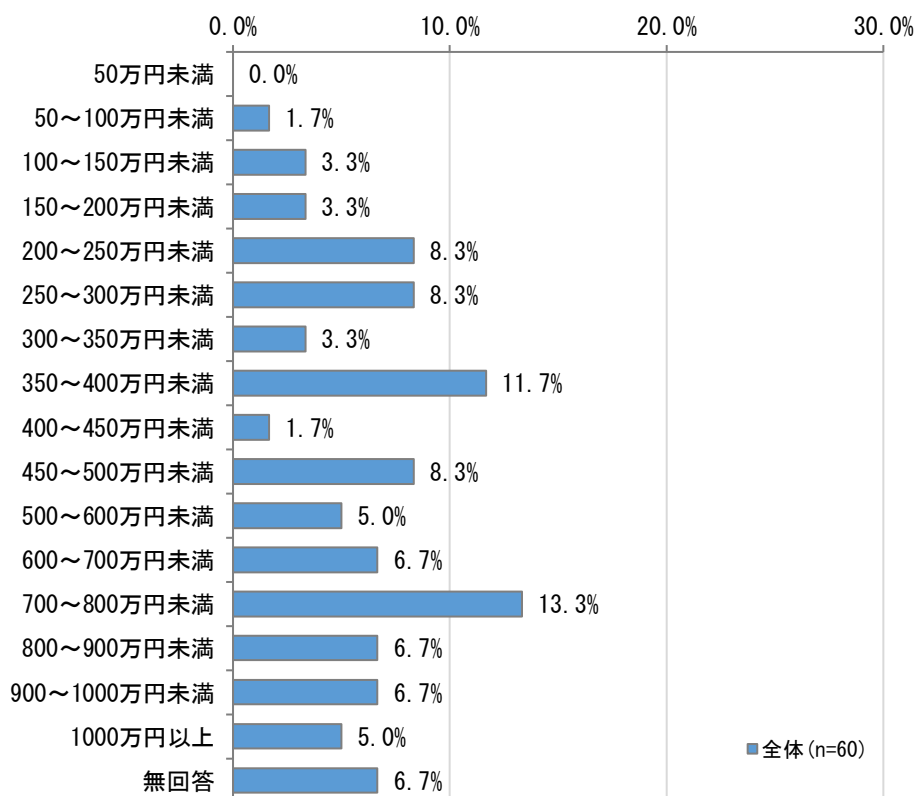
現在の暮らしの状況



問20 令和5年の世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

令和5年の世帯全体のおおよその年間収入については、「700～800万円未満」13.3%が最も高く、次いで「350～400万円未満」11.7%、「200～250万円未満」、「250～300万円未満」、「450～500万円未満」がいずれも8.3%となっている。

世帯全体のおおよその年間収入

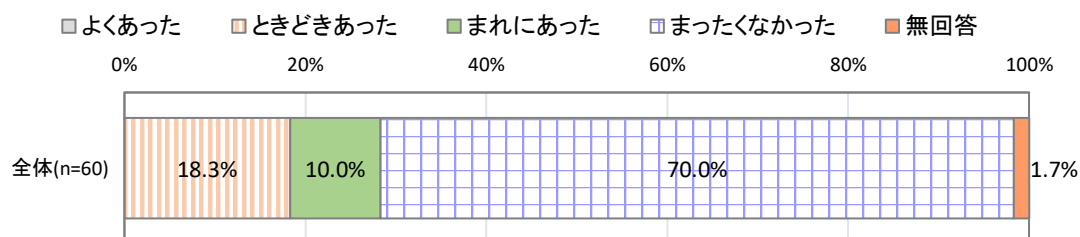


問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがあったかについては、「まったくなかった」70.0%が最も高く、次いで「ときどきあった」18.3%、「まれにあった」10.0%となっている。

『あった』（「よくあった」＋「ときどきあった」＋「まれにあった」）と回答した人の割合は全体で28.3%となっている。

家族が必要とする食料が買えないこと

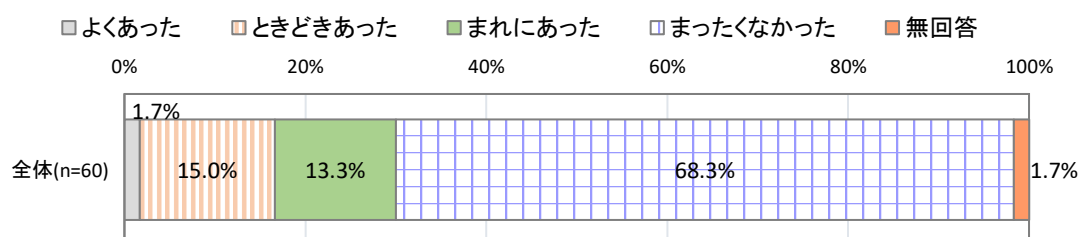


問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがあったかについては、「まったくなかった」68.3%が最も高く、次いで「ときどきあった」15.0%、「まれにあった」13.3%となっている。

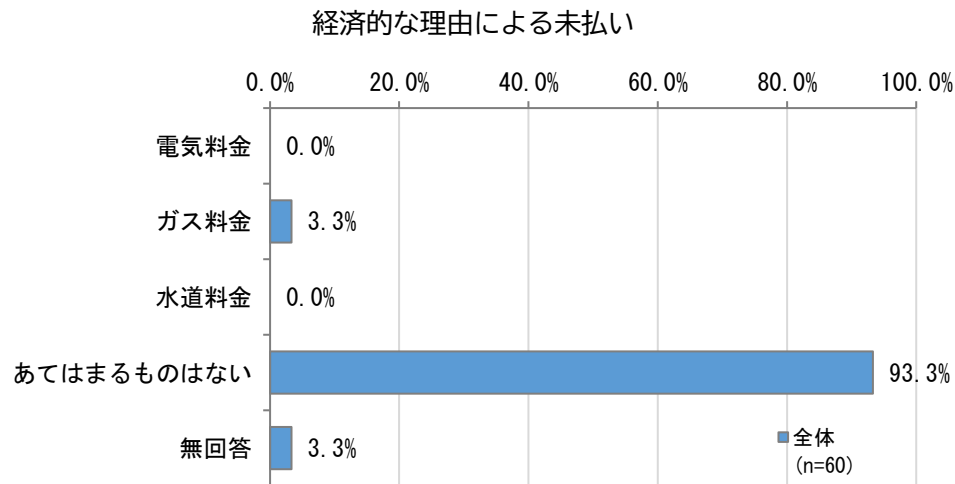
『あった』（「よくあった」＋「ときどきあった」＋「まれにあった」）と回答した人の割合は全体で30.0%となっている。

家族が必要とする衣服が買えないこと



問23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(複数回答)

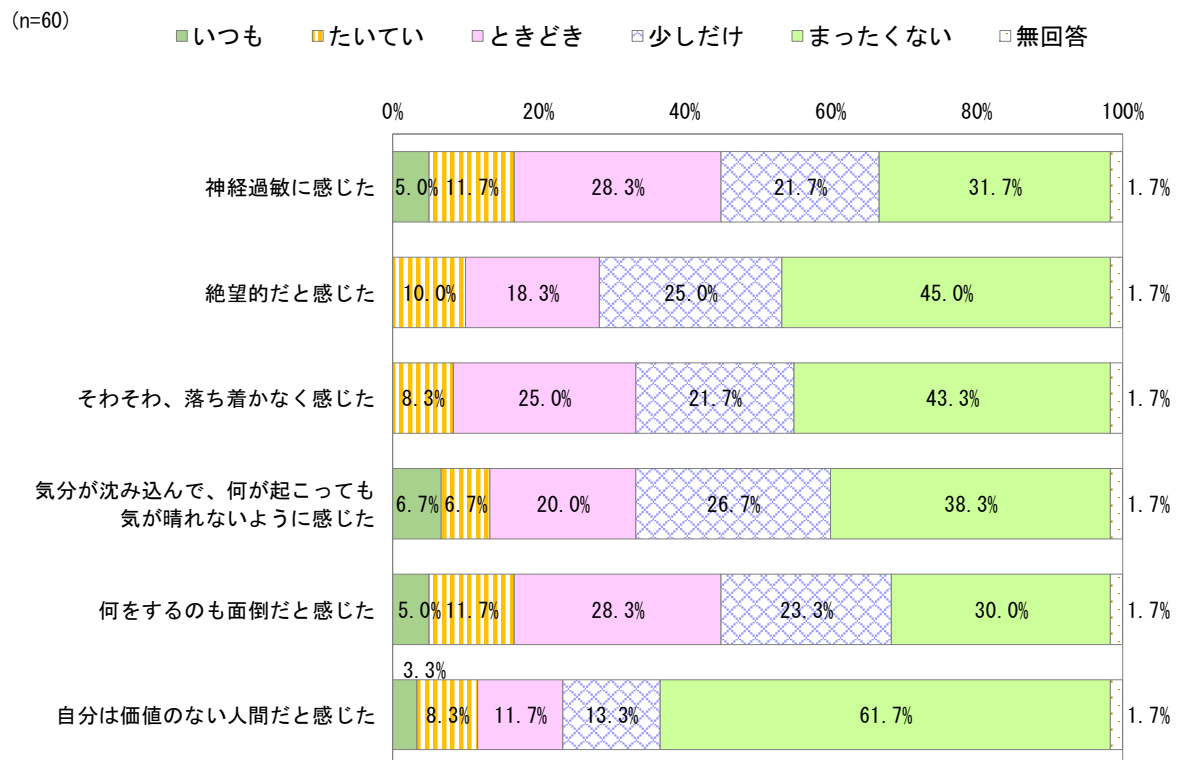
過去1年の間に、経済的な理由で未払いになったことがあったかについては、「あてはまるものはない」93.3%が最も高く、次いで「ガス料金」3.3%となっている。



問24 この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。

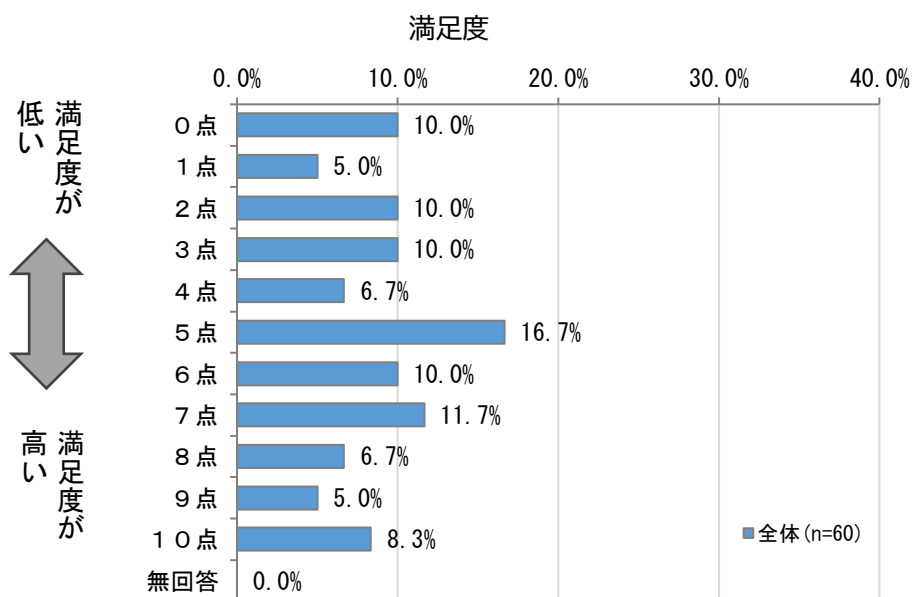
この1か月間の気持ちについては、『該当する』（「いつも」＋「たいてい」＋「ときどき」＋「少しだけ」）人の割合は、「何をするのも面倒だと感じた」が68.3%で最も高く、次いで「神経過敏に感じた」66.7%となっている。

この1か月間の気持ち



問 25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

満足度については、「5点」16.7%が最も高く、次いで「7点」11.7%、「0点」、「2点」、「3点」、「6点」がいずれも10.0%となっている。

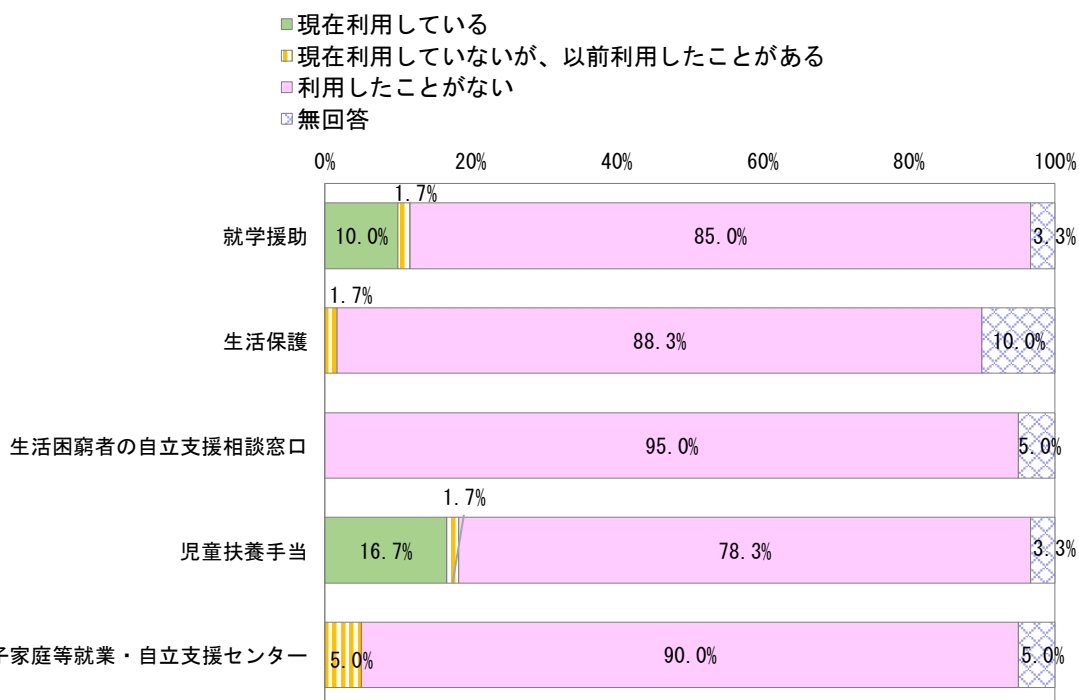


問 26 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「3. 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

支援制度の利用経験については、「利用したことがない」がすべての項目で7割以上を占めている。一方、「現在利用している」では「児童扶養手当」16.7%が最も高く、次いで「就学援助」10.0%となっている。

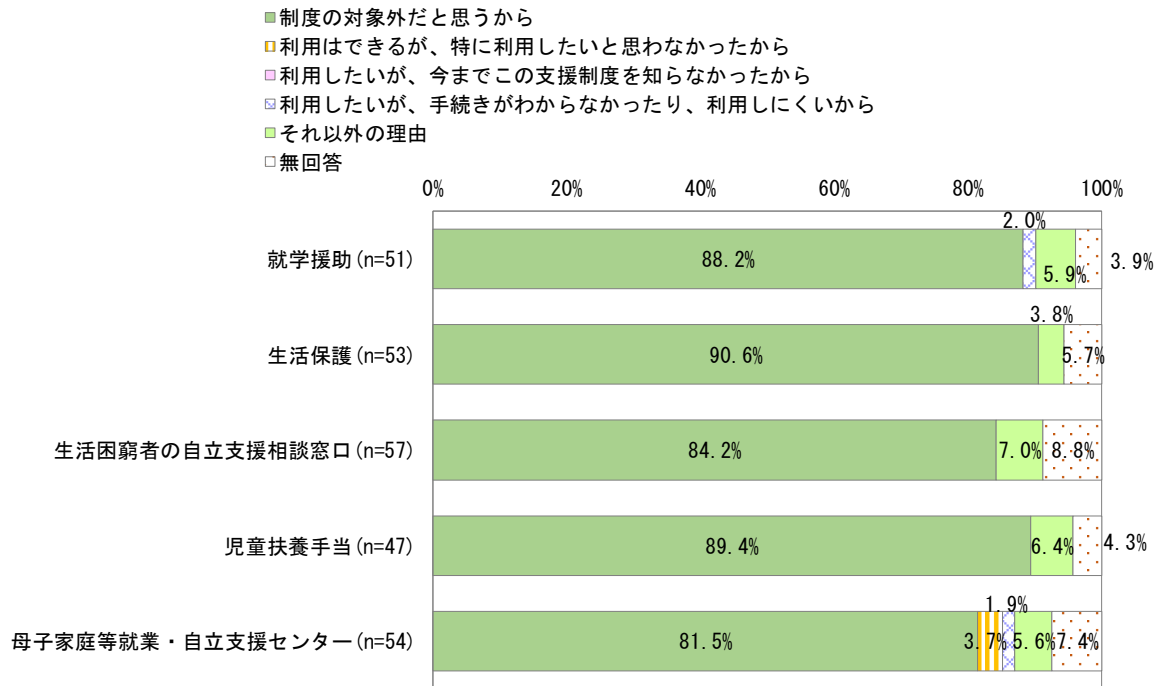
支援制度の利用経験

(n=60)



利用したことがない理由については、全ての項目で「制度の対象外だと思うから」が8割以上と高くなっている。

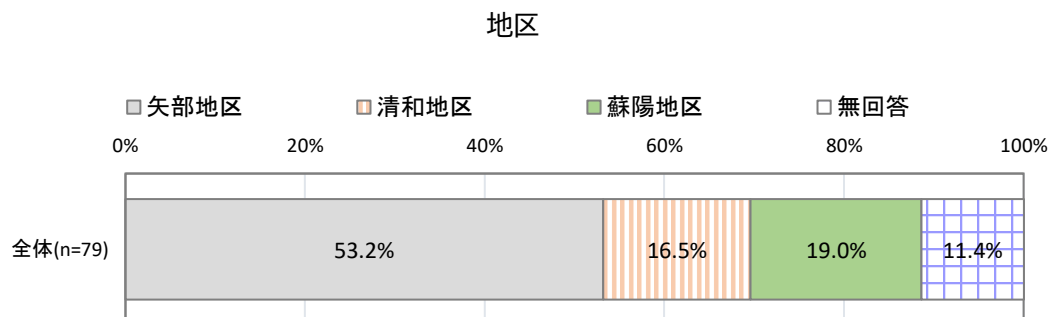
支援制度を利用したことがない理由



V 調査結果（小学4年生）

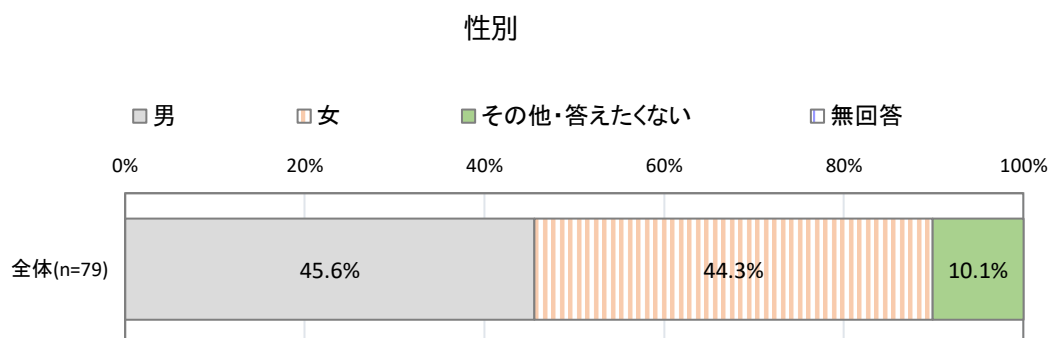
問1 お住まいの地区を教えてください。

地区は、「矢部地区」53.2%が最も高く、次いで「蘇陽地区」19.0%、「清和地区」16.5%となっている。



問2 あなたの性別を教えてください。

性別については、「男」45.6%、「女」44.3%、「その他・答えたくない」10.1%となっている

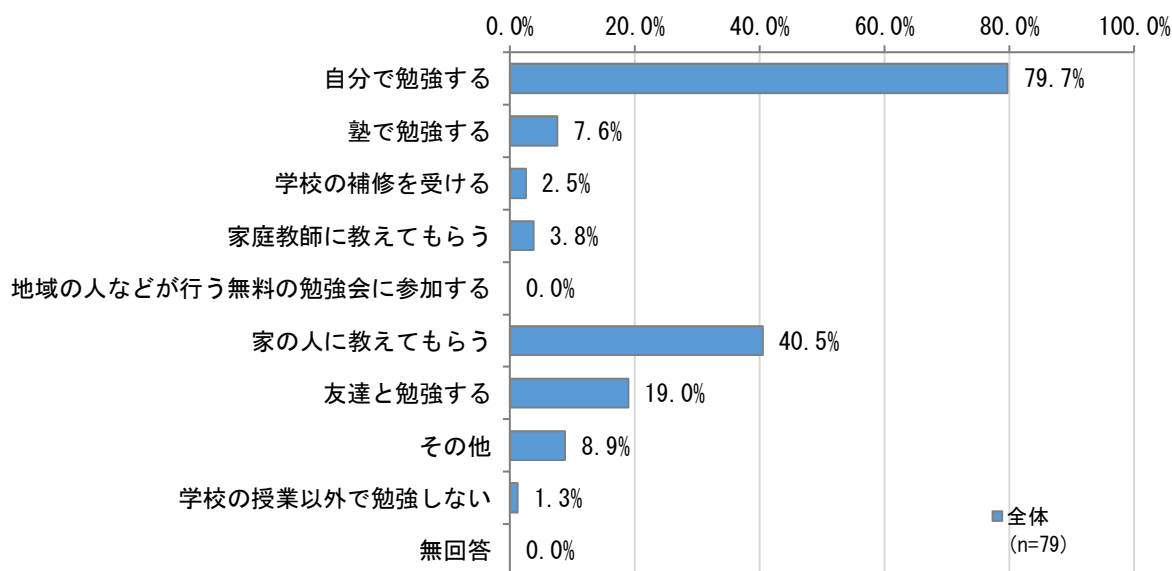


問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(複数回答)

ふだんの学校の授業以外の勉強については、「自分で勉強する」79.7%が最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」40.5%、「友達と勉強する」19.0%となっている。

学校の授業以外の勉強

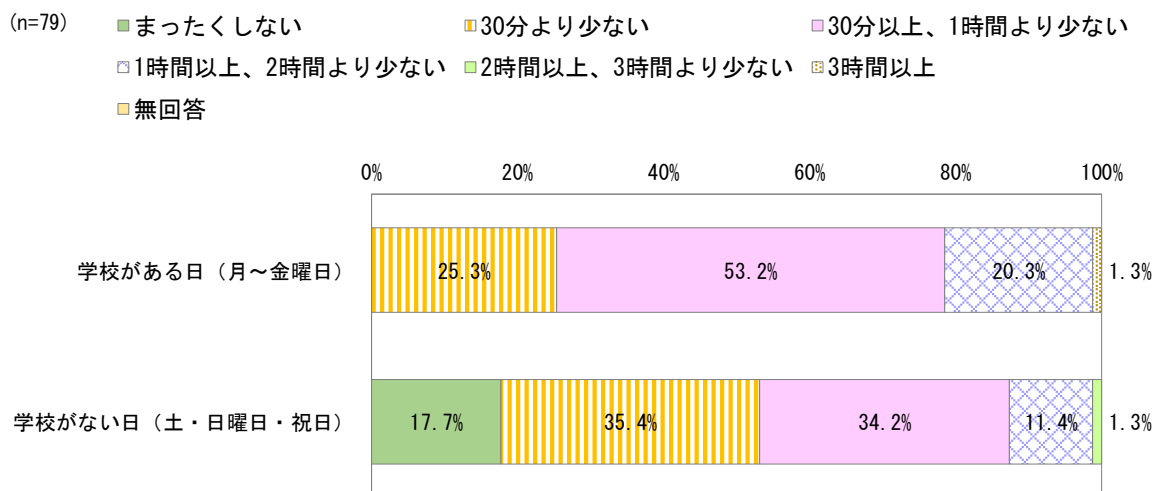


問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

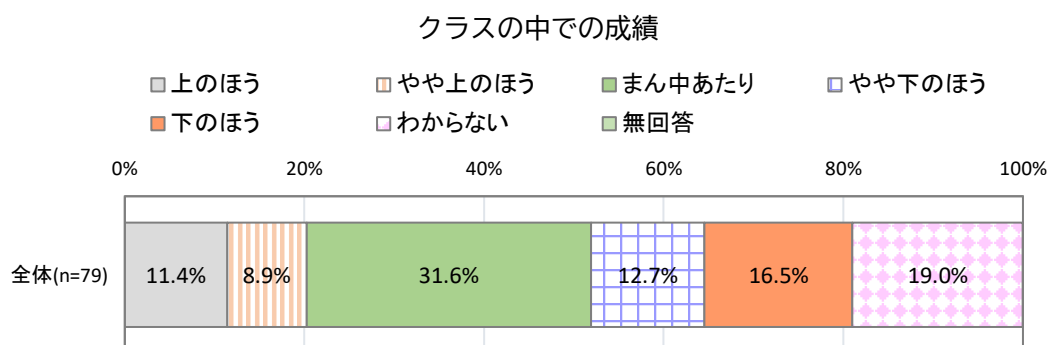
ふだんの学校の授業以外の1日あたりの勉強時間について、学校がある日（月～金曜日）では「30分以上、1時間より少ない」53.2%が最も高く、次いで「30分より少ない」25.3%となっている。学校がない日（土・日曜日・祝日）では、「30分より少ない」35.4%が最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」34.2%となっている。

学校の授業以外の勉強時間（1日当たり）



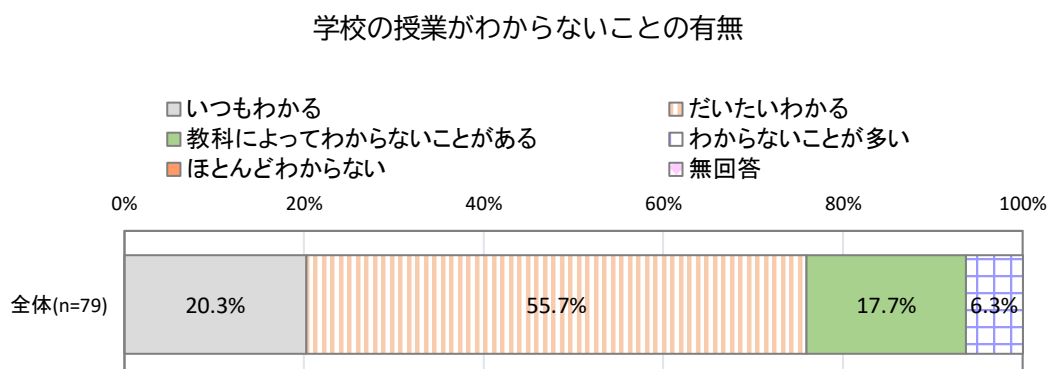
問5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

クラスの中で成績がどれくらいであるかについては、「まん中あたり」31.6%が最も高く、次いで「わからない」19.0%、「下のほう」16.5%となっている。



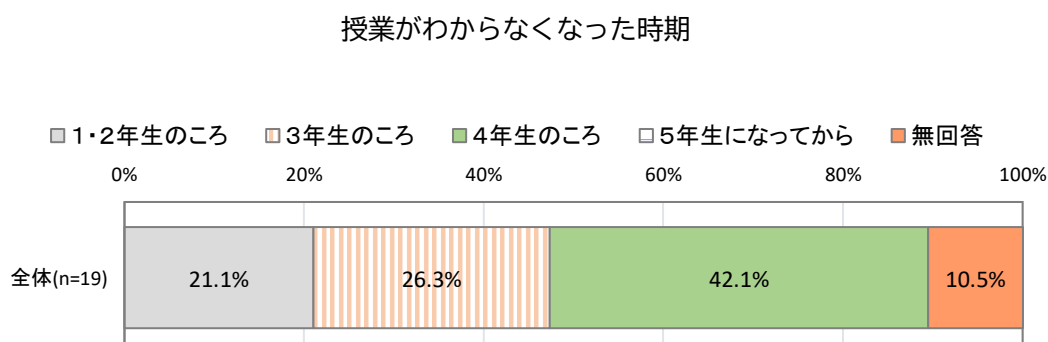
問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

学校の授業がわからないことがあるかについては、「だいたいわかる」55.7%が最も高く、次いで「いつもわかる」20.3%、「教科によってわからないことがある」17.7%となっている。『わかる』（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）は76.0%を占めている。



問7 前の質問で、学校の授業が「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた方にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

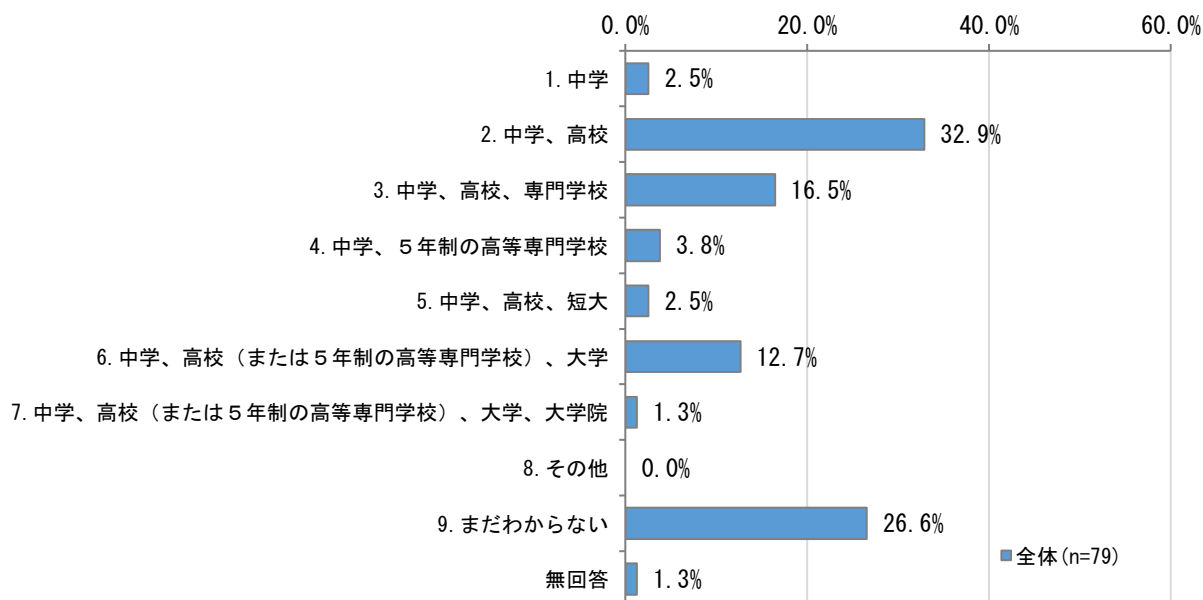
いつ頃から、授業がわからないと思うことがあったかについては、「4年生のころ」42.1%が最も高く、次いで「3年生のころ」26.3%、「1・2年生のころ」21.1%となっている。



問8 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。

将来、どの段階まで進学したいかについては、「中学、高校」32.9%が最も高く、次いで「まだわからない」26.6%、「中学、高校、専門学校」16.5%となっている。

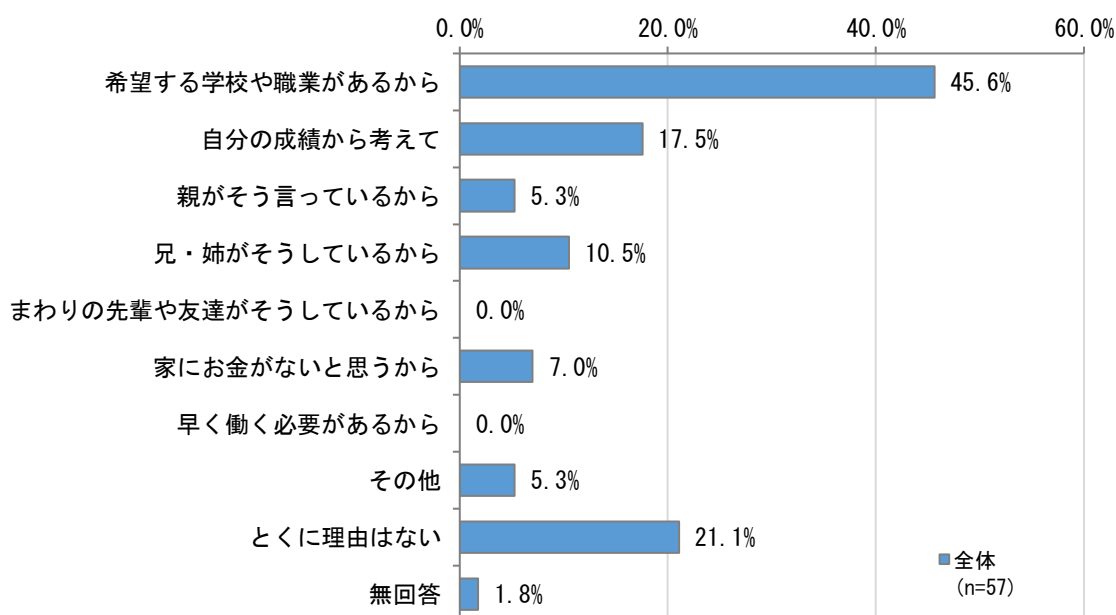
希望する進学先



問9 前の質問で1～8をえらんだ場合、その進学先をえらんだ理由をえらんでください。
(複数回答)

選択した進学先の回答理由については、「希望する学校や職業があるから」45.6%が最も高く、次いで「とくに理由はない」21.1%、「自分の成績から考えて」17.5%となっている。

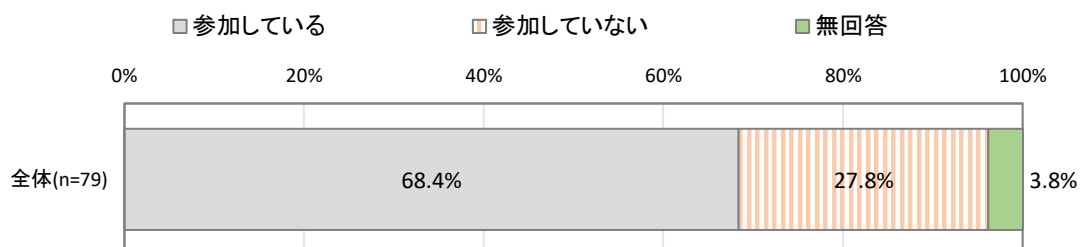
【問8】の進学先を希望する理由



問10 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況については、「参加している」68.4%、「参加していない」27.8%となっている。

地域のスポーツクラブや学校の部活動等への参加状況

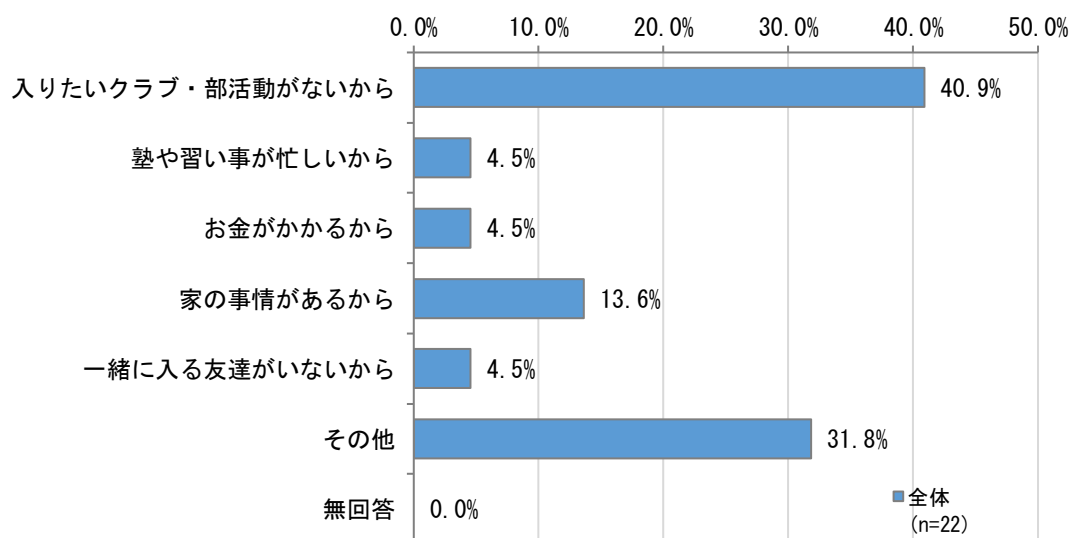


問11 前の質問で「2 参加していない」と答えた方にお聞きます。

参加していない理由は何ですか。(複数回答)

地域のスポーツクラブや部活動等に参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」40.9%が最も高く、次いで「その他」31.8%、「家の事情があるから」13.6%となっている。

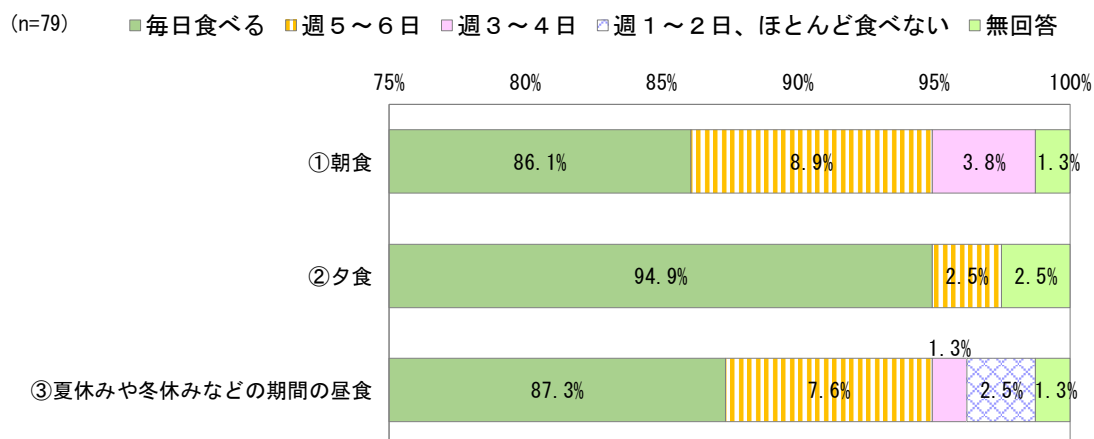
参加していない理由



問12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

週の食事回数について、「①朝食」、「②夕食」「③夏休みや冬休みなどの期間の昼食」はいずれも「毎日食べる」が8割以上を占めている。

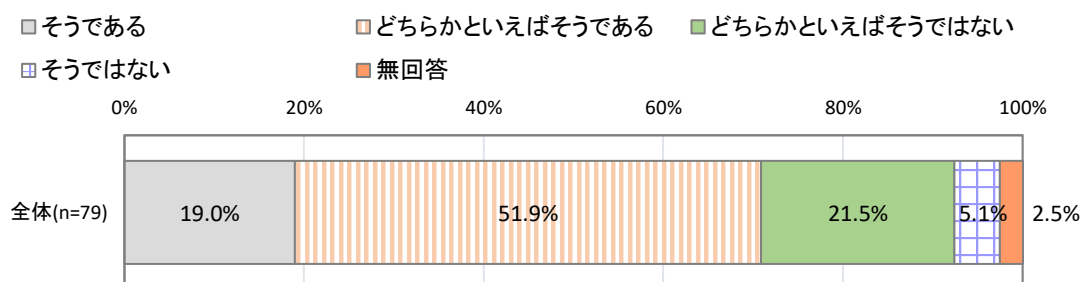
食事を取る回数



問13 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

ふだんの平日にほぼ同じ時間に就寝しているかについては、「どちらかといえばそうである」51.9%が最も高く、次いで「どちらかといえばそうではない」21.5%、「そうである」19.0%となっている。『そうである』（「そうである」＋「どちらかといえばそうである」）は70.9%となっている。

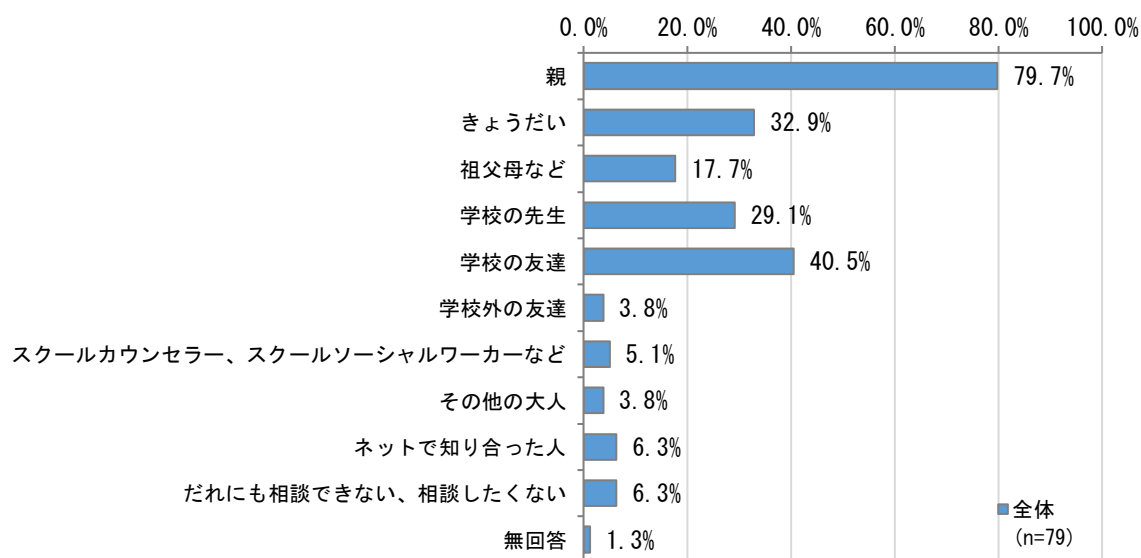
ふだんの平日にほぼ同じ時間に就寝しているか



問14 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

困りごとや悩みごとを相談できると思う相手については、「親」79.7%が最も高く、次いで「学校の友達」40.5%、「きょうだい」32.9%となっている。

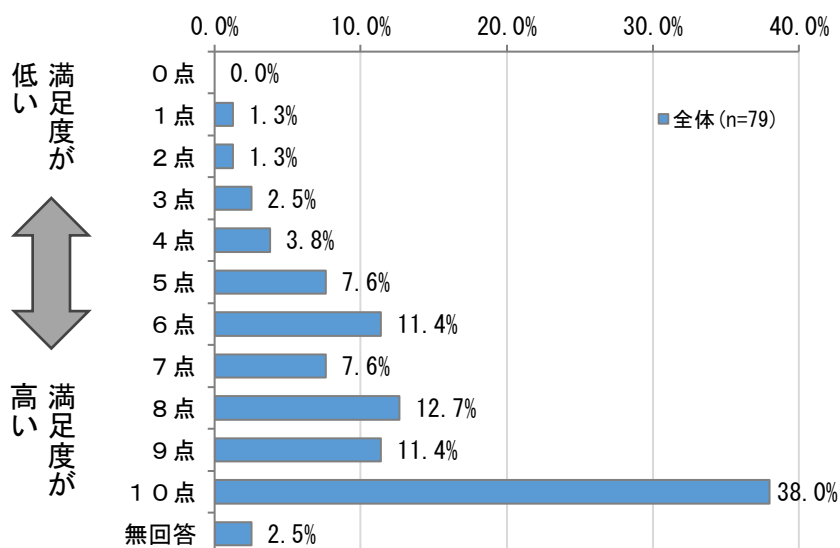
困りごとや悩みごとを相談できる相手



問15 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)までのうち、あてはまるものを1つえらんでください。)

最近の生活に対する満足度については、「10点」38.0%が最も高く、次いで「8点」12.7%、「6点」、「9点」がいずれも11.4%となっている。

最近の生活に対する満足度

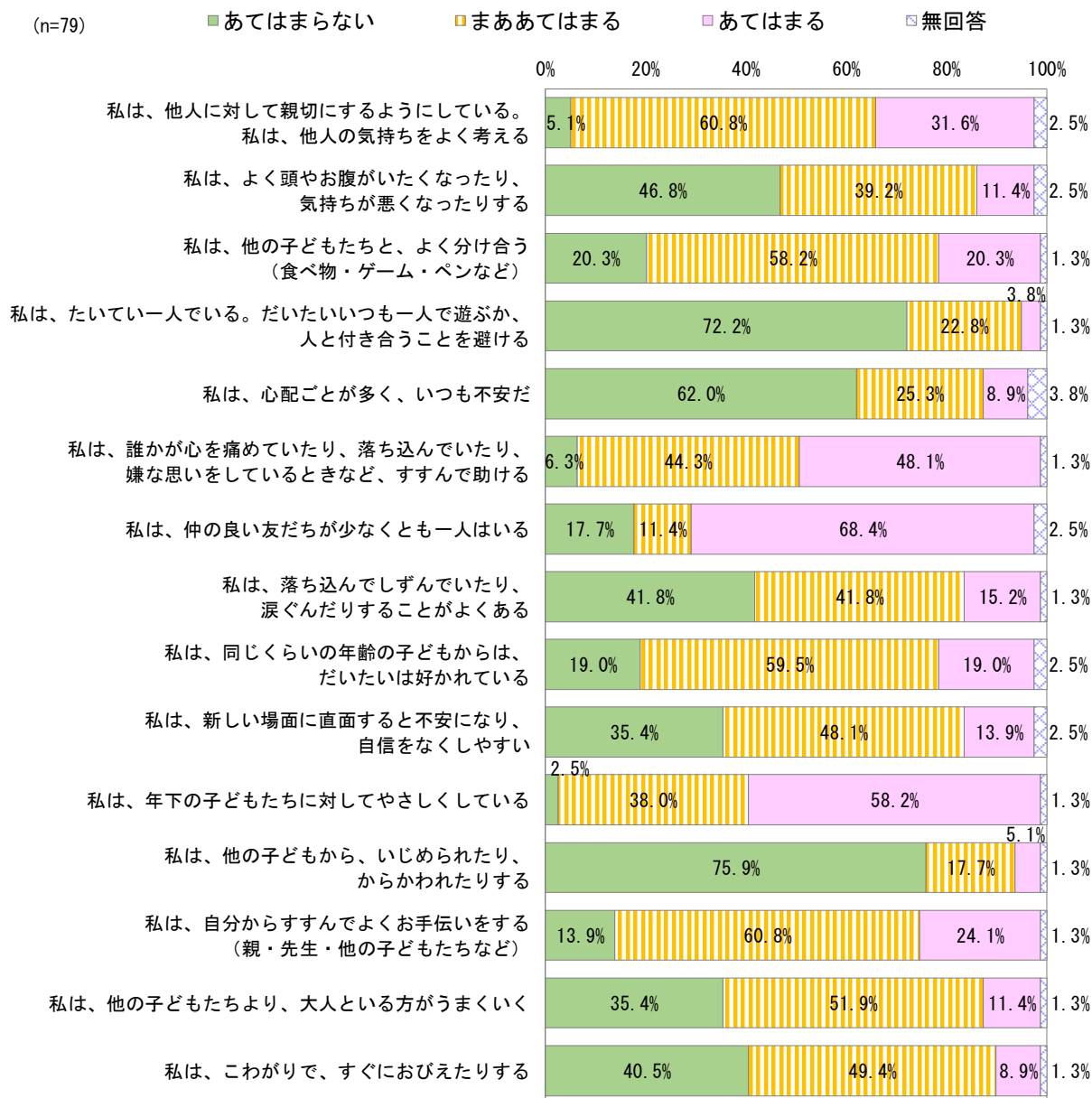


問16 ①～⑮のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから、あてはまるものを1つえらんでください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのこ
こ半年くらいのことを考えて答えてください。

『あてはまる』（「まああてはまる」＋「あてはまる」）は「私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている」が96.2%で最も高く、次いで「私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える」、「私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける」がいずれも92.4%となっている。

一方、『あてはまらない』は「私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする」が75.9%で最も高く、次いで「私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける」72.2%となっている。

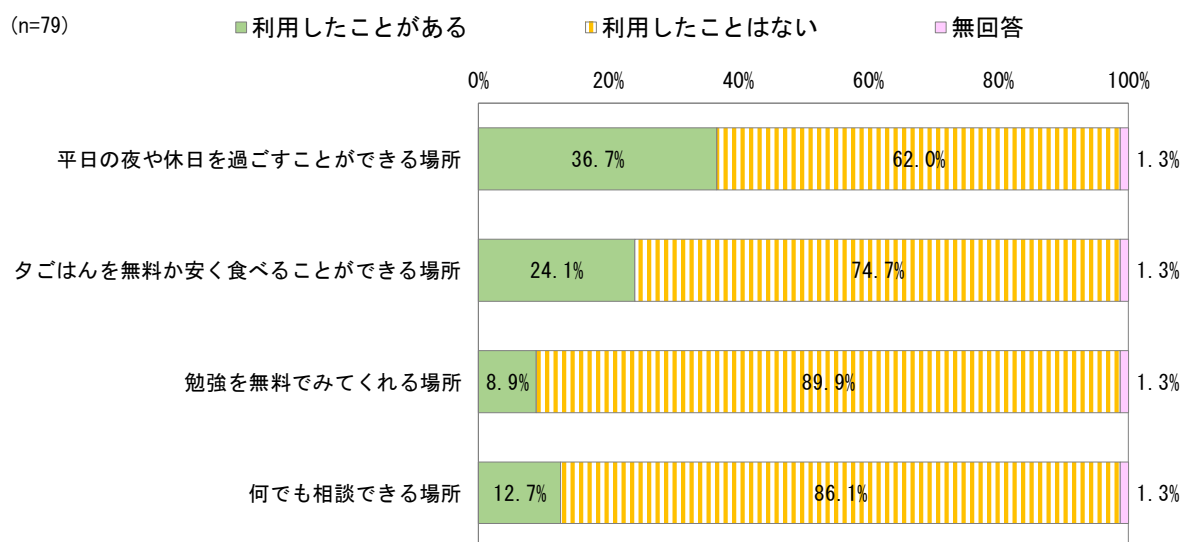
自分のことについて



問17 あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、(無料、または低料金で)今後利用したいと思いますか。

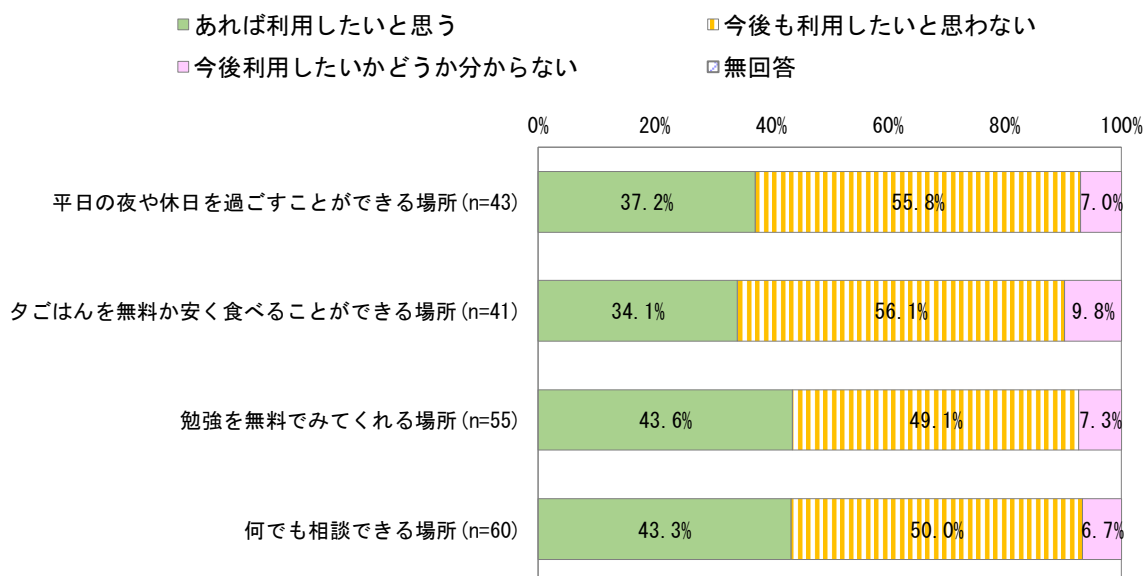
各施設等の利用状況について、「利用したことがある」と回答した割合が高いのは、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」36.7%が最も高く、次いで「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所」24.1%となっている。

利用状況



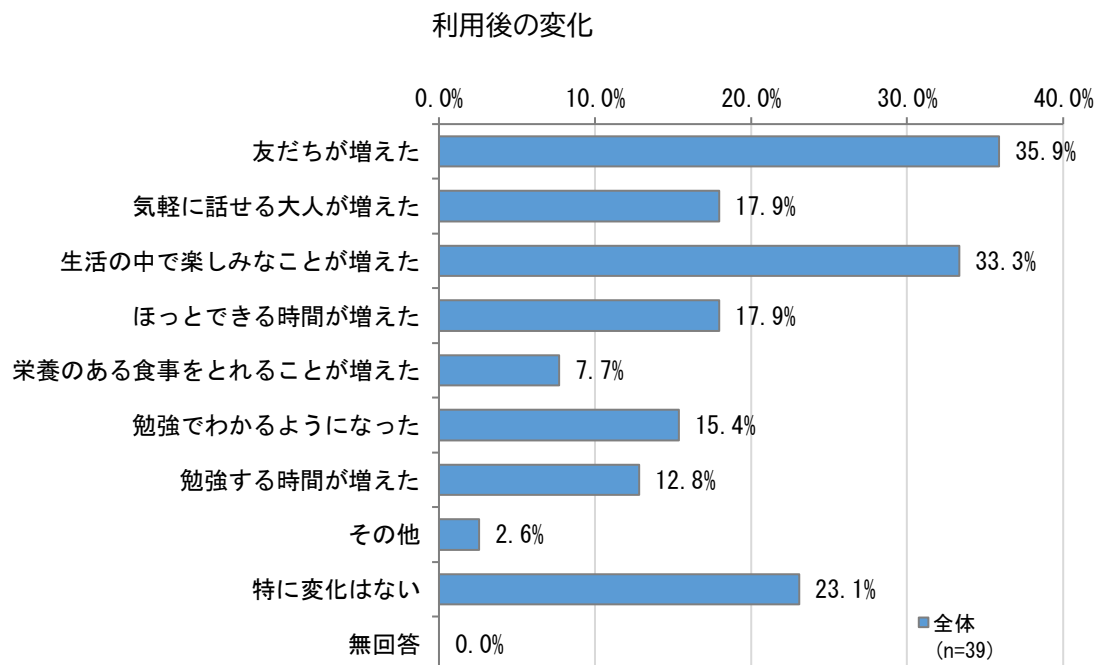
各施設等の今後の利用意向について、「あれば利用したいと思う」は全ての項目で3～4割を占めている。

今後の利用意向



問18 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。
そこを利用したことで、どのような変化がありましたか。(複数回答)

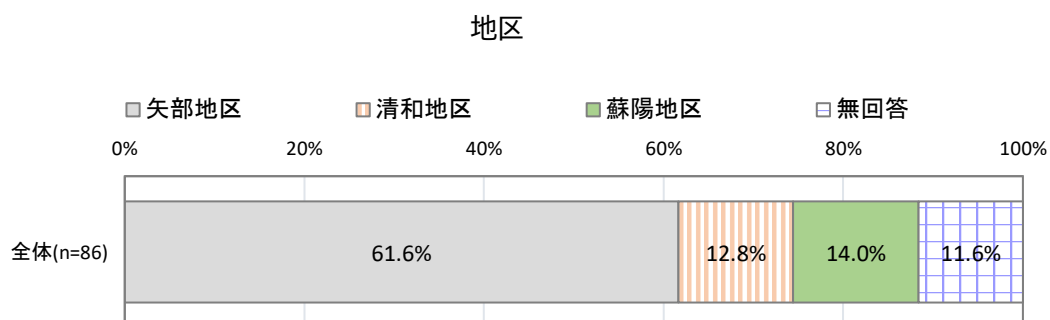
施設等を利用したことによる変化については、「友だちが増えた」35.9%が最も高く、次いで「生活の中で楽しいことが増えた」33.3%、「特に変化はない」23.1%となっている。



VI 調査結果（中学1年生）

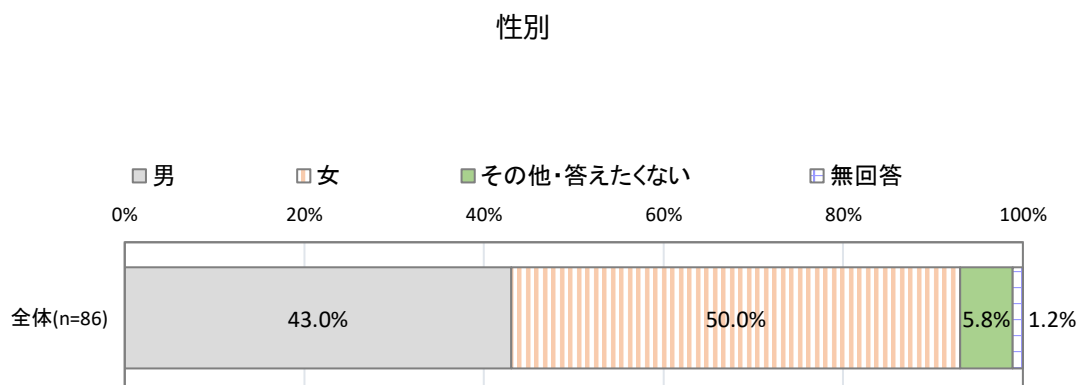
問1(1) お住まいの地区を教えてください。

地区は、「矢部地区」61.6%が最も高く、次いで「蘇陽地区」14.0%、「清和地区」12.8%となっている。



問2 あなたの性別を教えてください。

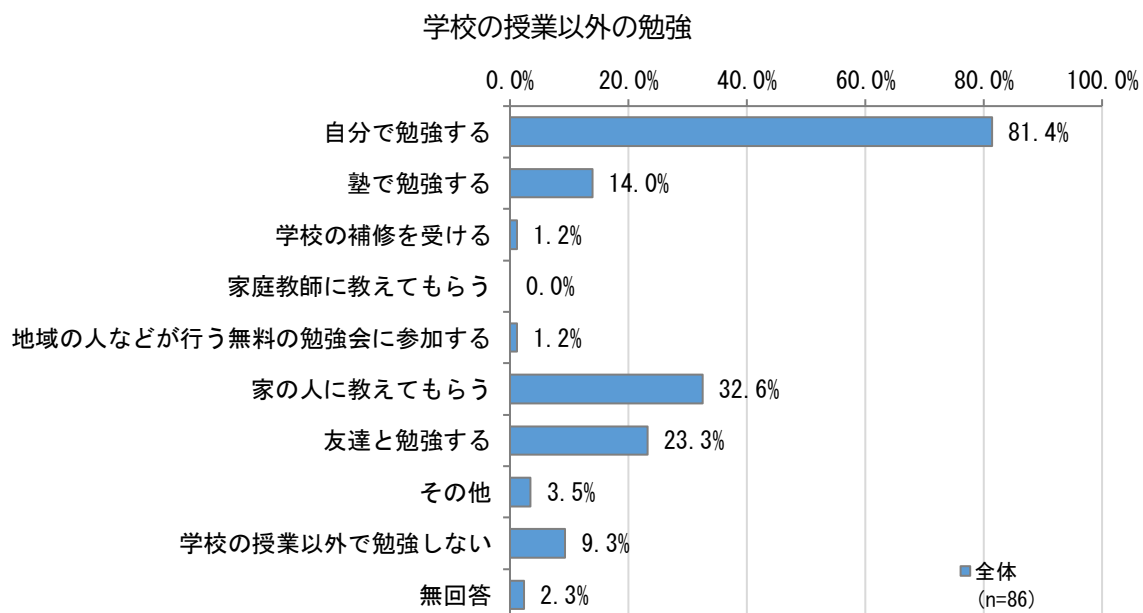
性別については、「男」43.0%、「女」50.0%、「その他・答えたくない」5.8%となっている



問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(複数回答)

ふだんの学校の授業以外の勉強については、「自分で勉強する」81.4%が最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」32.6%、「友達と勉強する」23.3%となっている。

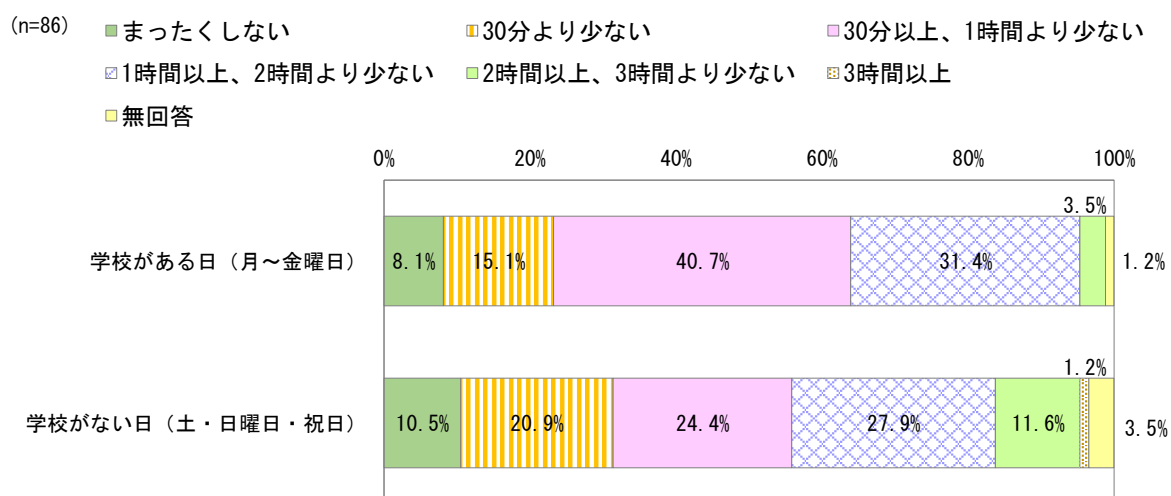


問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

ふだんの学校の授業以外の1日あたりの勉強時間について、学校がある日（月～金曜日）では「30分以上、1時間より少ない」40.7%が最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」31.4%となっている。学校がない日（土・日曜日・祝日）では、「1時間以上、2時間より少ない」27.9%が最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」24.4%となっている。

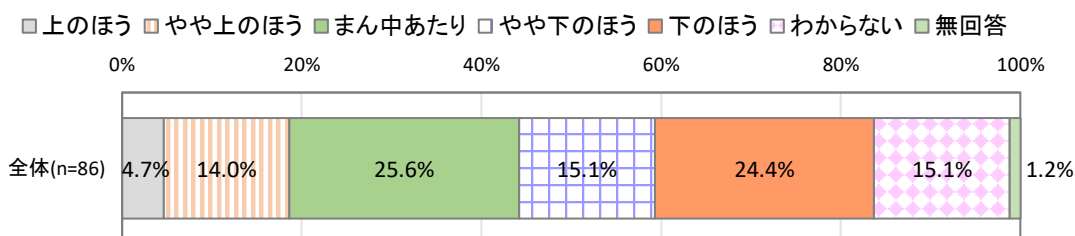
学校の授業以外の勉強時間（1日当たり）



問5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

クラスの中で成績がどれくらいであるかについては、「まん中あたり」25.6%が最も高く、次いで「下のほう」24.4%、「やや下のほう」、「わからない」がいずれも15.1%となっている。

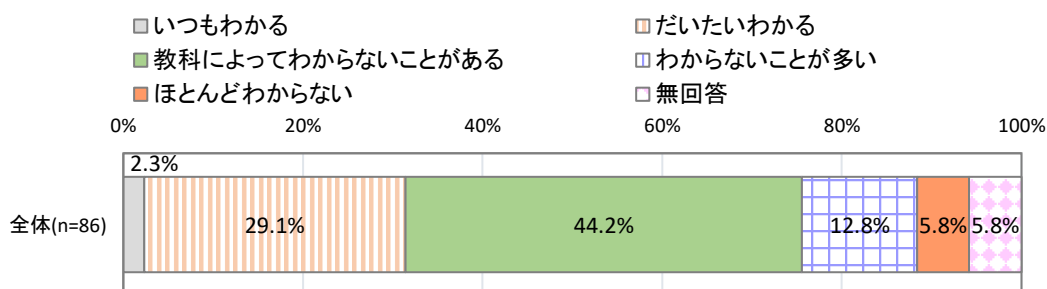
クラスの中での成績



問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

学校の授業がわからないことがあるかについては、「教科によってわからないことがある」44.2%が最も高く、次いで「だいたいわかる」29.1%、「わからないことが多い」12.8%となっている。『わかる』（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）は31.4%となっている。

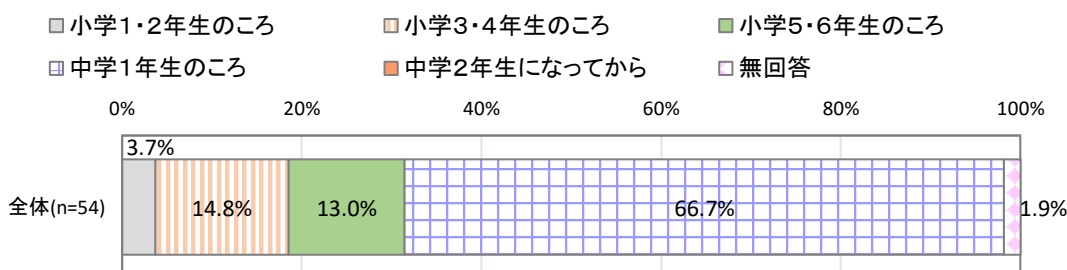
学校の授業がわからないことの有無



問7 前の質問で、学校の授業が「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた方にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

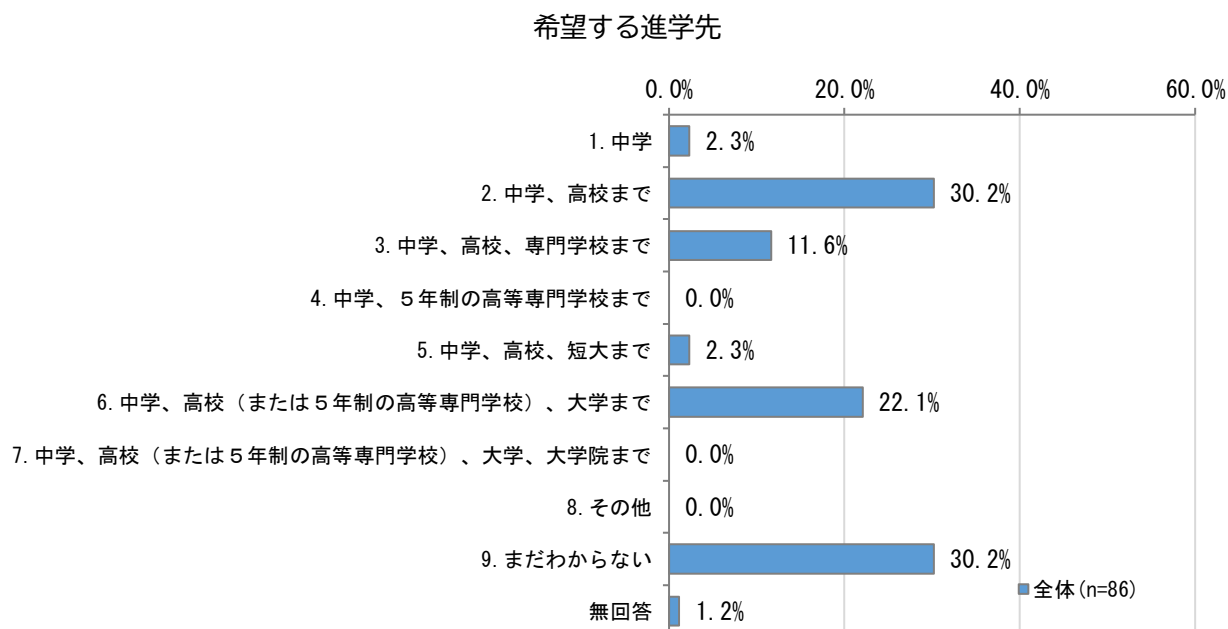
いつ頃から、授業がわからないと思うことがあるかについては、「中学1年生のころ」66.7%が最も高く、次いで「小学3・4年生のころ」14.8%、「小学5・6年生のころ」13.0%となっている。

授業がわからなくなった時期



問8 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

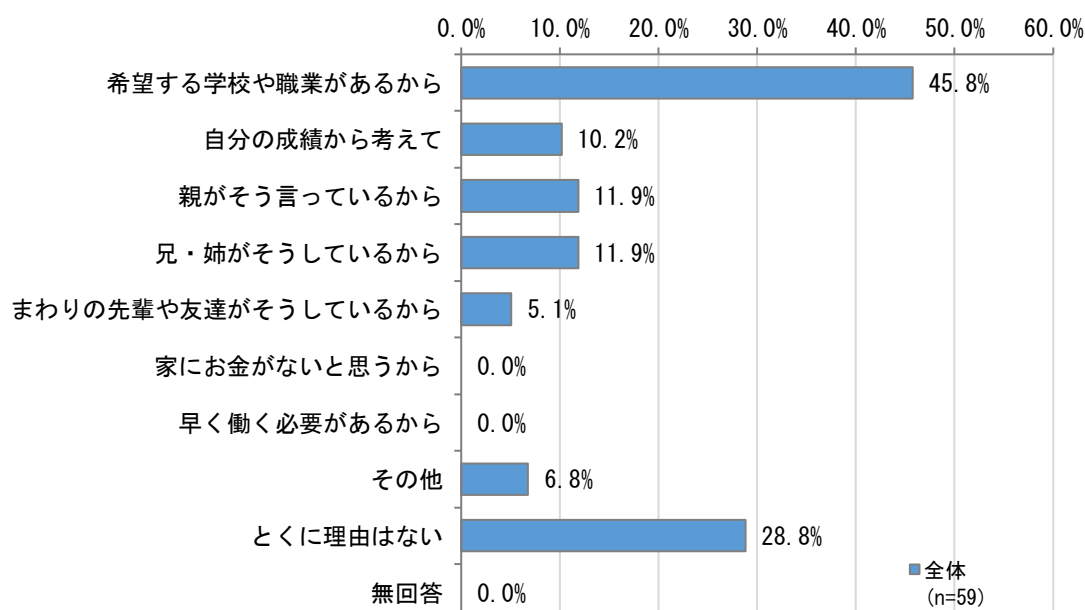
将来、どの段階まで進学したいかについては、「中学、高校まで」、「まだわからない」がいずれも30.2%と最も高く、次いで「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで」22.1%、「中学、高校、専門学校まで」11.6%となっている。



問9 前の質問で1～8をえらんだ場合、その理由を教えてください。
(複数回答)

選択した進学先の回答理由については、「希望する学校や職業があるから」45.8%が最も高く、次いで「とくに理由はない」28.8%、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」がいずれも11.9%となっている。

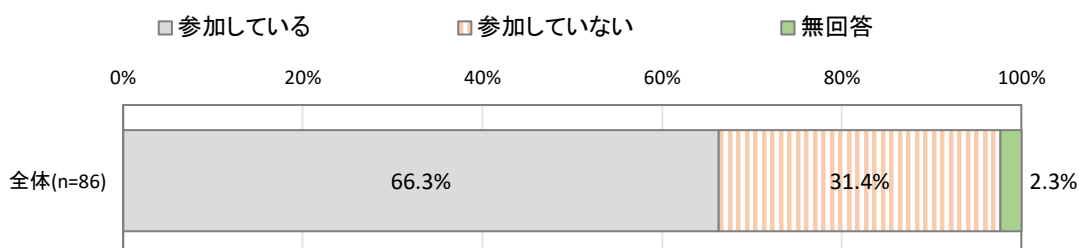
【問8】の進学先を希望する理由



問10 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況については、「参加している」66.3%、「参加していない」31.4%となっている。

地域のスポーツクラブや学校の部活動等への参加状況

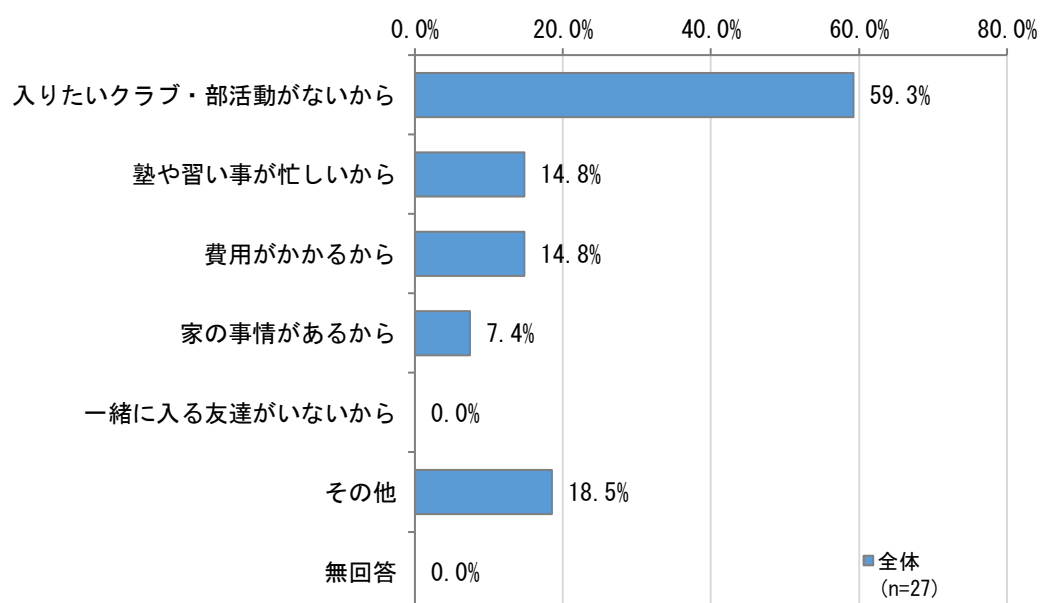


問11 前の質問で「2 参加していない」と答えた方にお聞きます。

参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

地域のスポーツクラブや部活動等に参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」59.3%が最も高く、次いで「その他」18.5%、「塾や習い事が忙しいから」、「費用がかかるから」がいずれも14.8%となっている。

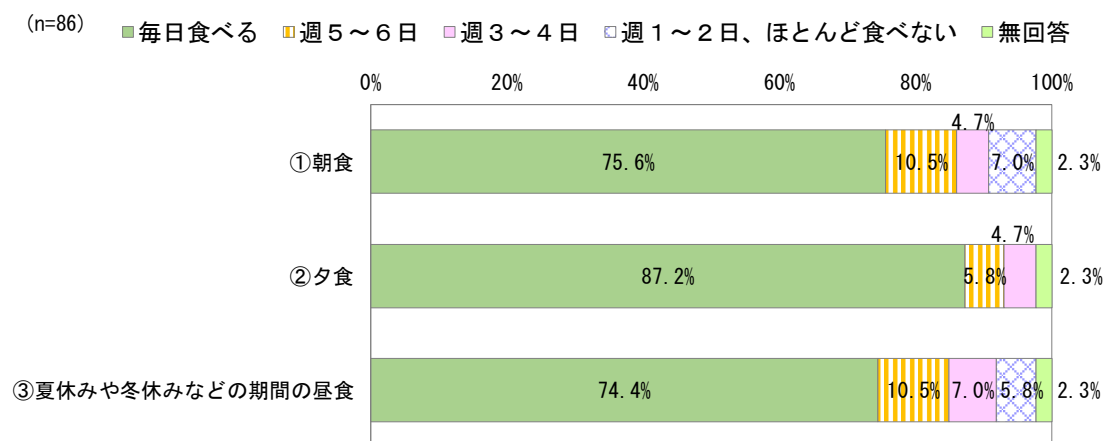
参加していない理由



問12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

週の食事回数について、「①朝食」、「②夕食」「③夏休みや冬休みなどの期間の昼食」はいずれも「毎日食べる」が7割以上を占めている。「週1～2日、ほとんど食べない」と回答した割合は「①朝食」では7.0%、「③夏休みや冬休みなどの期間の昼食」では5.8%を占めている。

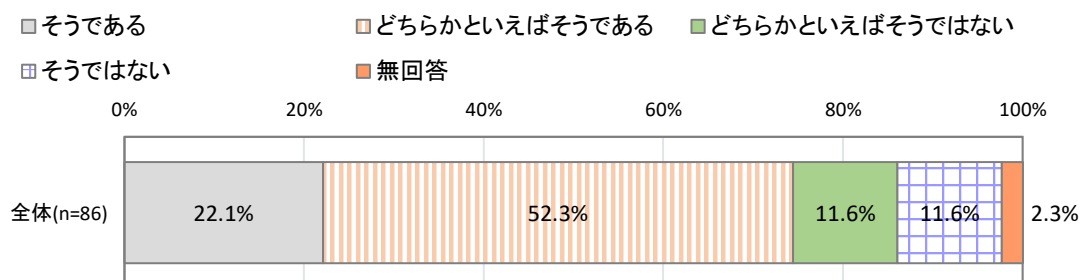
週当たりの食事を取る回数



問13 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

ふだんの平日にほぼ同じ時間に就寝しているかについては、「どちらかといえばそうである」52.3%が最も高く、次いで「そうである」22.1%、「どちらかといえばそうではない」、「そうではない」がいずれも11.6%となっている。『そうである』（「そうである」＋「どちらかといえばそうである」）は74.4%となっている。

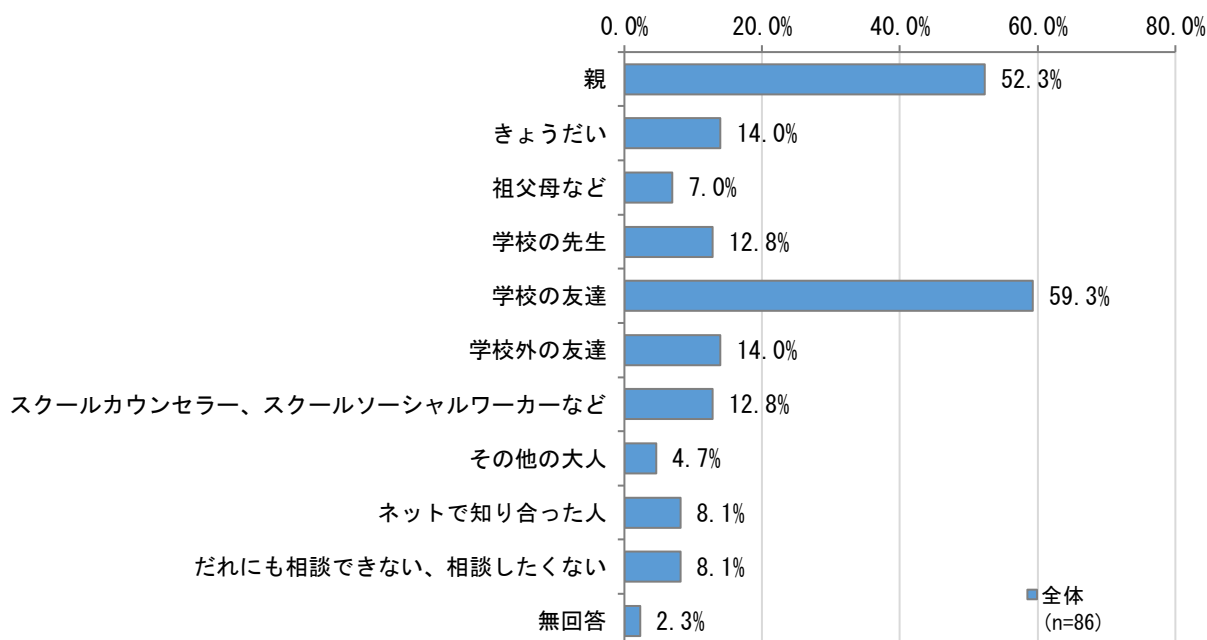
ふだんの平日にほぼ同じ時間に就寝しているか



問14 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

困りごとや悩みごとを相談できると思う相手については、「学校の友達」59.3%が最も高く、次いで「親」52.3%、「きょうだい」、「学校外の友達」がいずれも14.0%となっている。

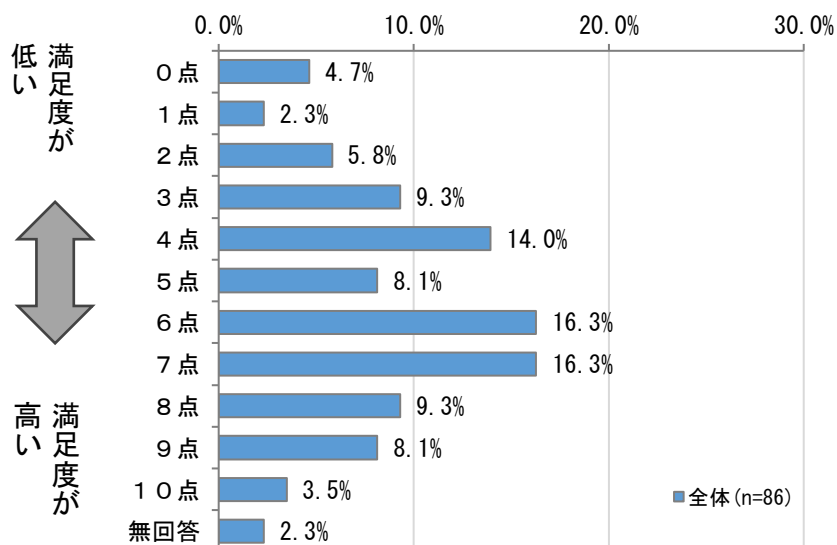
困りごとや悩みごとを相談できる相手



問15 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。)

最近の生活に対する満足度については、「6点」、「7点」がいずれも16.3%と最も高く、次いで「4点」14.0%、「3点」、「8点」がいずれも9.3%となっている。

最近の生活に対する満足度

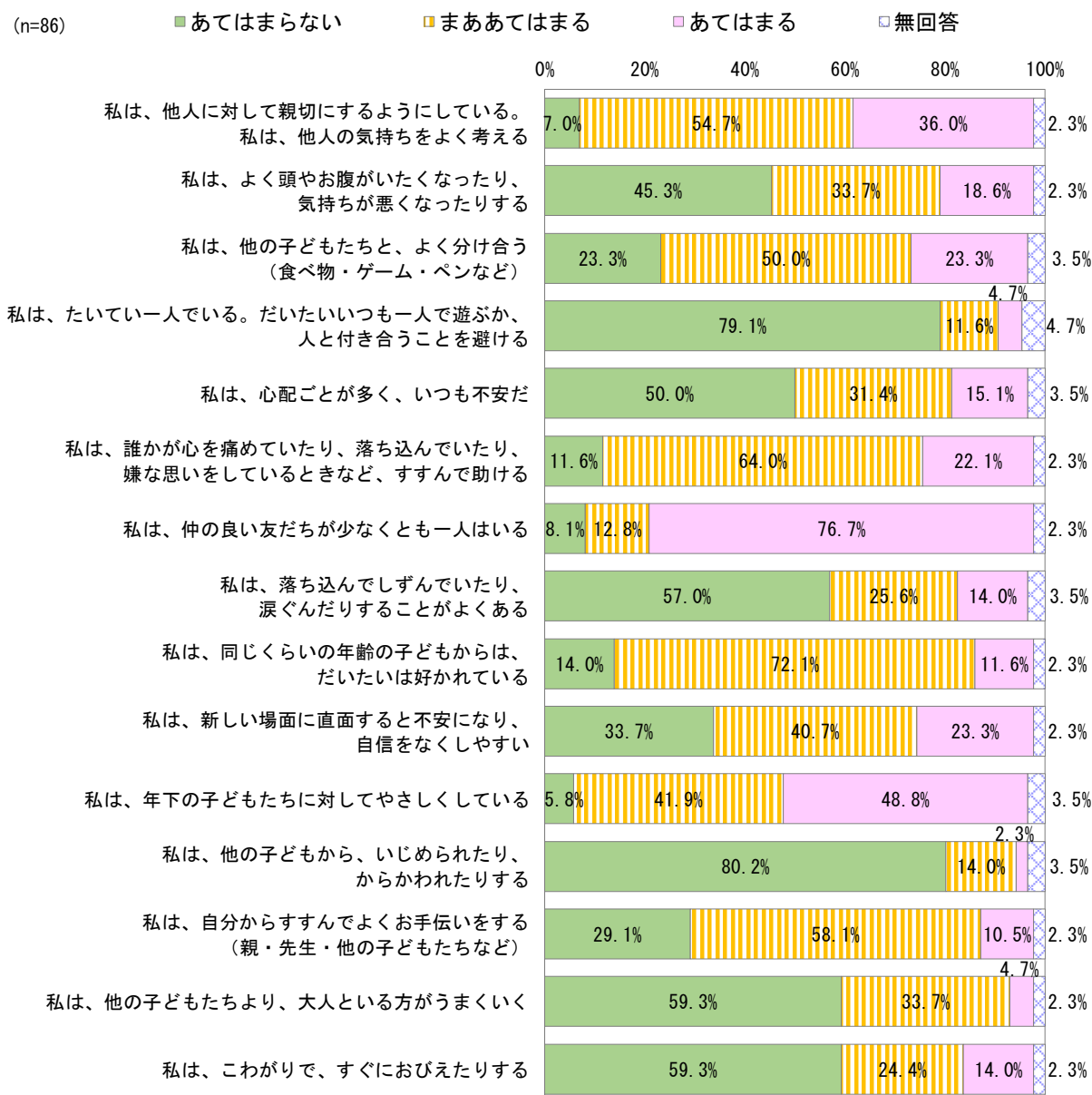


問16 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

『あてはまる』（「まああてはまる」＋「あてはまる」）は「私は、他人に対して親切にしているようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える」、「私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている」がいずれも90.7%と最も高く、次いで「私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる」89.5%となっている。

一方、『あてはまらない』は「私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする」が80.2%で最も高く、次いで「私は、たいいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける」79.1%となっている。

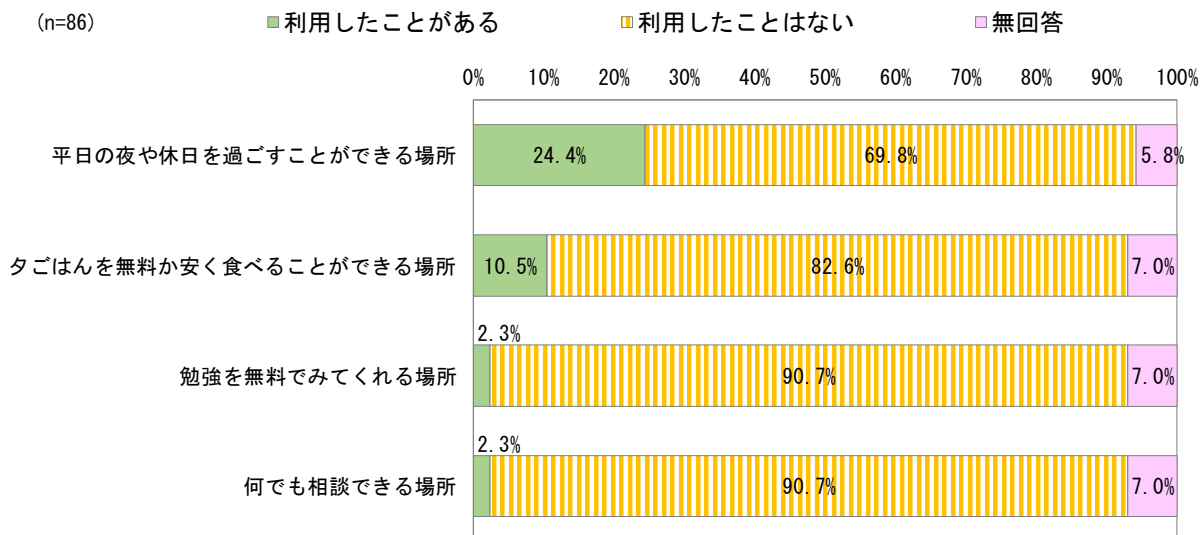
自分のことについて



問17 あなたは、次の a～dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～dのそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

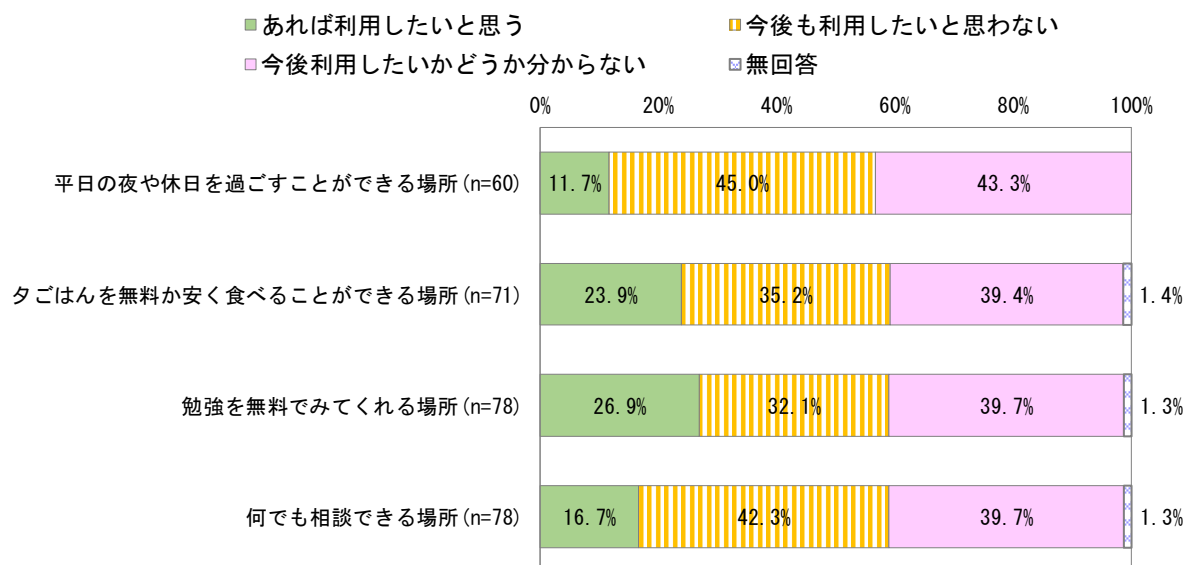
各施設等の利用状況について、「利用したことがある」と回答した割合が高いのは、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」24.4%が最も高く、次いで「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所」10.5%となっている。

利用状況



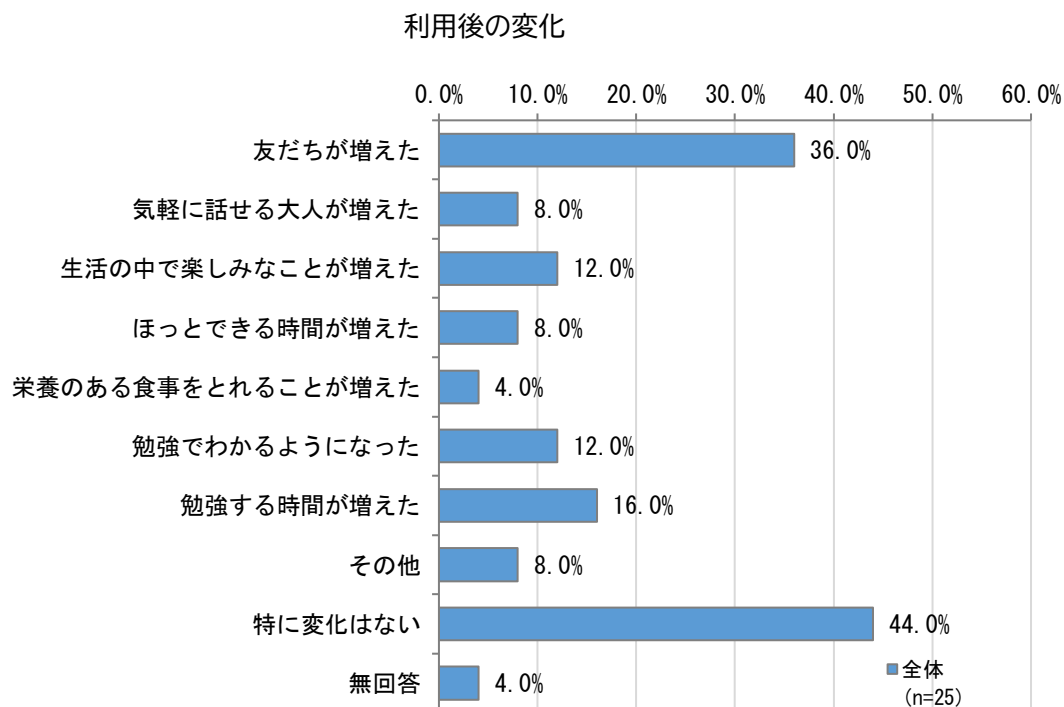
各施設等の今後の利用意向について、「あれば利用したいと思う」は「勉強を無料でみてる場所」26.9%が最も高く、次いで「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所」23.9%となっている。

今後の利用意向



問18 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。
そこを利用したことで、どのような変化がありましたか。(複数回答)

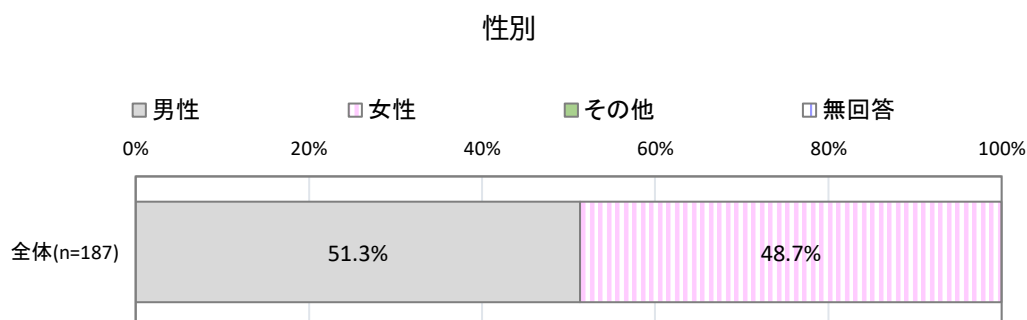
施設等を利用したことによる変化については、「特に変化はない」44.0%が最も高く、次いで「友だちが増えた」36.0%、「勉強する時間が増えた」16.0%となっている。



Ⅶ 調査結果（町民 16～39 歳）

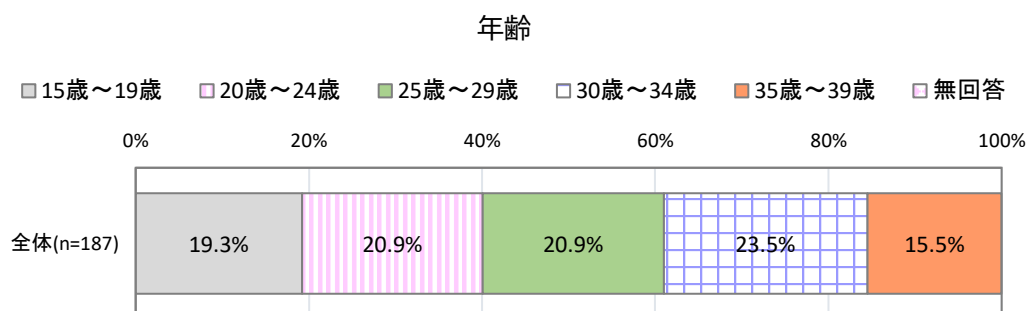
問1 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

性別については、「男性」51.3%、「女性」48.7%となっている。



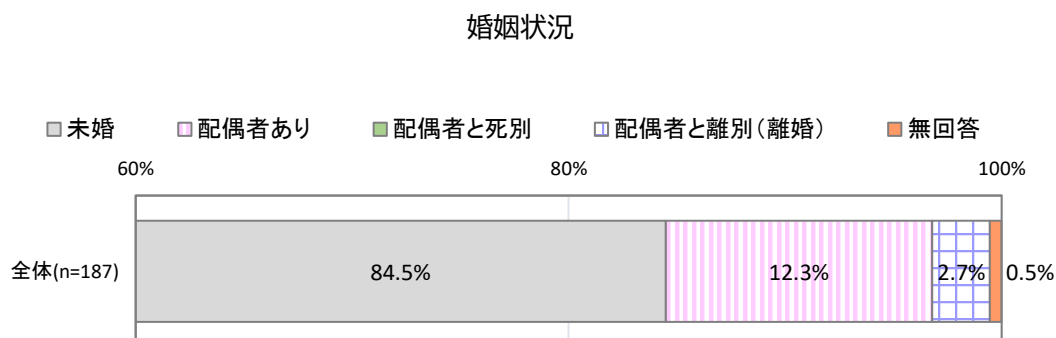
問2 あなたの年齢をお答えください。（1つに○）

年齢については、「30 歳～34 歳」23.5%が最も高く、次いで「20 歳～24 歳」、「25 歳～29 歳」がいずれも 20.9%となっている。



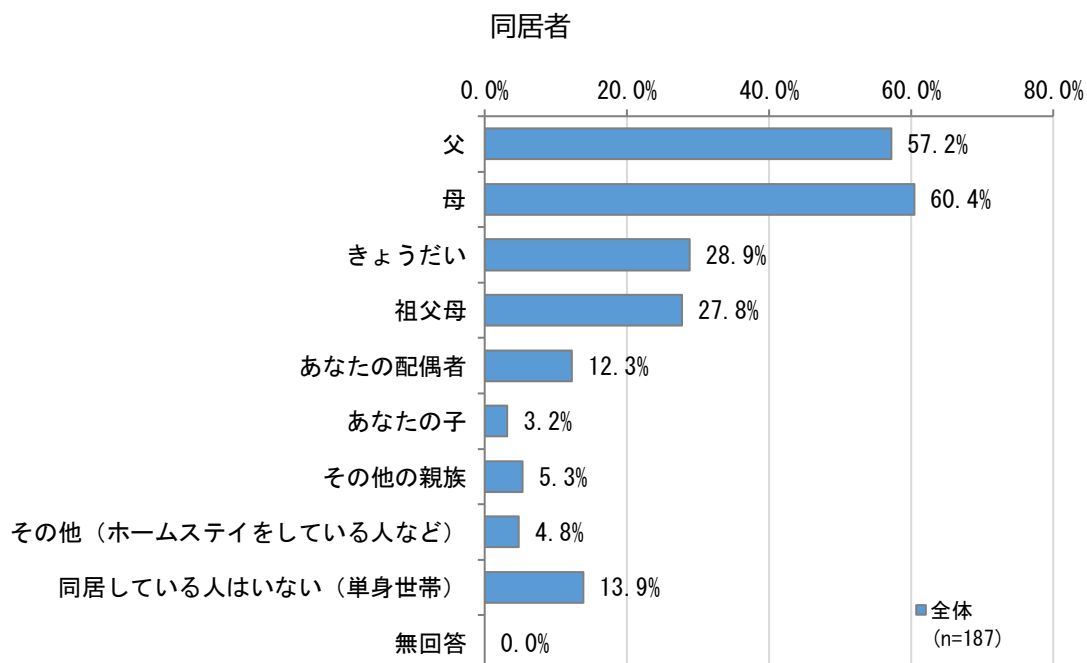
問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。（1つに○）

現在の婚姻状況については、「未婚」84.5%が最も高く、次いで「配偶者あり」12.3%、「配偶者と離別（離婚）」2.7%となっている。



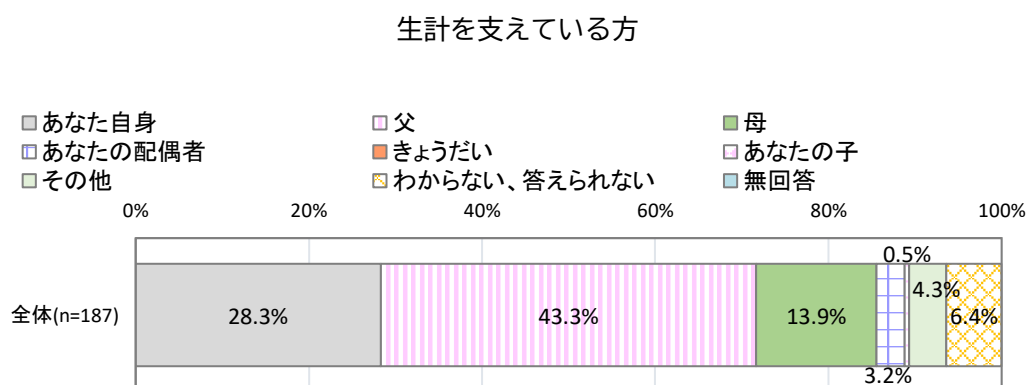
問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(いくでも○)
※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「8 その他」をお選びください。

現在の同居者については、「母」60.4%が最も高く、次いで「父」57.2%、「きょうだい」28.9%となっている。



問5 あなたの家の生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(1つに○)

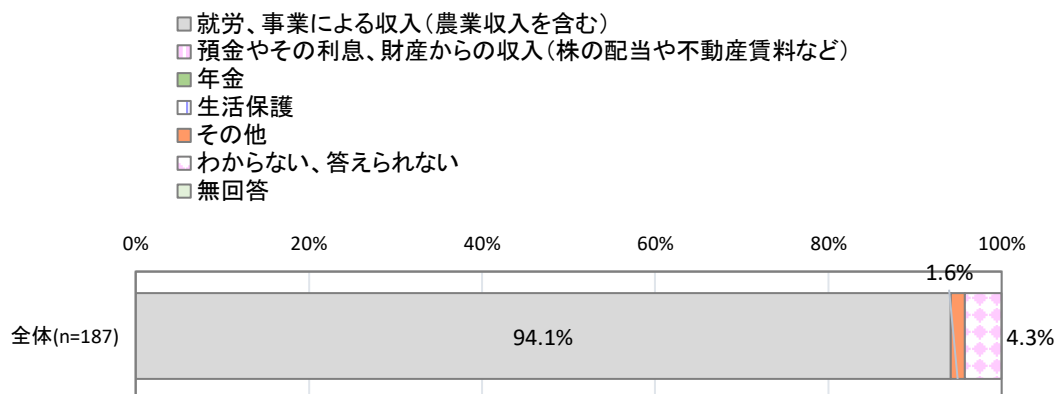
家の生計を主に支えている方については、「父」43.3%が最も高く、次いで「あなた自身」28.3%、「母」13.9%となっている。



問6 あなたの家の生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(1つに○)

生計を支えている方の主な収入源については、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」94.1%が最も高く、次いで「わからない、答えられない」4.3%となっている。

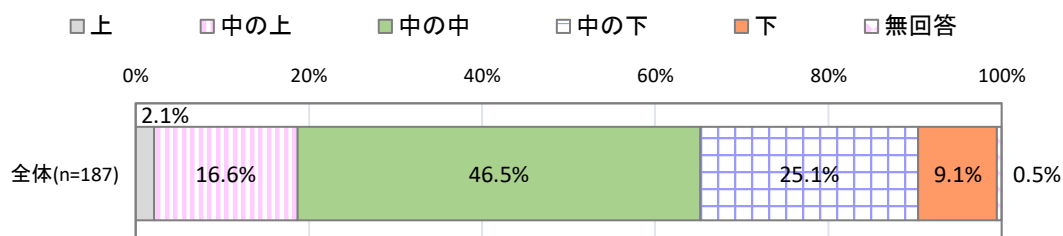
主な収入源



問7 あなたの暮らし向き(衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたるとお考えですか。あなたの実感でお答えください。(1つに○)

暮らし向きが世間一般と比べてどうであるかについて、「中の中」46.5%が最も高く、次いで「中の下」25.1%、「中の上」16.6%となっている。

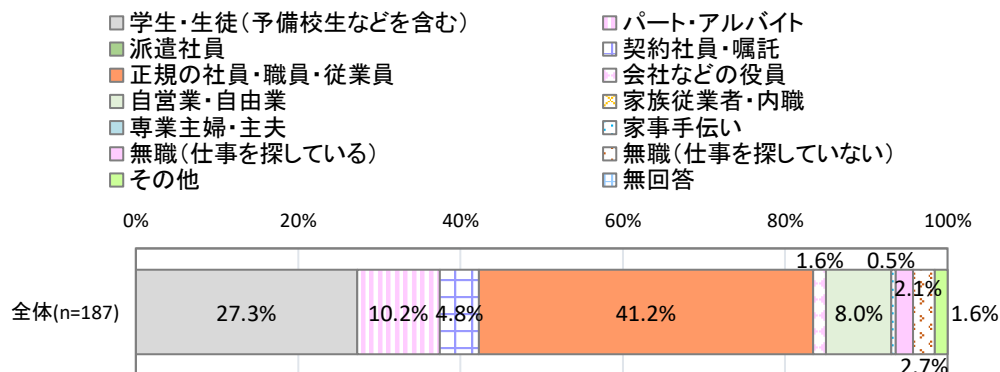
世間一般と比べた暮らし向き



問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(1つに○)

現在の仕事について、「正規の社員・職員・従業員」41.2%が最も高く、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」27.3%、「パート・アルバイト」10.2%となっている。

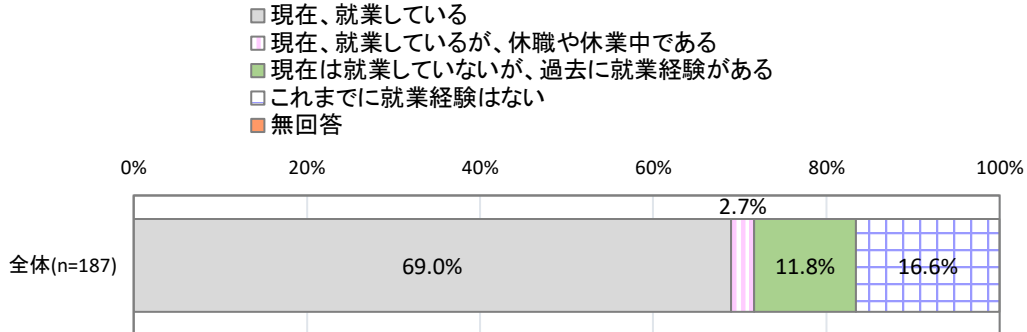
職業



問 9 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)(1つに○)

就業経験については、「現在、就業している」69.0%が最も高く、次いで「これまでに就業経験はない」16.6%、「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」11.8%となっている。

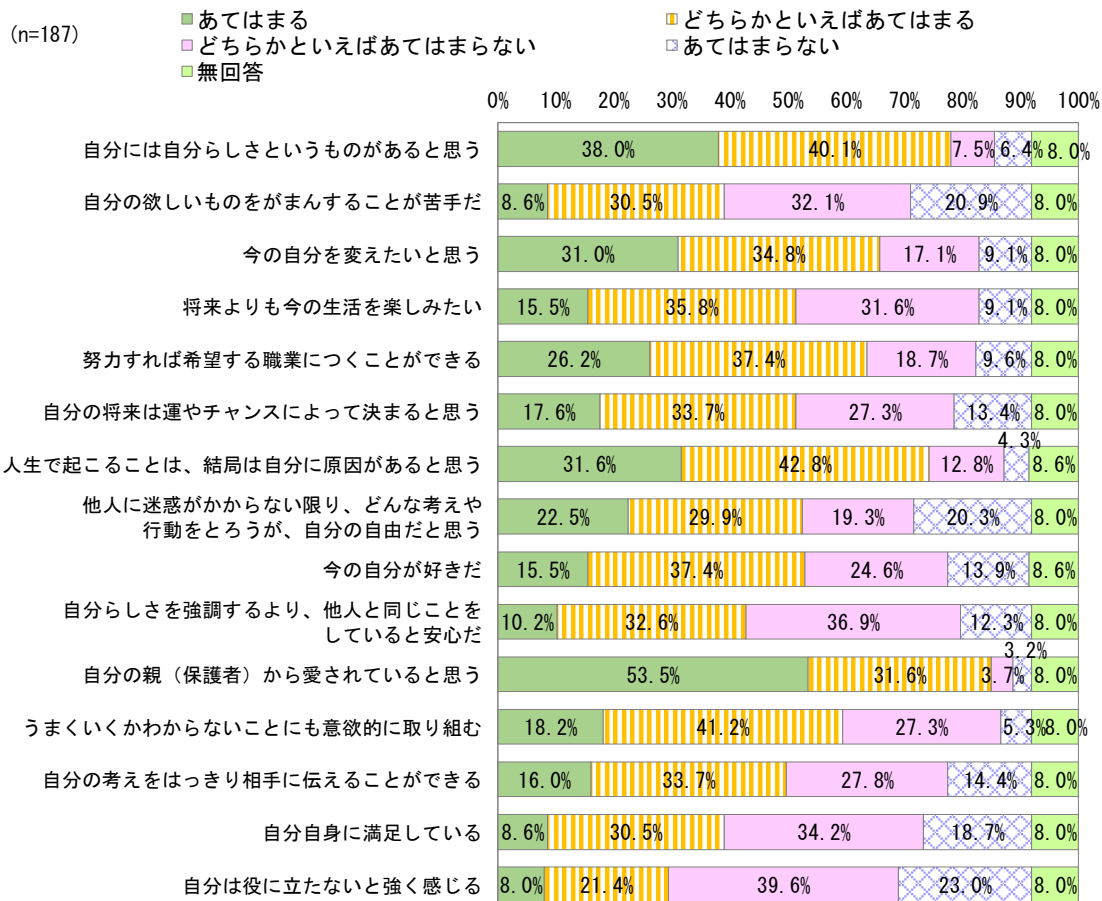
就業経験



問10 あなた自身について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。(ア～ソ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と回答した割合が高いのは、「自分の親（保護者）から愛されていると思う」が85.1%で最も高く、次いで「自分には自分らしさというものがあると思う」78.1%、「人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う」74.4%となっている。一方で、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」＋「あてはまらない」）は、「自分は役に立たないと強く感じる」62.6%、「自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ」53.0%、「自分自身に満足している」52.9%となっている。

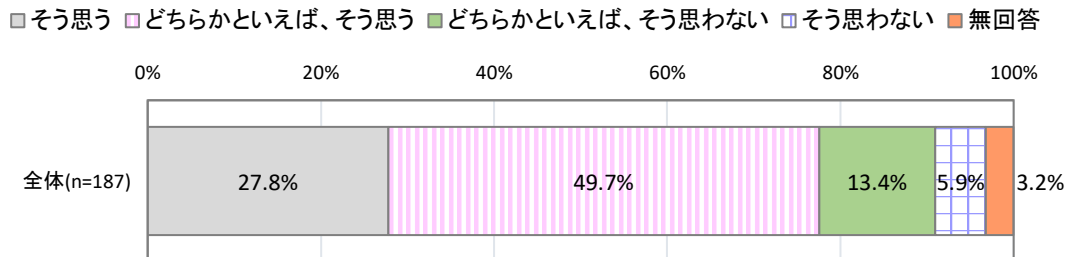
自分自身のことについて



問11 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(1つに○)

現在自分が幸せであると感じているかについては、「どちらかといえば、そう思う」49.7%が最も高く、次いで「そう思う」27.8%となっている。『思う』（「思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）は77.5%となっている。

現在の幸福度



問12 以下のア)～ウ)の項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

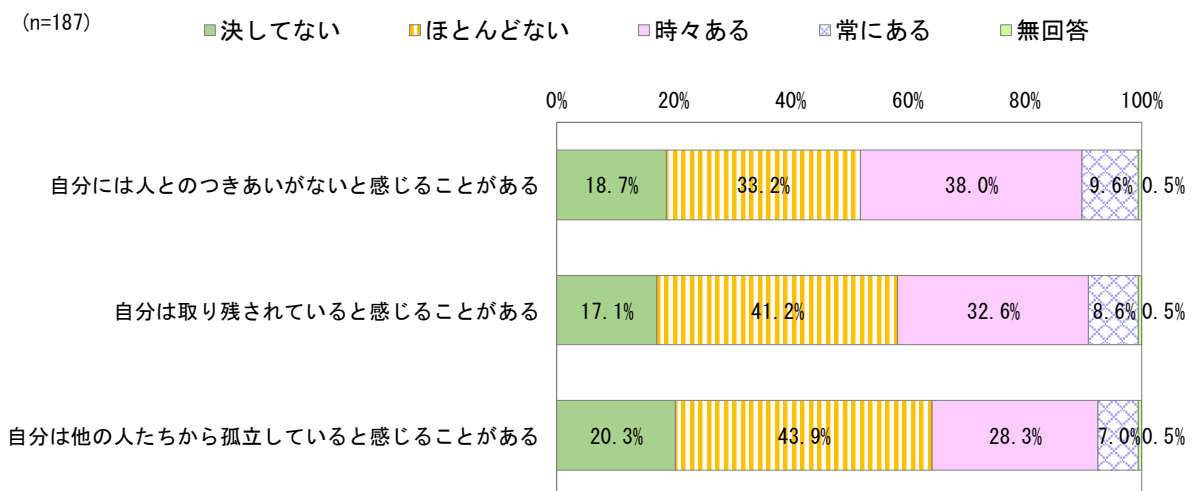
「ア）自分には人とのつきあいが無いと感じることがある」では、「時々ある」38.0%が最も高く、次いで「ほとんどない」33.2%となっている。

「イ）自分は取り残されていると感じることがある」では、「ほとんどない」41.2%が最も高く、次いで「時々ある」32.6%となっている。

「ウ）自分は他の人たちから孤立していると感じることがある」では、「ほとんどない」43.9%が最も高く、次いで「時々ある」28.3%となっている。

いずれの項目でも「常にある」は1割以下となっている。

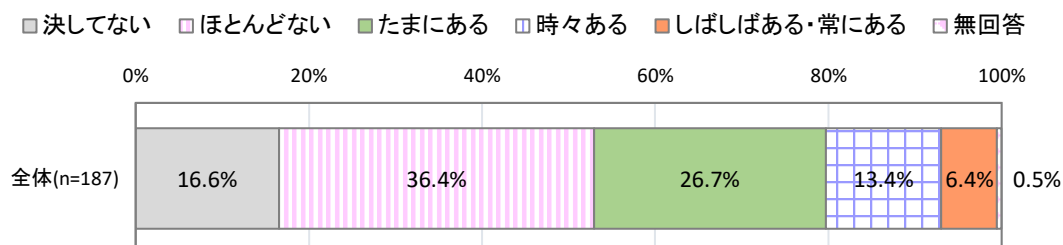
ア)～ウ)のことをどれくらいの頻度で感じているか



問13 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つに○)

孤独であると感じることがどの程度あるかについては、「ほとんどない」36.4%が最も高く、次いで「たまにある」26.7%、「決してない」16.6%となっている。『ある』（「たまにある」＋「時々ある」＋「しばしばある・常にある」）は46.5%となっている。

孤独であると感じること



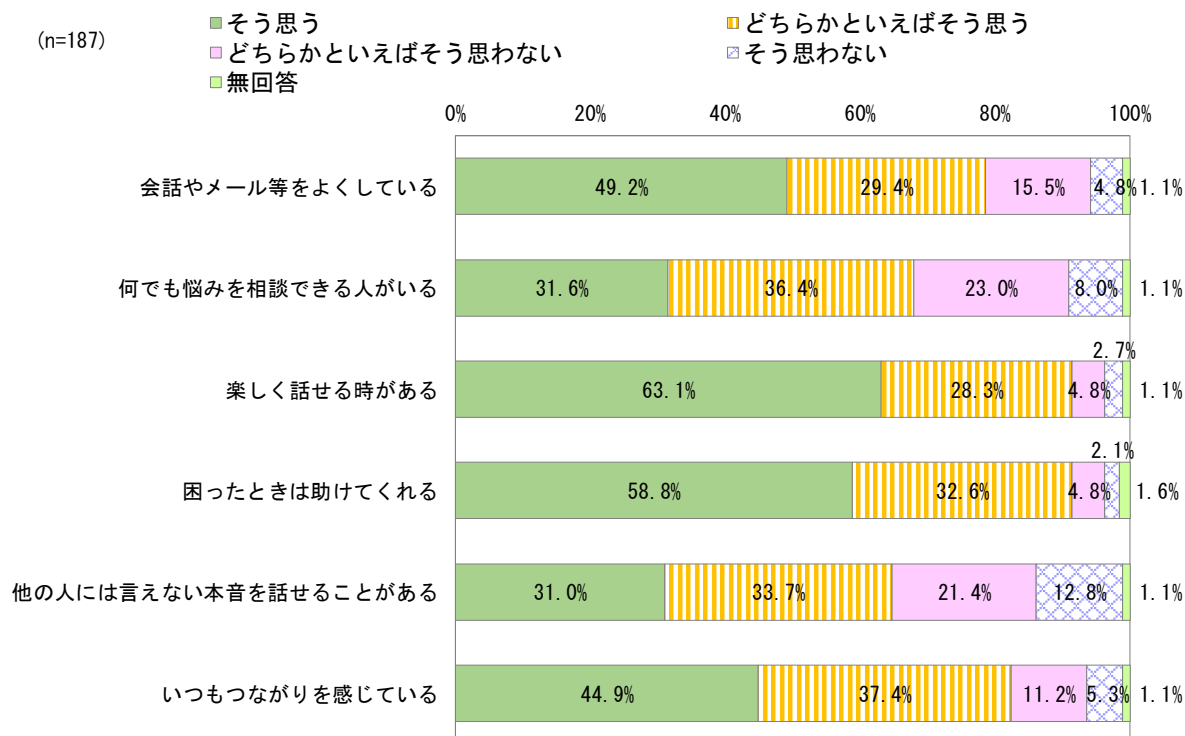
問14 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。

(ア～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○

家族・親族とのかかわりについて、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は「楽しく話せる時がある」、「困ったときは助けてくれる」がいずれも91.4%で最も高く、次いで「いつもつながりを感じている」82.3%となっている。

一方、「そう思わない」では「他の人には言えない本音を話せることがある」が12.8%で最も高くなっている。

家族・親族とのかかわりについて

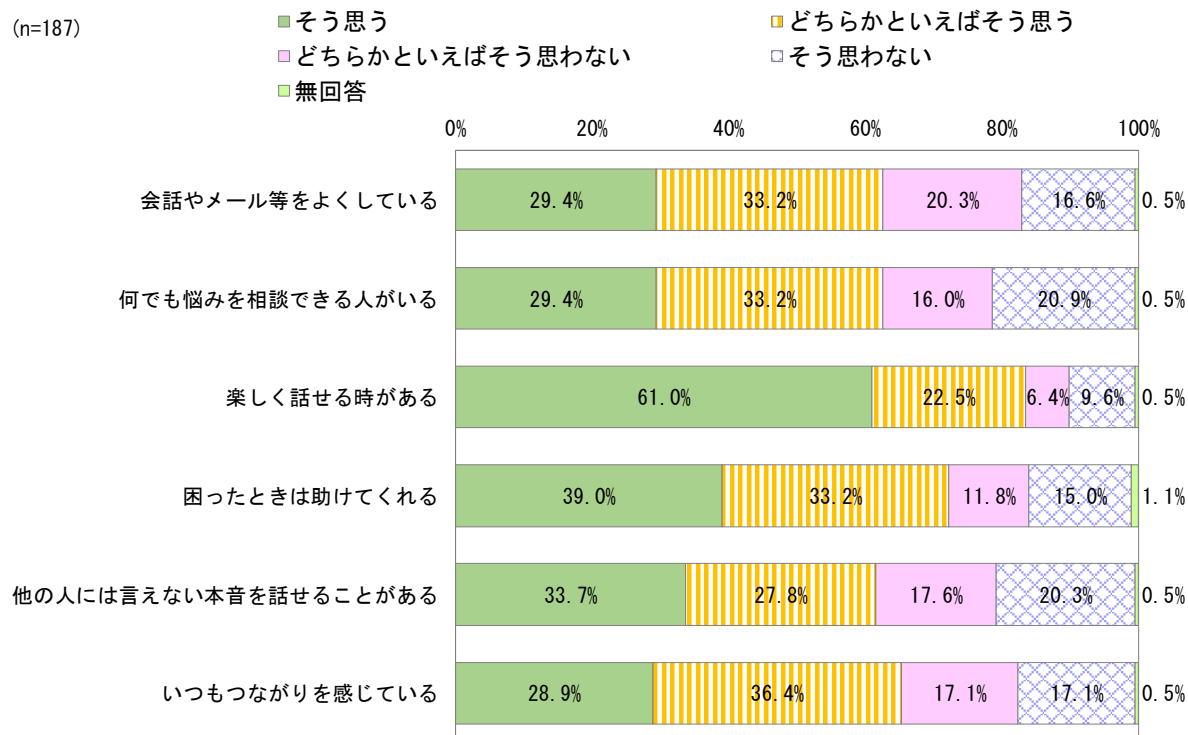


問15 学校で出会った友人(現在通っている学校の友人、かつての同窓生など)と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。
(ア～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

学校で出会った友人とのかかわりについて、『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は「楽しく話せる時がある」が83.5%で最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」72.2%となっている。

一方、「そう思わない」では「何でも悩みを相談できる人がある」、「他の人には言えない本音を話せることがある」がいずれも2割を占めている。

学校で出会った友人とのかかわりについて



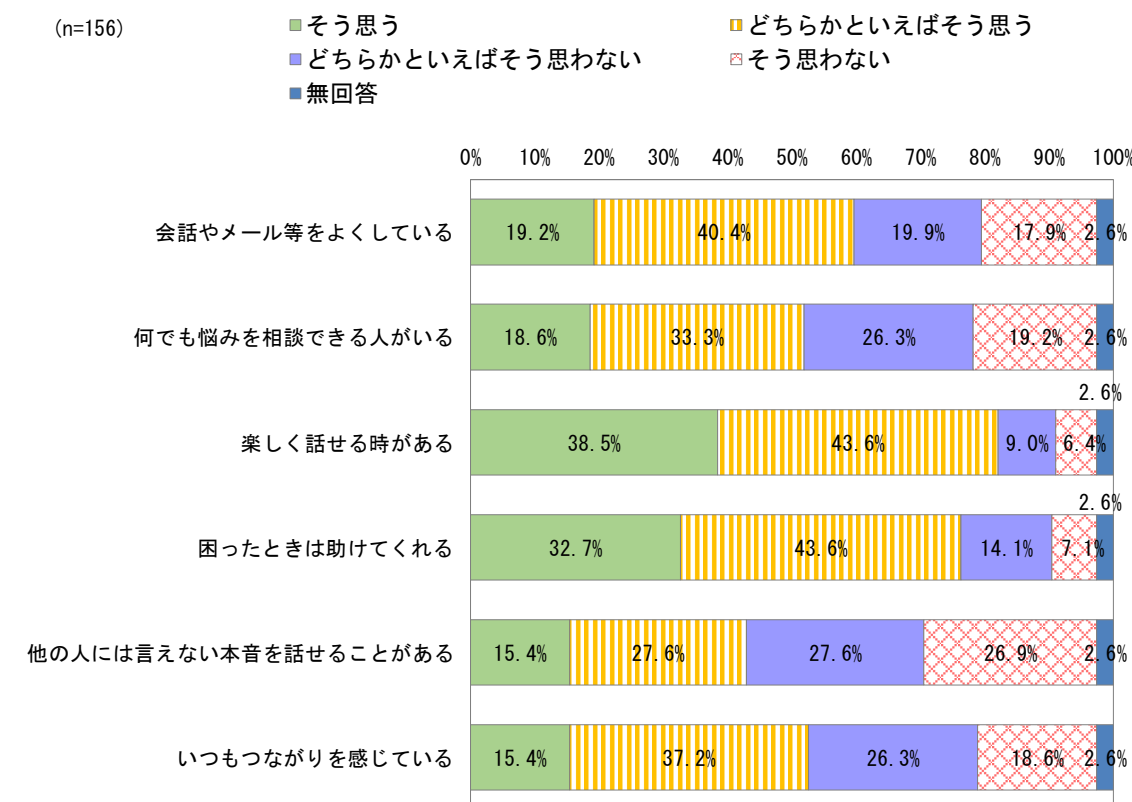
問9で「1 現在、就業している」、「2 現在、就業しているが、休職や休業中である」、「3 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」を選んだ方のみ、お答えください。

問16 職場・アルバイト関係の人(現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など)と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。
(ア～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

職場・アルバイト関係の人とのかかわりについては、『思う』(「思う」+「どちらかといえば思う」)は「楽しく話せる時がある」が82.1%で最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」76.3%となっている。

一方、「他の人には言えない本音を話せることがある」は『思わない』(「どちらかといえば思わない」+「思わない」)が半数を超えている。

職場・アルバイト関係の人とのかかわりについて

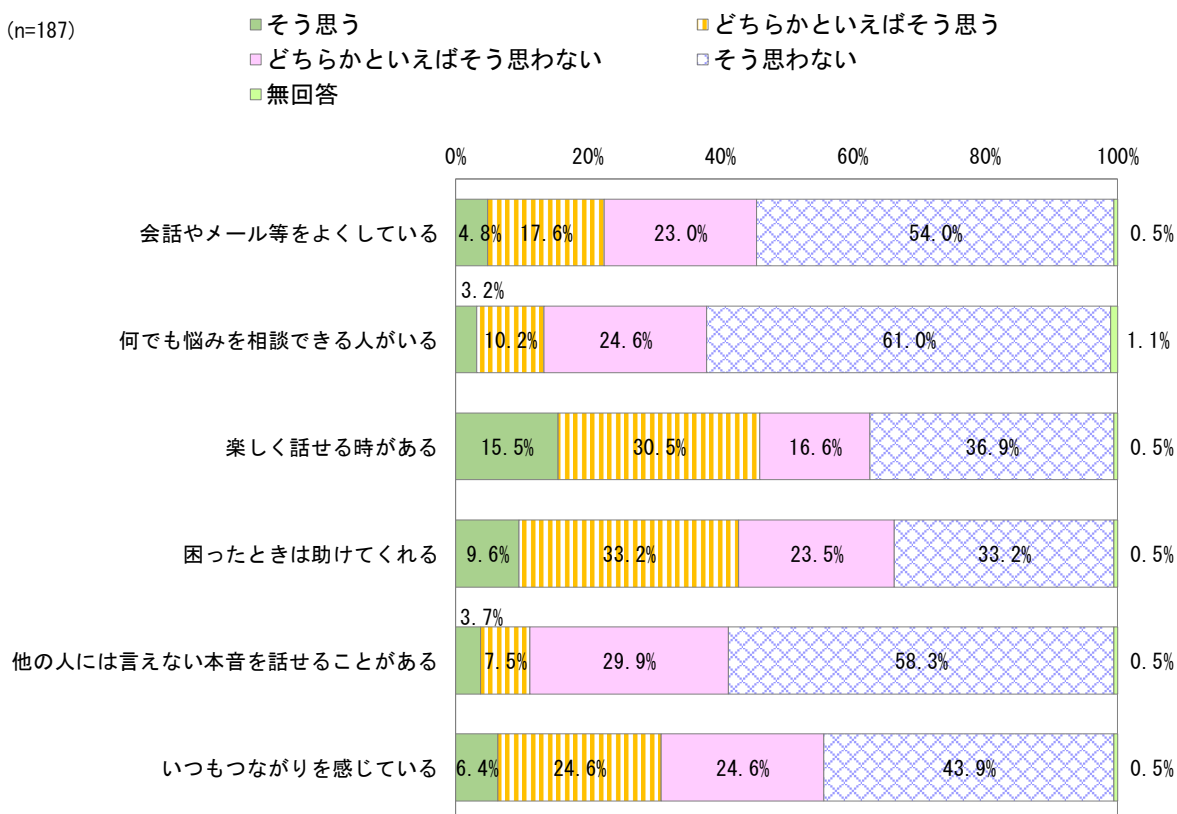


問17 地域の人(近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など)と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
(ア～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

地域の人などとのかかわりについて、『思う』(「思う」 + 「どちらかといえば思う」)は「楽しく話せる時がある」が 46.0%で最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」42.8%となっている。それ以外の項目については、『思わない』(「どちらかといえば思わない」 + 「そう思わない」)が 6 割以上となっている。

地域の人などとのかかわりについて

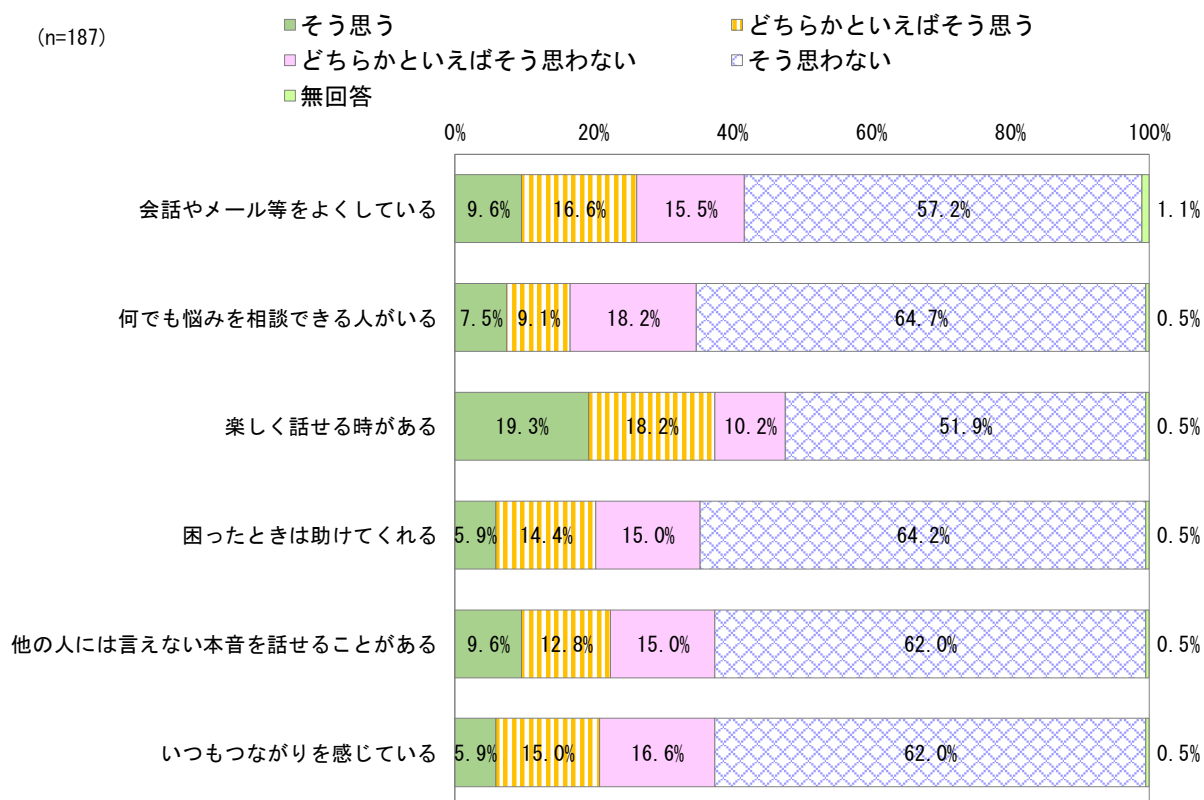
(n=187)



問18 インターネット上における人やグループ(実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ)と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
(ア)～カ)のそれぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

インターネット上における人やグループとのかかわりについて、『思う』(「思う」 + 「どちらかといえば思う」) が 37.5%で最も高くなっている。それ以外の項目については、『思わない』(「どちらかといえば思わない」 + 「思わない」) が 7割以上となっている。

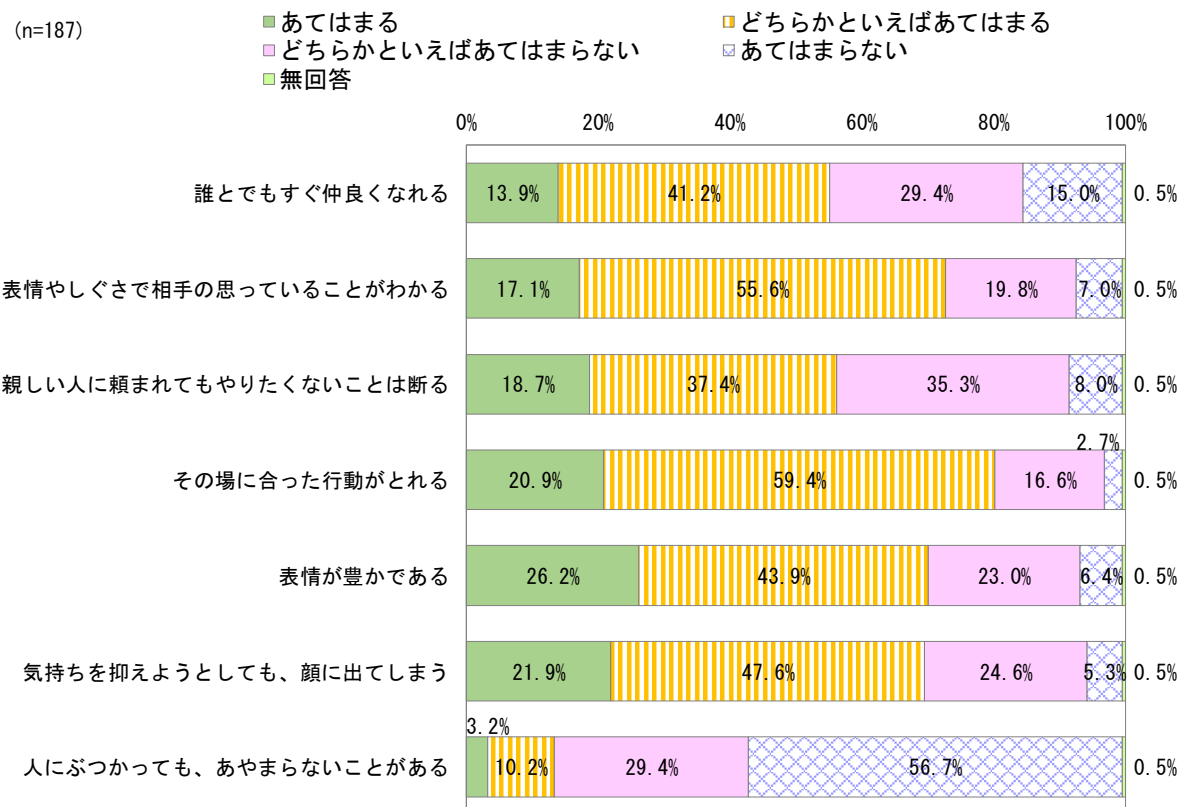
インターネット上における人やグループとのかかわりについて



問19 問 19 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。
(ア～キ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

他人と付き合う時にあてはまることについて、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）は、ほとんどの項目で半数を超えている。最も高いのは「その場に合った行動がとれる」は80.3%となっている。一方、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」＋「あてはまらない」）は「人にぶつかっても、あやまらないことがある」が86.1%と最も高くなっている。

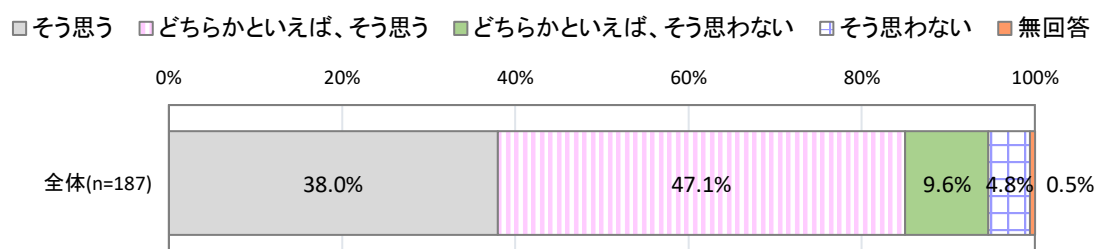
他人と付き合う時にあてはまること



問20 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1つに○)

社会のために役立つことをしたいかについて、「どちらかといえば、そう思う」47.1%が最も高く、次いで「そう思う」38.0%となっている。『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）は85.1%を占めている。

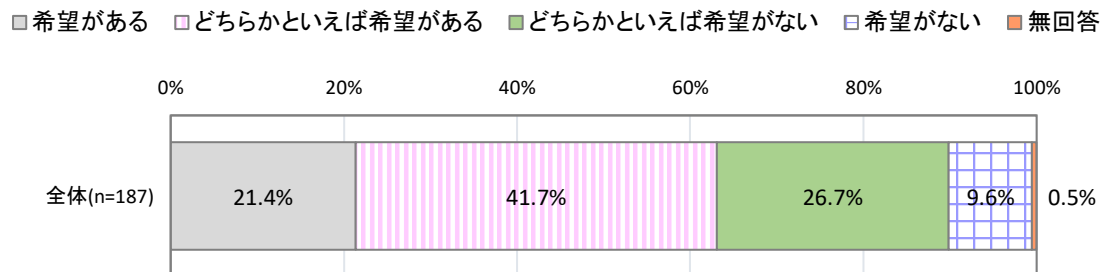
「社会のために役立つことをしたいか」



問21 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(1つに○)

自分の将来について明るい希望を持っているかについて、「どちらかといえば希望がある」41.7%が最も高く、次いで「どちらかといえば希望がない」26.7%となっている。『希望がある』（「希望がある」＋「どちらかといえば希望がある」）は63.1%となっている。

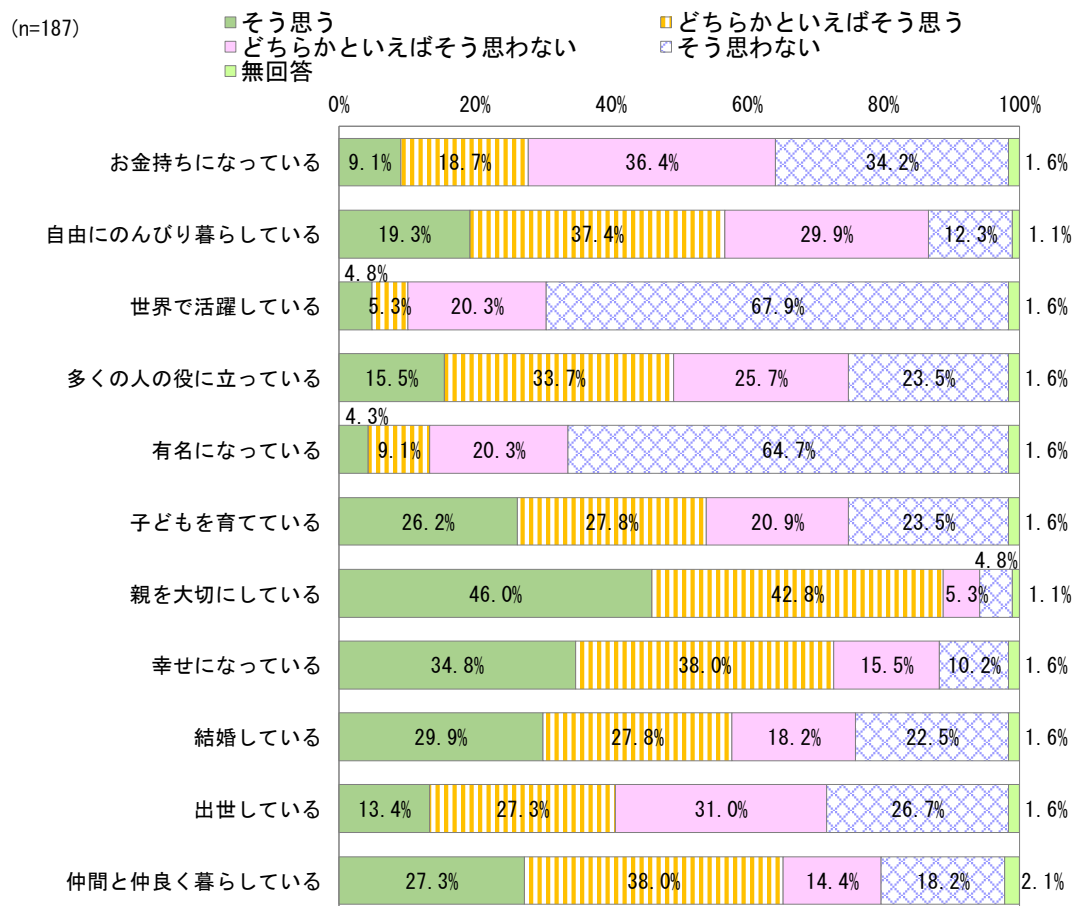
自分の将来について



問22 あなたは20年後、どのようになっていると思いますか。
(ア～サ)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

20年後のイメージについて、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は「親を大切にしている」が88.8%で最も高く、次いで「幸せになっている」72.8%となっている。一方、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）は「世界で活躍している」が88.2%で最も高く、次いで「有名になっている」85.0%となっている。

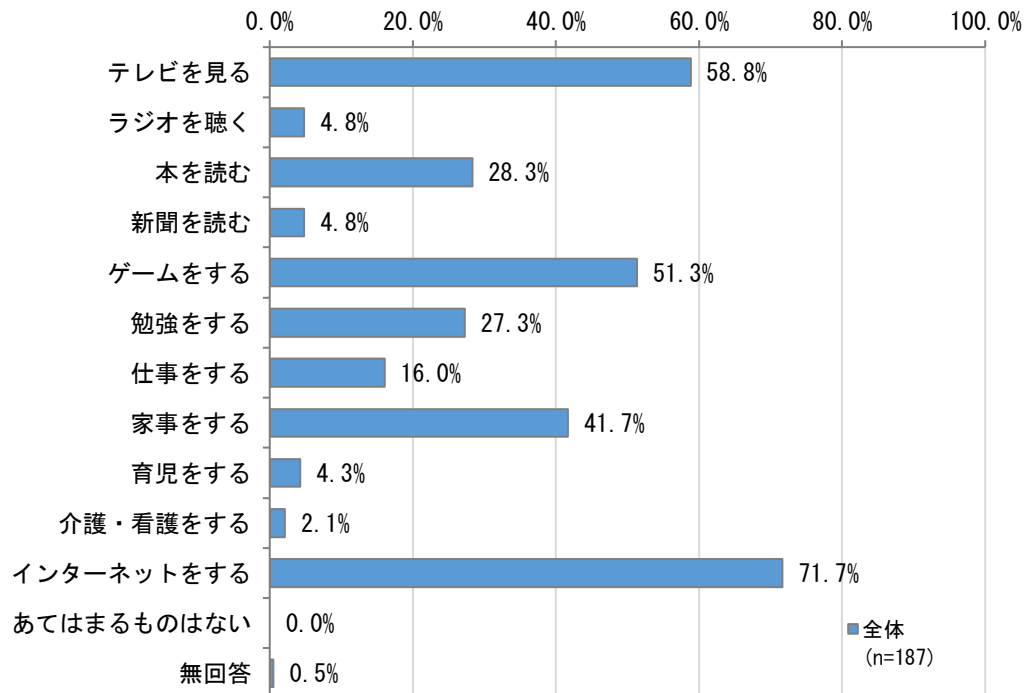
20年後の自分のイメージ



問23 普段ご自宅(暮らしている場所)にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。(いくつでも○)

普段自宅でどんなことに時間を使っているかについて、「インターネットをする」71.7%が最も高く、次いで「テレビを見る」58.8%、「ゲームをする」51.3%となっている。

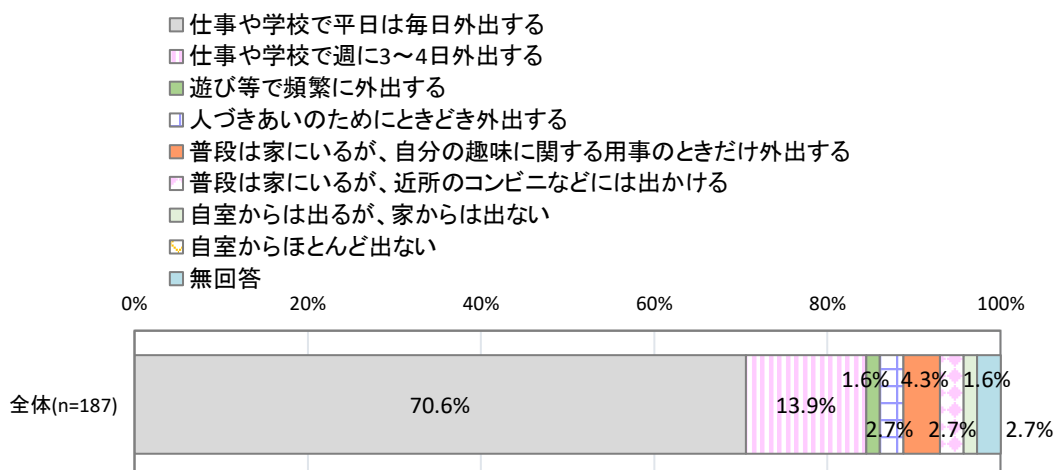
普段自宅で時間を使っていること



問24 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つに○)

普段どのくらい外出するかについて、「仕事や学校で平日は毎日外出する」70.6%が最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」13.9%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」4.3%となっている。

普段の外出頻度

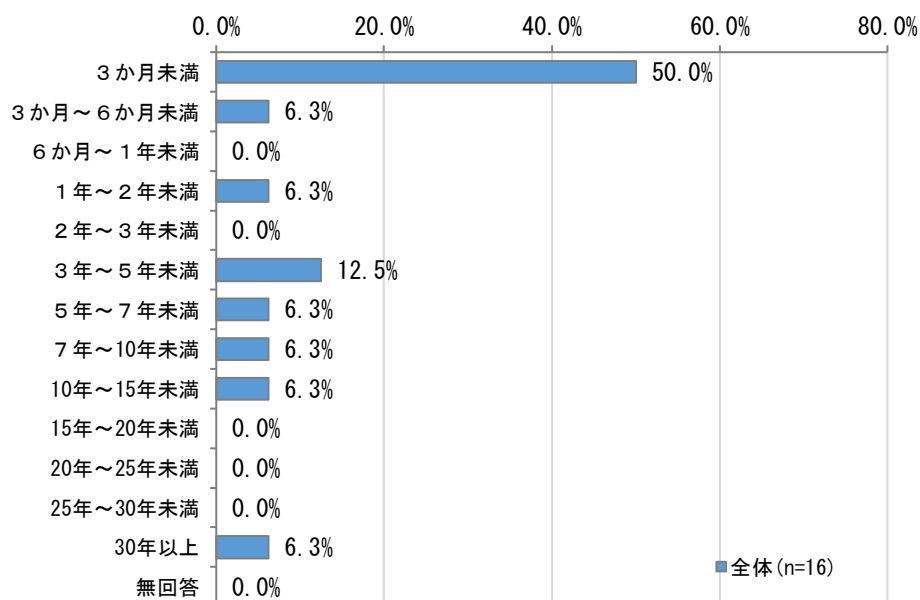


問 24 で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。

問25 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○)

外出状況が現在の状態となってからどのくらい経つかについて、「3 か月未満」50.0%が最も高く、次いで「3 年～5 年未満」12.5%となっている。

外出状況が現在の状態となつてからの経過期間

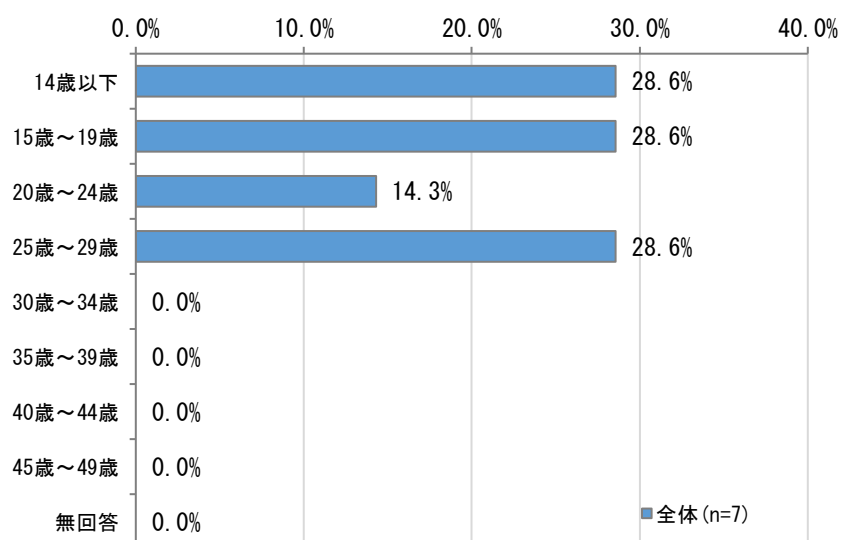


問 26～問 28 は問 25 で「3」～「13」を選んだ方のみ、お答えください。

問 26 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(1つに○)

外出状況が現在の状態になった頃の年齢については、「14 歳以下」、「15～19 歳」、「25～29 歳」がいずれも 28.6%で最も高くなっている。

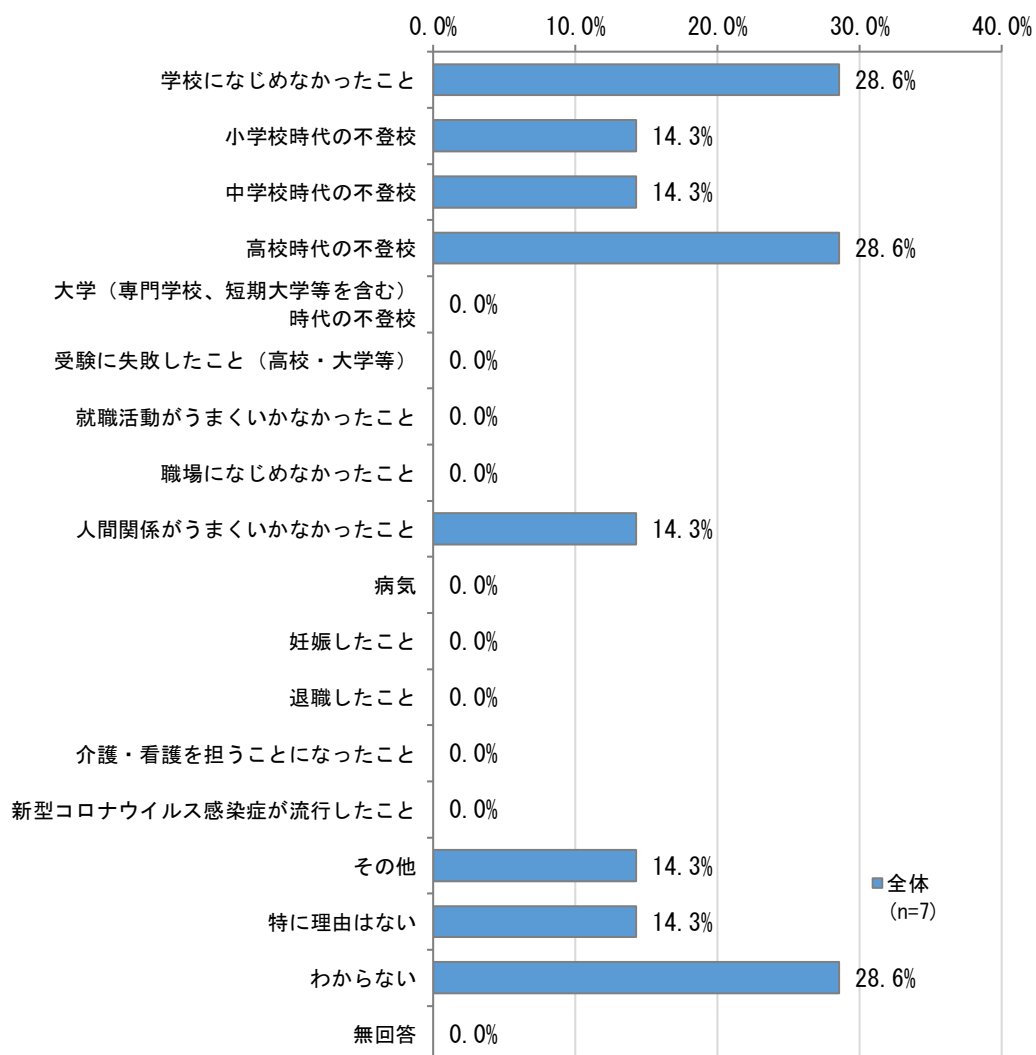
外出状況が現在の状態になった頃の年齢



問27 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

外出状況が現在の状態になった主な理由については、「学校になじめなかったこと」、「高校時代の不登校」、「わからない」がいずれも28.6%で最も高くなっている。

外出状況が現在の状態になった主な理由

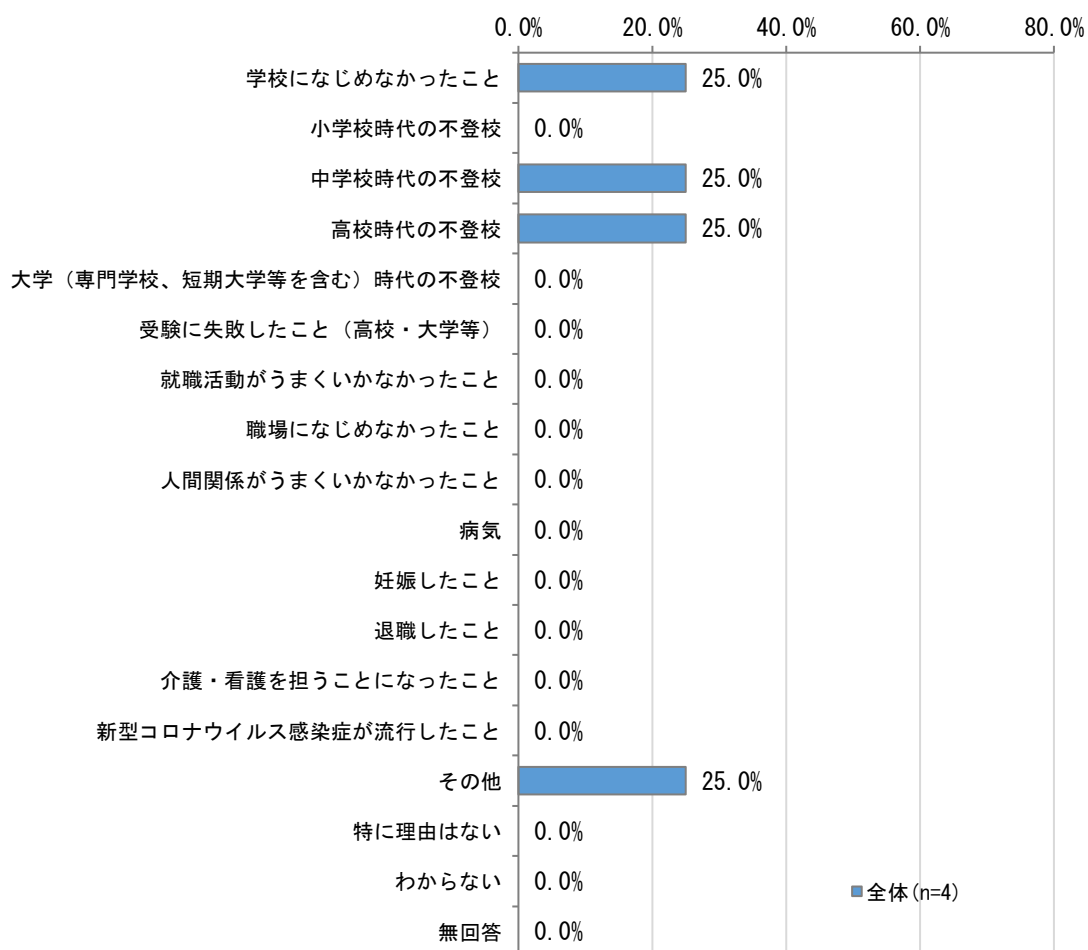


問 27 で「1」～「15」を選んだ方のみ、お答えください。

問28 あなたの外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何ですか。(1つに○)

外出状況が現在の状態になった最も大きな理由については、「学校になじめなかったこと」、「中学校時代の不登校」、「高校時代の不登校」、「その他」がいずれも 25.0%となっている。

外出状況が現在の状態になった最も大きな理由

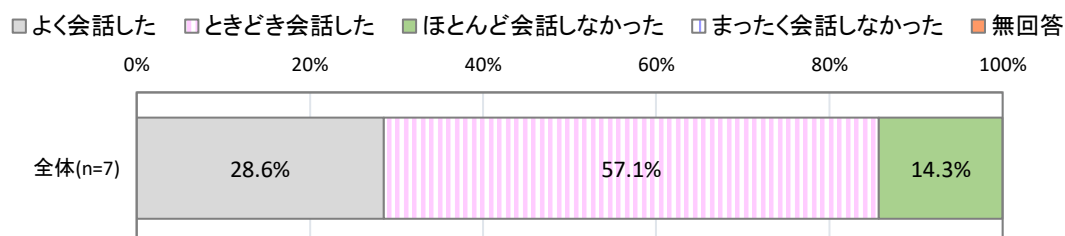


その他回答
学校になじみたくなかった

問29 最近6か月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(1つに○)

最近6か月間に家族以外の人と会話をしたかについては、「ときどき会話をした」57.1%が最も高く、次いで「よく会話をした」28.6%、「ほとんど会話しなかった」14.3%となっている。

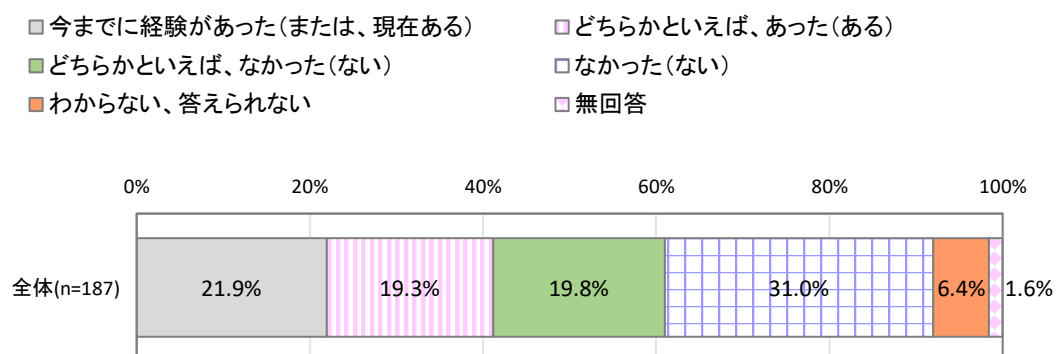
この半年間での家族以外の人との会話



問30 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(1つに○)

社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験や現在の状況については、「なかった（ない）」31.0%が最も高く、次いで「今までに経験があった（または、現在ある）」21.9%、「どちらかといえばなかった（ない）」19.8%となっている。『あった』（「今までに経験があった（または、現在ある）」）+「どちらかといえば、あった（ある）」は41.2%となっている。

社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験・現在の状況

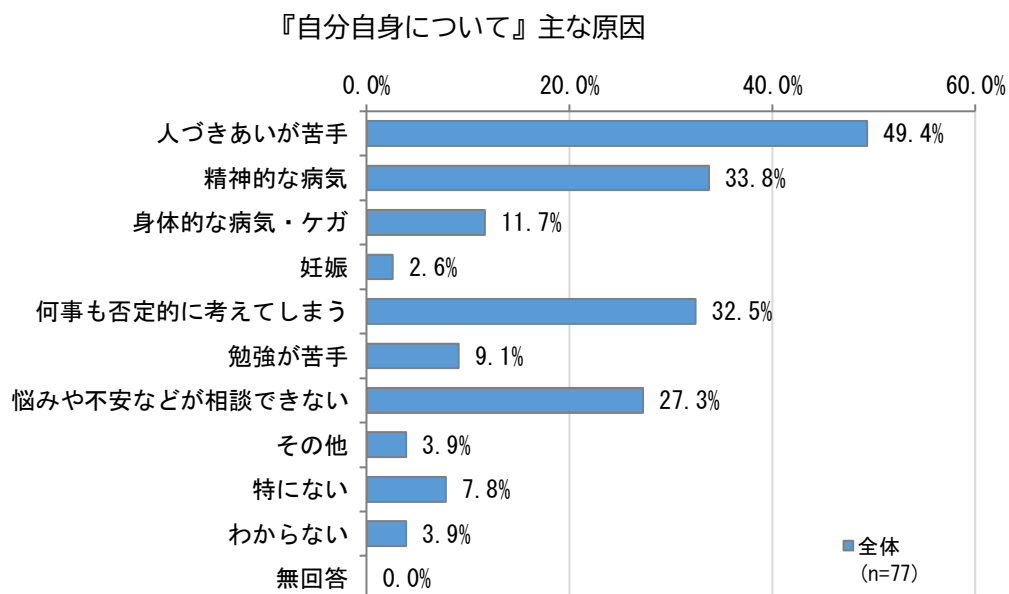


問 31～問 33 は問 30 で「1」又は「2」を選んだ方のみ、お答えください。

問31 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。以下の(1)～(4)のそれぞれにお答えください。

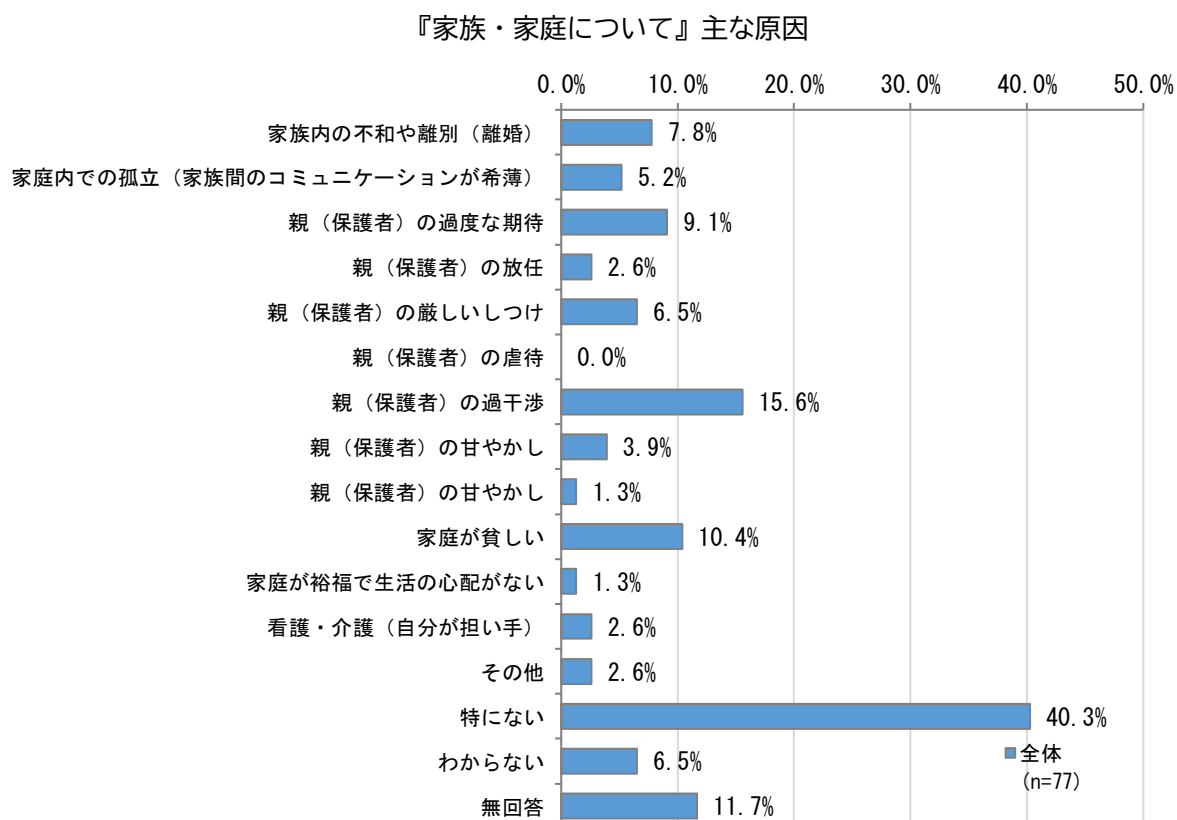
(1) 自分自身について (いくつでも○)

自分自身についての主な原因では、「人づきあいが苦手」49.4%が最も高く、次いで「精神的な病気」33.8%、「何事も否定的に考えてしまう」32.5%となっている。



(2) 家族・家庭について (いくつでも○)

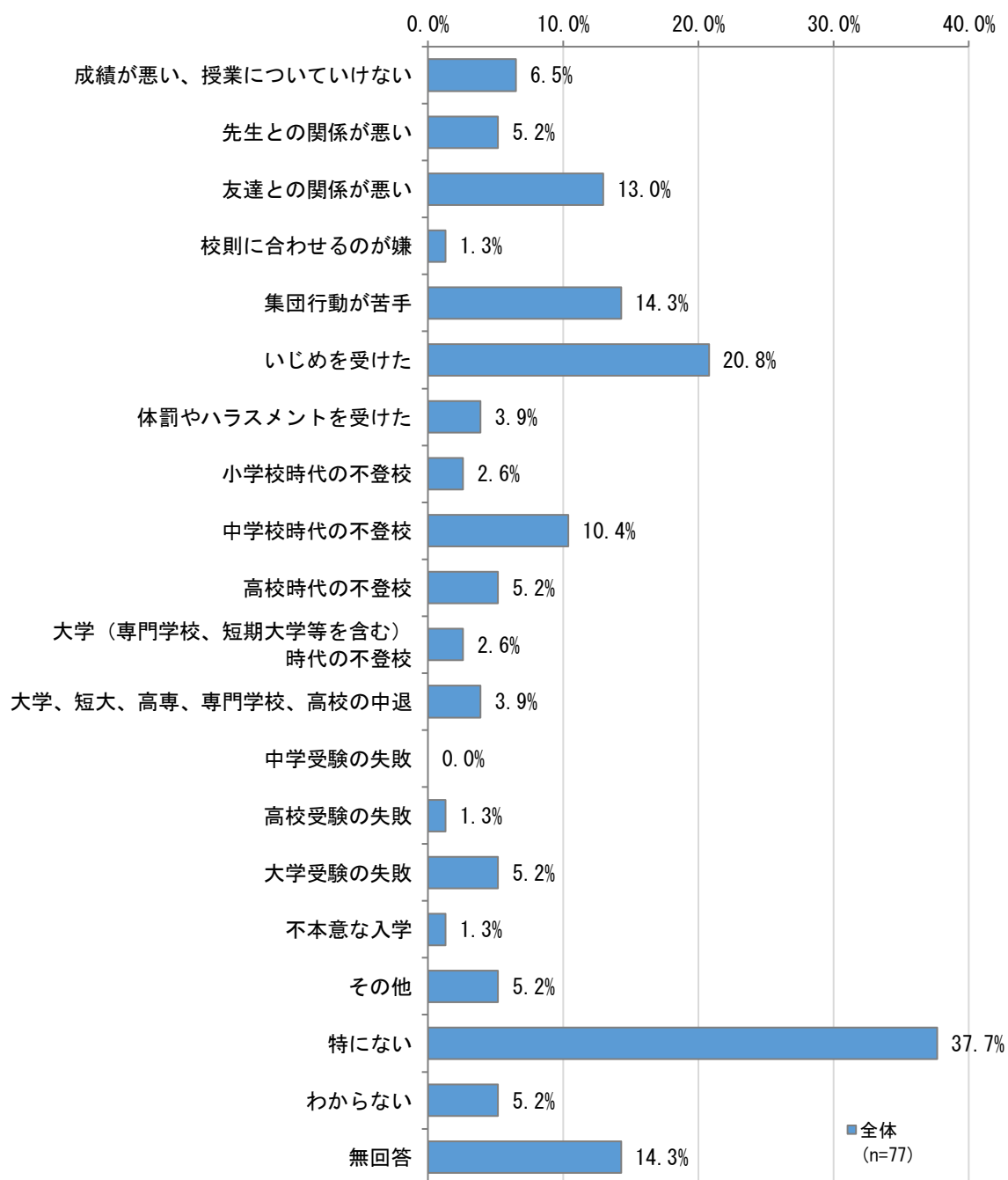
家族・家庭についての主な原因では、「特にない」40.3%が最も高く、次いで「親（保護者）の過干渉」15.6%、「家庭が貧しい」10.4%となっている。



(3) 学校について (いくつでも○)

学校についての主な原因では、「特にない」37.7%が最も高く、次いで「いじめを受けた」20.8%、「集団行動が苦手」14.3%となっている。

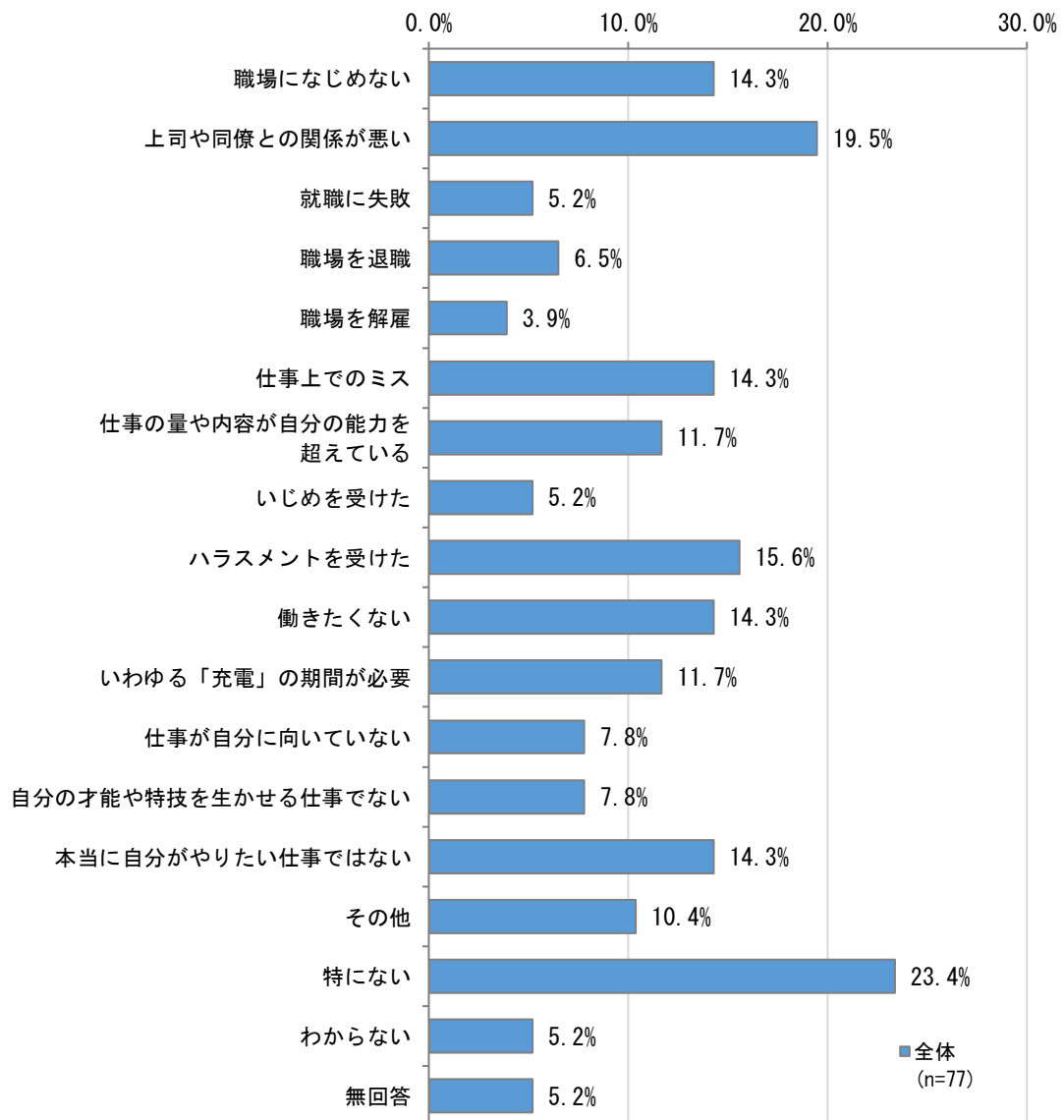
『学校について』主な原因



(4) 仕事・職場について (いくつでも○)

仕事・職場についての主な原因では、「特にない」23.4%が最も高く、次いで「上司や同僚との関係が悪い」19.5%、「ハラスメントを受けた」15.6%となっている。

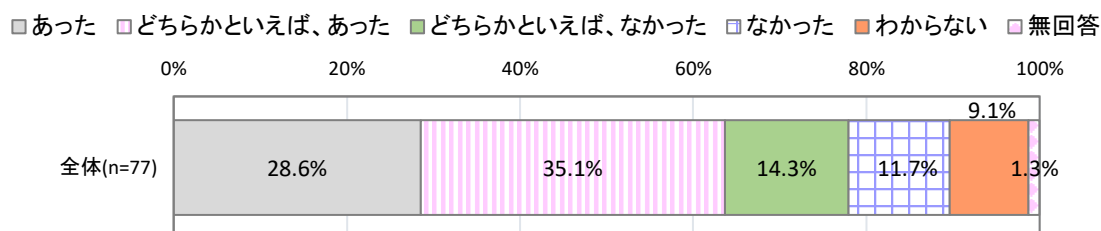
『仕事・職場について』主な原因



問32 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(1つに○)

今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることが改善した経験があるかについて、「どちらかといえば、あった」35.1%が最も高く、次いで「あった」28.6%、「どちらかといえばなかった」14.3%となっている。改善した経験が『あった』（「あった」＋「どちらかといえば、あった」）と回答したのは、63.7%となっている。

状態が改善した経験

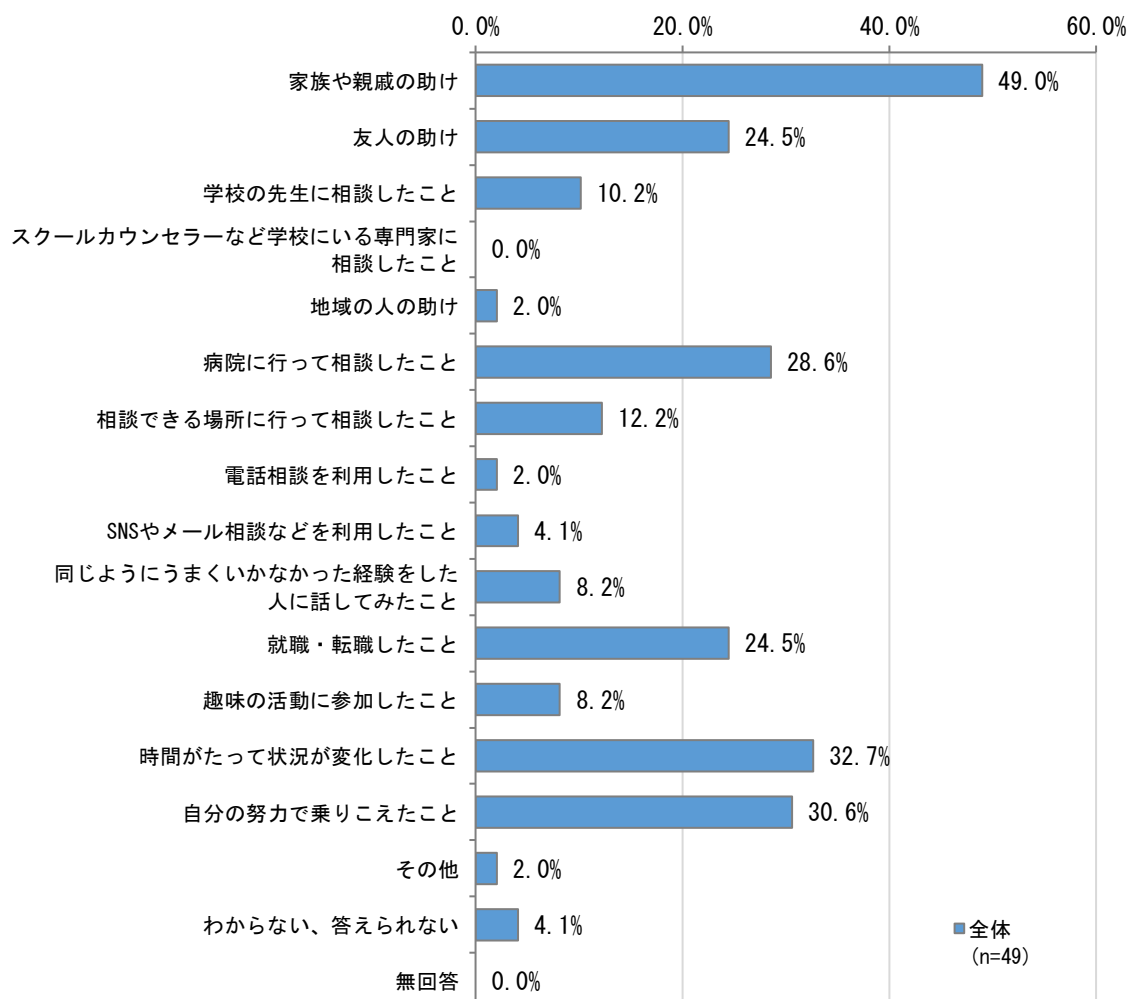


問32で「1」又は「2」を選んだ方のみ、お答えください。

問33 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。(いくつでも○)

状態が改善したきっかけや改善に役立ったことについては、「家族や親戚の助け」49.0%が最も高く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」32.7%、「自分の努力で乗り越えたこと」30.6%となっている。

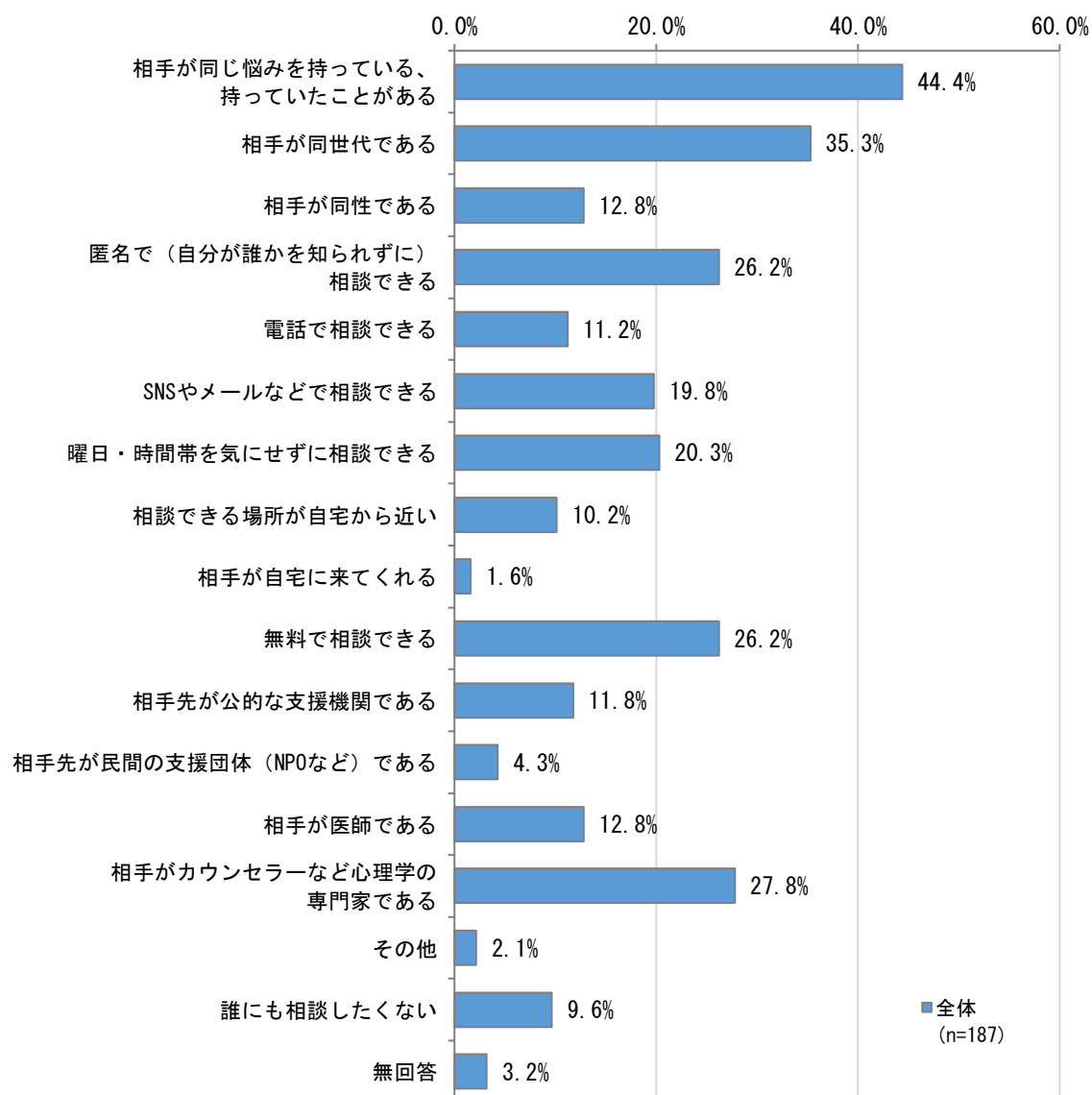
きっかけや役立ったこと



問34 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。
(いくつでも○)

家族や知り合い以外に相談したいと思う人や場所などについては、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」44.4%が最も高く、次いで「相手が同世代である」35.3%、「相手がカウンセラーなど心理学の専門家である」27.8%となっている。

相談したいと思う人や場所

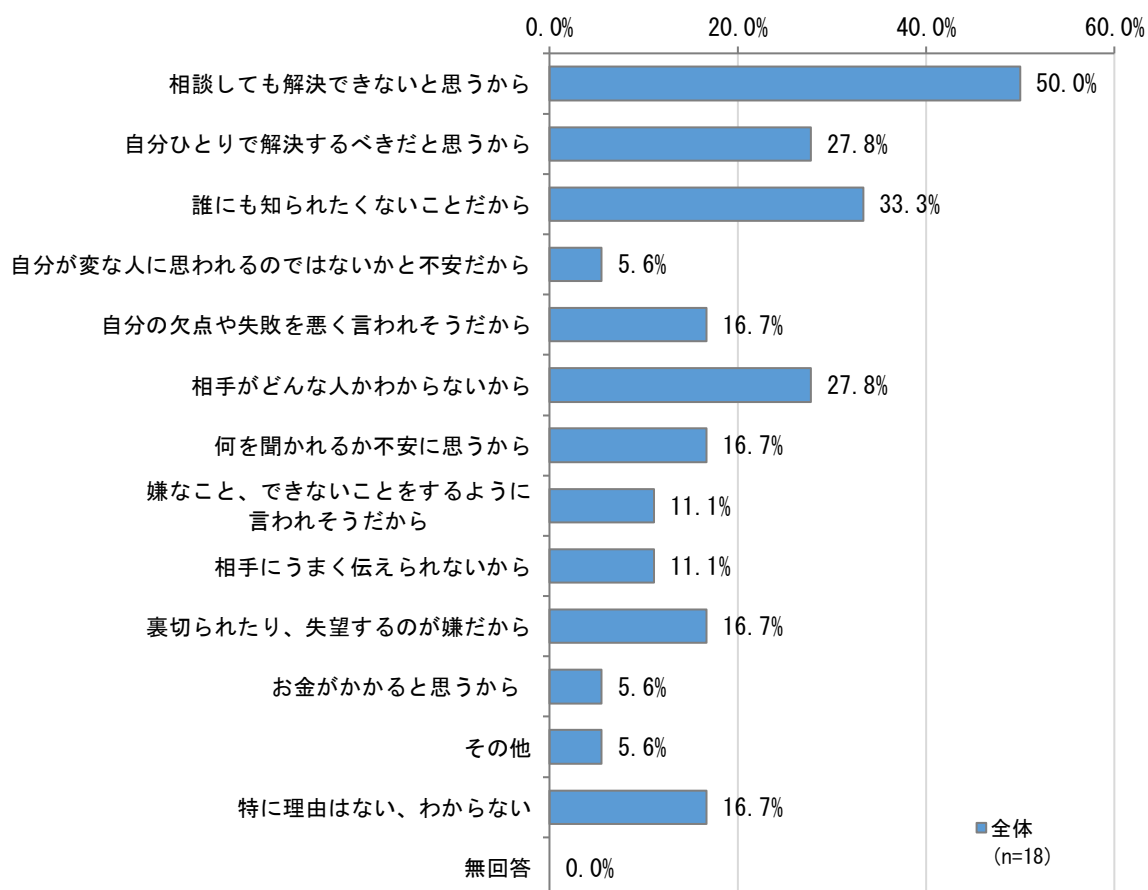


問 34 で「16 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。

問35 相談したくないと思う理由は何ですか。(いくつでも○)

相談したくないと思う理由については、「相談しても解決できないと思うから」50.0%が最も高く、次いで「誰にも知られたくないことだから」33.3%、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」、「相手がどんな人かわからないから」がいずれも27.8%となっている。

相談したくないと思う理由



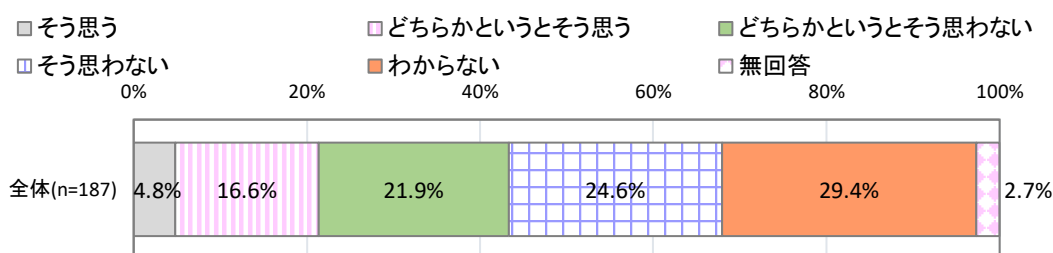
問36 以下のことについて、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

(1) 令和5年12月に「こども大綱」が閣議決定され、大綱が目指す姿として、「こどもまんなか社会」(全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会)が掲げられています。

「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思いますか。

「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思うかについては、「わからない」29.4%が最も高く、次いで「そう思わない」24.6%となっている。『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は21.4%となっている。

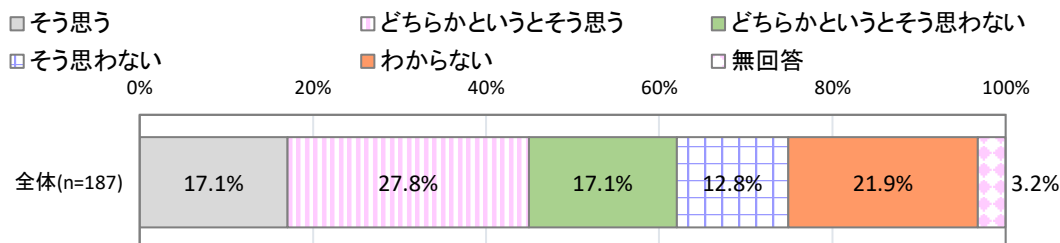
「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思うか



(2) 「子どもは権利の主体である」と思いますか。

「子どもは権利の主体である」と思うかについては、「どちらかといえばそう思う」27.8%が最も高く、次いで「わからない」21.9%となっている。『思う』は44.9%となっている。

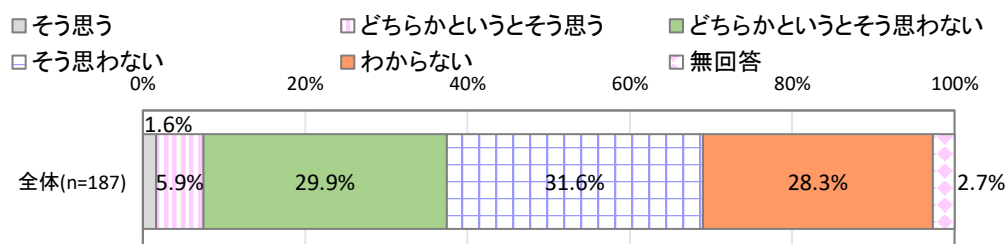
「子どもは権利の主体である」と思うか



(3) 「子ども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思いますか。

「子ども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うかについては、「そう思わない」31.6%が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」29.9%となっている。『思う』は7.5%となっている。

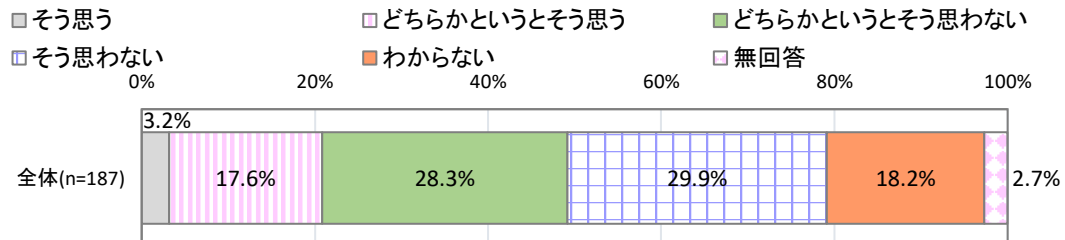
「子ども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うか



(4)「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思いますか。

「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思うかについては、「そう思わない」29.9%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」28.3%となっている。『思う』は20.8%となっている。

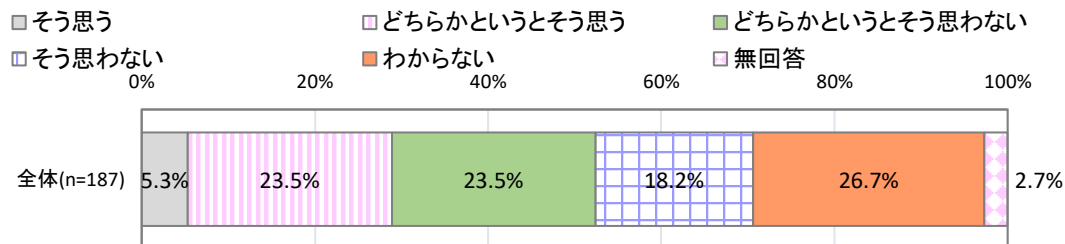
「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思うか



(5)「保護者の子育てが地域で支えられている」と思いますか。

「保護者の子育てが地域で支えられている」と思うかについては、「わからない」26.7%が最も高く、次いで「どちらかというと思う」、「どちらかというと思わない」がいずれも23.5%となっている。『思う』は28.8%となっている。

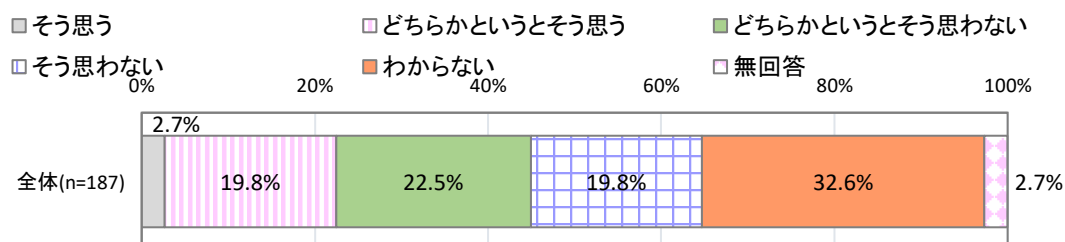
「保護者の子育てが地域で支えられている」と思うか



(6)「保護者が、子どもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされている」と思いますか。

「保護者が、子どもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされている」と思うかについては、「わからない」32.6%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」22.5%となっている。『思う』は22.5%となっている。

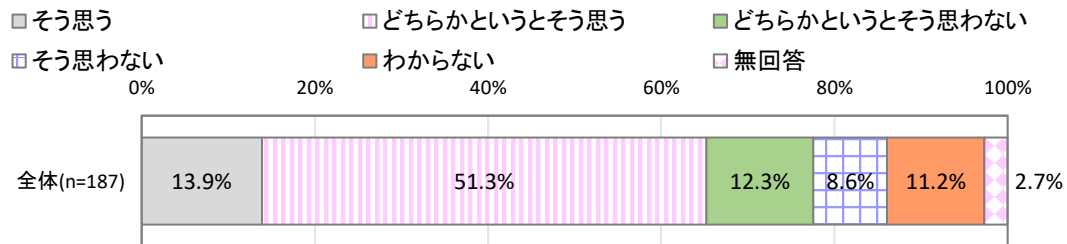
「保護者が、子どもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされている」と思うか



(7)「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思いますか。

「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思うかについては、「どちらかというと思う」51.3%が最も高く、次いで「そう思う」13.9%となっている。『思う』は65.2%となっている。

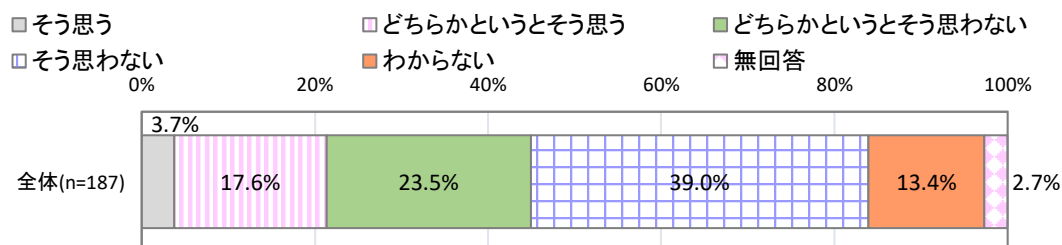
「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思うか



(8)「あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある」と思いますか。

「あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある」と思うかについては、「そう思わない」39.0%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」23.5%となっている。『思う』は21.3%となっている。

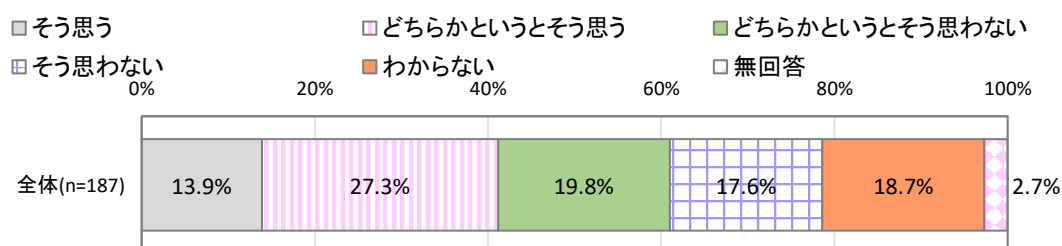
「あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある」と思うか



(9)「子ども・若者の心身の健康等についての情報提供やこころのケアが十分だ」と思いますか。

「子ども・若者の心身の健康等についての情報提供やこころのケアが十分だ」と思うかについては、「どちらかというと思う」27.3%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」19.8%となっている。『思う』は41.2%となっている。

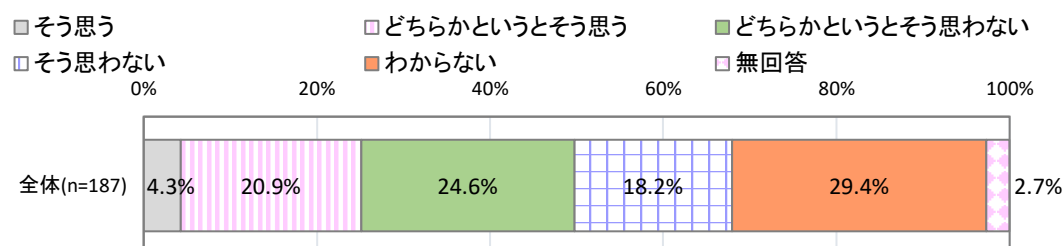
「子ども・若者の心身の健康等についての情報提供やこころのケアが十分だ」と思うか



(10) 「障がいのある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている」と思いますか。

「障がいのある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている」と思うかについては、「わからない」29.4%が最も高く、次いで「どちらかというと思わない」24.6%となっている。『思う』は25.2%となっている。

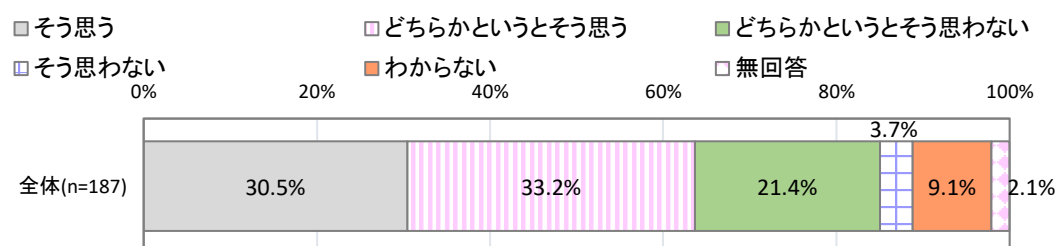
「障がいのある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている」と思うか



(11) 「自分の将来についての人生設計（ライフプラン）について」考えたことがありますか。

「自分の将来についての人生設計（ライフプラン）について」考えたことがあるかについては、「どちらかというと思う」33.2%が最も高く、次いで「そう思う」30.5%となっている。『思う』は63.7%となっている。

「自分の将来についての人生設計（ライフプラン）について」考えたことがあるか

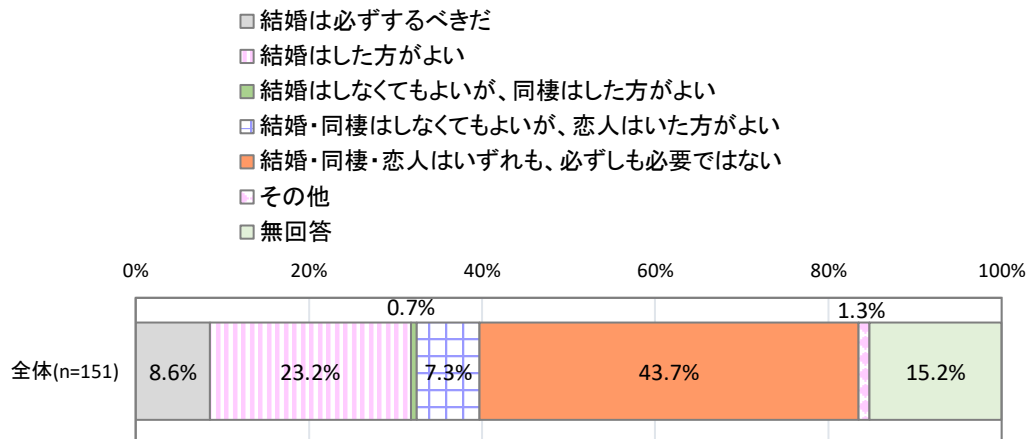


問 37 以降は、20 歳以上の方にお聞きします。

問37 人生における結婚や同棲の必要性に対する以下のような考え方のうち、あなたの意見に
もっとも近いものを1つだけ選んでください。(1つに○)

結婚や同棲の必要性に対する意見については、「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」43.7%が最も高く、次いで「結婚はした方がよい」23.2%となっている。

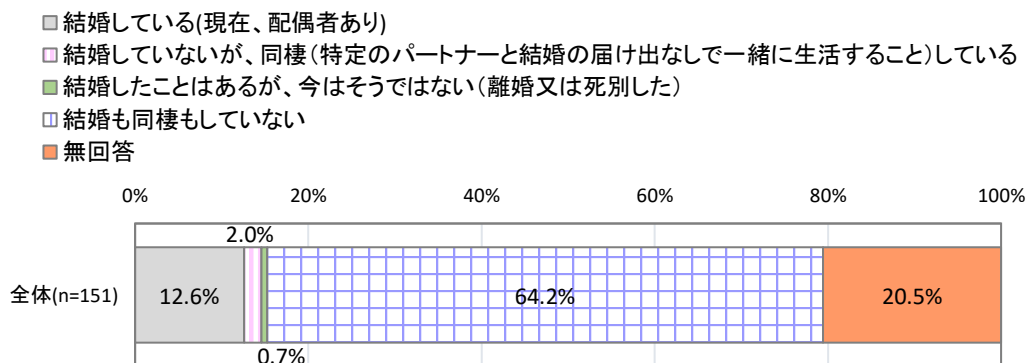
結婚や同棲の必要性に対する意見



問38 あなたは結婚していますか。この中から1つ選んでください。なお、この調査の中で、「結婚」とは法律に基づく結婚のことを指します。(1つに○)

結婚をしているかについては、「結婚も同棲もしていない」64.2%が最も高く、次いで「結婚している(現在、配偶者あり)」12.6%となっている。

結婚しているか

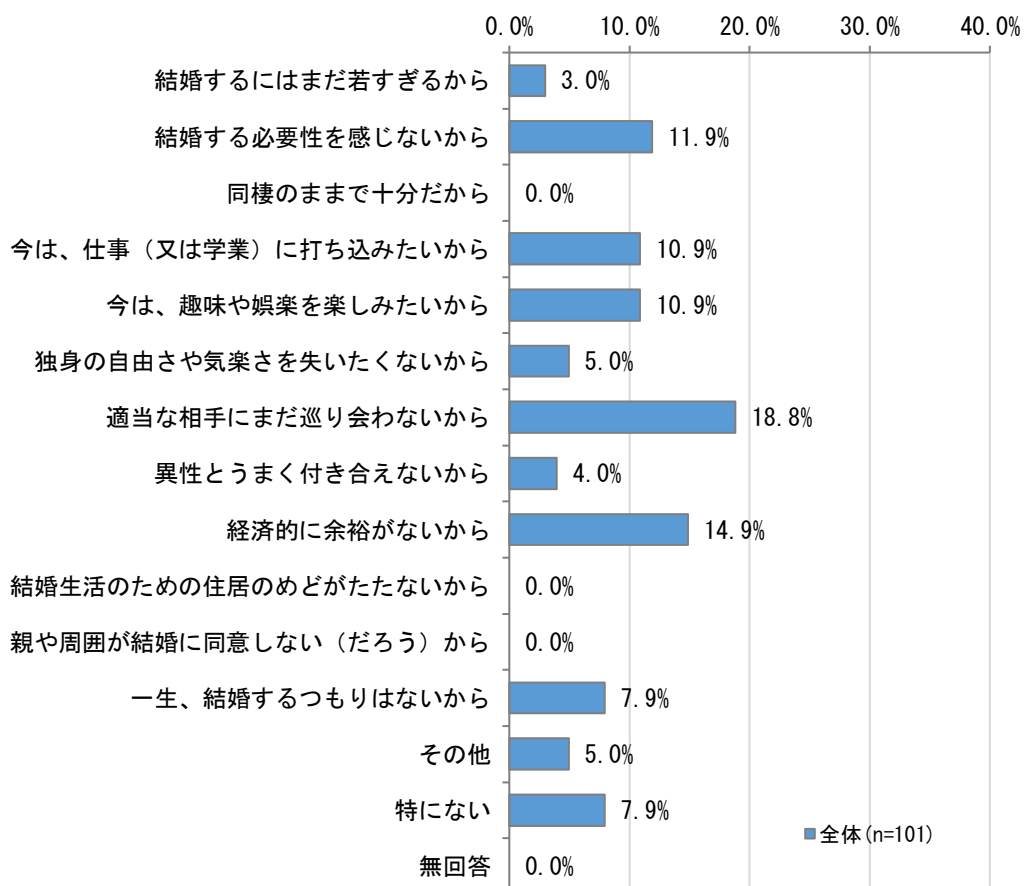


問 38 で「2」～「4」を選んだ方のみ、お答えください。

問39 現在結婚していない理由で、1番当てはまるものはなんですか。(1つに○)

現在結婚していない理由については、「適当な相手にまだ巡り会わないから」18.8%が最も高く、次いで「経済的に余裕がないから」14.9%、「結婚する必要性を感じないから」11.9%となっている。

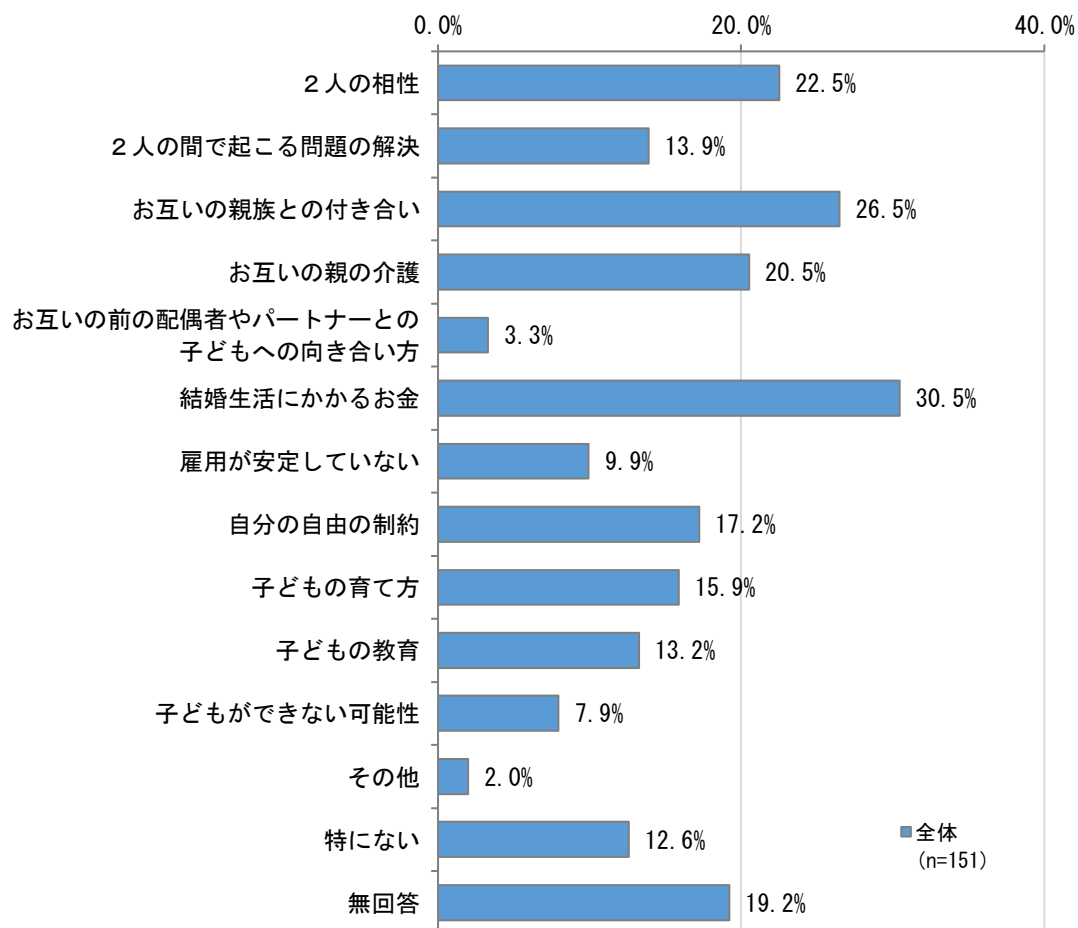
結婚していない理由



問40 あなたが、結婚生活について不安に感じることは何ですか。この中からあなたの考えに近いものを、選んでください。(いくつでも○)

結婚生活について不安に感じることにについては、「結婚生活にかかるお金」30.5%が最も高く、次いで「お互いの親族との付き合い」26.5%、「2人の相性」22.5%となっている。

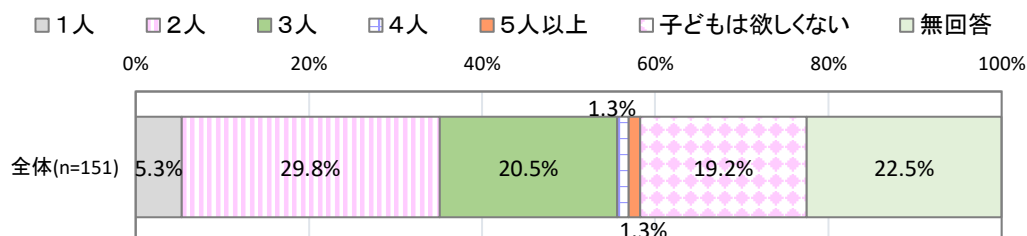
結婚生活について不安に感じること



問41 あなたは、全部で何人の子どもが欲しいですか。既にお子さんがいる場合には、そのお子さんも含めてお答えください。(1つに○)

持ちたい子どもの人数は、「2人」29.8%が最も高く、次いで「3人」20.5%、「子どもは欲しくない」19.2%となっている。

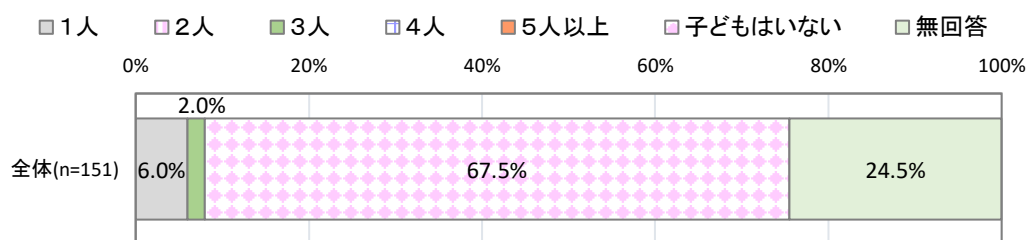
持ちたい子どもの人数



問42 実際のあなたのお子さん(養子を含む)の数は何人ですか。(1つに○)

実際の子ども的人数については、「子どもはいない」67.5%が最も高く、次いで「1人」6.0%、「2人」2.0%となっている。

実際の子ども的人数

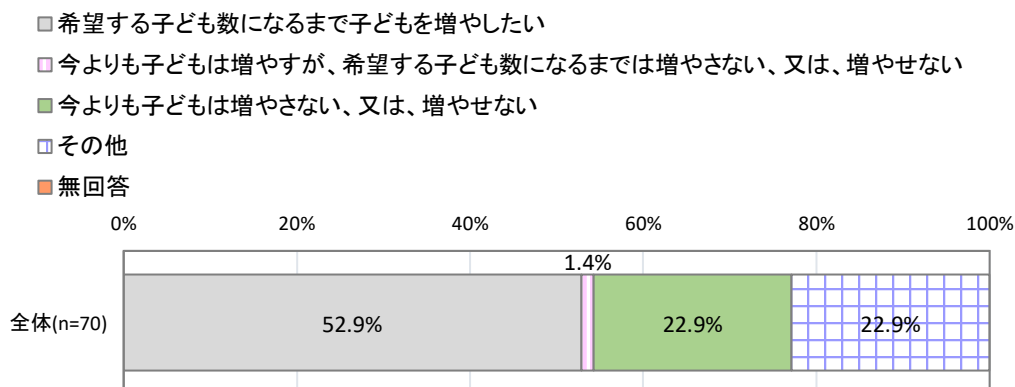


問41で答えた欲しい子どもの数よりも、問42で答えた実際の子ども数が少ない方のみ、お答えください。

問43 あなたは、今よりも、子どもを増やしたいと思いますか。(1つに○)

今より子どもを増やしたいかについては、「希望する子ども数になるまで子どもを増やしたい」52.9%が最も高く、次いで「今よりも子どもは増やさない、又は、増やせない」、「その他」がいずれも22.9%となっている。

今より子どもを増やしたいか

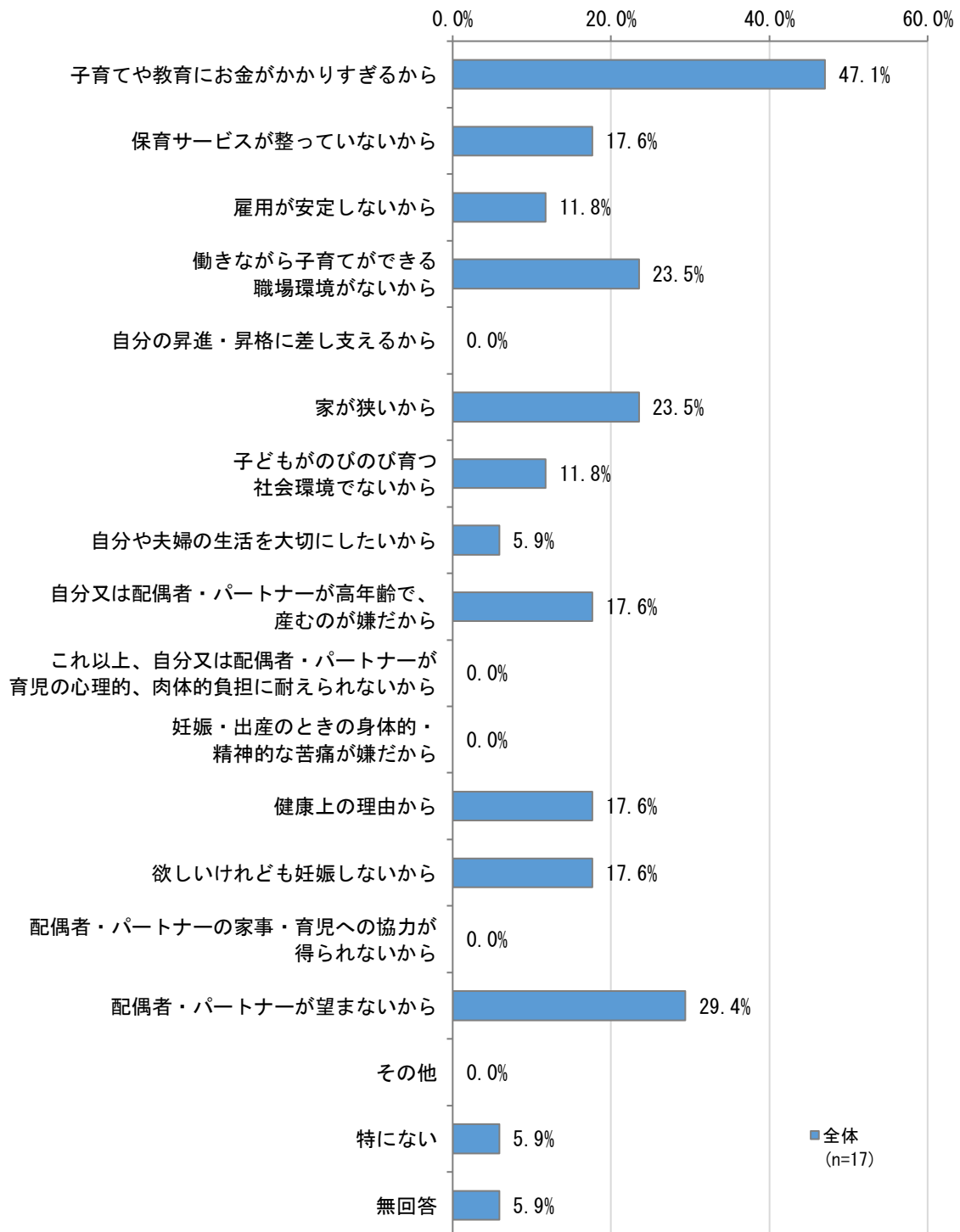


問 43 で「2」又は「3」を選んだ方のみ、お答えください。

**問44 希望する数まで、又は今よりも子どもを増やさない、又は、増やせない理由は何ですか。
(いくつでも○)**

子どもを増やさない又は増やせない理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」47.1%が最も高く、次いで「配偶者・パートナーが望まないから」29.4%、「働きながら子育てができる職場環境がないから」、「家が狭いから」がいずれも23.5%となっている。

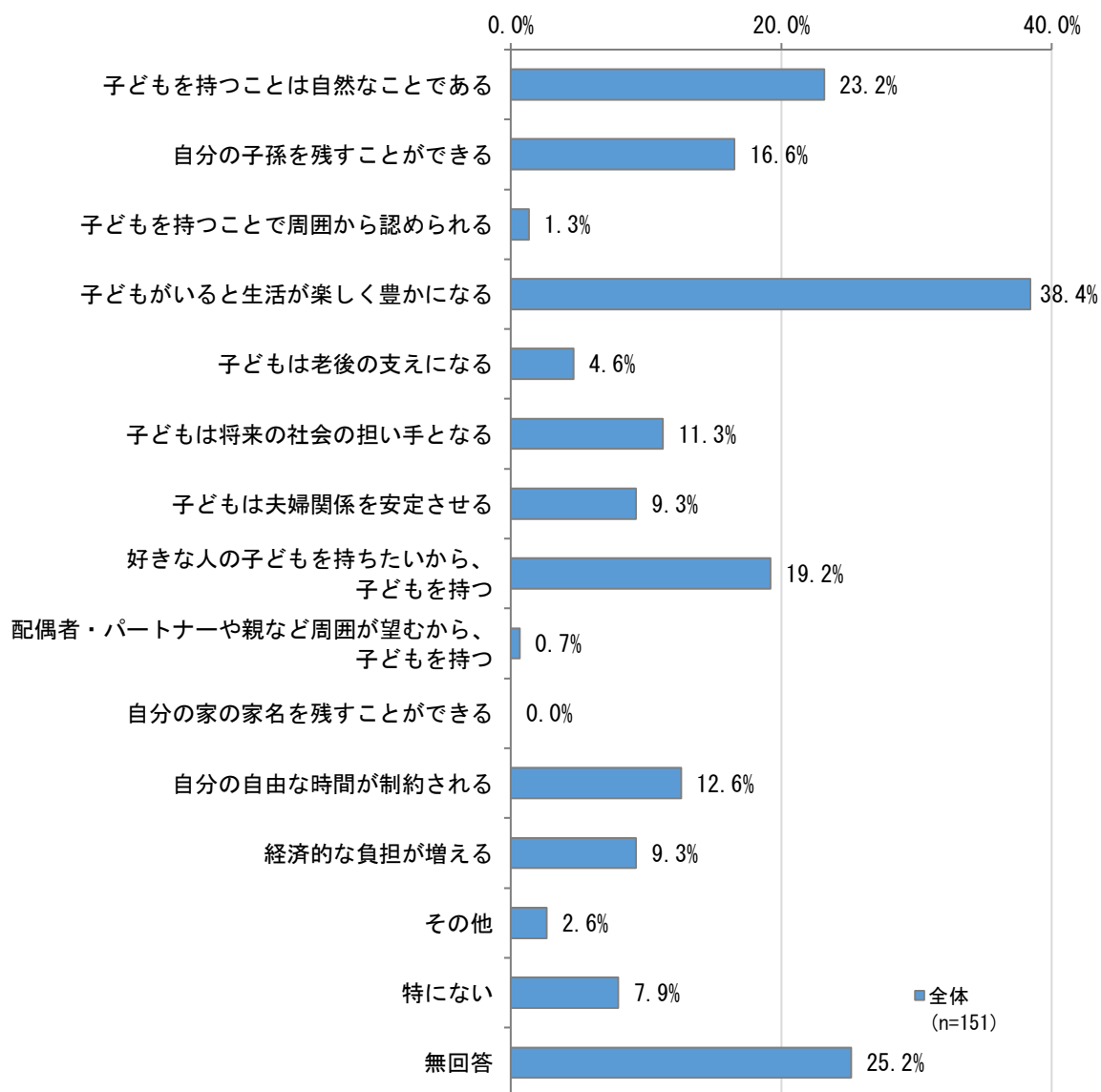
子どもを増やさない又は増やせない理由



問45 あなたは、自分の子どもを持つことに対して、どのように考えていますか。既にお子さんがいらっしゃる方は、子どもを持つ前にどのように考えていたかということについてお答えください。(3つまで○)

子どもを持つことに対してどのように考えているかについては、「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」38.4%が最も高く、次いで「子どもを持つことは自然なことである」23.2%、「好きな人の子どもを持ちたいから、子どもを持つ」19.2%となっている。

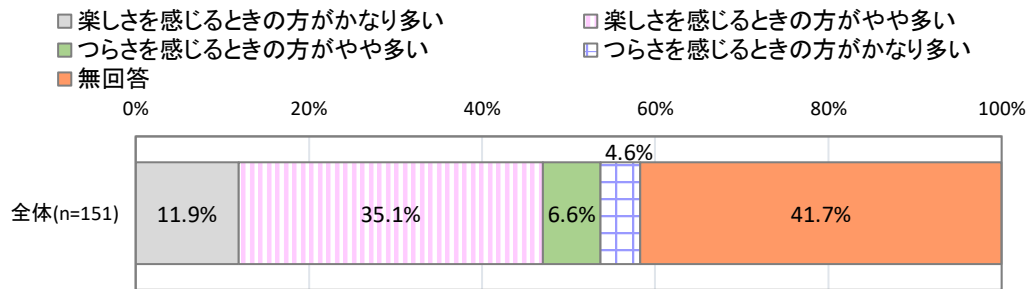
子どもを持つことに対する考え方



問46 あなたは、子育てに楽しさを感じるときが多いですか、それともつらさを感じるときが多いですか。(お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。)(1つに○)

子育てに楽しさを感じるときが多いか、もしくはつらさを感じるときが多いかについては、「楽しさを感じるときの方がやや多い」35.1%が最も高く、次いで「楽しさを感じるときの方がかなり多い」11.9%となっている。

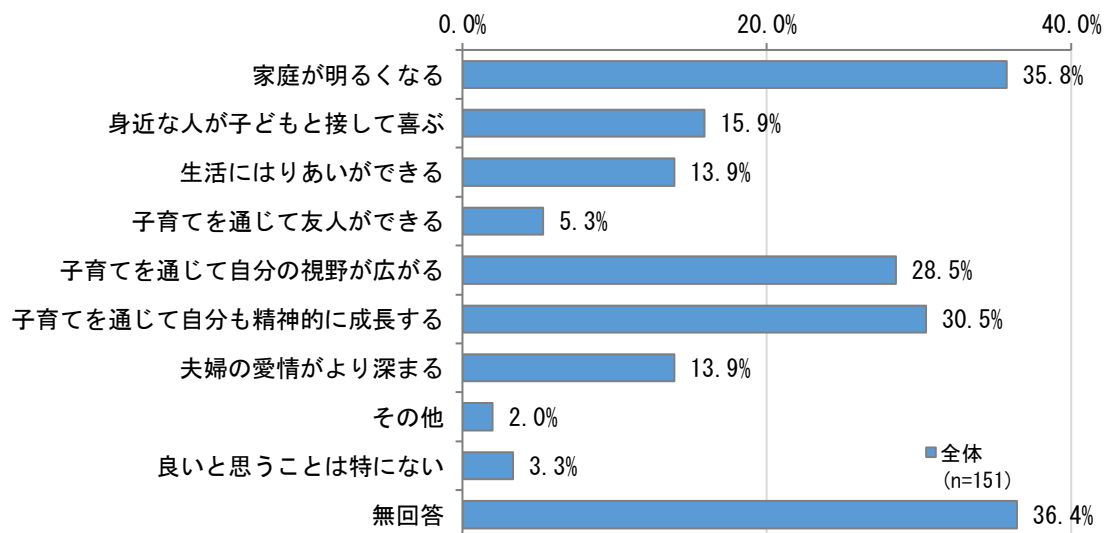
子育てに楽しさを感じるときが多いか、つらさを感じるときが多いか



問47 あなたが、子育てをしていて、良かったと思うことは何ですか。(お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。)(いくつでも○)

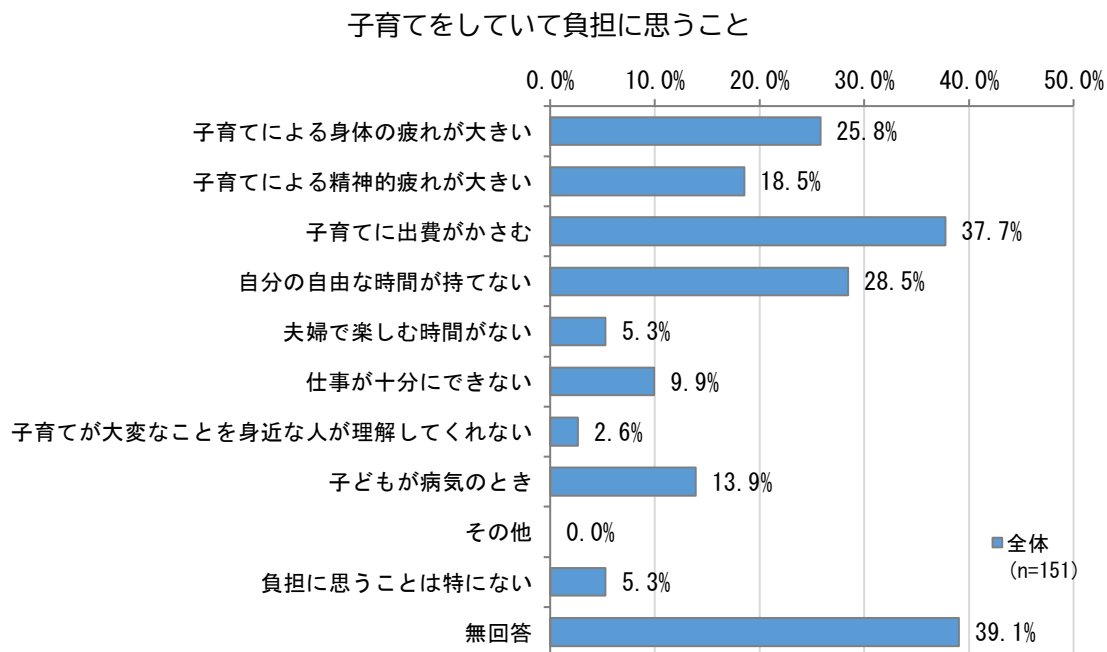
子育てをしていて良かったと思うことについては、「家庭が明るくなる」35.8%が最も高く、次いで「子育てを通じて自分も精神的に成長する」30.5%、「子育てを通じて自分の視野が広がる」28.5%となっている。

子育てをしていて良かったと思うこと



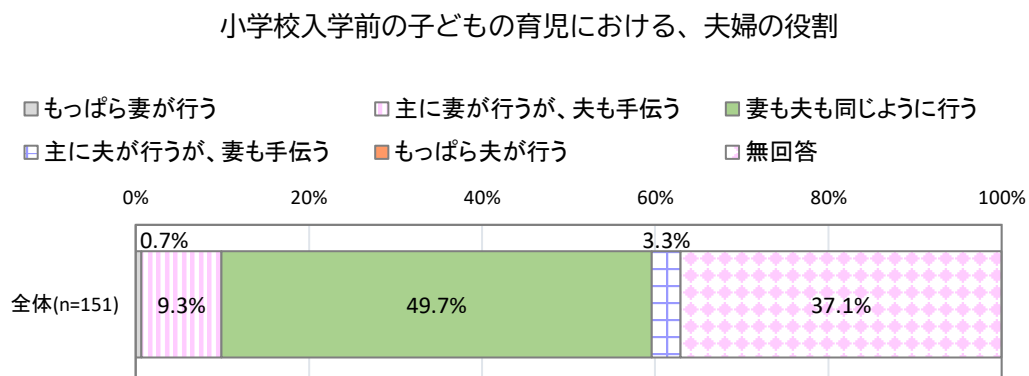
問48 あなたが、子育てをしていて、自分にとって負担に思うことはどんなことですか。(お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。)(いくつでも○)

子育てをしていて負担に思うことについては、「子育てに出費がかさむ」37.7%が最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」28.5%、「子育てによる身体の疲れが大きい」25.8%となっている。



問49 小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割について、あなたの考えに近いものを選んでください。(1つに○)

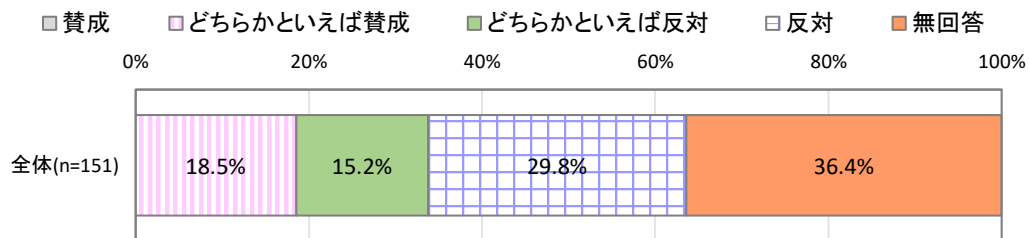
小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割についての考えは、「妻も夫も同じように行く」49.7%が最も高く、次いで「主に妻が行うが、夫も手伝う」9.3%となっている。



問50 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたは、どのように考えますか。(1つに○)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「反対」29.8%が最も高く、次いで「どちらかといえば賛成」18.5%、「どちらかといえば反対」15.2%となっている。

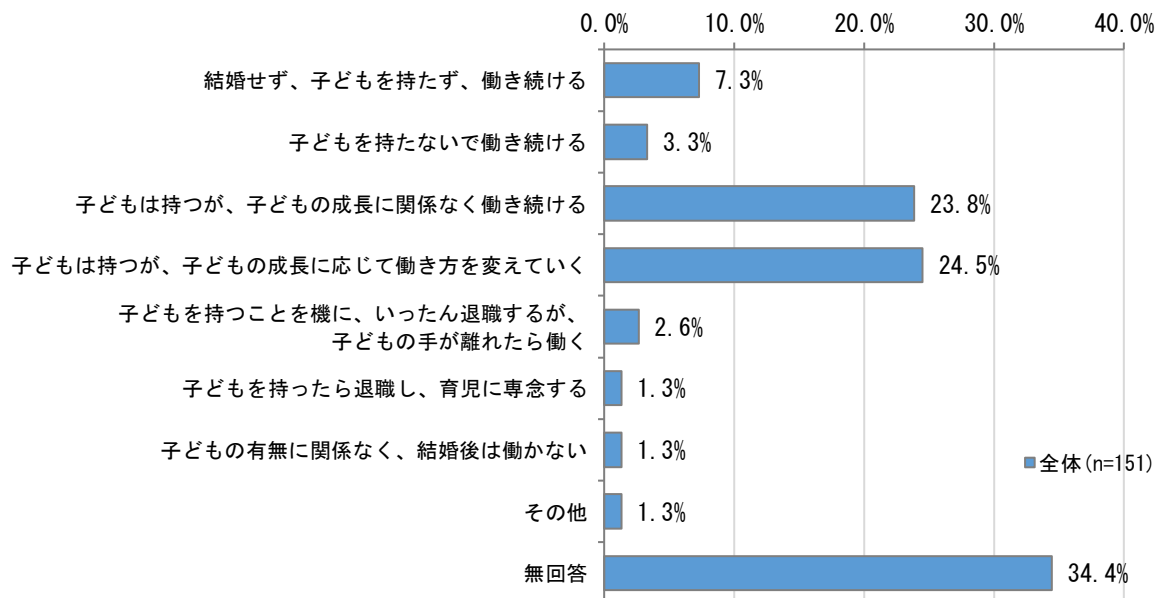
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



問51 育児と仕事との関係で、あなたの理想の生き方は次のどれですか。(1つに○)

育児と仕事との関係における理想の生き方については、「子どもは持つが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」24.5%が最も高く、次いで「子どもは持つが、子どもの成長に関係なく働き続ける」23.8%となっている。

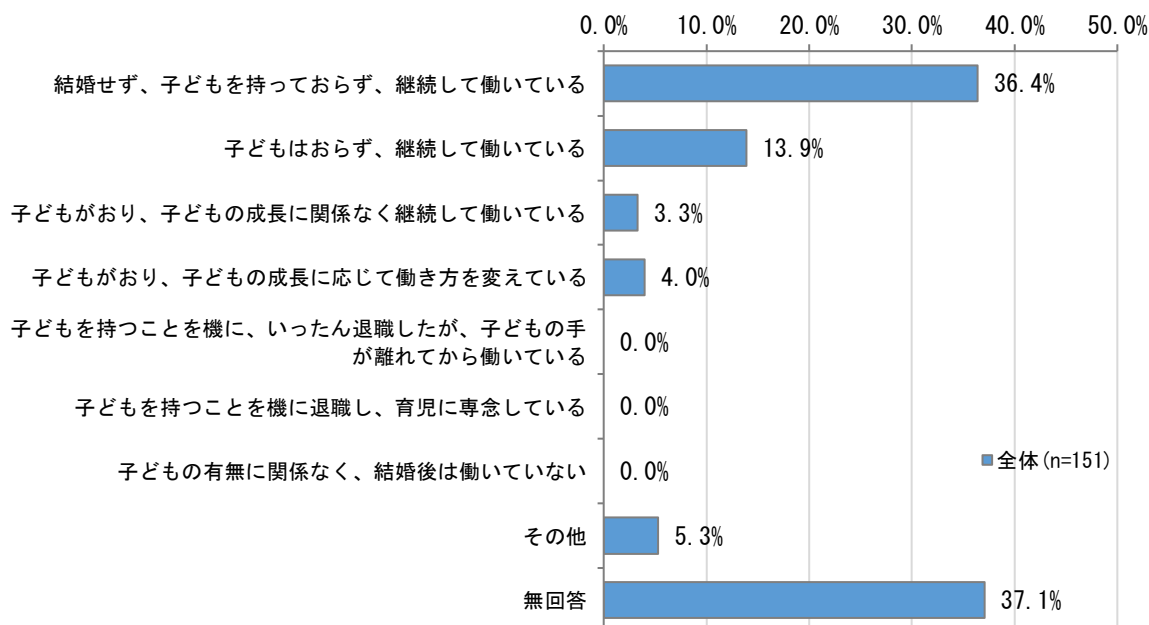
育児と仕事との関係における理想の生き方



問52 育児と仕事との関係で、あなたの現時点での状況は次のどれですか。(学生の方は、「働いている」を「勉強している」と考えてお答えください。)(1つに○)

育児と仕事との関係で、現時点の状況については、「結婚せず、子どもを持っておらず、継続して働いている」36.4%が最も高く、次いで「子どもはおらず、継続して働いている」13.9%となっている。

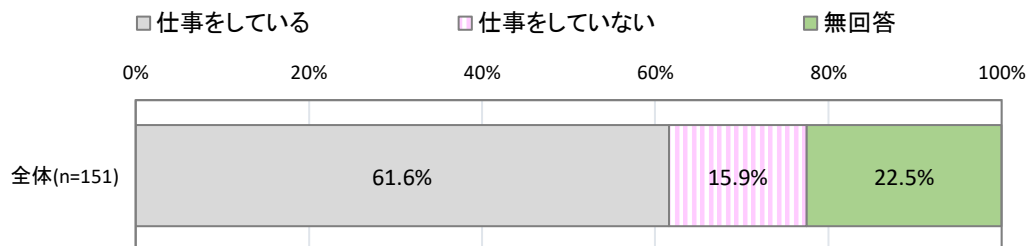
育児と仕事との関係における現時点での状況



問53 あなたは仕事をしていますか。(1つに○)

現在仕事をしているかについては、「仕事をしている」61.6%、「仕事をしていない」15.9%となっている。

現在仕事をしているか



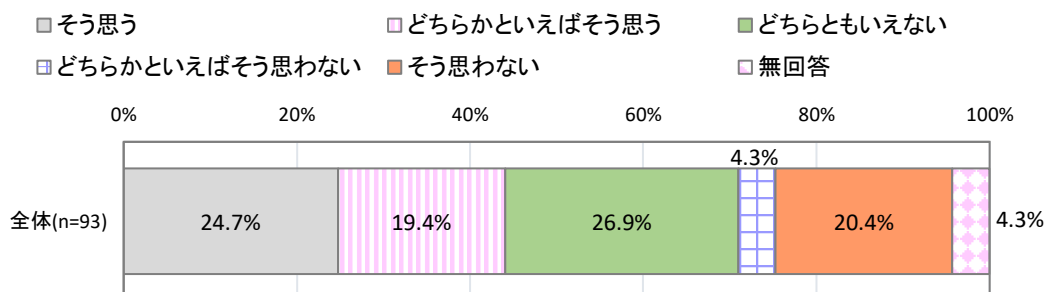
問 53 で「1 仕事をしている」を選んだ方のみ、お答えください。

問54 この1年間を振り返って、あなたはご自分の仕事と家庭生活のバランスについてどのように感じていますか。あなたのお気持ちに当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

(1) 仕事で疲れ切ってしまって、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる (1つに○)

「仕事で疲れ切ってしまって、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる」については、「どちらともいえない」26.9%が最も高く、次いで「そう思う」24.7%となっている。『思う』(「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」)は44.1%となっている。

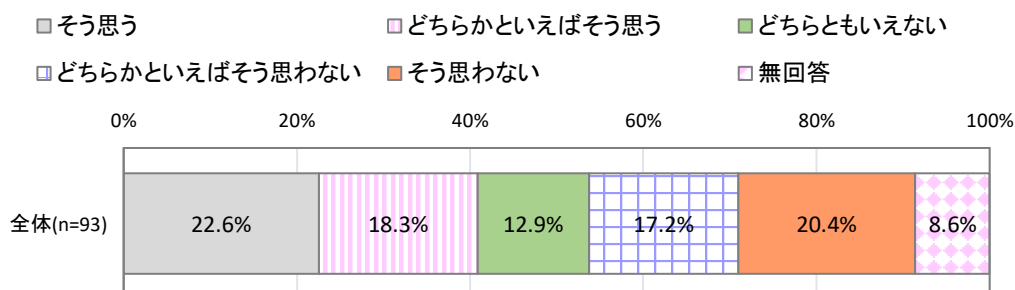
「仕事で疲れ切ってしまって、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる」か



(2) 仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる (1つに○)

「仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる」については、「そう思う」22.6%が最も高く、次いで「そう思わない」20.4%となっている。『思う』は40.9%となっている。

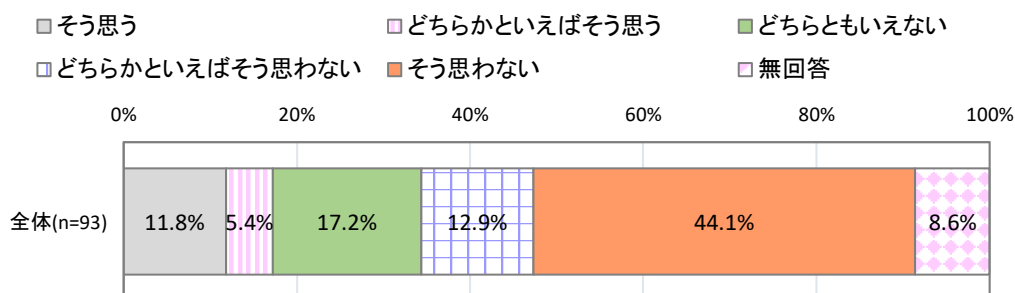
「仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる」か



(3) 家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる（1つに○）

「家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる」については、「そう思わない」44.1%が最も高く、次いで「どちらともいえない」17.2%となっている。『思う』は17.2%となっている。

「家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる」か

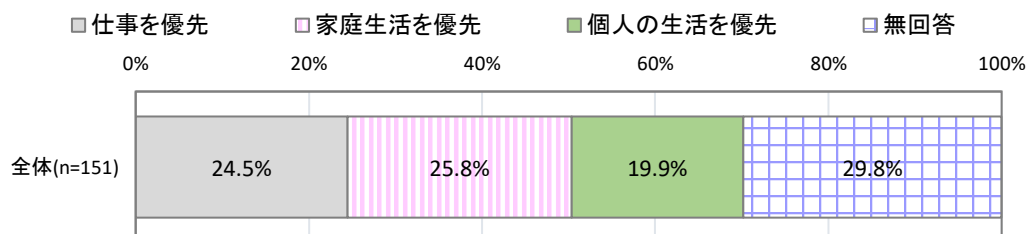


問55 現在のあなたの日常における、仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度についてお聞かせください。

(1) あなたの希望にもっとも近いものを選んでください。（1つに○）

仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度の希望については、「家庭生活を優先」25.8%が最も高く、次いで「仕事を優先」24.5%となっている。

仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度(希望)

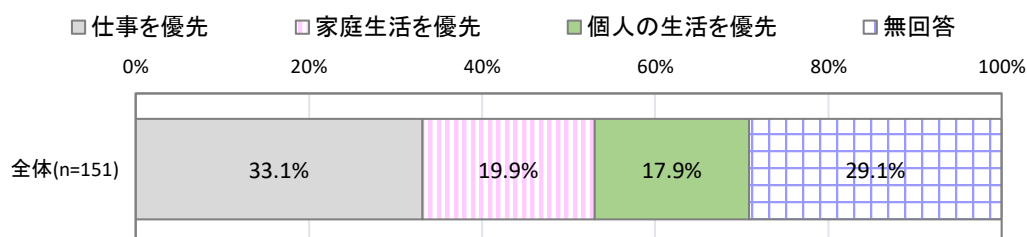


(2) あなたの現実にもっとも近いものを1つだけ選んでください。

（学生の方は、「仕事」を「学業」と考えてお答えください。）（1つに○）

仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度の現実については、「仕事を優先」33.1%が最も高く、次いで「家庭生活を優先」19.9%となっている。

仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度(現実)



問56 育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。(いくつでも○)

育児を支援する施策として重要だと思うものについては、「教育費の支援、軽減」43.7%が最も高く、次いで「小児医療の充実」37.1%、「雇用の安定」26.5%となっている。

育児を支援する施策として重要だと思うもの

